

令和2年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査（令和2年度調査）の
報告案について

○ 精神医療等の実施状況調査（その1）（右下頁）

・報告書（案）	1頁
・NDBデータ	221頁
・調査票	223頁

令和2年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査（令和2年度調査）

精神医療等の実施状況調査

報告書

◆◆目次◆◆

I. 調査の概要	1
1. 目的	1
2. 調査対象	1
3. 調査方法	2
4. 調査項目	3
5. 調査検討委員会	7
II. 調査の概要	8
1. 回収結果	8
2. 病院票	1
(1) 施設の概要（令和2年10月1日現在）	1
(2) 新型コロナウイルス感染症への対応状況	19
(3) 救急医療の提供状況	62
(4) 精神科救急入院料等について	65
(5) 精神科救急・合併症入院料について	73
(6) 精神科急性期医師配置加算について	78
(7) クロザピンの使用状況	81
(8) 身体合併症への対応状況	85
(9) 精神科リエゾンチームの状況	89
(10) 地域移行機能強化病棟について	94
(11) 退院支援部門の体制	101
(12) 外来医療の状況	108
(13) 在宅医療の状況	113
(14) 精神科訪問看護の状況	123
3. 病棟票	135
(1) 入院基本料について（令和2年10月1日時点）	135
(2) 新型コロナウイルス感染症患者の受け入れ状況（令和2年10月1か月間）	137
(3) 入院患者の状況	138
(4) クロザピンの導入について	152
(5) 身体合併症の対応状況について（令和2年10月1か月間）	153
4. 入院患者票	157
(1) 入院患者の基本属性	157
(2) 入院時の状況	164
(3) 現在の状況	172
(4) 現在の患者の状態等	182
(5) 退院の見通しと退院支援の状況	191

I. 調査の概要

1. 目的

令和2年度診療報酬改定において、地域移行・地域生活支援の充実を含む質の高い精神医療を評価する観点から、入院医療から外来・在宅医療までをスコープとして以下のような各種評価の見直し・新設等が行われた。

本調査は、これらのうち、「質の高い入院医療の評価」、「精神病棟における地域移行の推進」、「地域移行・地域定着に資する継続的・包括的な支援に対する評価」、「適切な精神科在宅医療の推進」を中心に、改定に係る影響や関連した取組の実施状況等について調査・検証を行うことを目的とした。

2. 調査対象

本調査では、「病院票」、「病棟票」および回答医療機関の受診患者の状況等を把握するための「入院患者票」を実施した。各調査の対象は、次のとおりであった。

①病院票

- ・病院 1,000 施設を対象とした。

「抽出条件」

- ・地域移行機能強化病棟入院料を算定する病院 約 50 施設（悉皆）
- ・精神科救急入院料、精神科急性期治療病棟入院料、精神科救急・合併症入院料を算定する病院約 500 施設（悉皆）
- ・精神病棟入院基本料、精神科急性期医師配置加算を算定している施設（悉皆）
- ・精神科リエゾンチーム加算あるいは精神科急性期医師配置加算を算定している病院（悉皆）
- ・精神科在宅患者支援管理料の届出を行っている病院約 100 施設（悉皆）
- ・精神病棟入院基本料、精神科療養病棟入院料を算定する病院から無作為抽出（上記に該当しない医療施設より抽出）

②病棟票

- ・病院票の対象施設に、以下の入院基本料等を届け出ている病棟についてそれぞれ以下について回答を求めた。

a. 精神科救急入院料 b. 精神科急性期治療病棟入院料 c. 精神科救急・合併症入院料	・ a、b、c の届出を行っている全病棟について記入。
d. 精神病棟入院基本料（10 対 1、13 対 1、15 対 1） e. 精神科療養病棟入院料	・ d、e の届出を行っている病棟より、1 棟を選択の上記入。

③入院患者票

- ・病院票の対象施設に、精神科救急入院料、精神科急性期治療病棟入院料、精神科救急・合併症入院料を算定している患者 3 名、精神病棟入院基本料（10 対 1、13 対 1、15 対 1）、精神科療養病棟入院料を算定している患者より、入院期間が 1 年未満の患者を 1 名、入院期間が 1 年以上 3 年未満の患者を 1 名、入院期間が 3 年以上の患者を 1 名、計 3 名、合計 6 名を任意で選定し医療施設に回答を求めた。

3. 調査方法

- ・本調査は、自記式アンケート調査方式により実施した。調査は、紙媒体（IDを印字した調査票）への記入後、郵送返送する方法と、回答者の負担軽減のため、専用ホームページより電子調査票をダウンロードし、入力の上、メールへの添付により返送する方法による回答も選択可能とした。
- ・病棟票の配布は、調査対象施設（病院）を通じて行い、調査対象病棟の責任者に回答を求めた。
- ・入院患者票については、調査対象患者の入院している病棟の責任者に回答を求めた。
- ・病院票、病棟票および入院患者票は、調査対象施設でとりまとめの上、調査事務局宛の専用返信用封筒により郵送、もしくは電子調査票にてメールでの返送（提出）とした。
- ・調査実施時期は、令和2年12月であった。

4. 調査項目

調査項目は以下のとおりであった。

区分	主な調査項目
(1) 病院票	<ul style="list-style-type: none"> ○施設の概要 <ul style="list-style-type: none"> ・所在地、開設者、運営する施設事業所、病院種別、標榜診療科、病棟数と許可病床数、精神科病棟ごとの入院基本料と加算の届出状況、届出済の入院基本料等加算、救急告示の有無、新規入院患者数、精神科救急搬送患者地域連携紹介加算・受入加算の届出の有無と算定件数、精神科救急搬送患者地域連携紹介加算・受入加算の届出をしていない理由、感染防止対策加算の施設基準の届出の有無、感染防止対策加算の施設基準の届出をしていない理由、精神病床の各入院料別の病棟数と届出病床数、病床利用率および平均在院日数、常勤換算の職員数と精神科病棟に従事している職員数 ○新型コロナウイルス感染症への対応状況 <ul style="list-style-type: none"> ・受診者の有無や体制の動向（令和2年3月～10月） ・コロナ患者受け入れによる臨時的な取扱いの該当有無（令和2年3月～10月） ・コロナ重点医療機関等の指定の有無 ・コロナの臨時的な受け入れによる各種配置要件や診療実績への影響の状況（令和2年4月～10月） ・医療提供状況の変化の有無 ・外来患者数および総入院患者数（令和元年と令和2年の4月～10月） ○救急医療の提供状況 <ul style="list-style-type: none"> ・精神科救急医療体制整備事業への参加の有無 ・精神科救急医療施設の種別、当番日と診療実績 ・医師と看護師の時間外、休日、深夜の救急外来の体制 ・診療時間（届出時間、時間外診療時間、深夜診療時間） ○精神科救急入院料等 <ul style="list-style-type: none"> ・精神科救急入院料の届出状況 ・入院形態別患者数 ・救急外来診療件数（令和元年11月～令和2年10月） ・時間外、休日、深夜の診療件数について人口1万人当たり1.87以上であることの要件の届出の有無、算出根拠となる人口数、時間外、休日、深夜の診療件数のうちの初診患者数（過去3か月間） ・病棟数または病床数の施設基準を満たさなくなった場合の対応 ・精神科救急入院料の今後の届出意向 ・満たすことが難しい精神科救急入院料の施設基準 ○精神科救急・合併症入院料 <ul style="list-style-type: none"> ・精神科救急・合併症入院料の届出の有無 ・精神科救急・合併症入院料に該当する病棟の入院延べ日数（令和2年10月） ・退院患者数（令和元年11月～令和2年10月） ・精神疾患に係る救急外来診療件数（令和元年11月～令和2年10月） ・精神科救急・合併症入院料に該当する病棟の新規入院患者数（令和元年11月～令和2年10月） ・時間外、休日、深夜の診療件数について人口1万人当たり2.5以上で

区分	主な調査項目
	<p>あることの要件の届出の有無、算出根拠となる人口数、時間外、休日、深夜の診療件数の中の初診患者数（過去3か月間）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・精神科救急・合併症入院料の届出意向の有無 ・満たすことが難しい精神科救急・合併症入院料の要件 ○精神科急性期医師配置加算 <ul style="list-style-type: none"> ・精神科急性期医師配置加算の届出の有無 ・満たすことが難しい精神科急性期医師配置加算の要件 ・クロザピン新規導入件数 ・精神科急性期医師配置加算の届出意向 ○クロザピンの使用状況等 <ul style="list-style-type: none"> ・治療抵抗性統合失調症治療指導管理料の施設基準の届出有無と診療実績（令和元年6月） ・クロザピンが投与できないことによる転院の有無 ・治療抵抗性統合失調症治療指導管理料の届出を行っていない理由および満たすことが難しい要件 ・治療抵抗性統合失調症治療指導管理料の届出意向の有無 ○身体合併症への対応状況 <ul style="list-style-type: none"> ・対応困難な身体合併症に対する対応 ・精神科身体合併症管理加算の届出の有無 ・精神科身体合併症管理加算の届出を行っていない理由および満たすことが難しい要件 ・摂食障害の新規入院患者の延べ人数（令和2年4月～9月） ・摂食障害入院医療管理加算の届出状況 ・疾患別リハビリテーションの施設基準の届出状況と疾患別リハビリテーションの届出意向 ○精神科リエゾンチームの状況 <ul style="list-style-type: none"> ・精神科リエゾンチーム加算の届出状況 ・精神科リエゾンチームによる診療において他の医療機関の医師の対診の有無 ・精神科リエゾンチーム加算を算定した患者実人数（令和2年10月） ・カンファレンス開催日数（令和2年10月） ・カンファレンスに参加した職種 ・精神科リエゾンチームのせん妄ケアチームと認知症ケアチームの連携状況 ・精神科リエゾンチーム加算の届出を行っていない理由および満たすことが難しい要件 ○地域移行機能強化病棟 <ul style="list-style-type: none"> ・地域移行機能強化病棟入院料の届出の有無 ・地域移行機能強化病棟入院料の届出の時期 ・地域移行機能強化病棟に転換した病床種別 ・地域移行機能強化病棟入院料の届出に係る精神病床の削減計画 ・地域移行機能強化病棟入院料の届出に係る精神病床の許可病床数の変更の有無と削減数 ・病床削減後に新たに実施したいサービスや事業 ・地域移行機能強化病棟入院料の届出を行っていない理由および満たすことが難しい要件 ・地域移行機能強化病棟入院料の届出意向と届出をしようと思える状況 ○退院支援部門の体制 <ul style="list-style-type: none"> ・退院支援を担当する専門部署の設置の有無

区分	主な調査項目
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 困難と感じる退院支援業務 ・ 精神科退院時共同指導料の届出状況、精神科退院時共同指導料の算定状況（令和2年8月～10月）、退院時に共同指導をする医療機関との連携活動の実施状況、多職種チームの参加状況、医師、看護師、精神保健福祉士以外でカンファレンスに参加している職種 ・ 精神科退院時共同指導料の届出をしていない理由 ・ 精神科退院時共同指導料の普及、充実を図るための方策と課題 ・ 精神疾患を有する患者の地域移行と地域定着を推進するために必要な取組 ○ 外来医療の状況 <ul style="list-style-type: none"> ・ 通院患者やその家族に対する医師以外の職種による相談支援の有無 ・ 医師以外の職種が行っている具体的な支援 ・ 支援を行っている職種 ・ 外来で相談業務を行う精神保健福祉士の配置の有無 ・ どのような場合に支援を行うか ・ 療養生活環境整備指導加算の届出状況の有無、届出をしていない場合、満たすことが難しい要件 ・ 療養生活環境整備指導加算の実施に関する課題 ○ 在宅医療の状況 <ul style="list-style-type: none"> ・ 精神科在宅患者の往診の実施の有無 ・ 精神科在宅患者の訪問診療の実施の有無 ・ 整備されている24時間体制 ・ 届出を行っている施設基準 ・ 精神科在宅患者支援管理料の届出の有無、連携する訪問看護ステーションの有無、算定の有無（令和2年8月～10月）、職員の体制、算定件数 ・ 精神科在宅患者支援管理料の届出意向の有無 ○ 精神科訪問看護の状況 <ul style="list-style-type: none"> ・ 精神科訪問看護実施の有無 ・ 精神科訪問看護に携わる常勤換算の職員数 ・ 精神科訪問看護を実施した患者実人数（身体疾患の患者数、他の精神科療法を行った患者数） ・ 週当たりの訪問回数別患者実人数 ・ 時間区分ごとの算定患者数と算定回数 ・ 複数名精神科訪問看護・指導加算を算定した患者数と算定回数 ・ 複数名訪問が必要な理由と職種ごとの算定患者数 ・ GAF 尺度の判定値ごとの患者数 ・ 精神科認定看護師等の実人数 ・ 精神科認定看護師等による精神科訪問看護の実施状況 ・ 精神科認定看護師が実施したケアの内容 ・ 精神科認定看護師によるその他の活動 ・ 24時間365日対応可能な体制の有無、体制が確保されていない理由 ・ 新型コロナウイルス感染症患者および疑い患者に対して在宅以降管理加算を算定した実人数と回数 ・ 電話等での訪問看護・指導を行った場合の訪問看護・指導体制充実加算を算定した実人数と回数 ・ 診療報酬項目の改訂に関する意見

区分	主な調査項目
(2) 病棟票	<ul style="list-style-type: none"> ○入院基本料等 <ul style="list-style-type: none"> ・該当する入院基本料 ・許可病床数 ・届出を行っている入院基本料等加算 ○新型コロナウイルス感染症患者の受け入れ状況 <ul style="list-style-type: none"> ・患者受け入れの有無 ○入院患者の状況 <ul style="list-style-type: none"> ・入院患者数の合計、年齢階級別、在院期間別、主たる疾患別、GAF 尺度のスコア別、向精神薬の使用別、個室使用患者数、精神保健福祉法上の行動制限中の患者数（令和2年10月30日時点） ・1か月間に入院した患者数（令和2年10月1か月間） ・1か月間に退院・転院した患者数（令和2年10月1か月間） ・持続性抗精神病注射薬剤の投与開始患者数（令和2年10月1か月間） ○クロザピンの導入 <ul style="list-style-type: none"> ・クロザピンの新規導入患者数、クロザピンの新規導入を目的とした転入患者数、転入前の前病院・病棟別患者数（令和2年4月～9月） ○身体合併症の対応状況 <ul style="list-style-type: none"> ・精神科身体合併症管理加算を算定した実患者数と疾患別人数
(3) 入院患者票	<ul style="list-style-type: none"> ○入院患者の基本属性 <ul style="list-style-type: none"> ・入院基本料の種別と入院期間、性別、年齢、所持している精神障害手帳級別、障害年金受給の有無、生活保護受給の有無、障害支援区分 ○入院時の状況 <ul style="list-style-type: none"> ・入院日、病棟の入棟日、初診日、前回の退院日、通算入院回数、通算入院期間、入院前の居場所、在宅療養時の精神科訪問看護の利用の有無、現在入院している病棟の主たる入院理由、入院形態、GAF 尺度 ○現在の状況 <ul style="list-style-type: none"> ・入院形態、現在の処遇、個室の使用有無、行動制限の状況、主傷病、主傷病以外の精神疾患、身体合併症の有無と種類、身体合併症に対する対応状況 ○現在の患者の状態 <ul style="list-style-type: none"> ・精神疾患の状況、GAF 尺度、クロザピン及び持続性抗精神病注射薬剤の処方内容 ・認知症高齢者の日常生活自立度、障害高齢者の日常生活自立度、ADL 区分、要介護度 ・退院後に同居する家族の有無、退院後の居住先の有無、退院が可能となる状況、予想される入院期間、入院期間が3か月超となる場合その理由、予定する退院先、退院支援委員会の参加者、退院後必要な支援、退院後精神科訪問看護が必要な場合その頻度

5. 調査検討委員会

本調査を実施するにあたり、調査設計、調査票の作成、調査の実施、集計・分析、報告書案等の検討を行うため、以下のとおり、調査検討委員会を設置・開催した。

【委員】（○は委員長、五十音順、敬称略）

吉川 隆博	東海大学 医学部看護学科 精神看護学領域 教授
小石川 比良来	亀田総合病院 心療内科・精神科部長
○関 ふ佐子	横浜国立大学大学院 国際社会科学研究院 教授
平川 淳一	日本精神科病院協会 副会長
藤井 千代	国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 地域・司法精神医療研究 部長
杠 岳文	肥前精神医療センター 院長
オブザーバー	
永瀬 伸子	お茶の水女子大学基幹研究院人間科学系 教授

II. 調査の概要

1. 回収結果

病院票の発送数は、1,000 件であり、回収数は 412 件（回収率 41.2%）であった。
病棟票、入院患者票の回収数は、それぞれ 846 件、1,604 件であった。

図表 1 - 1 回収の状況

	発送数	回収数	有効回収数	有効回収率
病院票	1,000 件	412 件	412 件	41.2%
病棟票	—	846 件	846 件	—
入院患者票	—	1,604 件	1,604 件	—

2. 病院票

【調査対象等】

調査対象：以下の条件により抽出した合計1,000施設を対象とした。

「抽出条件」

- ・地域移行機能強化病棟入院料を算定する病院 約50施設（悉皆）
- ・精神科救急入院料、精神科急性期治療病棟入院料、精神科救急・合併症入院料を算定する病院約500施設（悉皆）
- ・精神病棟入院基本料、精神科急性期医師配置加算を算定している施設（悉皆）
- ・精神科リエゾンチーム加算あるいは精神科急性期医師配置加を算定している病院（悉皆）
- ・精神科在宅患者支援管理料の届出を行っている病院約100施設（悉皆）
- ・精神病棟入院基本料、精神療養病棟入院料を算定する病院から無作為抽出（上記に該当しない医療施設より抽出）

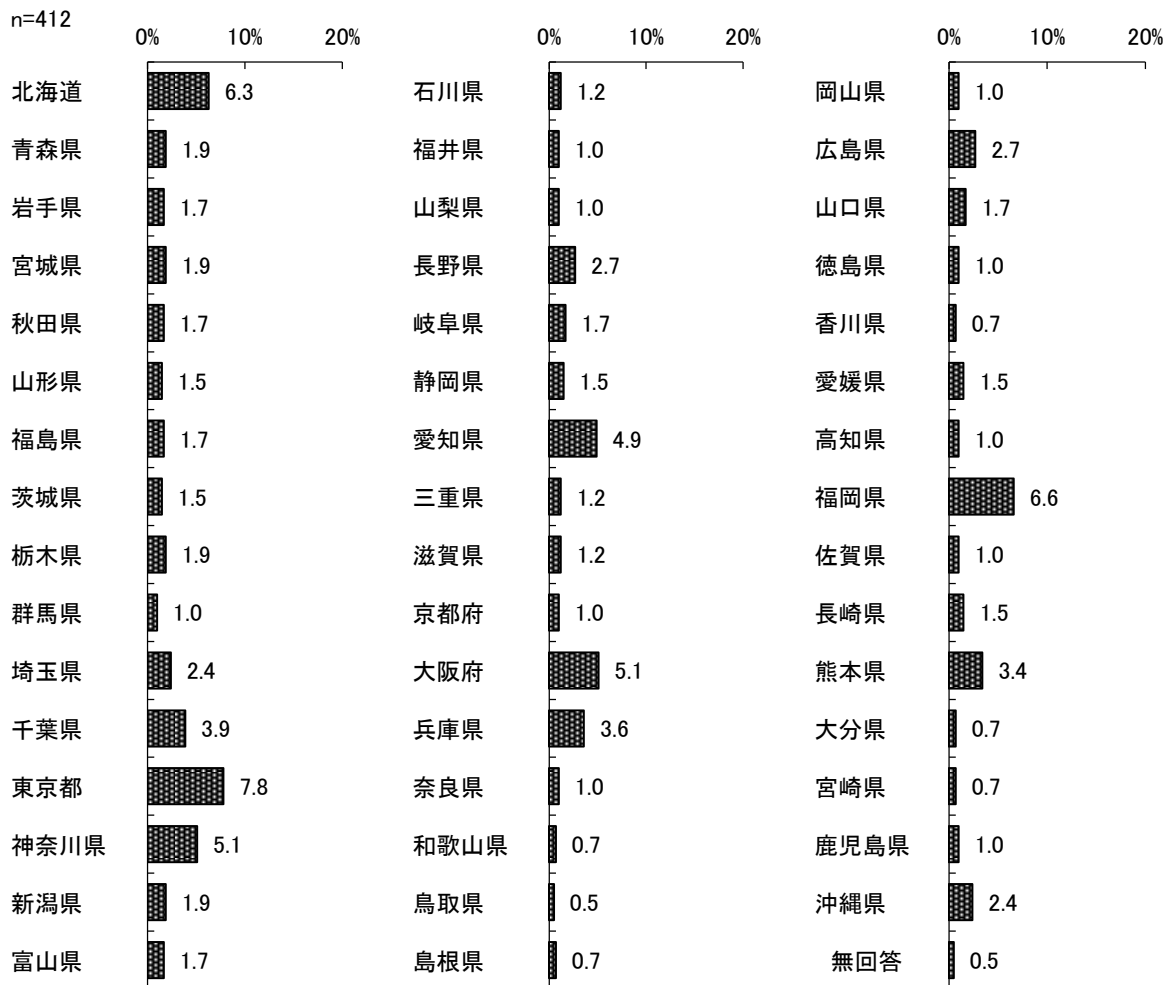
回答数：412施設

回答者：管理者

(1) 施設の概要（令和2年10月1日現在）

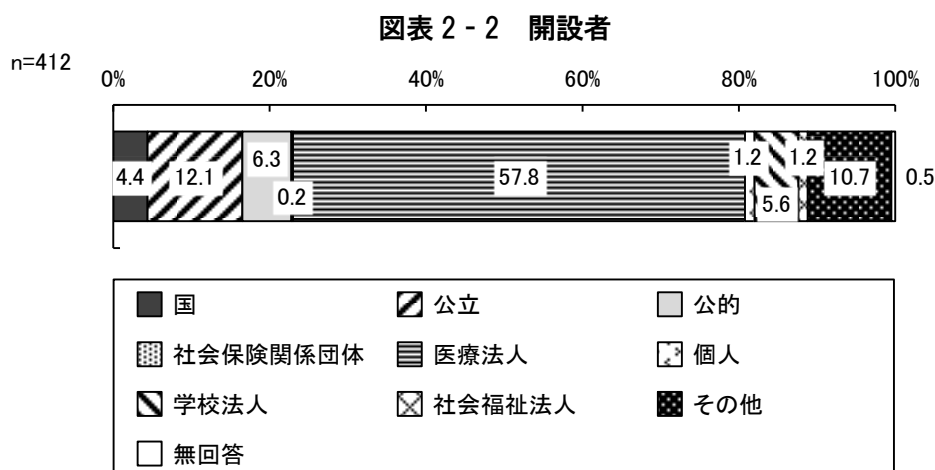
① 所在地

図表 2 - 1 所在地（都道府県）



② 開設者

開設者は、「国」4.4%、「公立」12.1%、「公的」6.3%、「社会保険関係団体」0.2%、「医療法人（社会医療法人除く）」57.8%、「個人」1.2%、「学校法人」5.6%、「社会福祉法人」1.2%、「その他」10.7%であった。

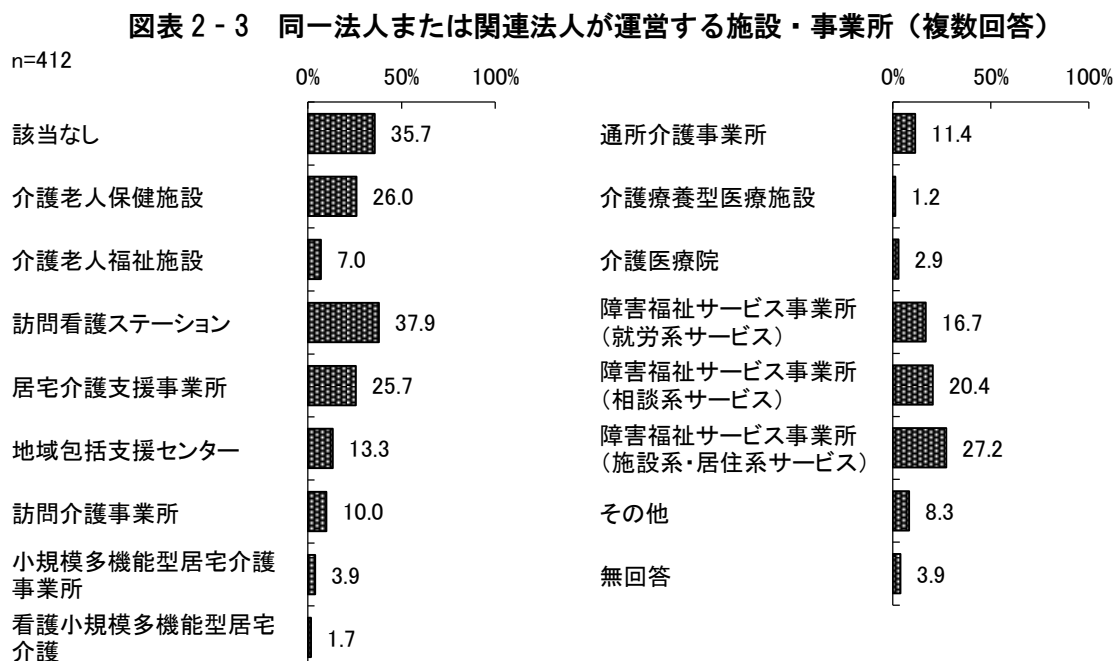


※全体の集計数 412 件は、病床数について無回答だった 2 件を含む（以下同様）。

③ 同一法人または関連法人が運営する施設・事業所

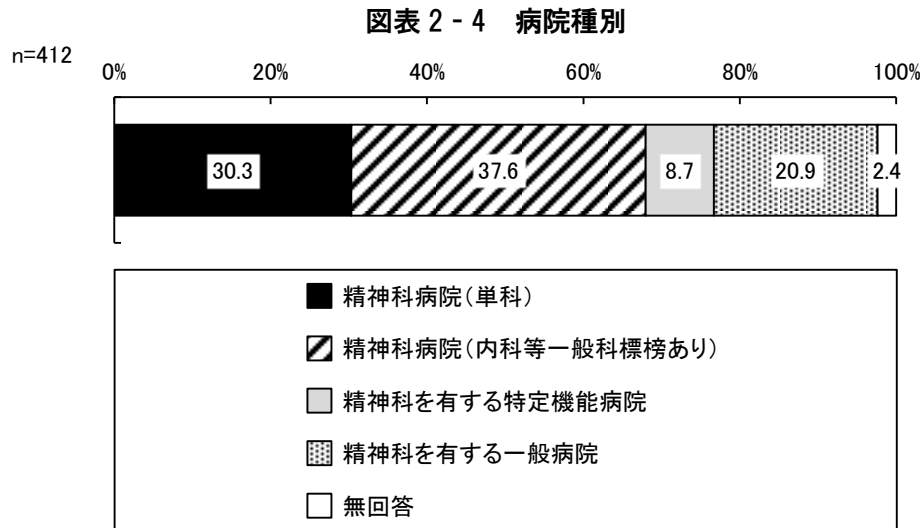
同一法人または関連法人が運営する施設・事業所をみると、「訪問看護ステーション」37.9%、「障害福祉サービス事業所（施設系・居住系サービス）」27.2%、「居宅介護支援事業所」25.7%の順に多くなっていた。また、「該当なし」35.7%であった。

なお、「その他」としては、「診療所、サテライトクリニック」、「大学、看護専門学校」、「認知症対応型共同生活介護」、「認知症高齢者グループホーム」、「訪問リハビリテーション」、「通所リハビリテーション」、「保育・児童福祉施設、放課後等デイサービス」等の回答があった。



④ 病院種別

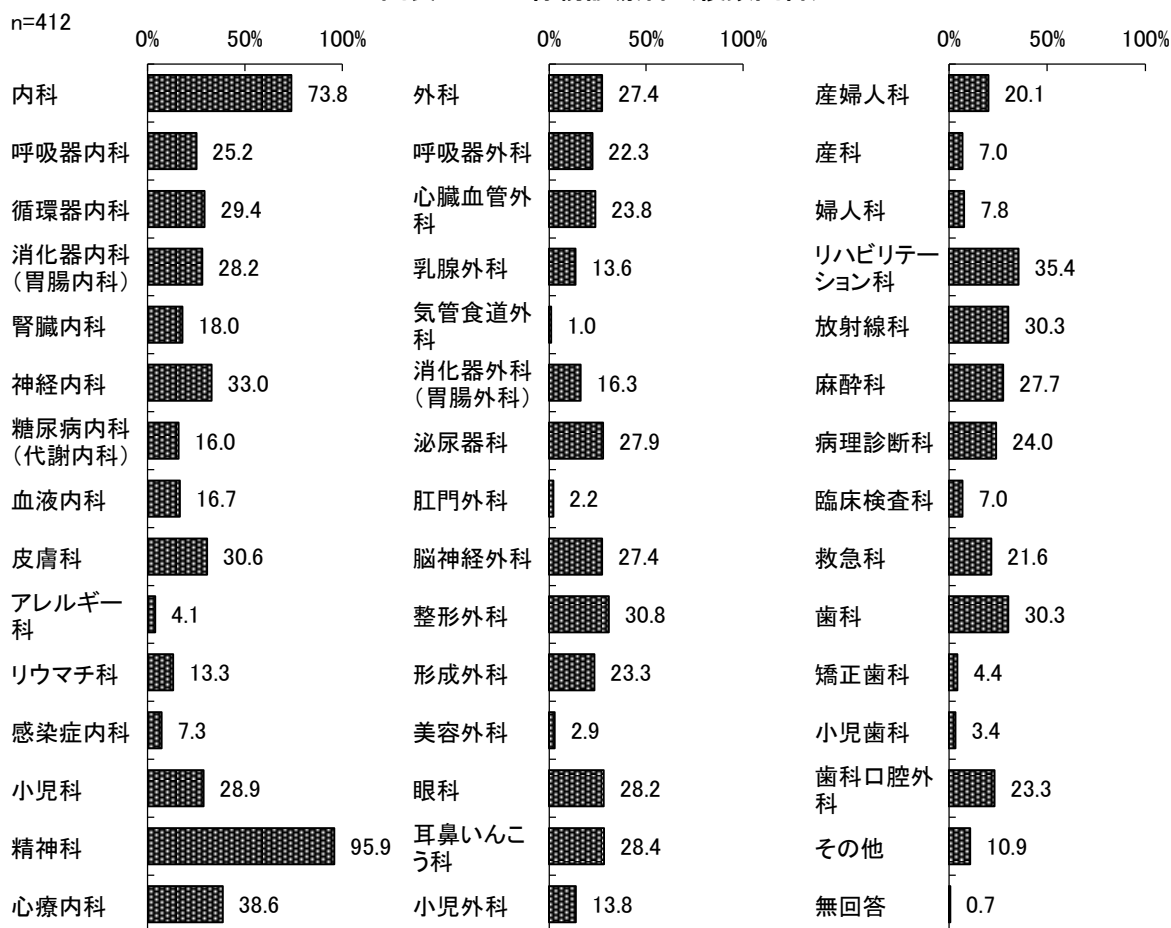
病院種別をみると、「精神科病院（単科）」が 30.3%、「精神科病院（内科等一般科標榜あり）」37.6%、「精神科を有する特定機能病院」8.7%、「精神科を有する一般病院」20.9%であった。



⑤ 標榜診療科

標榜診療科は、以下のとおりであった。

図表 2 - 5 標榜診療科（複数回答）



⑥ 病棟数、許可病床数(令和元年10月及び令和2年10月)

1) 病棟数

病棟数は以下のとおりであった。

図表 2 - 6 病棟数

	令和元年10月			令和2年10月				
	n	平均値	標準偏差	中央値	n	平均値	標準偏差	中央値
a.一般病床	n=229	7.0	8.7	1.0	n=229	7.0	8.7	1.0
b.療養病床	n=208	0.3	0.9	0.0	n=208	0.3	0.9	0.0
c.精神病床	n=387	3.9	2.6	4.0	n=387	3.9	2.6	4.0
d.感染症病床	n=203	0.2	0.5	0.0	n=203	0.2	0.5	0.0
e.結核病床	n=196	0.1	0.3	0.0	n=196	0.1	0.3	0.0

2) 許可病床数

許可病床数は以下のとおりであった。

図表 2 - 7 許可病床数

	令和元年10月				令和2年10月			
	n	平均値	標準偏差	中央値	n	平均値	標準偏差	中央値
a.一般病床	n=238	294.2	345.4	95.0	n=238	292.0	345.9	75.0
b.療養病床	n=209	16.5	50.0	0.0	n=208	15.0	44.3	0.0
c.精神病床	n=403	206.6	145.2	200.0	n=403	205.6	143.5	200.0
d.感染症病床	n=205	1.3	3.1	0.0	n=205	1.4	4.1	0.0
e.結核病床	n=197	6.4	77.2	0.0	n=196	6.4	77.4	0.0

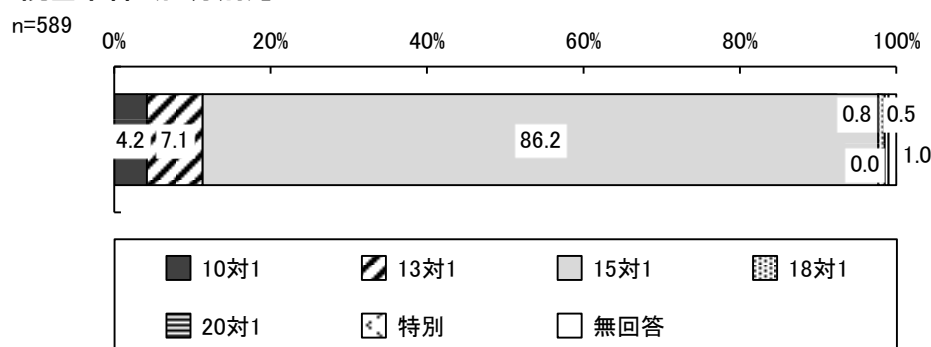
⑦-1 入院基本料等の届出状況(病棟数)

入院基本料等の届出状況(病棟数)は、以下のとおりであった。

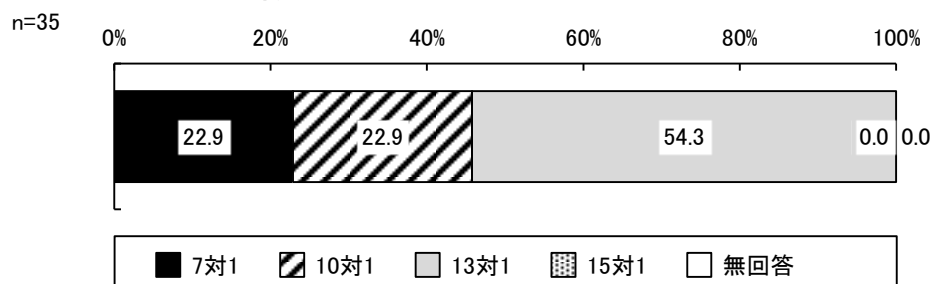
図表 2 - 8 届出を行っている入院基本料(複数回答)

	入院基本料等の届出状況			
	n	平均値	標準偏差	中央値
全体	n=1,562	51.7	17.1	52.0
精神病棟入院基本料	n=589	53.4	21.6	53.0
特定機能病院入院基本料(精神病棟)	n=35	42.5	9.7	41.0
精神科救急入院料	n=130	50.1	17.1	48.0
精神科急性期治療病棟入院料	n=157	48.2	9.4	50.0
精神科救急・合併症入院料	n=16	47.5	14.6	52.5
児童・思春期精神科入院医療管理料	n=20	24.9	10.9	24.0
精神療養病棟入院料	n=396	55.6	8.1	59.0
認知症治療病棟入院料	n=132	52.8	6.3	52.0
地域移行機能強化病棟入院料	n=19	57.0	5.5	60.0

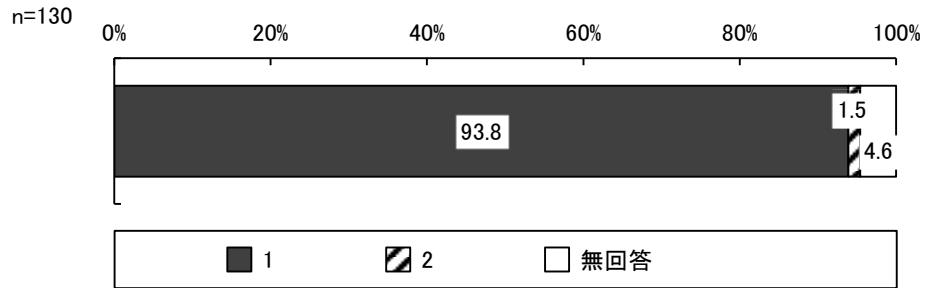
【精神病棟入院基本料(区分別)】



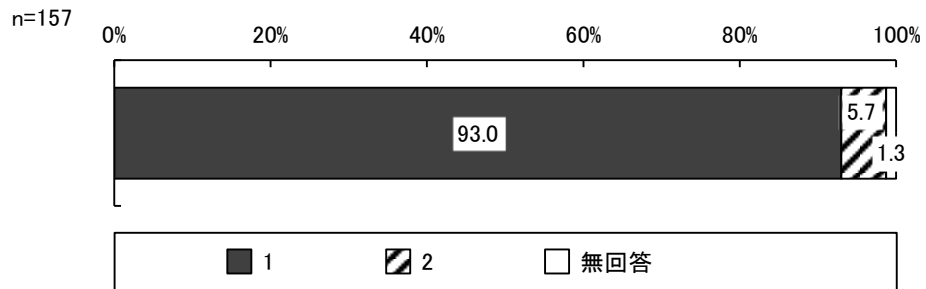
【特定機能病院入院基本料(精神病棟・区分別)】



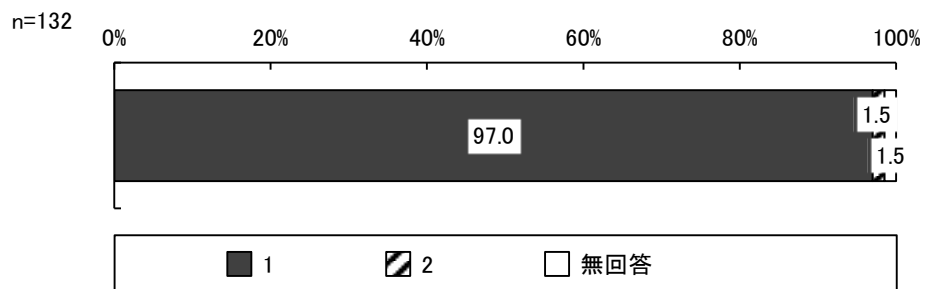
【精神科救急入院料（区分別）】



【精神科急性期治療病棟入院料（区分別）】



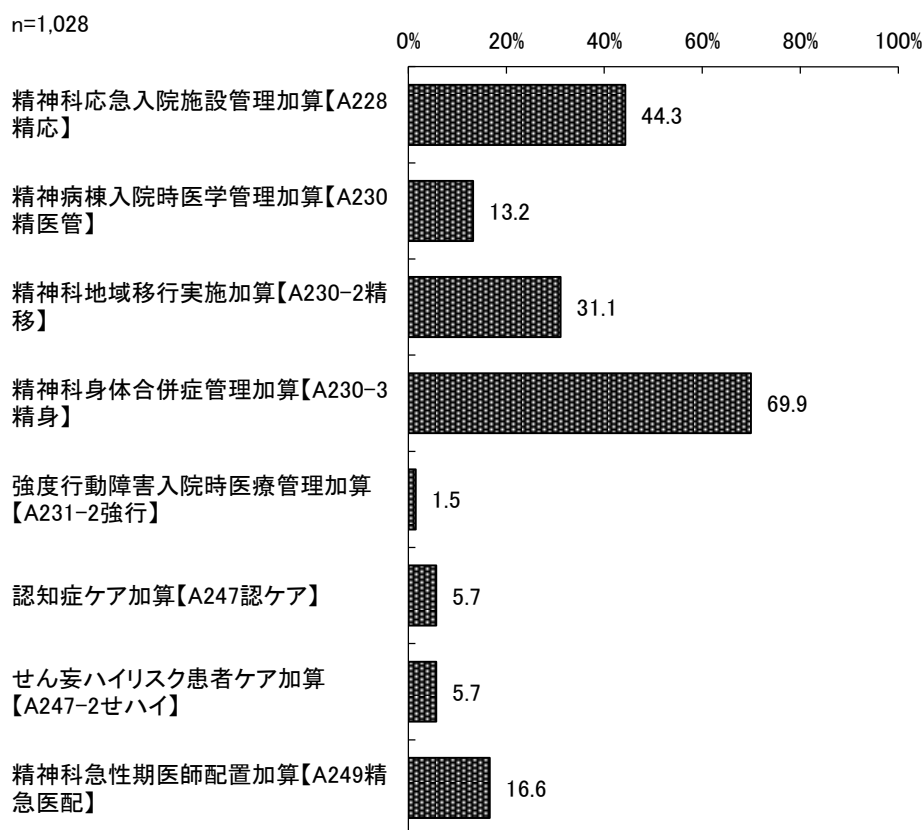
【認知症治療病棟入院料（区分別）】



⑦-2 加算の届出状況(病棟数)

加算の届出状況を見ると、「精神科身体合併症管理加算【A230-3 精身】」(69.9%)、「精神科応急入院施設管理加算【A228 精応】」(44.3%)、「精神科地域移実施加算【A230-2 精移】」(31.1%)の順に多くなっていた。

図表 2 - 9 加算の届出状況 (複数回答)

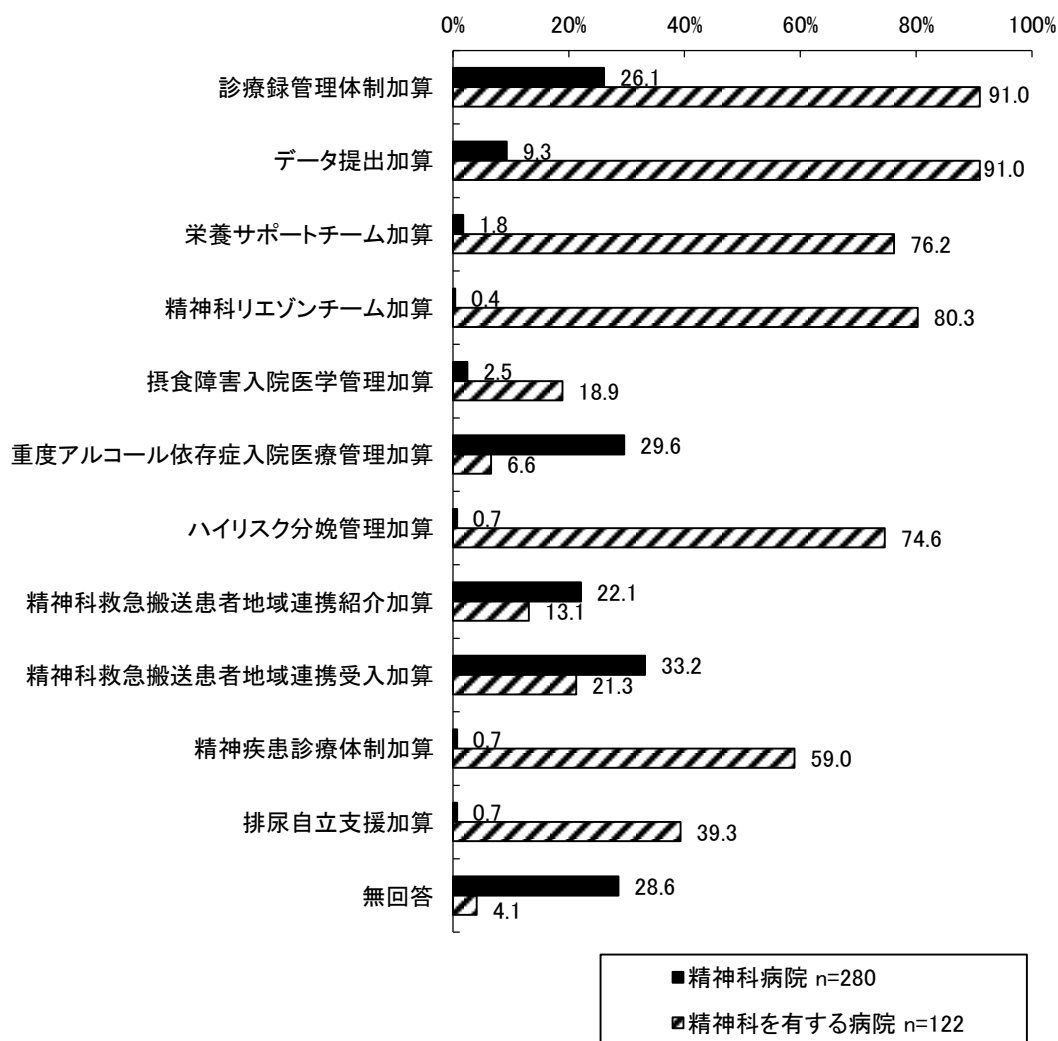


⑧-1 施設が届出を行っている入院基本料等加算(令和2年10月)

施設が届出を行っている入院基本料等加算の状況を見ると、精神科病院では、「精神科救急搬送患者地域連携受入加算」(33.2%)、重度アルコール依存症入院医療管理加算(29.6%)、診療録管理体制加算(26.1%)、「精神科救急搬送患者地域連携紹介加算」(22.1%)の順に多くなっていた。

精神科を有する病院において、「診療録管理体制加算」、「データ提出加算」(いずれも91.0%)、「精神科リエゾンチーム加算」(80.3%)、「栄養サポートチーム加算」(76.2%)、「ハイリスク分娩管理加算」(74.6%)の順に多くなっていた。

図表 2 - 10 届出を行っている入院基本料(複数回答、病院種別)



⑧—2 各入院料別の病棟数、届出病床数、病床利用率、平均在院日数
(令和元年10月及び令和2年10月)

各入院料別の病棟数、届出病床数、病床利用率、平均在院日数は以下のとおりであった。

図表2-11 各入院料別の病棟数、届出病床数、病床利用率、平均在院日数

令和元年10月

(令和元年10月及び令和2年10月)

	1) 病棟数				2) 届出病床数			
	n	平均値	標準偏差	中央値	n	平均値	標準偏差	中央値
a.精神病床全体	n=360	4.46	4.98	4.00	n=360	208.05	147.45	198.00
b.精神病棟入院基本料	n=322	2.21	4.85	1.00	n=320	96.43	90.21	60.00
c.特定機能病院入院基本料(精神病棟)	n=165	0.21	0.45	0.00	n=160	9.06	19.22	0.00
d.精神科救急入院料	n=198	0.64	0.93	0.00	n=194	32.36	46.72	0.00
e.精神科急性期治療病棟入院料	n=247	0.71	1.01	1.00	n=242	31.52	26.35	40.00
f.精神科救急・合併症入院料	n=151	0.04	0.34	0.00	n=145	0.62	5.28	0.00
g.児童・思春期精神科入院医療管理料	n=159	0.13	0.35	0.00	n=154	3.10	9.18	0.00
h.精神療養病棟入院料	n=273	1.60	1.42	2.00	n=269	89.28	79.56	85.00
i.認知症治療病棟入院料	n=221	0.62	0.74	0.00	n=214	33.04	40.69	20.50
j.地域移行機能強化病棟入院料	n=161	0.12	0.32	0.00	n=156	6.99	18.84	0.00
k.介護療養型医療施設(老人性認知症疾患療養病棟)	n=153	0.02	0.14	0.00	n=147	1.03	7.22	0.00

	3) 病床利用率				4) 平均在院日数			
	n	平均値	標準偏差	中央値	n	平均値	標準偏差	中央値
a.精神病床全体	n=331	83.36	16.64	88.60	n=324	255.48	296.93	186.50
b.精神病棟入院基本料	n=256	82.56	16.54	87.90	n=254	374.91	545.07	232.50
c.特定機能病院入院基本料(精神病棟)	n=32	72.73	12.67	71.30	n=31	48.48	16.92	47.00
d.精神科救急入院料	n=81	87.82	6.73	88.80	n=81	57.90	12.51	57.00
e.精神科急性期治療病棟入院料	n=143	79.72	16.09	81.80	n=142	73.35	50.67	67.00
f.精神科救急・合併症入院料	n=2	78.55	5.15	78.55	n=2	41.50	5.50	41.50
g.児童・思春期精神科入院医療管理料	n=19	74.49	20.62	74.50	n=19	183.32	146.58	121.00
h.精神療養病棟入院料	n=186	90.98	15.24	95.00	n=180	987.46	1038.51	671.00
i.認知症治療病棟入院料	n=106	89.68	14.95	93.85	n=102	493.44	452.38	319.50
j.地域移行機能強化病棟入院料	n=18	97.40	3.01	99.00	n=18	1378.17	1315.46	967.50
k.介護療養型医療施設(老人性認知症疾患療養病棟)	n=3	95.90	2.50	96.20	n=3	688.33	410.05	540.00

令和2年10月

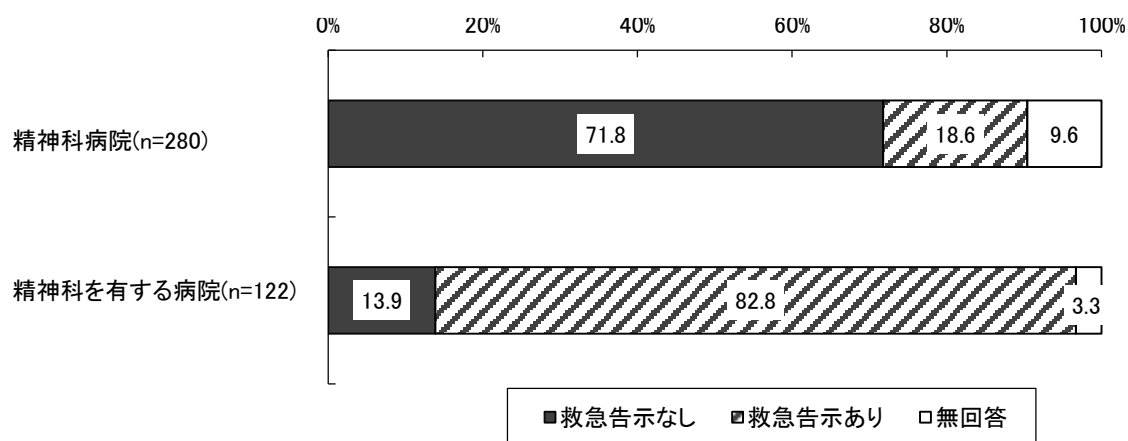
	1) 病棟数				2) 届出病床数			
	n	平均値	標準偏差	中央値	n	平均値	標準偏差	中央値
a.精神病床全体	n=357	4.32	4.56	4.00	n=358	206.65	145.88	198.00
b.精神病棟入院基本料	n=314	2.20	4.89	1.00	n=314	96.23	89.89	60.00
c.特定機能病院入院基本料(精神病棟)	n=163	0.29	0.79	0.00	n=156	8.47	17.94	0.00
d.精神科救急入院料	n=197	0.94	3.79	0.00	n=197	34.03	46.39	0.00
e.精神科急性期治療病棟入院料	n=238	0.72	1.02	1.00	n=232	31.70	26.58	40.50
f.精神科救急・合併症入院料	n=148	0.06	0.42	0.00	n=140	0.64	5.37	0.00
g.児童・思春期精神科入院医療管理料	n=157	0.15	0.39	0.00	n=149	3.51	9.91	0.00
h.精神療養病棟入院料	n=259	1.61	1.43	2.00	n=261	90.39	80.28	93.00
i.認知症治療病棟入院料	n=219	0.63	0.76	1.00	n=214	35.09	55.60	33.00
j.地域移行機能強化病棟入院料	n=156	0.13	0.33	0.00	n=153	7.44	19.30	0.00
k.介護療養型医療施設(老人性認知症疾患療養病棟)	n=149	0.02	0.14	0.00	n=143	1.06	7.32	0.00

	3) 病床利用率				4) 平均在院日数			
	n	平均値	標準偏差	中央値	n	平均値	標準偏差	中央値
a.精神病床全体	n=330	81.30	18.72	87.40	n=322	262.65	315.28	180.00
b.精神病棟入院基本料	n=254	81.51	27.03	86.20	n=248	416.24	578.68	258.50
c.特定機能病院入院基本料(精神病棟)	n=31	66.36	15.60	63.10	n=31	42.81	16.58	37.00
d.精神科救急入院料	n=86	86.08	10.23	88.05	n=87	55.79	11.41	55.00
e.精神科急性期治療病棟入院料	n=144	77.49	17.14	80.15	n=142	76.41	74.32	67.00
f.精神科救急・合併症入院料	n=2	72.60	5.80	72.60	n=2	43.50	3.50	43.50
g.児童・思春期精神科入院医療管理料	n=19	68.95	20.32	75.00	n=20	130.75	104.23	89.00
h.精神療養病棟入院料	n=184	91.09	13.70	94.00	n=176	1032.07	1119.29	740.50
i.認知症治療病棟入院料	n=108	90.42	12.99	94.00	n=106	576.34	843.94	324.00
j.地域移行機能強化病棟入院料	n=18	95.96	5.08	98.25	n=18	1256.06	1101.78	1091.50
k.介護療養型医療施設(老人性認知症疾患療養病棟)	n=3	96.50	2.78	98.00	n=3	1319.33	689.08	1214.00

⑨ 救急告示の有無(令和2年10月30日時点)

病院規模別の救急告示の有無についてみると、精神科病院では、「救急告示あり」が18.6%、精神科を有する病院においては82.8%であった。

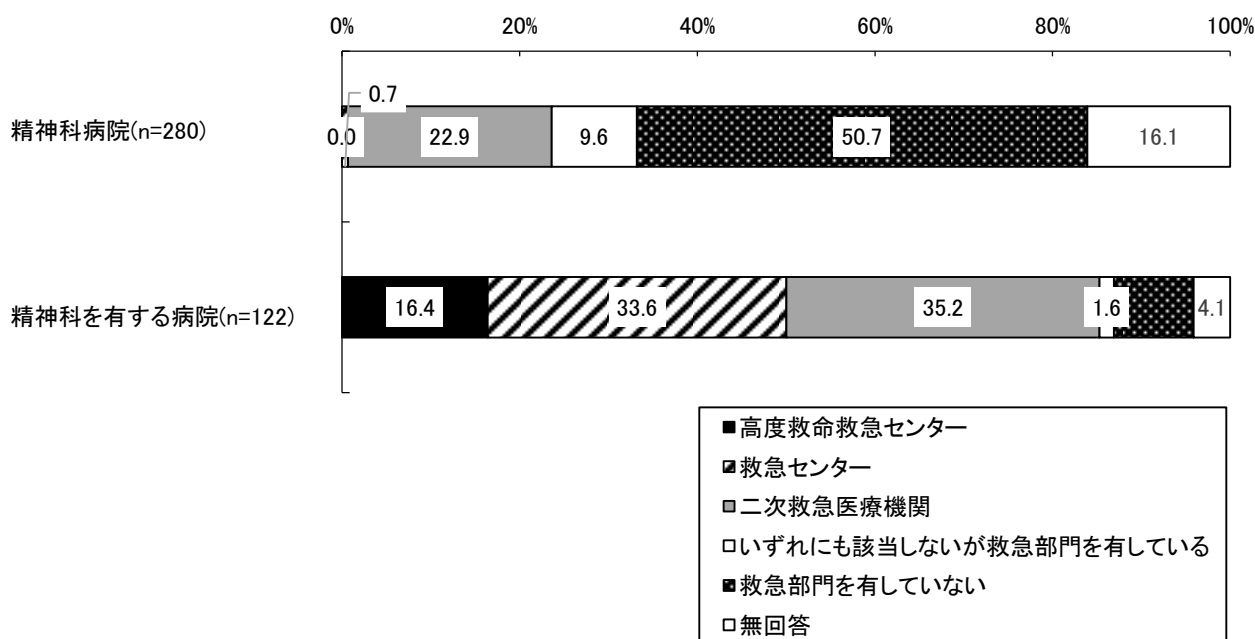
図表 2 - 12 救急告示の有無(病院種別)



⑩ 救急医療体制(令和2年10月30日時点)

救急医療体制についてみると、精神科病院では、「救急部門を有していない」が50.7%を占めた。精神科を有する病院においては、「二次救急医療機関」35.2%、「救急センター」33.6%、「高度救命救急センター」16.4%であった。

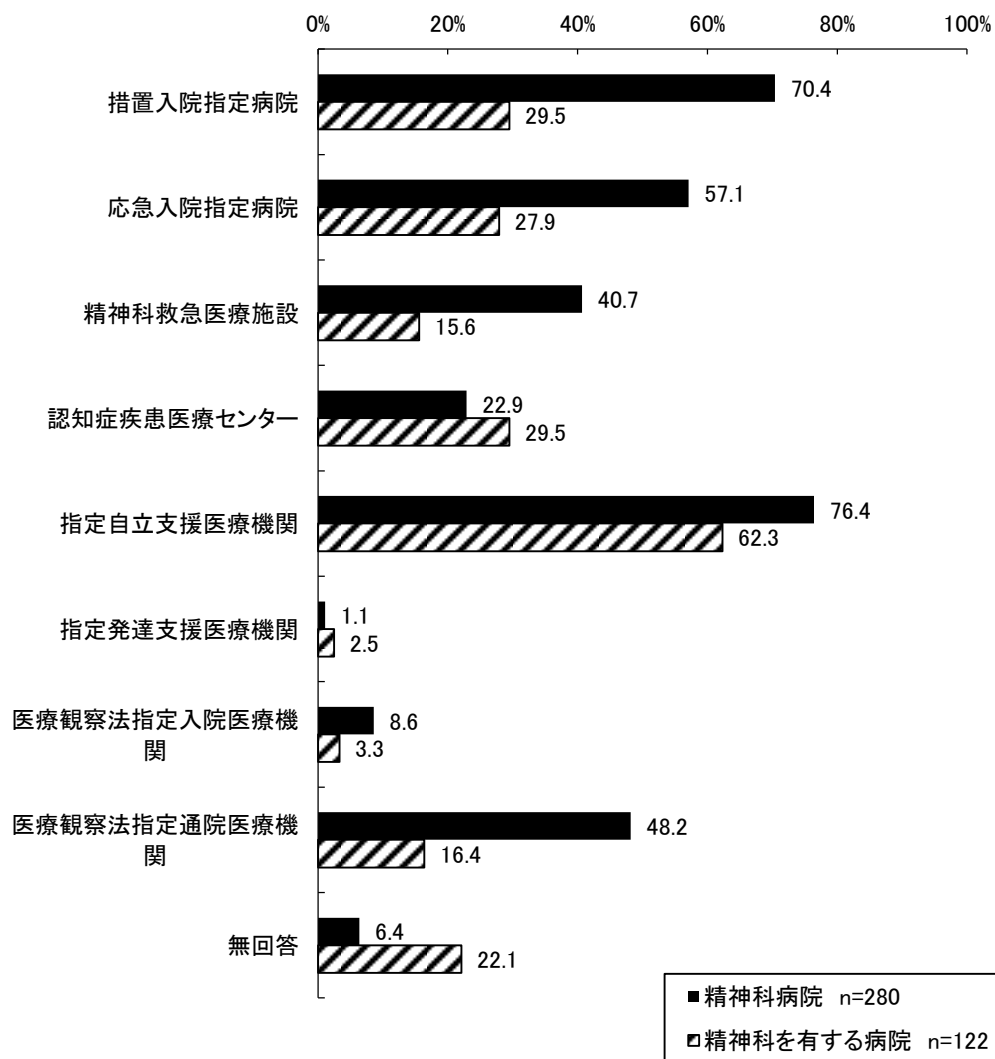
図表 2 - 13 救急医療体制(病院種別)



⑪ 精神医療に関する指定の状況(令和2年10月30日(金)時点)

精神医療に関する指定の状況をみると、精神科病院では、「指定自立支援医療機関」(76.4%)、「措置入院指定病院」(70.4%)、「応急入院指定病院」(57.1%)の順であった。精神科を有する病院においても、「指定自立支援医療機関」(62.3%)、「措置入院指定病院」、「認知症疾患医療センター」(それぞれ29.5%)、「応急入院指定病院」(27.9%)の順であった。

図表 2 - 14 精神医療に関する指定の状況(病院種別、複数回答)



⑫ 精神保健福祉法上の入院区分に応じた新規入院患者数(令和2年10月1か月間)

令和2年10月1か月間の精神保健福祉法上の入院区分に応じた新規入院患者延べ人数は以下のとおりであった。

図表2-15 精神保健福祉法上の入院区分に応じた新規入院患者数
(延べ人数、病院種別)

1) 総数

	a.延べ人数(全体)				b.(うち)時間外・休日の延べ入院患者数				b/aの割合			
	n	平均値	標準偏差	中央値	n	平均値	標準偏差	中央値	n	平均値	標準偏差	中央値
全体	n=359	199.3	1006.4	21.0	n=318	9.7	34.3	1.0	n=288	11.8	15.7	7.1
精神科病院	n=248	191	982.7	25.0	n=217	8.26	24.1	2	n=207	12.1	15.4	8.1
精神科を有する病院	n=101	161.6	846.9	16.0	n=93	13.5	51.3	0.0	n=76	10.9	16.7	3.8

2) (うち)措置入院患者数

	a.延べ人数(全体)				b.(うち)時間外・休日の延べ入院患者数				b/aの割合			
	n	平均値	標準偏差	中央値	n	平均値	標準偏差	中央値	n	平均値	標準偏差	中央値
全体	n=317	4.9	37.3	0.0	n=291	1.0	5.6	0.0	n=93	37.1	40.3	20.0
精神科病院	n=221	6.4	44.3	0.0	n=199	1.15	6.5	0	n=77	36.1	40.2	18.8
精神科を有する病院	n=88	1.7	8.2	0.0	n=84	0.6	2.4	0.0	n=15	41.6	41.4	28.8

3) (うち)緊急措置入院患者数

	a.延べ人数(全体)				b.(うち)時間外・休日の延べ入院患者数				b/aの割合			
	n	平均値	標準偏差	中央値	n	平均値	標準偏差	中央値	n	平均値	標準偏差	中央値
全体	n=304	0.3	1.5	0.0	n=283	0.2	1.1	0.0	n=34	82.8	35.8	100.0
精神科病院	n=209	0.4	1.5	0.0	n=192	0.31	1.3	0	n=29	83.33	35.0	100
精神科を有する病院	n=87	0.2	1.4	0.0	n=83	0.0	0.2	0.0	n=4	75.0	43.3	100.0

4) (うち)医療保護入院患者数

	a.延べ人数(全体)				b.(うち)時間外・休日の延べ入院患者数				b/aの割合			
	n	平均値	標準偏差	中央値	n	平均値	標準偏差	中央値	n	平均値	標準偏差	中央値
全体	n=377	81.8	485.9	10.0	n=337	5.89	19.64	1	n=310	12.66	16.38	7.7
精神科病院	n=266	96.3	555.5	12.5	n=239	6.4	18.9	1.0	n=228	13.1	15.8	9.3
精神科を有する病院	n=102	47.8	255.9	7.0	n=90	4.9	22.15	0	n=77	11.14	18.18	0

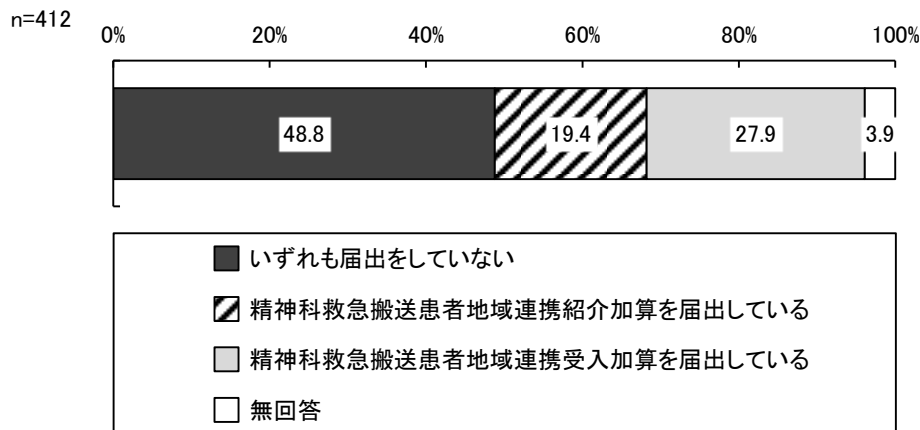
5) (うち)応急入院患者数

	a.延べ人数(全体)				b.(うち)時間外・休日の延べ入院患者数				b/aの割合			
	n	平均値	標準偏差	中央値	n	平均値	標準偏差	中央値	n	平均値	標準偏差	中央値
全体	n=306	0.61	1.9	0.0	n=283	0.2	0.7	0	n=55	40.79	41.8	33.3
精神科病院	n=212	0.8	2.2	0.0	n=192	0.3	0.8	0.0	n=50	40.2	41.9	31.7
精神科を有する病院	n=86	0.15	0.7	0.0	n=83	0.08	0.47	0	n=5	47	40.5	60

⑬ 精神科救急搬送患者地域連携紹介加算・受入加算の届出状況と算定件数

精神科救急搬送患者地域連携紹介加算・受入加算については「いずれも届出をしていない」が最も多かった(48.8%)。

図表 2 - 16 精神科救急搬送患者地域連携紹介加算・受入加算の届出状況と算定件数



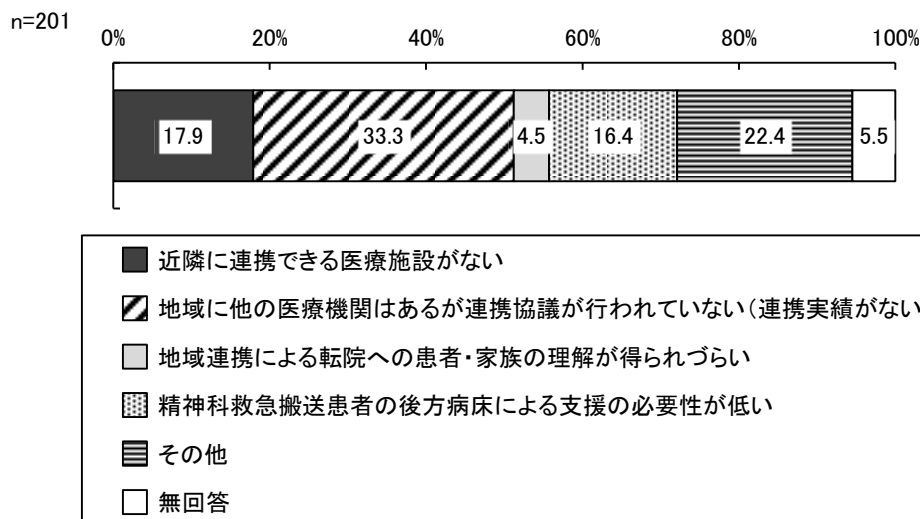
	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
精神科救急搬送患者地域連携紹介加算算定件数 ひと月あたり	78	0.1	0.5	0.0
精神科救急搬送患者地域連携受入加算算定件数 ひと月あたり	111	0.1	0.4	0.0

⑬-1 精神科救急搬送患者地域連携紹介加算・受入加算の届出をしていない理由

精神科救急搬送患者地域連携紹介加算・受入加算の届出をしていない理由で最も多かったものは「地域に他の医療機関はあるが連携協議が行われていない」(33.3%)であった。

なお、「その他」の回答として、「施設基準の要件に合っていない」、「算定対象病棟がない」、「特定機能病院であるため」、「対象患者が少ないため」、「近隣に他の医療機関が指定されているため」等があった。

図表 2 - 17 精神科救急搬送患者地域連携紹介加算・受入加算の届出をしていない理由

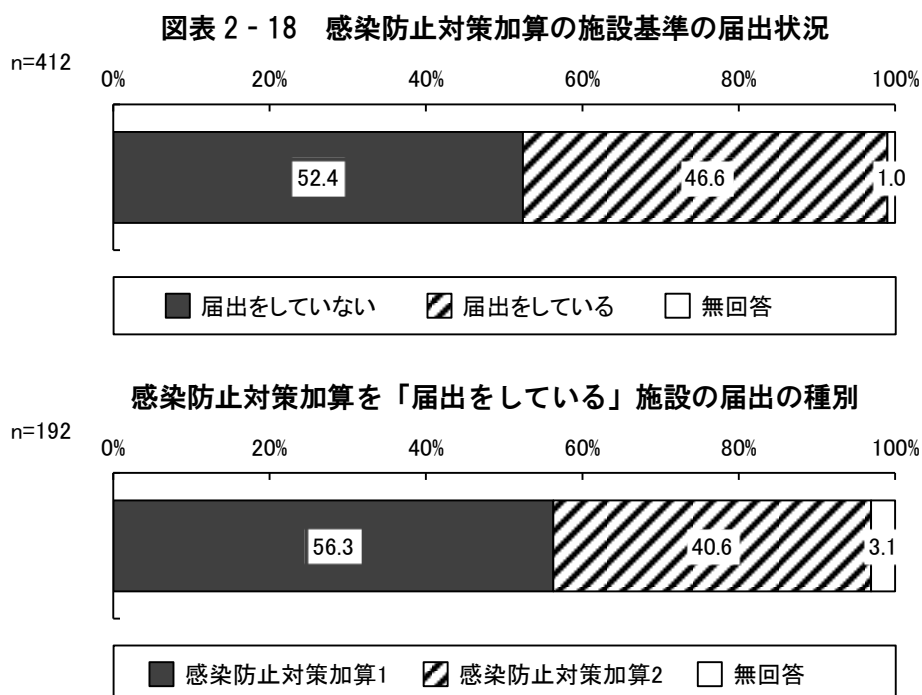


【その他の理由の具体的内容(自由記述)】

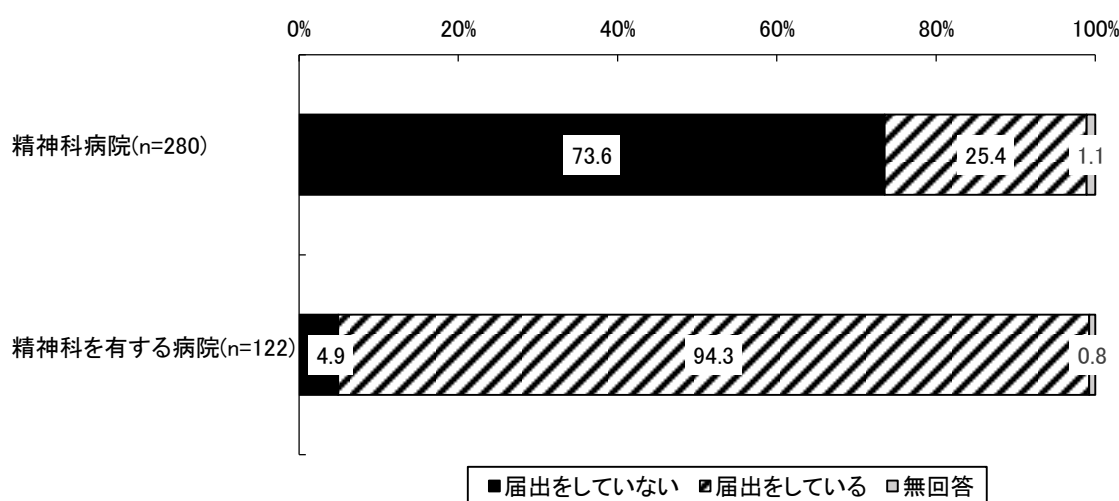
- ・要件を満たさないため。
- ・届出の変更は考えていない。 等

⑭ 感染防止対策加算の施設基準の届出状況

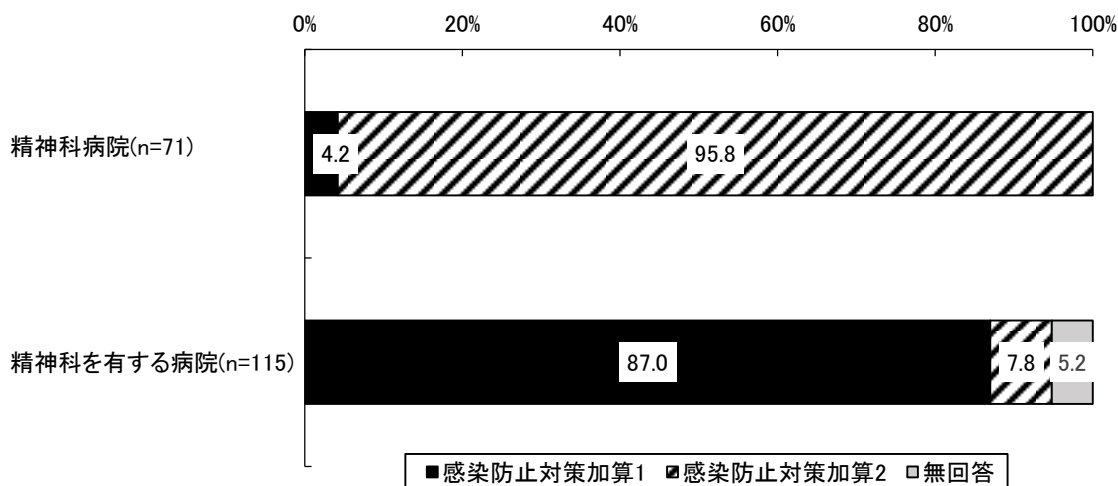
感染防止対策加算の施設基準の「届出をしている」施設は、全体の46.6%、そのうち「感染防止対策加算1」を届け出ている施設が56.3%、「感染防止対策加算2」を届け出ている施設が40.6%であった。



図表 2 - 19 感染防止対策加算の施設基準の届出状況 (病院種別)



感染防止対策加算を「届出をしている」施設の届出の種別(病院種別)

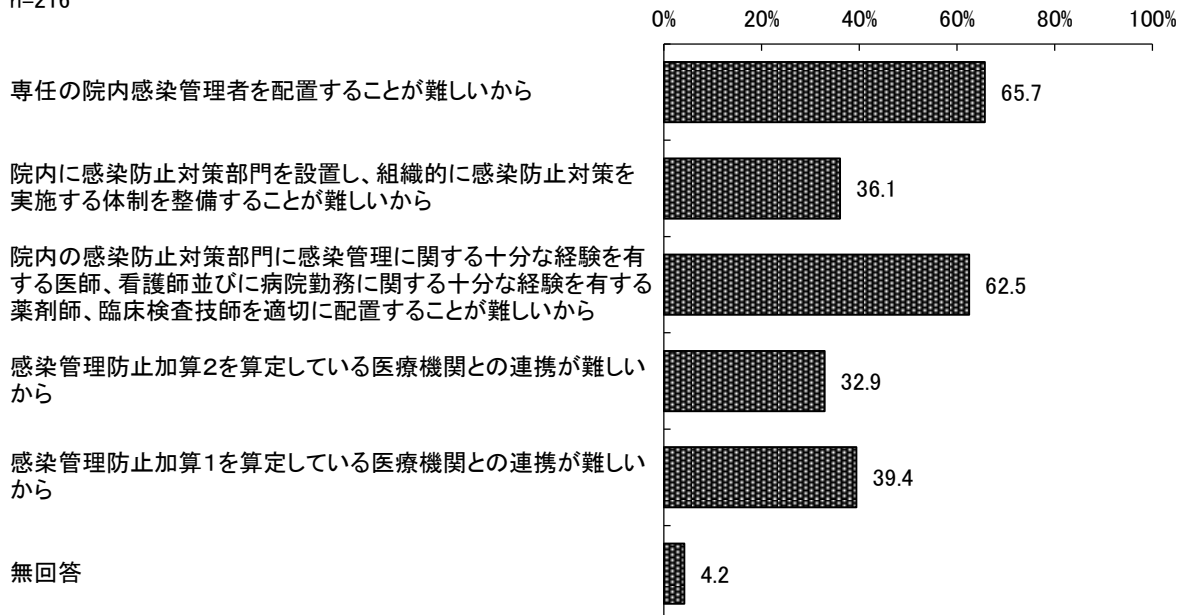


⑮ 感染防止対策加算の届出をしていない理由

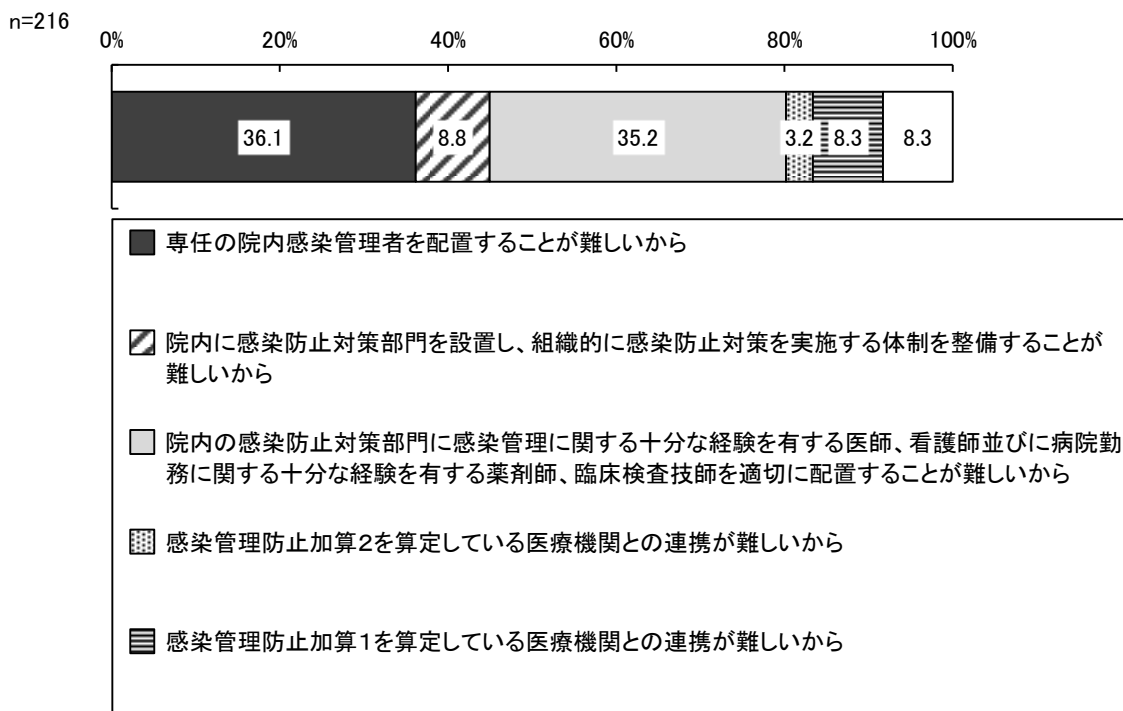
感染防止対策加算の届出をしていない理由で最も多かったものは「専任の院内感染管理者を配置することが難しいから」(65.7%)で、次に多かったものが「院内の感染防止対策部門に感染管理に関する十分な経験を有する医師、看護師並びに病院勤務に関する十分な経験を有する薬剤師、臨床検査技師を適切に配置することが難しいから」(62.5%)であった。

図表 2 - 20 感染防止対策加算の届出をしていない理由(複数回答)

n=216



図表 2 - 21 感染防止対策加算の届出をしていない理由（最もあてはまるもの）



⑩ 職員数(令和2年10月時点)

令和2年10月時点の職員数をみると以下のとおりであった。

図表 2 - 22 施設および精神科病棟の職員数（常勤換算）

	施設の職員数(常勤換算)			2)(うち)精神科病棟に従事している職員数(常勤換算)				
	n	平均値	標準偏差	中央値	n	平均値	標準偏差	中央値
1) 医師	n=401	85.8	163.1	14.0	n=373	12.8	24.0	9.0
a.(うち)精神保健指定医	n=391	7.2	4.2	6.9	n=375	6.9	4.9	6.6
b.(うち)精神科特定医師	n=301	0.8	1.3	0.0	n=288	0.7	1.3	0.0
c.(うち)上記以外の精神科医師	n=344	3.0	4.9	1.9	n=327	2.6	3.3	1.5
d.(うち)精神科以外の医師	n=326	32.5	105.8	1.0	n=295	1.6	6.1	0.2
2) 看護師(保健師を含む)	n=397	245.2	310.4	96.6	n=386	59.6	45.8	48.0
a.(うち)精神看護専門看護師	n=282	9.0	81.8	0.0	n=249	0.2	0.5	0.0
b.(うち)認知症看護認定看護師	n=288	0.5	0.8	0.0	n=253	0.3	0.8	0.0
c.(うち)精神科認定看護師	n=306	0.9	1.5	0.0	n=261	0.7	1.1	0.0
3) 准看護師	n=394	17.3	15.6	15.0	n=375	15.9	16.6	13.0
4) 看護補助者	n=395	37.1	26.4	32.0	n=380	22.6	27.1	18.0
5) 薬剤師	n=398	14.8	23.9	4.0	n=335	2.3	3.4	2.0
6) 作業療法士	n=398	10.1	8.9	8.0	n=354	5.1	5.2	4.0
7) 公認心理師	n=387	3.1	3.3	2.1	n=333	1.9	2.4	1.0
8) 精神保健福祉士	n=396	7.8	5.7	7.0	n=354	5.3	4.6	4.3
9) 社会福祉士(精神保健福祉士を除く)	n=307	2.4	4.2	0.0	n=276	0.1	0.5	0.0
10) 管理栄養士	n=400	4.6	4.7	3.0	n=331	1.4	3.3	1.0
11) 事務職員	n=402	49.4	71.8	19.0	n=329	5.8	10.5	1.0
12) その他の職員	n=387	69.2	114.3	19.0	n=318	5.3	10.4	0.0

d.(うち)精神科以外の医師の勤務回数(一週間あたり)

	n	平均値	標準偏差	中央値
診療科1	n=202	3.2	1.9	3.0
診療科2	n=105	1.8	1.5	1.0
診療科3	n=48	1.4	1.5	1.0

表 2 - 23 施設および精神科病棟の職員数（常勤換算、病院種別）

施設の職員数(常勤換算)

	1) 医師			a.(うち)精神保健指定医			b.(うち)精神科特定医師					
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値			
全体	n=401	85.8	163.1	14.0	n=391	7.2	4.2	6.9	n=301	0.8	1.3	0.0
精神科病院	n=272	13.0	10.0	10.5	n=275	7.8	4.0	7.0	n=197	0.9	1.3	0.0
精神科を有する病院	n=119	252.1	219.9	185.5	n=107	5.8	4.5	4.0	n=97	0.4	1.2	0.0
	c.(うち)上記以外の精神科医師			d.(うち)精神科以外の医師			2) 看護師(保健師を含む)					
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値			
全体	n=344	3.0	4.9	1.9	n=326	32.5	105.8	1.0	n=397	245.2	310.4	96.6
精神科病院	n=233	2.3	2.9	1.3	n=228	2.6	7.94	1.0	n=269	89.1	83.5	71.5
精神科を有する病院	n=104	4.5	7.5	2.5	n=90	111.3	178.4	5.7	n=118	598.9	348.9	599.7
	a.(うち)精神看護専門看護師			b.(うち)認知症看護認定看護師			c.(うち)精神科認定看護師					
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値			
全体	n=282	9.0	81.8	0.0	n=288	0.5	0.8	0.0	n=306	0.9	1.5	0.0
精神科病院	n=176	0.9	6.0	0.0	n=174	0.3	0.6	0.0	n=199	1.2	1.7	0.2
精神科を有する病院	n=100	23.8	135.9	0.0	n=108	1.0	1.0	1.0	n=101	0.5	0.9	0.0
	3) 准看護師			4) 看護補助者			5) 薬剤師					
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値			
全体	n=394	17.3	15.6	15.0	n=395	37.1	26.4	32.0	n=398	14.8	23.9	4.0
精神科病院	n=270	21.8	15.0	20.0	n=270	31.4	19.8	27.6	n=271	3.9	2.9	3.3
精神科を有する病院	n=114	6.7	11.0	1.3	n=115	50.7	34.4	42.0	n=117	40.0	31.3	33.7
	6) 作業療法士			7) 公認心理師			8) 精神保健福祉士					
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値			
全体	n=398	10.1	8.9	8.0	n=387	3.1	3.3	2.1	n=396	7.8	5.7	7.0
精神科病院	n=272	9.8	7.2	8.9	n=263	3.2	2.8	3.0	n=270	9.7	5.5	8.4
精神科を有する病院	n=116	10.8	12.0	8.0	n=115	3.1	4.1	2.0	n=117	3.5	3.5	2.8
	9) 社会福祉士(精神保健福祉士を除く)			10) 管理栄養士			11) 事務職員					
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値			
全体	n=307	2.4	4.2	0.0	n=400	4.6	4.7	3.0	n=402	49.4	71.8	19.0
精神科病院	n=187	0.2	0.7	0.0	n=274	2.6	1.5	2.0	n=274	17.1	12.3	14.8
精神科を有する病院	n=112	6.1	4.9	5.5	n=116	9.5	6.1	8.4	n=118	124.3	94.3	102.1
	12) その他の職員											
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値			
全体	n=387	69.2	114.3	19.0								
精神科病院	n=264	17.9	18.8	13.0								
精神科を有する病院	n=113	188.8	151.1	160.8								

(うち)精神科病棟に従事している職員数(常勤換算)

	1) 医師			a.(うち)精神保健指定医			b.(うち)精神科特定医師					
	n	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値		
全体	n=373	12.8	24.0	9.0	n=375	6.9	4.9	6.6	n=288	0.7	1.3	0.0
精神科病院	n=257	11.7	19.1	9.3	n=260	7.7	5.0	7.0	n=186	0.9	1.3	0.0
精神科を有する病院	n=108	15.9	33.2	7.8	n=108	5.3	4.2	4.0	n=95	0.4	1.2	0.0
	c.(うち)上記以外の精神科医師			d.(うち)精神科以外の医師			2) 看護師(保健師を含む)					
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値			
全体	n=327	2.6	3.3	1.5	n=295	1.6	6.1	0.2	n=386	59.6	45.8	48.0
精神科病院	n=218	2.1	2.7	1.1	n=205	1.1	1.6	0.7	n=268	72.5	44.4	61.1
精神科を有する病院	n=102	3.8	4.1	2.2	n=83	3.0	11.2	0.0	n=109	28.1	30.9	22.0
	a.(うち)精神看護専門看護師			b.(うち)認知症看護認定看護師			c.(うち)精神科認定看護師					
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値			
全体	n=249	0.2	0.5	0.0	n=253	0.3	0.8	0.0	n=261	0.7	1.1	0.0
精神科病院	n=155	0.1	0.6	0.0	n=157	0.2	0.5	0.0	n=169	0.8	1.3	0.0
精神科を有する病院	n=88	0.2	0.4	0.0	n=90	0.5	1.2	0.0	n=86	0.3	0.7	0.0
	3) 准看護師			4) 看護補助者			5) 薬剤師					
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値			
全体	n=375	15.9	16.6	13.0	n=380	22.6	27.1	18.0	n=335	2.3	3.4	2.0
精神科病院	n=267	20.8	16.4	19.0	n=267	29.6	28.6	25.5	n=233	2.7	3.5	2.3
精神科を有する病院	n=99	2.6	7.1	0.0	n=104	5.2	11.4	2.0	n=94	1.3	3.1	0.2
	6) 作業療法士			7) 公認心理師			8) 精神保健福祉士					
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値			
全体	n=354	5.1	5.2	4.0	n=333	1.9	2.4	1.0	n=354	5.3	4.6	4.3
精神科病院	n=252	6.6	5.2	6.0	n=228	2.1	2.5	1.0	n=246	6.6	4.5	6.0
精神科を有する病院	n=94	1.2	2.3	0.0	n=97	1.4	2.1	0.5	n=100	2.2	3.1	1.0
	9) 社会福祉士(精神保健福祉士を除く)			10) 管理栄養士			11) 事務職員					
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値			
全体	n=276	0.1	0.5	0.0	n=331	1.4	3.3	1.0	n=329	5.8	10.5	1.0
精神科病院	n=177	0.1	0.3	0.0	n=233	1.7	3.8	1.0	n=225	7.2	11.0	3.0
精神科を有する病院	n=92	0.2	0.7	0.0	n=90	0.4	1.4	0.0	n=96	2.3	8.8	0.0
	12) その他の職員											
	平均値	標準偏差	中央値									
全体	n=318	5.3	10.4									
精神科病院	n=218	6.7	10.1									
精神科を有する病院	n=92	1.9	10.5									

d.(うち)精神科以外の医師の勤務回数(一週間あたり・病院種別)

	診療科1			診療科2			診療科3					
	n	平均値	標準偏差	中央値	n	平均値	標準偏差	中央値	n	平均値	標準偏差	中央値
全体	n=202	3.2	1.9	3.0	n=105	1.8	1.5	1.0	n=48	1.4	1.5	1.0
精神科病院	n=181	3.2	1.8	3.0	n=88	1.7	1.2	1.0	n=35	1.4	1.2	1.0
精神科を有する病院	n=17	3.7	2.8	5.0	n=15	2.7	2.2	2.0	n=12	1.7	2.1	1.0

(2) 新型コロナウイルス感染症への対応状況

① 受診者や体制の動向等(令和2年3月~10月)

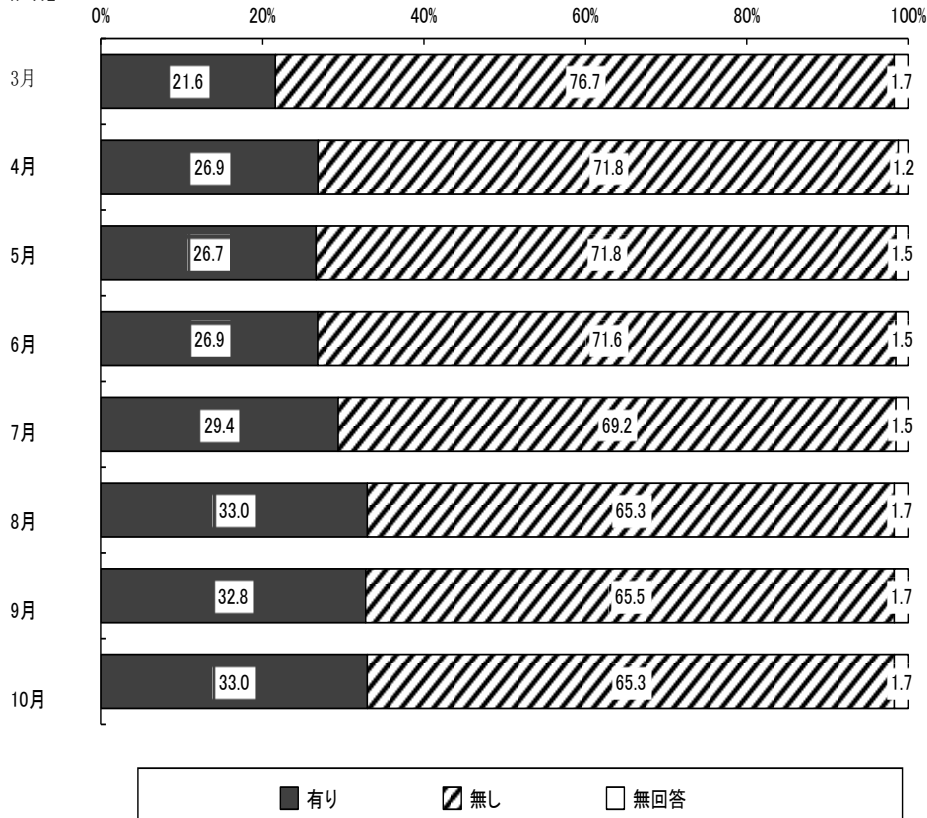
令和2年3月から10月の新型コロナウイルス感染症への対応状況は以下のとおりであった。

図表2-24 受診者や体制の動向(全体)

a. 新型コロナウイルス感染疑いの外来患者受入が有りの割合の推移

a. 新型コロナウイルス感染疑いの外来患者受入の有無

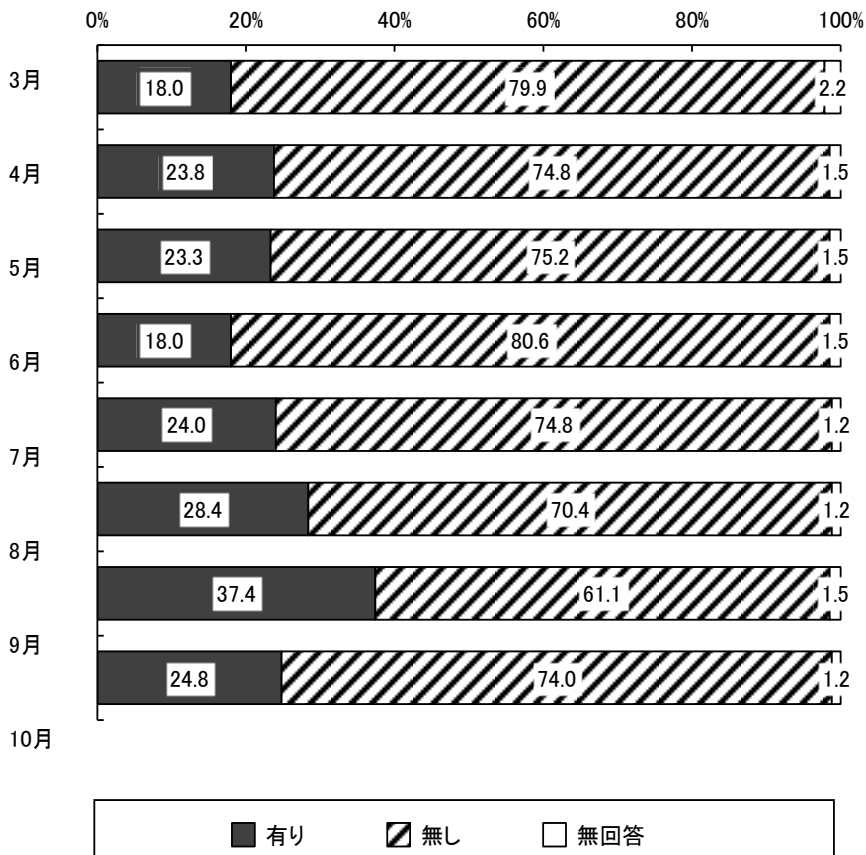
n=412



b.新型コロナウイルス感染患者の入院患者受入が有りの割合の推移

b.新型コロナウイルス感染患者の入院患者の受入の有無

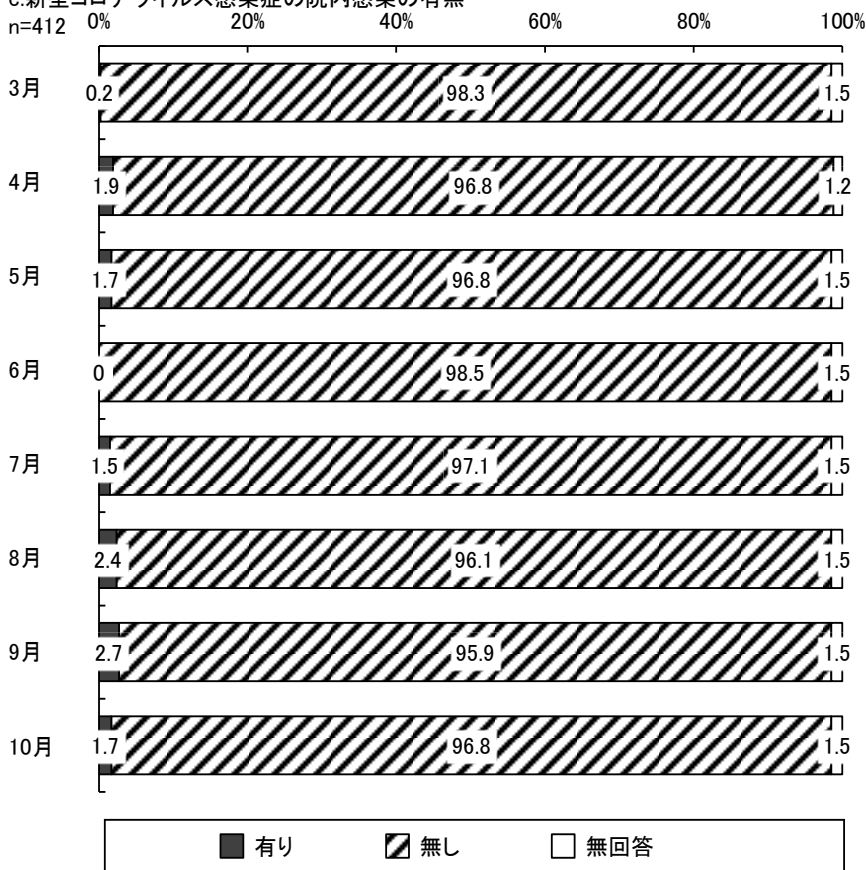
n=412



c.新型コロナウイルス感染症の院内感染が有りの割合の推移

c.新型コロナウイルス感染症の院内感染の有無

n=412



【重点医療機関に指定された施設】

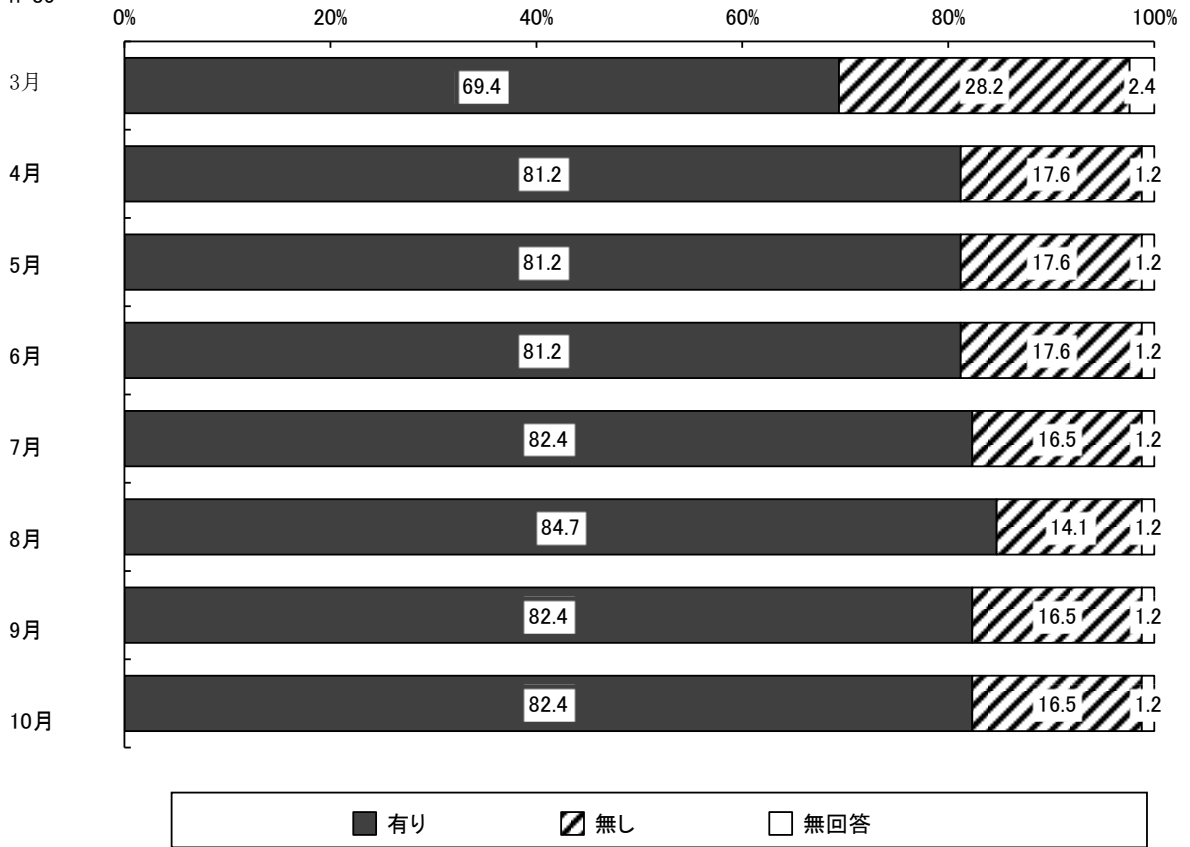
重点医療機関に指定された施設においては、新型コロナウイルス感染疑いの外来患者受入割合が最も高い月が8月で84.7%、4月から10月を通して8割以上の施設が受入ありと回答した。

新型コロナウイルス感染患者の入院患者の受入についても8月が最も高く89.4%で、6月には一時下がったものの、4月から10月を通して、その割合は7割を超えていた。また、新型コロナウイルス感染症の院内感染については、9月に8.2%、4、5、8月に7.1%の施設で有りとの回答を得た。

図表 2 - 25 受診者や体制の動向（重点医療機関）

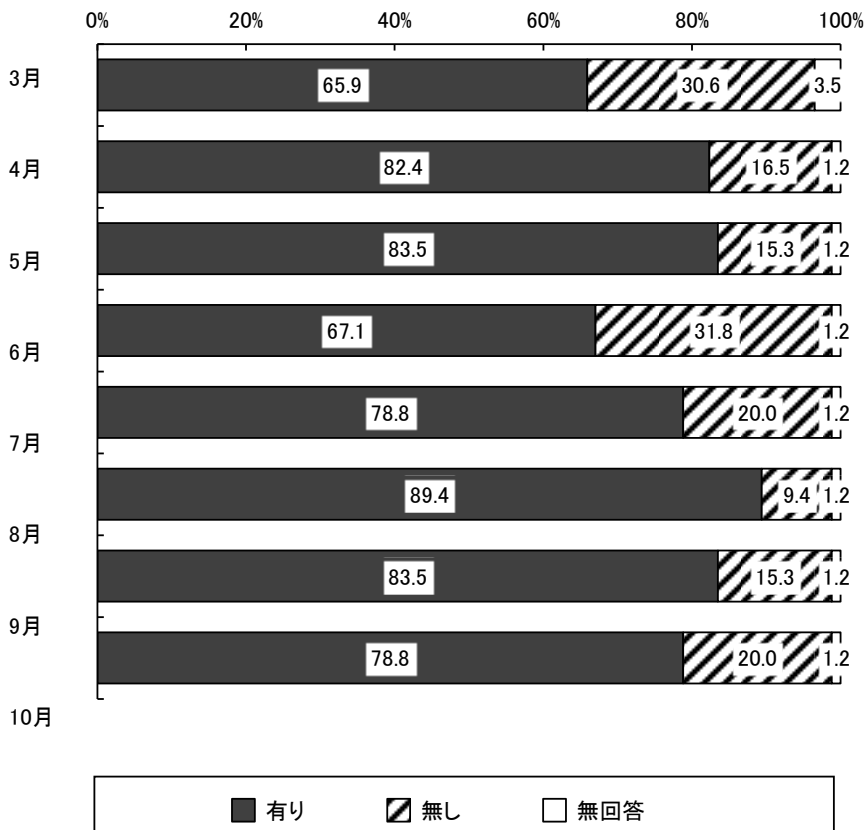
a.新型コロナウイルス感染疑いの外来患者受入が有りの割合の推移

a.新型コロナウイルス感染疑いの外来患者受入の有無
n=85



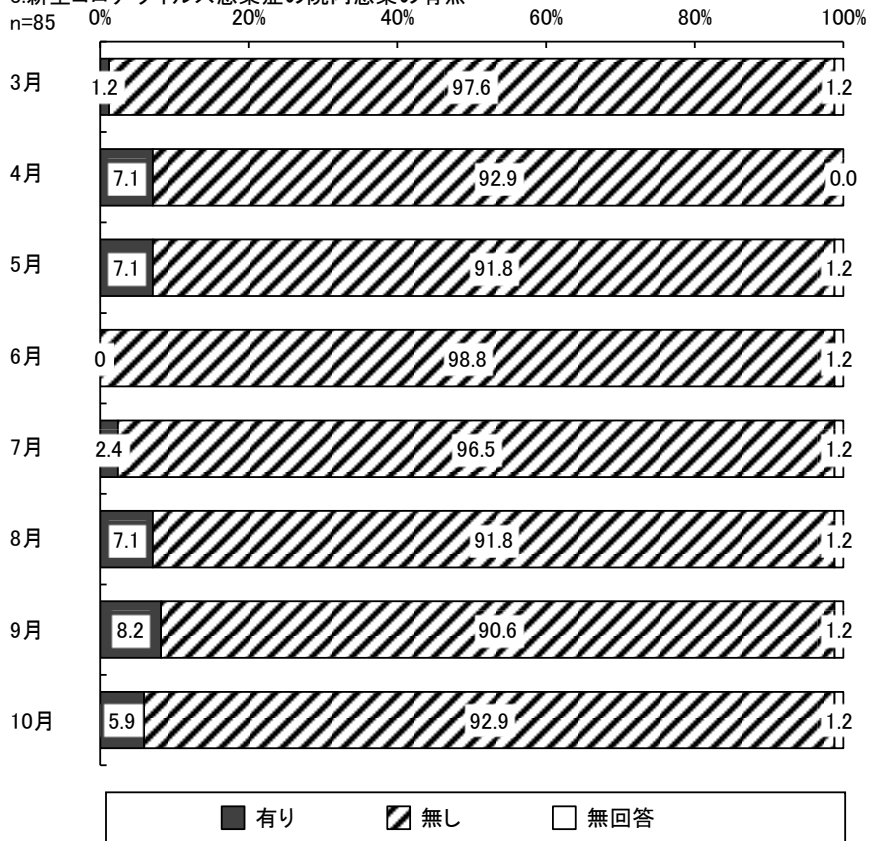
b.新型コロナウイルス感染患者の入院患者受入が有りの割合の推移

b.新型コロナウイルス感染患者の入院患者の受入の有無
n=85



c.新型コロナウイルス感染症の院内感染が有りの割合の推移

c.新型コロナウイルス感染症の院内感染の有無
n=85



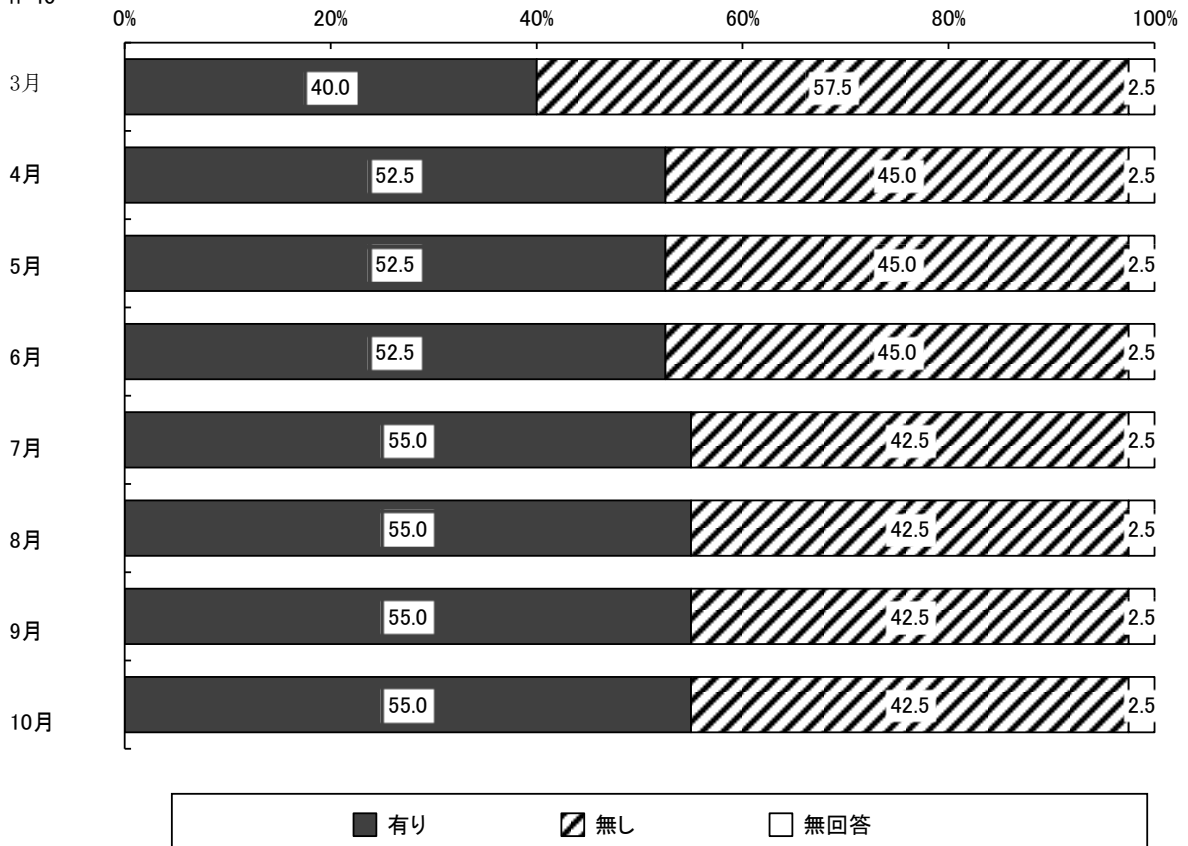
【協力医療機関に指定された施設】

協力医療機関に指定された施設においては、5割以上の施設が4月から10月を通して、新型コロナウイルス感染疑いの外来患者受入を行った。

新型コロナウイルス感染患者の入院患者の受入については、8月と9月が最も高く47.5%であった。また、新型コロナウイルス感染症の院内感染については、7～9月の3か月間に2.5%の施設で有りとの回答を得た。

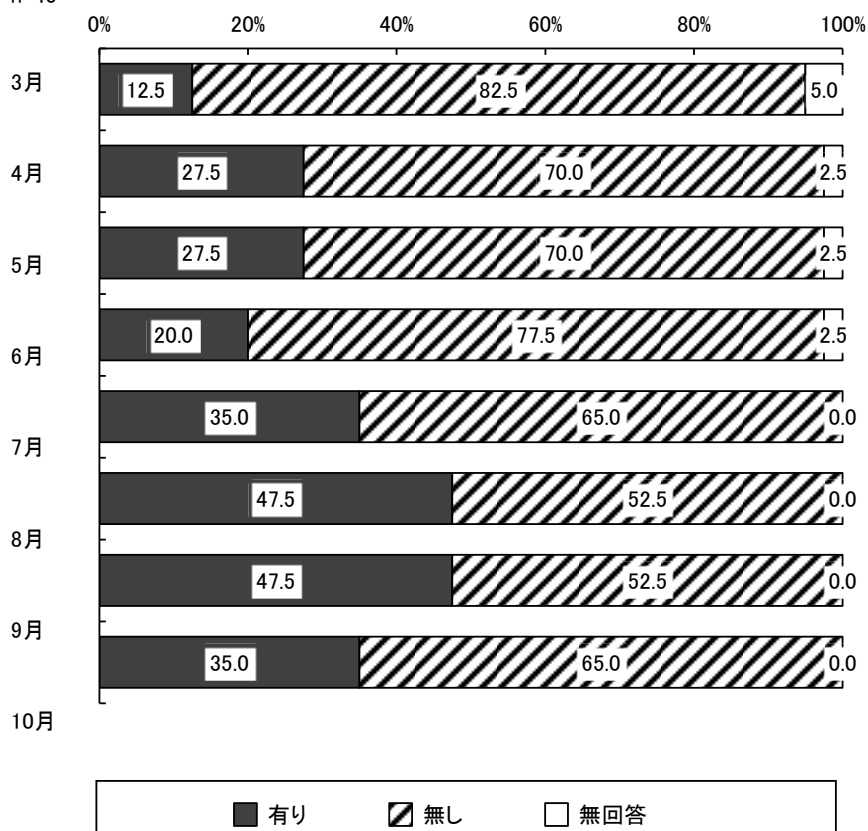
a.新型コロナウイルス感染疑いの外来患者受入が有りの割合の推移

a.新型コロナウイルス感染疑いの外来患者受入の有無
n=40



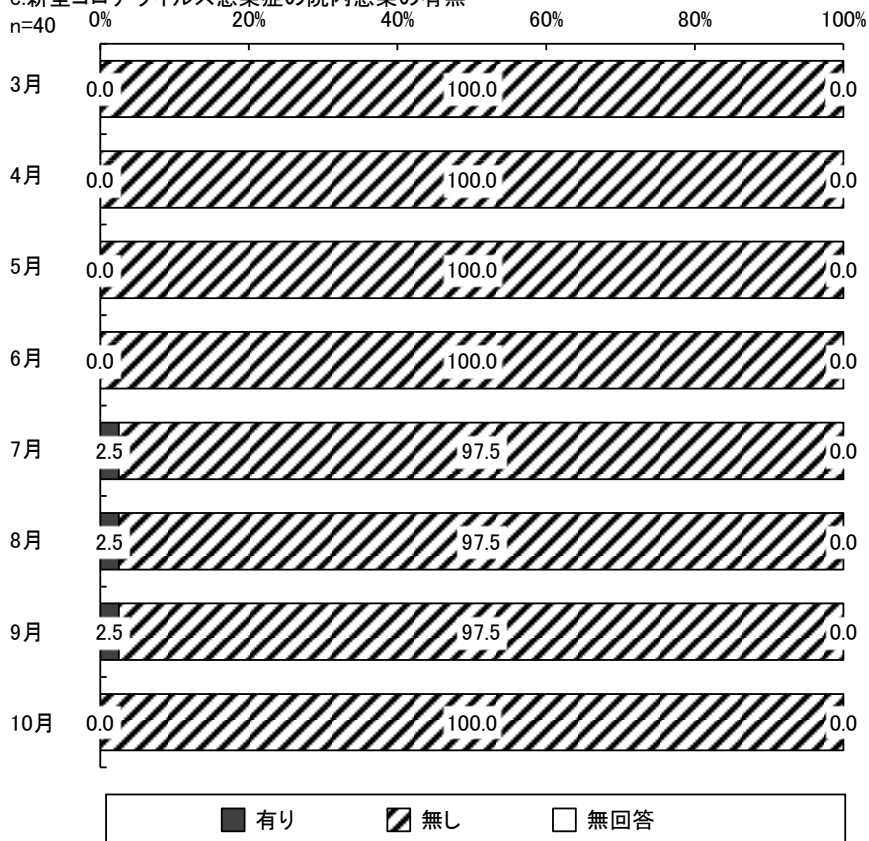
b.新型コロナウイルス感染患者の入院患者受入が有りの割合の推移

b.新型コロナウイルス感染患者の入院患者の受入の有無
n=40



c.新型コロナウイルス感染症の院内感染が有りの割合の推移

c.新型コロナウイルス感染症の院内感染の有無
n=40



【その他の医療機関】

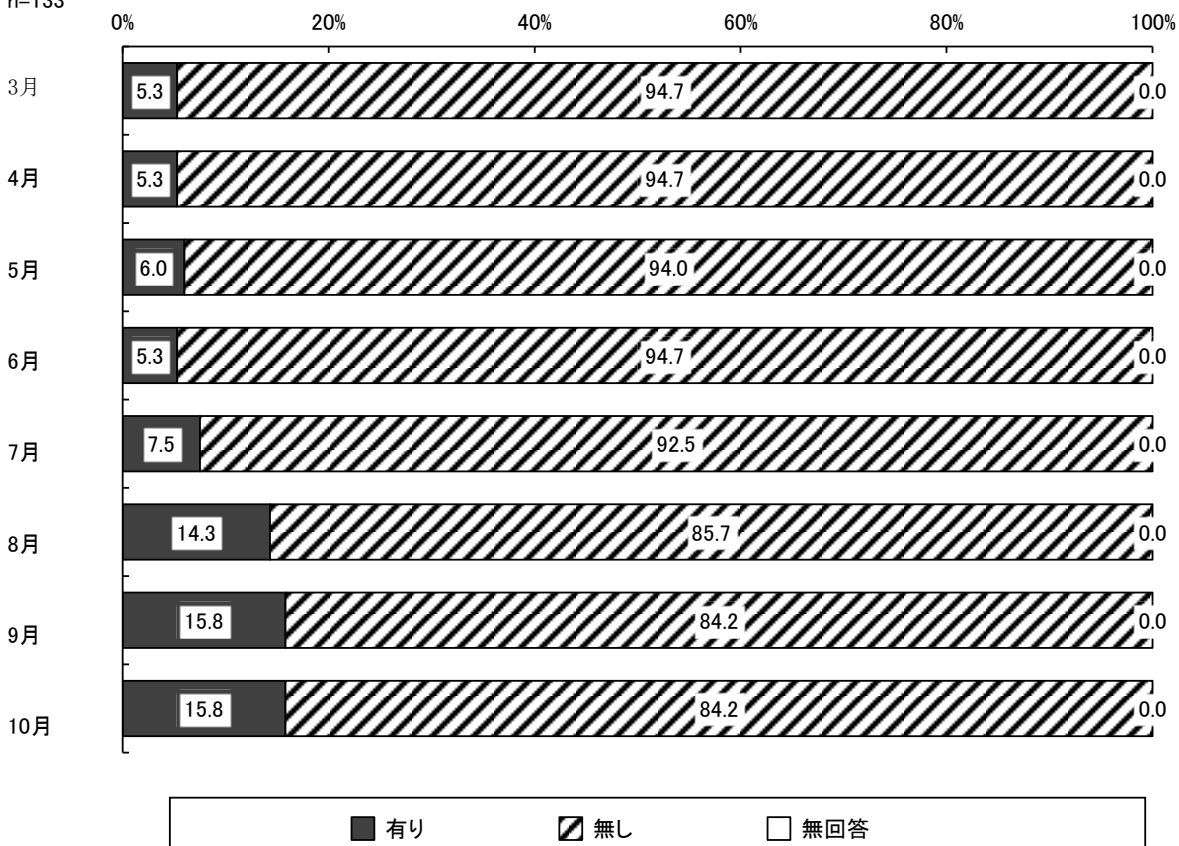
その他の医療機関では、1 割弱の医療機関において 3 月から 7 月の間、新型コロナウイルス感染疑いの外来患者受入を行った。8 月は 14.3%、9 月、10 月は 15.8%と増加傾向にあった。

新型コロナウイルス感染患者の入院患者の受入については、3 月から 10 月の間はいずれの月も 1 割未満であり、8 月が 7.5%で最も高かった。また、新型コロナウイルス感染症の院内感染については、8 月に 1.5%の施設で有りとの回答を得たが、他の月は該当施設はみられなかった。

a.新型コロナウイルス感染疑いの外来患者受入が有りの割合の推移

a.新型コロナウイルス感染疑いの外来患者受入の有無

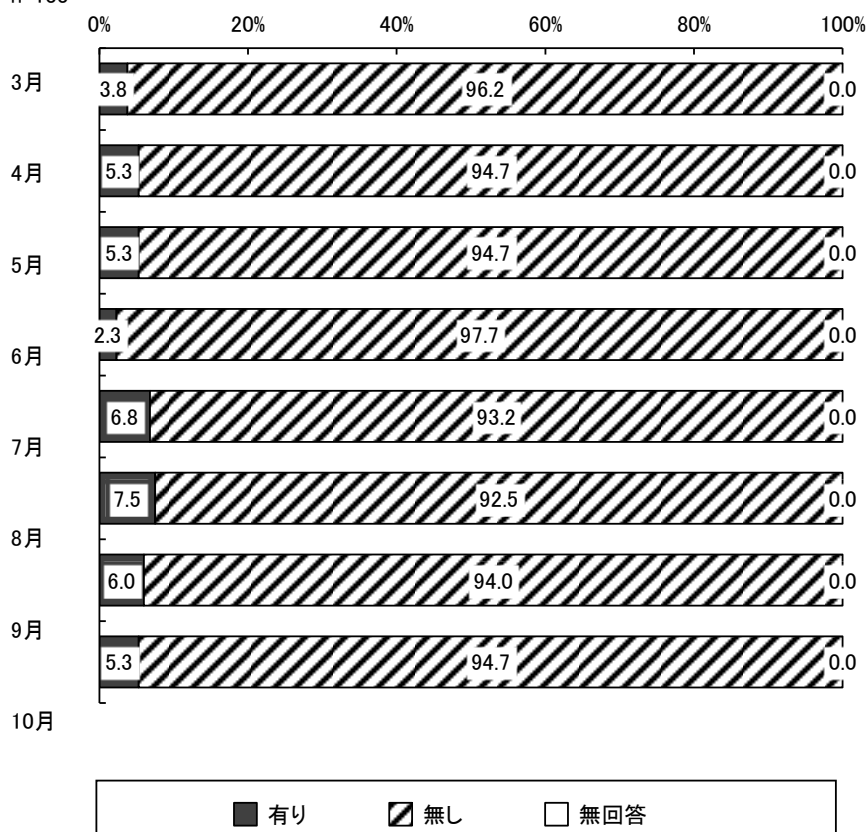
n=133



b.新型コロナウイルス感染患者の入院患者受入が有りの割合の推移

b.新型コロナウイルス感染患者の入院患者の受入の有無

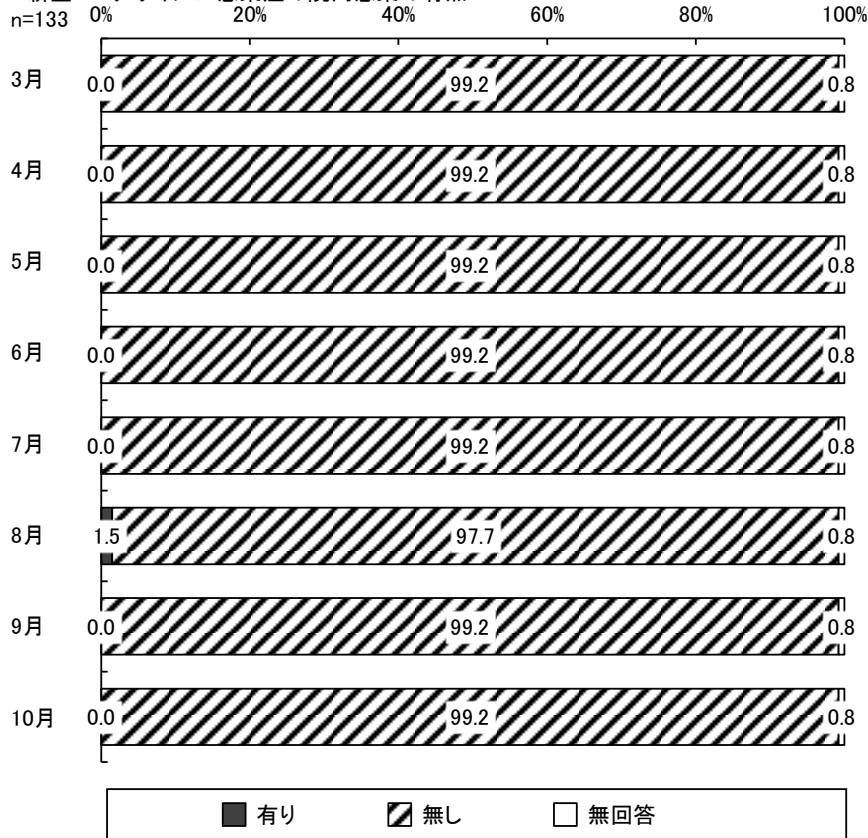
n=133



c.新型コロナウイルス感染症の院内感染が有りの割合の推移

c.新型コロナウイルス感染症の院内感染の有無

n=133



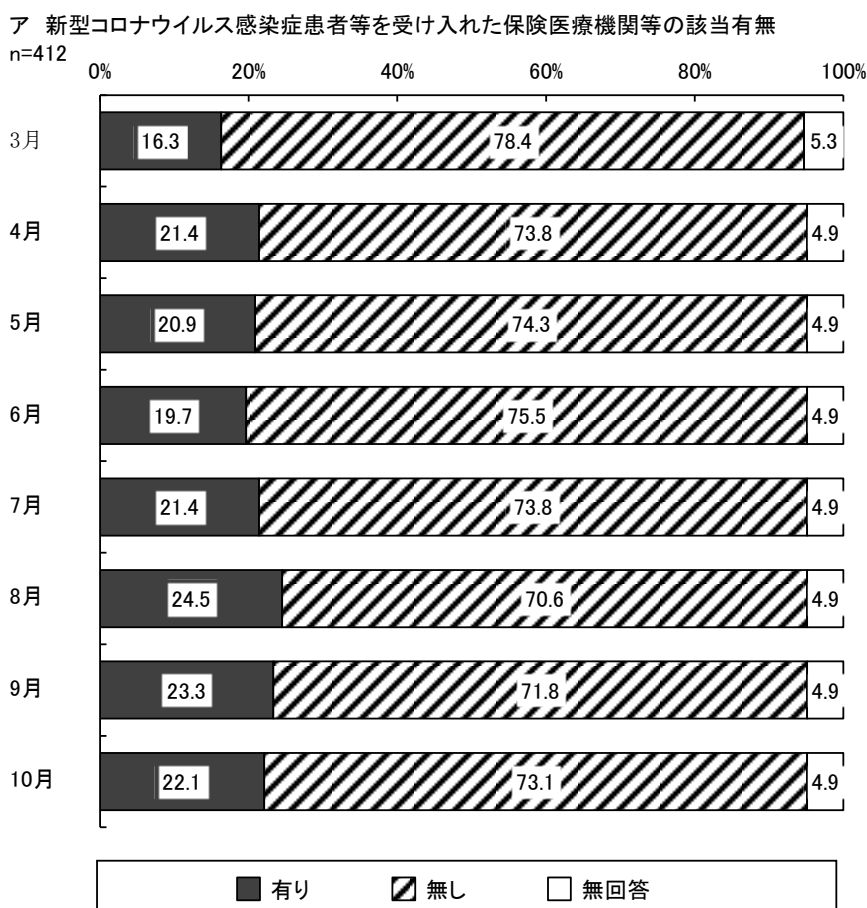
② 施設基準等の臨時的な取り扱い状況(令和2年3月～10月)

新型コロナウイルス感染症患者等を受け入れた保険医療機関等における施設基準等の「臨時的な取扱い」に関連し、臨時的な取扱いの該当状況は以下のとおりである。

重点医療機関に指定された施設においては、新型コロナウイルス感染症患者を受け入れた保険医療機関等の該当があると回答した施設は4月から10月を通して7割以上を占めている。該当医療機関に職員を派遣した施設は3月から10月を通して1割前後であった。学校等の臨時休業に伴い職員の勤務が困難となった月は4月が最も多く37.6%、次に多かったのが5月(35.3%)、次いで3月(31.8%)であった。新型コロナウイルス感染症に感染し又は濃厚接触者となり出勤ができない職員の該当ありの回答で最も多かったのは、8月で36.5%、「院内トリアージ」実施料の算定が最も多かったのは7,8,10月で70.6%であった。

図表2-26 新型コロナウイルス感染症患者等を受け入れた保険医療機関等における臨時的な取扱いの該当状況(全体)

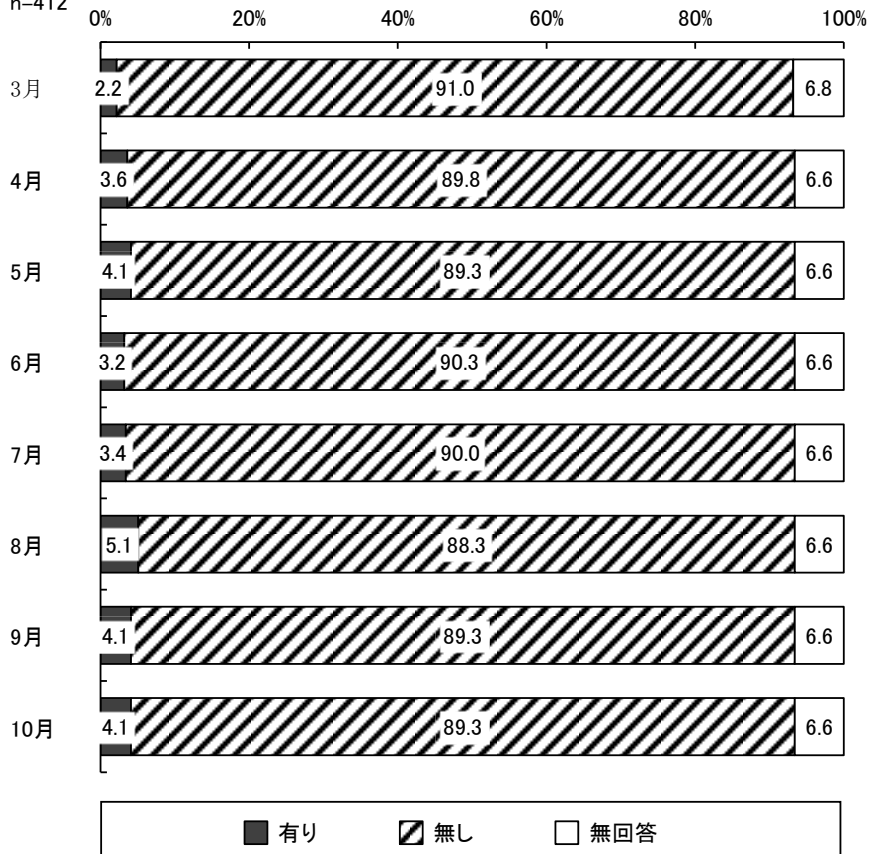
ア 新型コロナウイルス感染症患者等を受け入れた保険医療機関等の割合の推移



イ アに該当する医療機関等に職員を派遣した保険医療機関等の割合の推移

イ アに該当する医療機関等に職員を派遣した保険医療機関等の該当有無

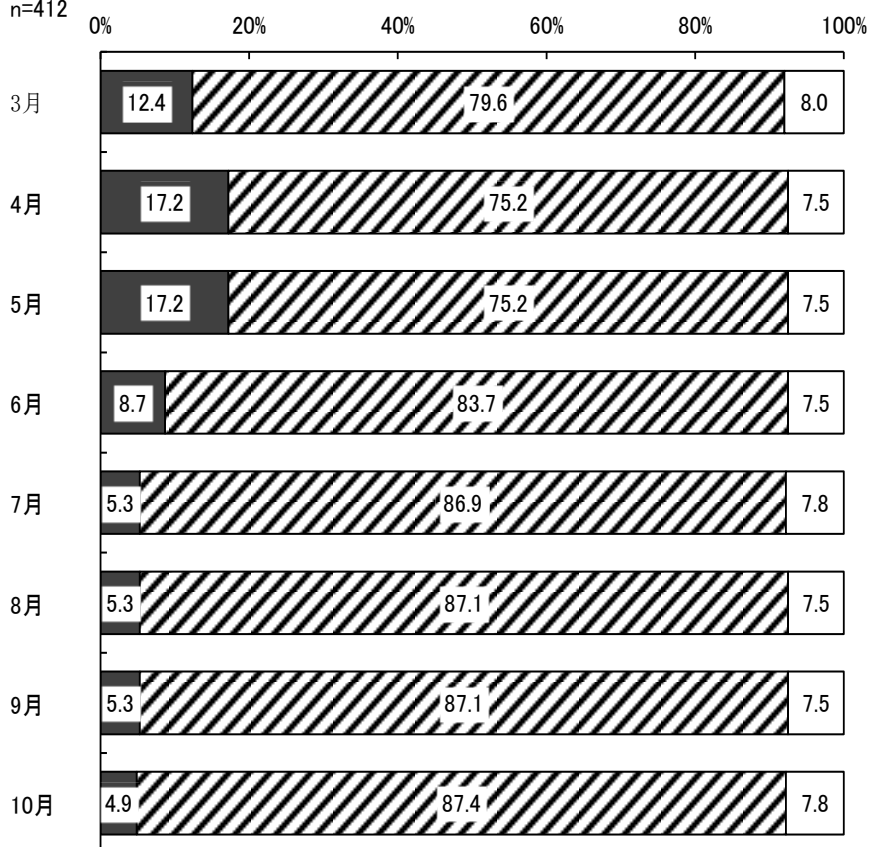
n=412



ウ 学校等の臨時休業に伴い職員の勤務が困難となった保険医療機関等の割合の推移

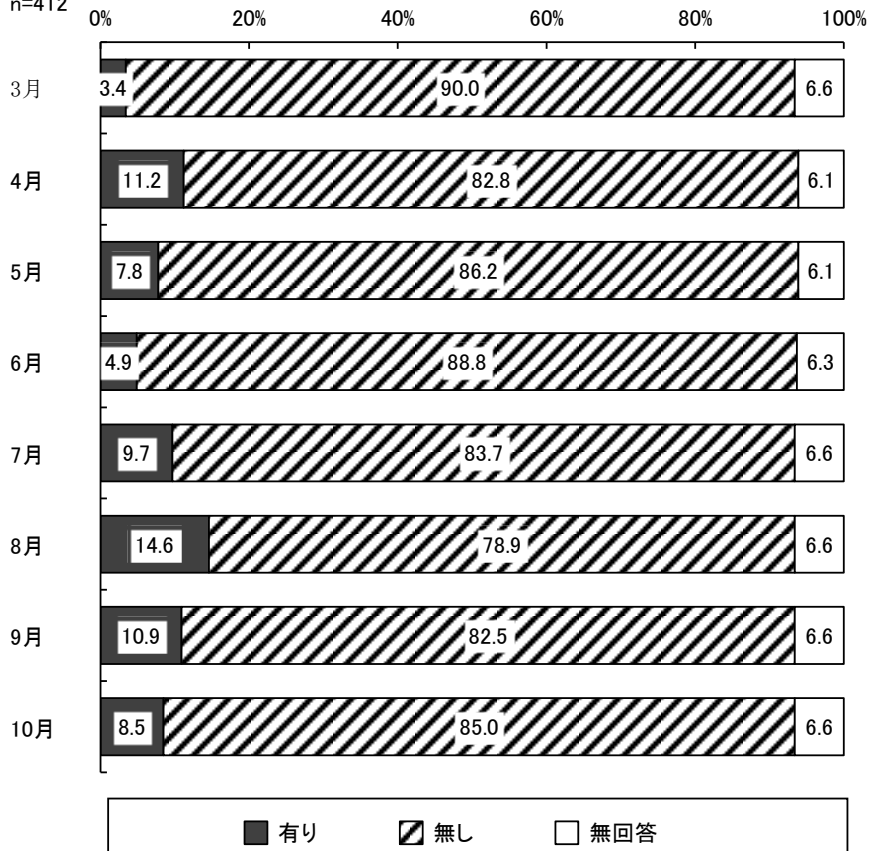
ウ 学校等の臨時休業に伴い職員の勤務が困難となった保険医療機関等の該当有無

n=412



エ 新型コロナウイルス感染症に感染し又は濃厚接触者となり出勤ができない職員が在籍する保険医療機関等の割合の推移

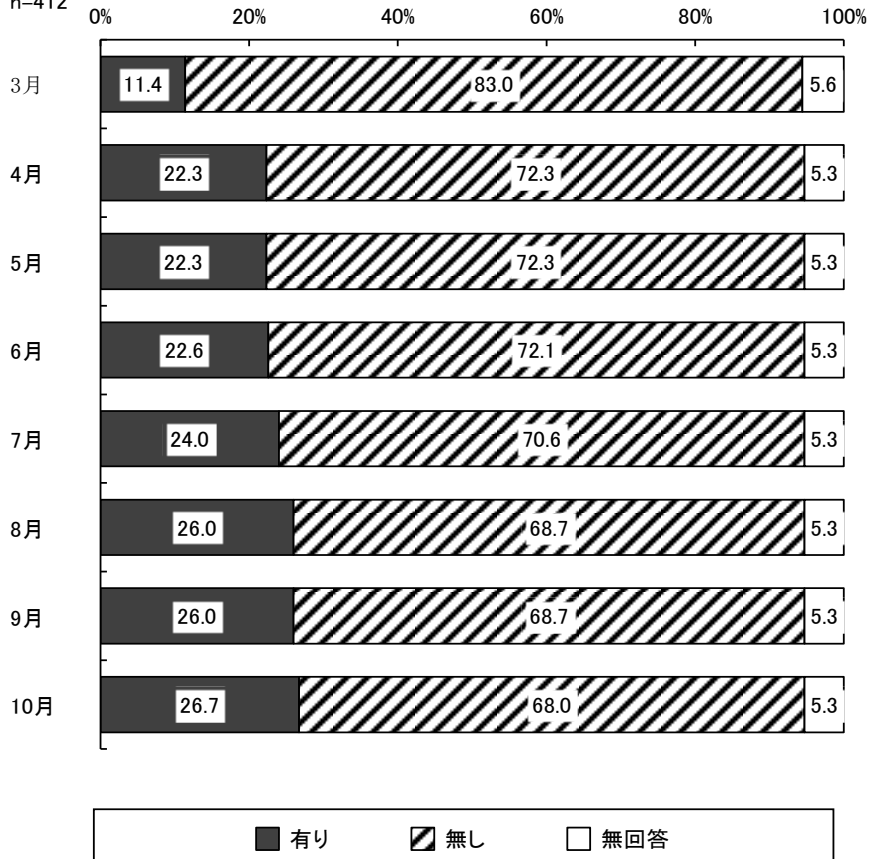
エ 新型コロナウイルス感染症に感染し又は濃厚接触者となり出勤ができない職員が在籍する保険医療機関等の該当有無
n=412



オ 新型コロナウイルス感染症が疑われる患者に対し「院内トリアージ」実施料を算定する保険医療機関の割合の推移

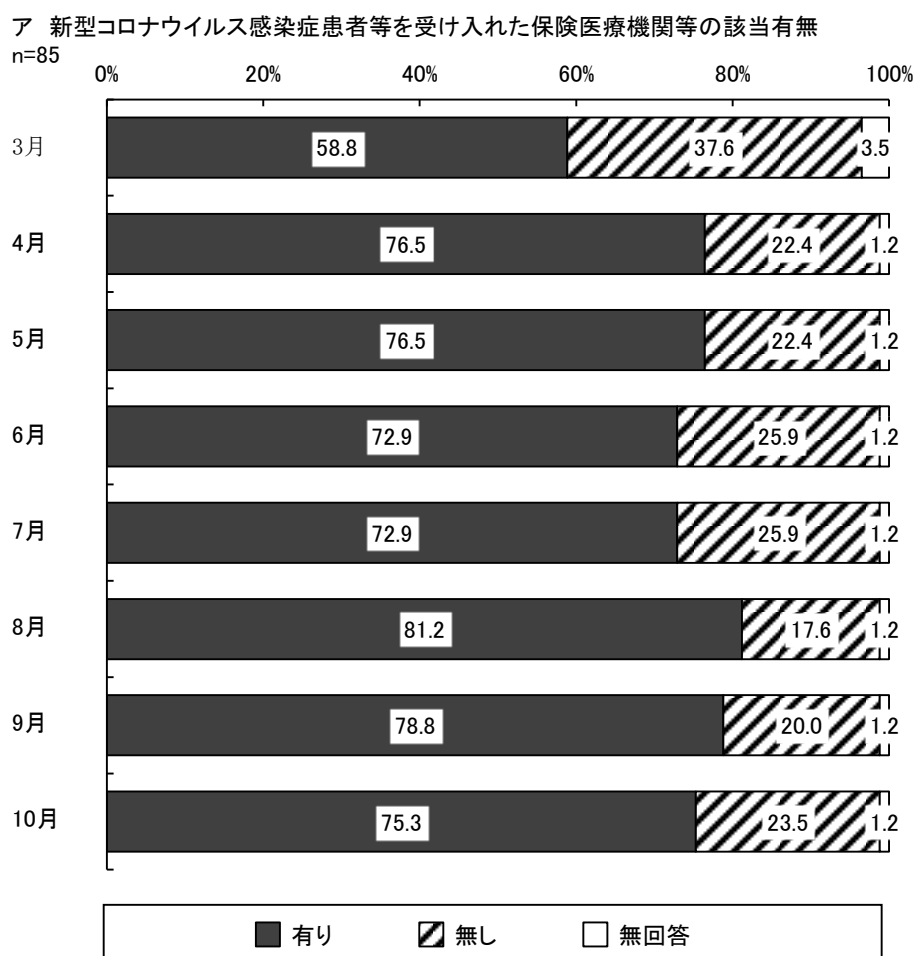
オ 新型コロナウイルス感染症が疑われる患者に対し院内トリアージ実施料を算定する保険医療機関

n=412



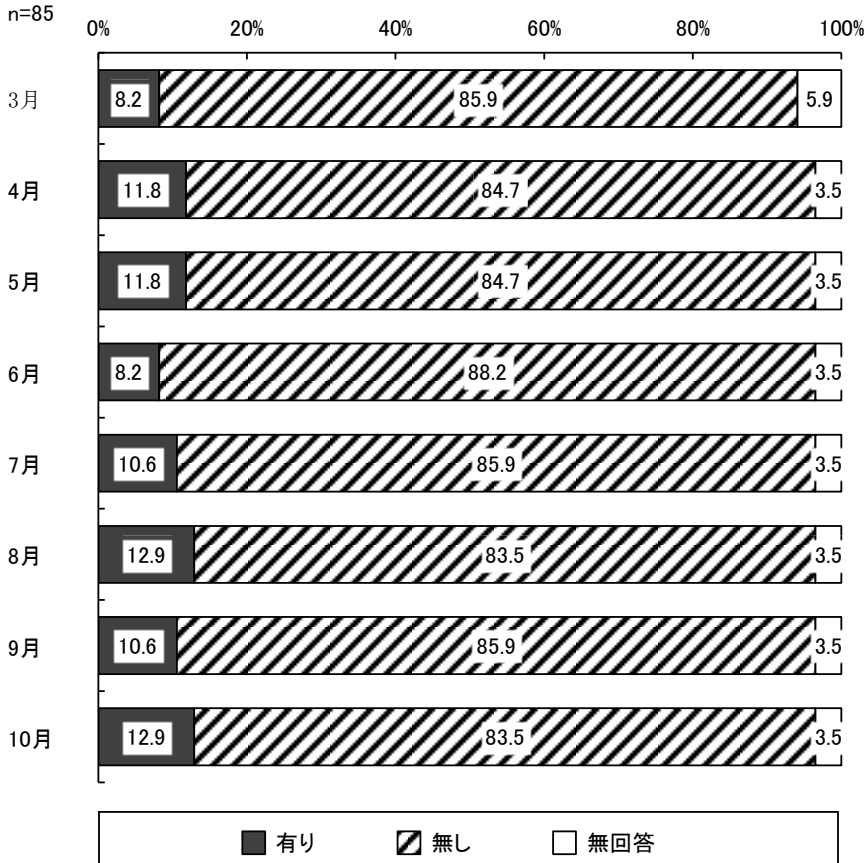
【重点医療機関に指定された施設】

ア 新型コロナウイルス感染症患者等を受け入れた保険医療機関等の割合の推移



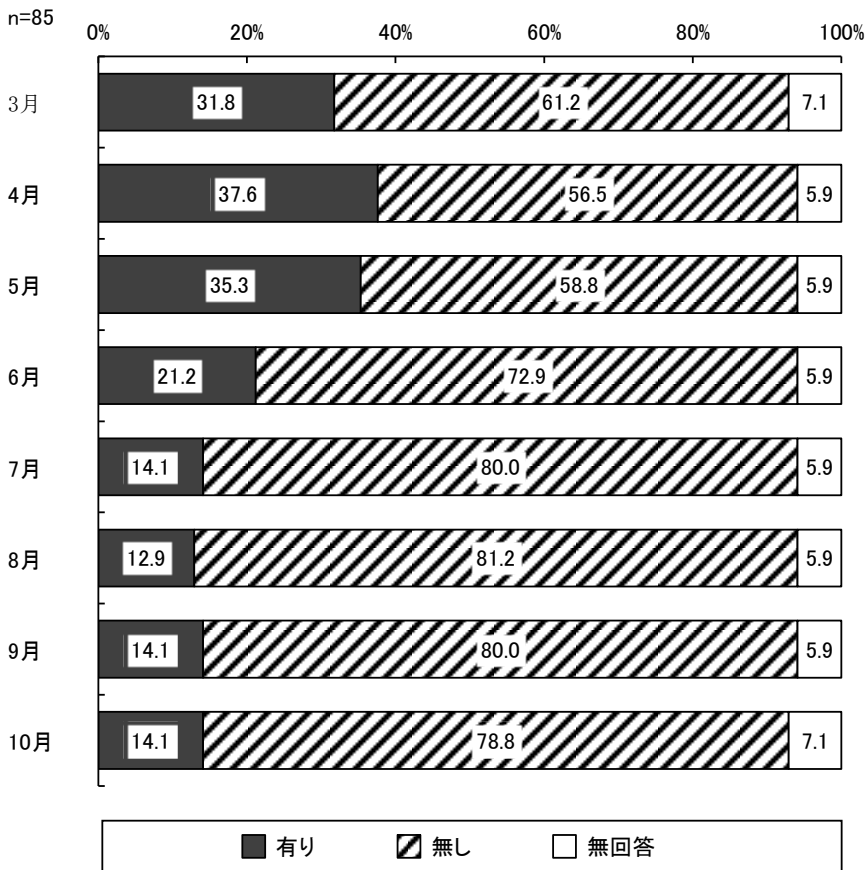
イ アに該当する医療機関等に職員を派遣した保険医療機関等の割合の推移

イ アに該当する医療機関等に職員を派遣した保険医療機関等の該当有無



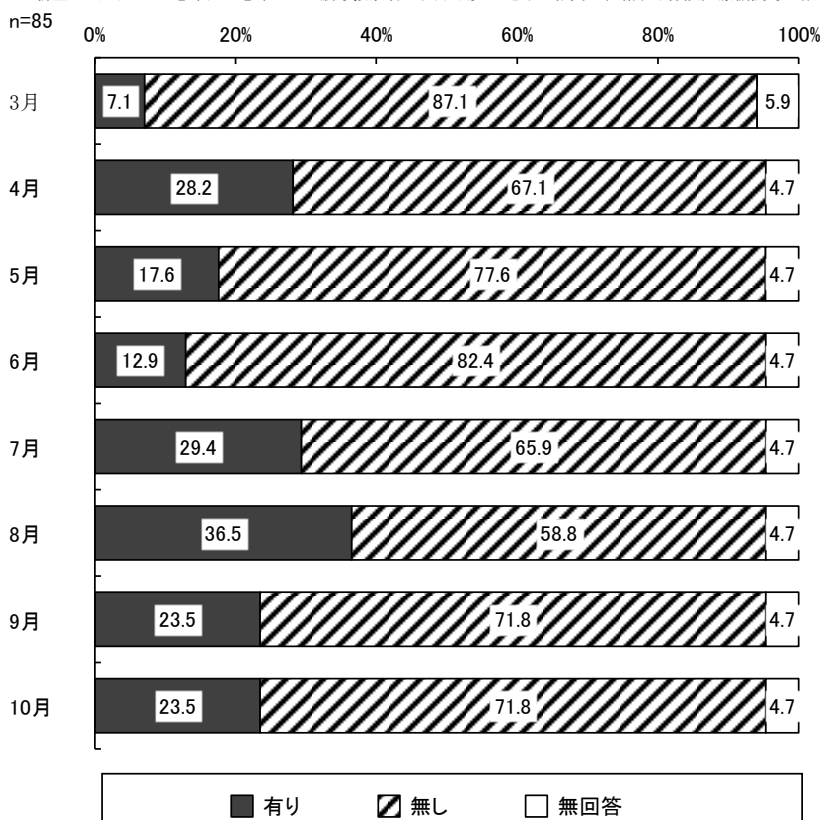
ウ 学校等の臨時休業に伴い職員の勤務が困難となった保険医療機関等の割合の推移

ウ 学校等の臨時休業に伴い職員の勤務が困難となった保険医療機関等の該当有無



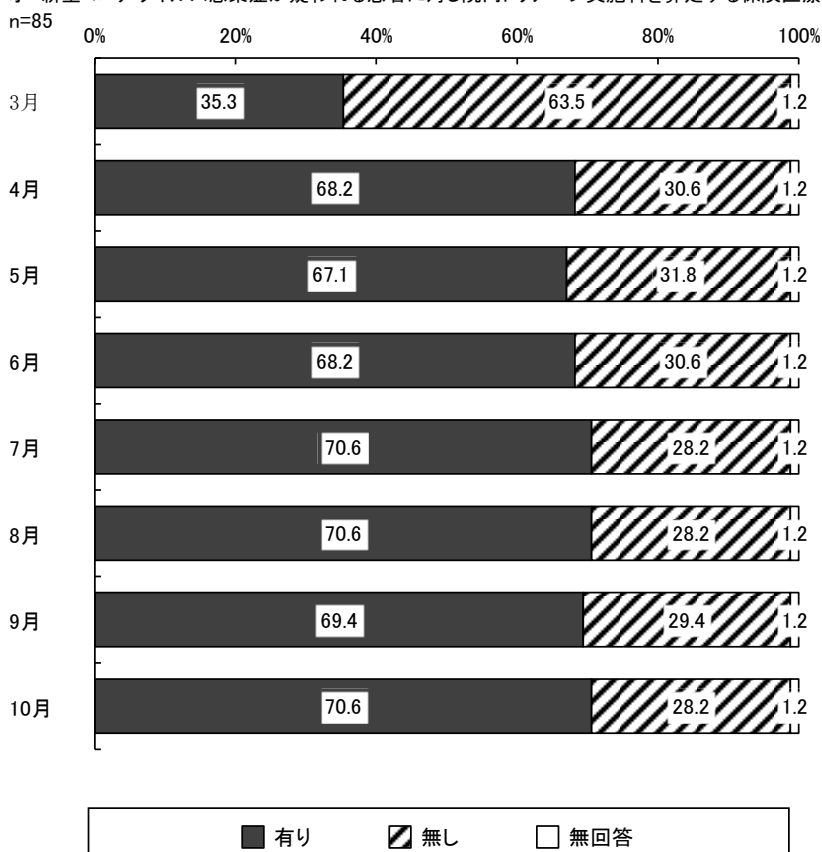
エ 新型コロナウイルス感染症に感染し又は濃厚接触者となり出勤ができない職員が在籍する保険医療機関等の割合の推移

エ 新型コロナウイルス感染症に感染し又は濃厚接触者となり出勤ができない職員が在籍する保険医療機関等の該当有無



オ 新型コロナウイルス感染症が疑われる患者に対し「院内トリアージ」実施料を算定する保険医療機関の割合の推移

オ 新型コロナウイルス感染症が疑われる患者に対し院内トリアージ実施料を算定する保険医療機関



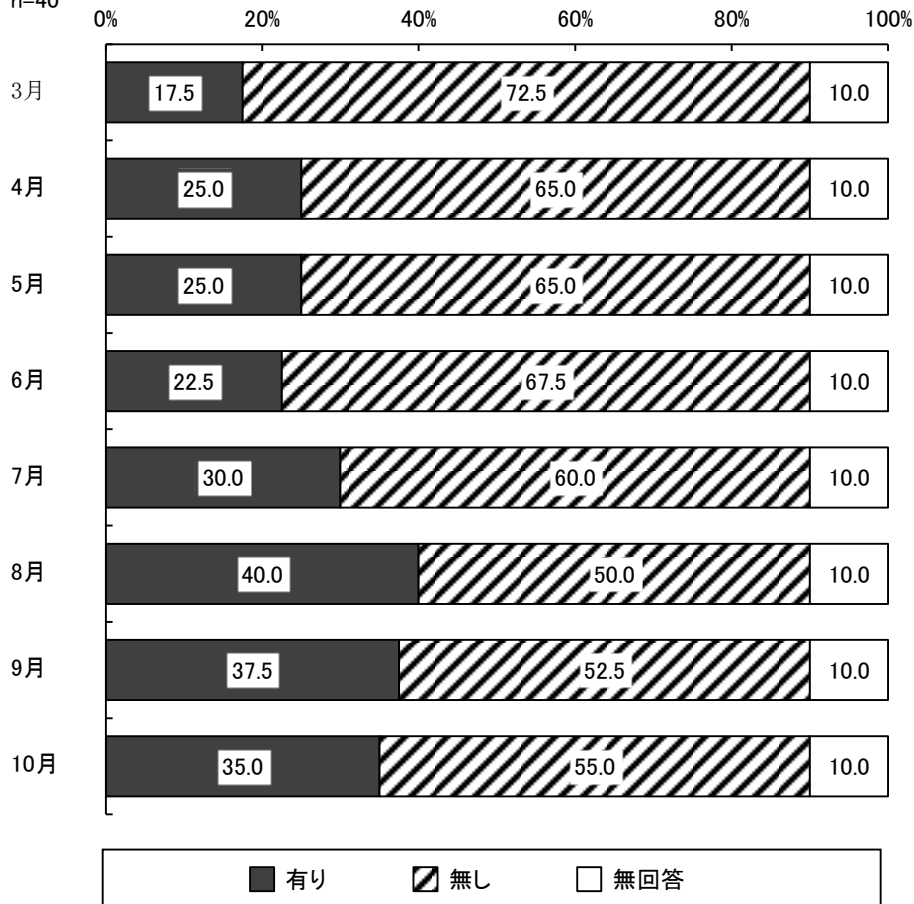
【協力医療機関に指定された施設】

協力医療機関に指定された施設においては、新型コロナウイルス感染症患者を受け入れた保険医療機関等の該当が有りと回答した施設で最も多かったのは8月で40.0%、7月から10月を通して3割以上を占めている。該当医療機関に職員を派遣した月で最も高かったのは9月で5.0%であった。学校等の臨時休業に伴い職員の勤務が困難となった月は4月と5月が最も多く5.0%であった。新型コロナウイルス感染症に感染し又は濃厚接触者となり出勤ができない職員の該当有りの回答で最も多かったのは、9月で7.5%、「院内トリアージ」実施料の算定は8~10月で4割を超える施設で実施された。

ア 新型コロナウイルス感染症患者等を受け入れた保険医療機関等の割合の推移

ア 新型コロナウイルス感染症患者等を受け入れた保険医療機関等の該当有無

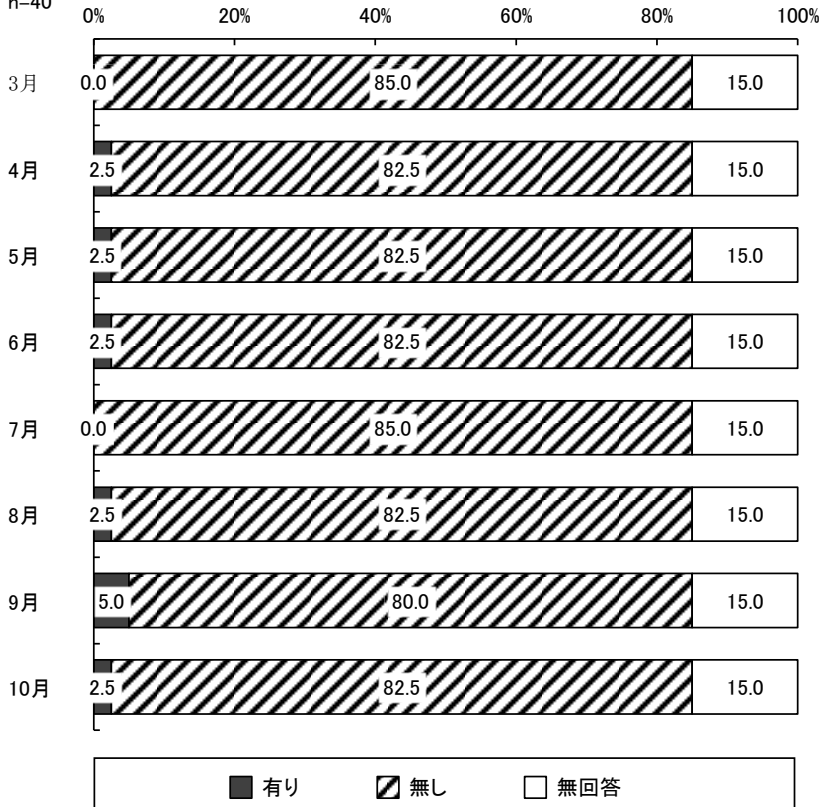
n=40



イ アに該当する医療機関等に職員を派遣した保険医療機関等の割合の推移

イ アに該当する医療機関等に職員を派遣した保険医療機関等の該当有無

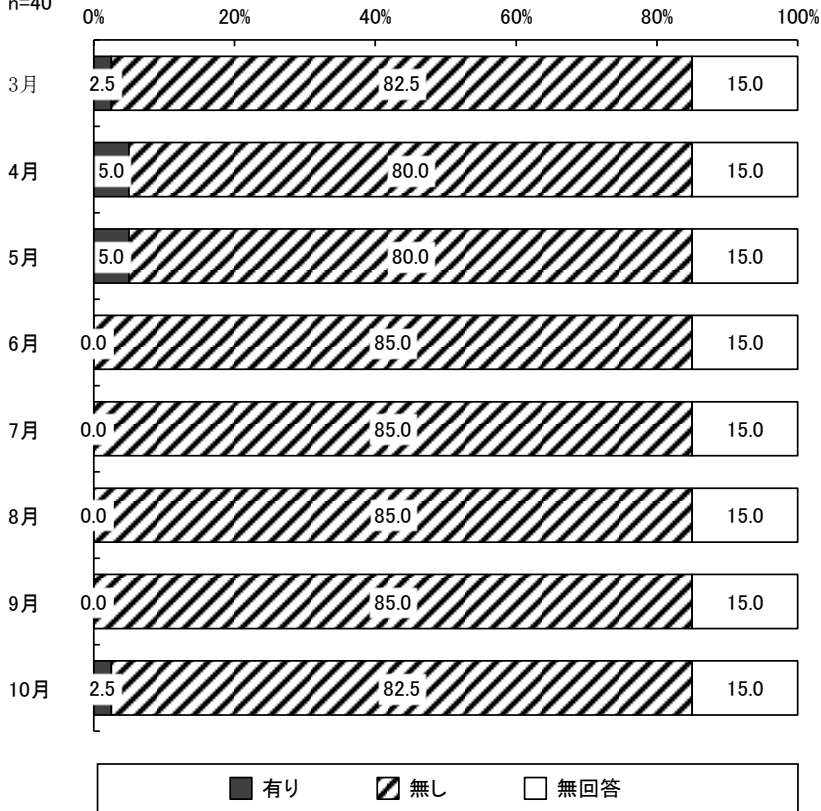
n=40



ウ 学校等の臨時休業に伴い職員の勤務が困難となった保険医療機関等の割合の推移

ウ 学校等の臨時休業に伴い職員の勤務が困難となった保険医療機関等の該当有無

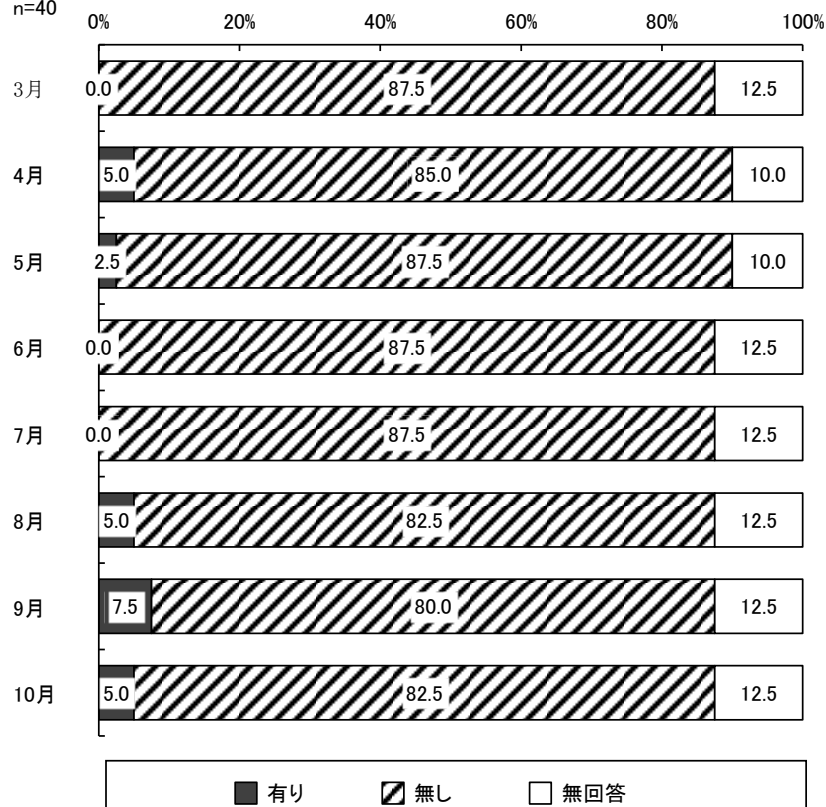
n=40



エ 新型コロナウイルス感染症に感染し又は濃厚接触者となり出勤ができない職員が在籍する保険医療機関等の割合の推移

エ 新型コロナウイルス感染症に感染し又は濃厚接触者となり出勤ができない職員が在籍する保険医療機関等の該当有無

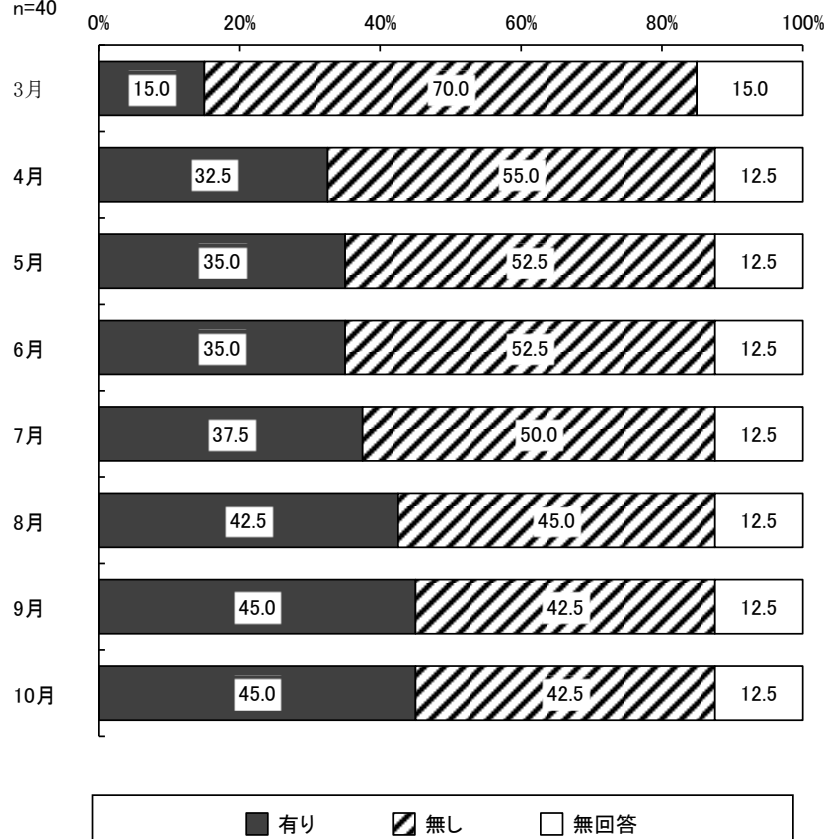
n=40



オ 新型コロナウイルス感染症が疑われる患者に対し「院内トリアージ」実施料を算定する保険医療機関の割合の推移

オ 新型コロナウイルス感染症が疑われる患者に対し院内トリアージ実施料を算定する保険医療機関

n=40



【その他の施設】

その他の施設では、新型コロナウイルス感染症患者を受け入れた保険医療機関等の割合をみると、いずれの月も5%未満で推移していた。

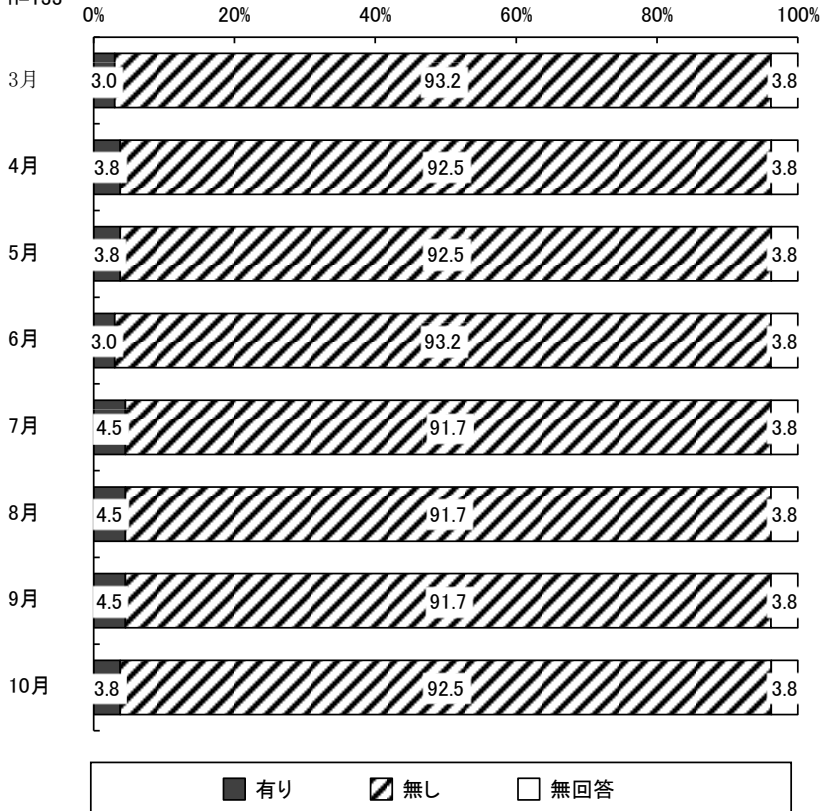
該当医療機関に職員を派遣した割合については、8月を除き、4月以降3%未満で推移していた。学校等の臨時休業に伴い職員の勤務が困難となった保険医療機関の割合については、3月から5月が1割前後であり、6月以降は、5%未満で推移していた。

新型コロナウイルス感染症に感染し又は濃厚接触者となり出勤ができない職員が在籍する保険医療機関の割合をみると、8月8.3%、9月6%の順に高く、他の月は5%前後で推移していた。「院内トリアージ」実施料の算定をする保険医療機関の割合については、4月以降10%前後を推移し、9月15.8%、10月15.0%と最も高くなっていた。

ア 新型コロナウイルス感染症患者等を受け入れた保険医療機関等の割合の推移

ア 新型コロナウイルス感染症患者等を受け入れた保険医療機関等の該当有無

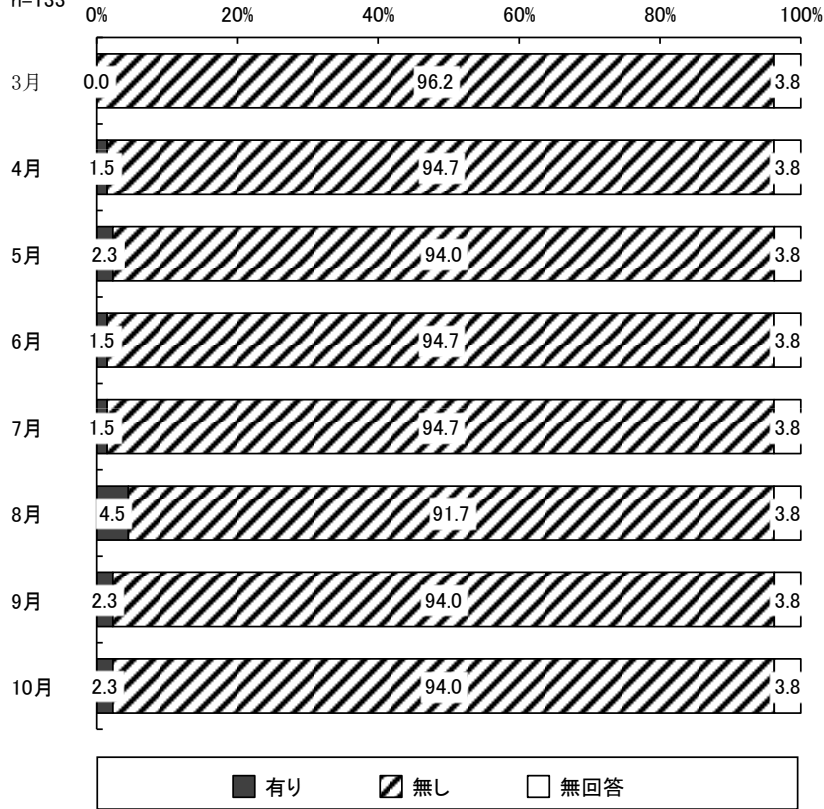
n=133



イ アに該当する医療機関等に職員を派遣した保険医療機関等の割合の推移

イ アに該当する医療機関等に職員を派遣した保険医療機関等の該当有無

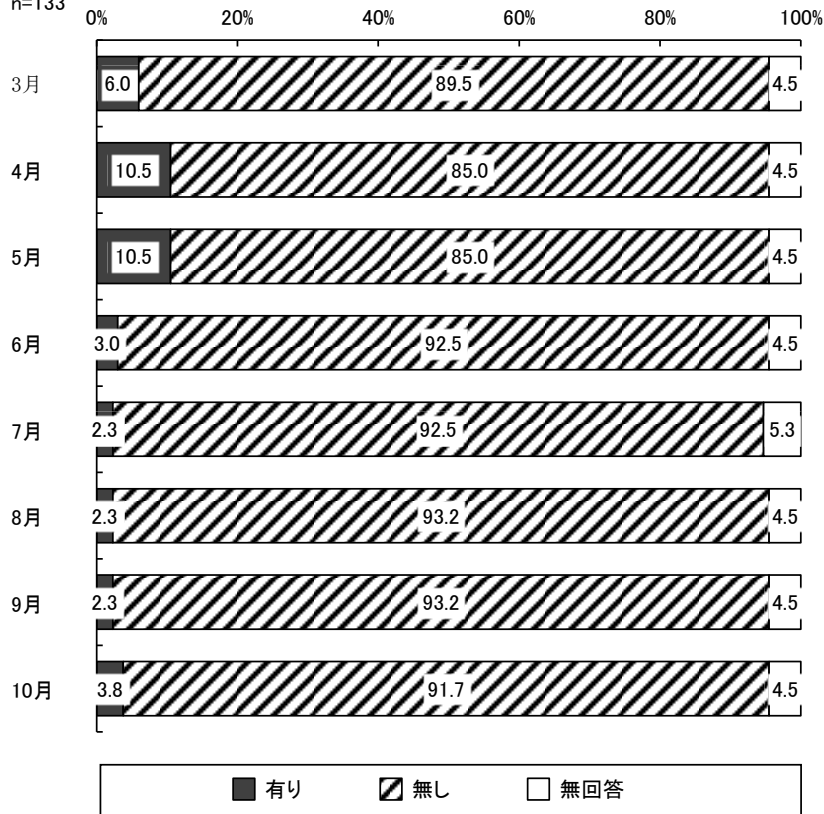
n=133



ウ 学校等の臨時休業に伴い職員の勤務が困難となった保険医療機関等の割合の推移

ウ 学校等の臨時休業に伴い職員の勤務が困難となった保険医療機関等の該当有無

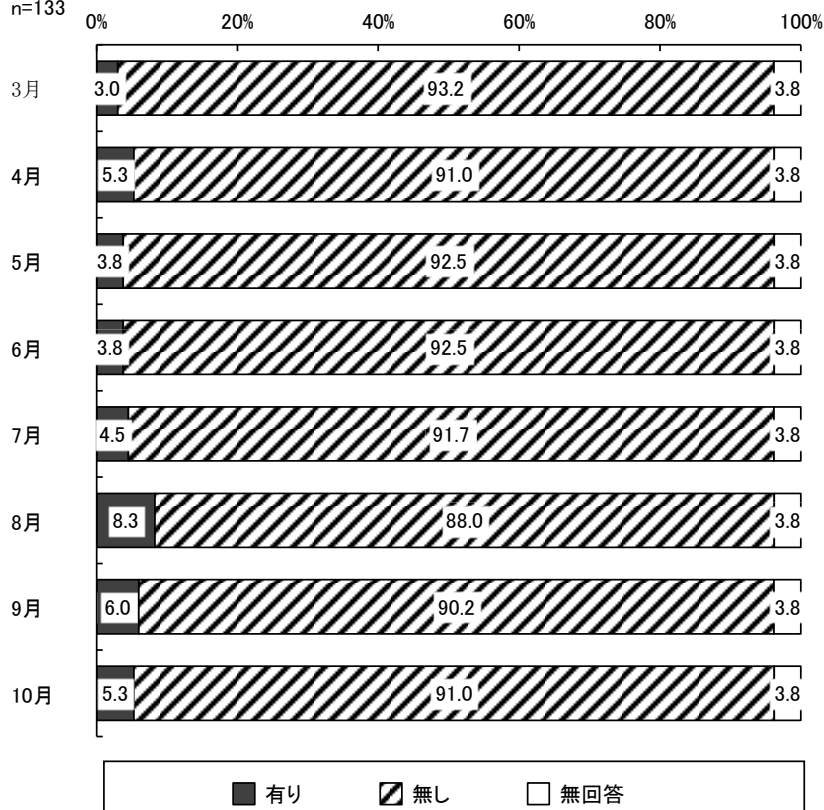
n=133



エ 新型コロナウイルス感染症に感染し又は濃厚接触者となり出勤ができない職員が在籍する保険医療機関等の割合の推移

エ 新型コロナウイルス感染症に感染し又は濃厚接触者となり出勤ができない職員が在籍する保険医療機関等の該当有無

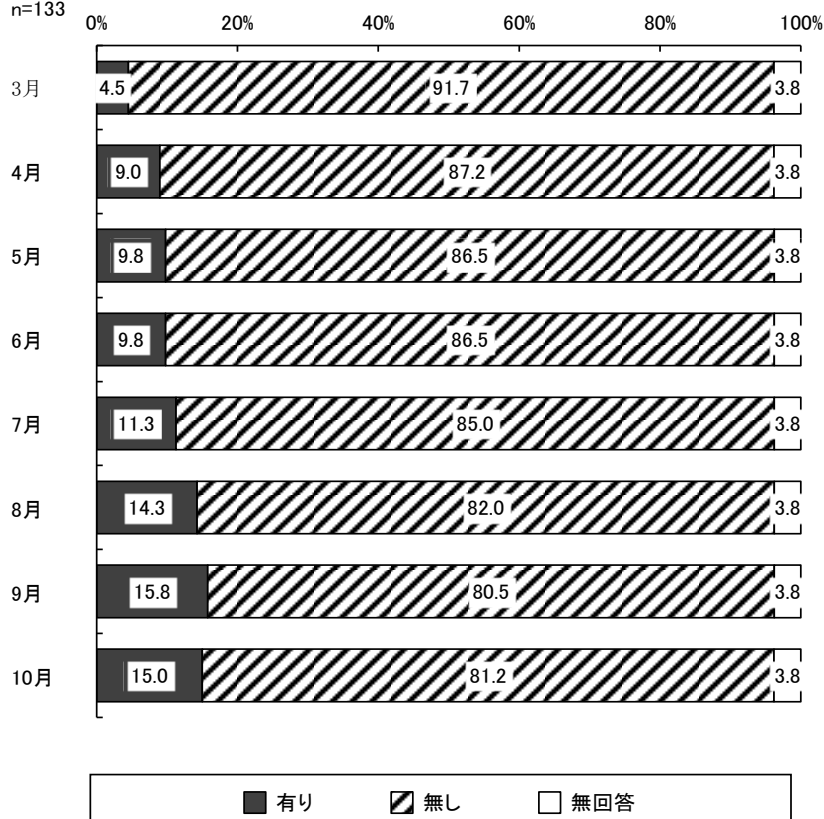
n=133



オ 新型コロナウイルス感染症が疑われる患者に対し「院内トリアージ」実施料を算定する保険医療機関の割合の推移

オ 新型コロナウイルス感染症が疑われる患者に対し院内トリアージ実施料を算定する保険医療機関

n=133

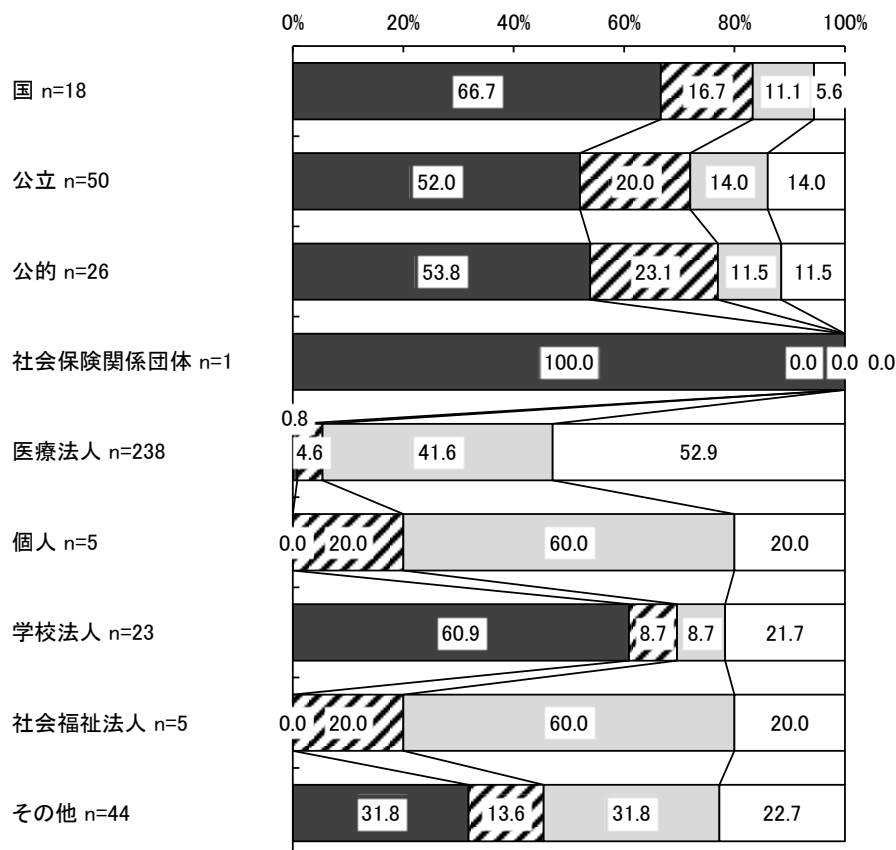


③ 重点医療機関等の指定の有無(令和2年11月1日時点)

新型コロナウイルスの重点医療機関等の指定の状況を開設者別にみると、「国立」が66.7%、「公立」52.0%、「公的」53.8%、「学校法人」60.9%であった。

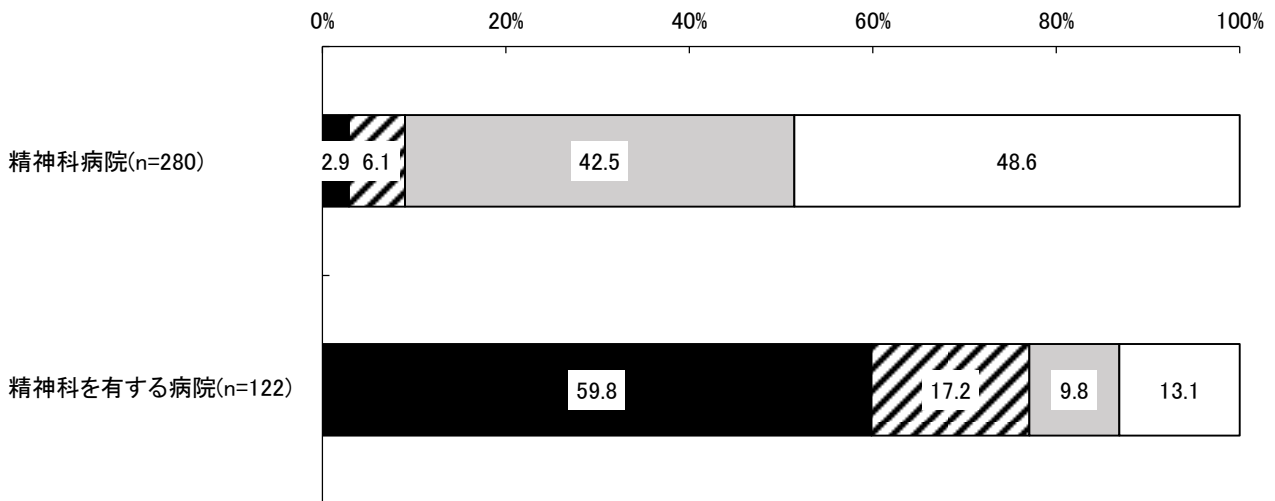
病院種別にみると、精神科病院は、重点医療機関の指定の割合は2.9%、精神科を有する病院では59.8%であった。

図表2-27 重点医療機関等の指定の有無(開設者別)



■ 重点医療機関(新型コロナ患者専用の病院や病棟を設定する医療機関)として都道府県から指定されている
 ▨ 協力医療機関(新型コロナ疑い患者専用の個室病床を設定する医療機関)として都道府県から指定されている
 □ その他
 □ 無回答

図表 2 - 28 重点医療機関等の指定の有無（病院種別）

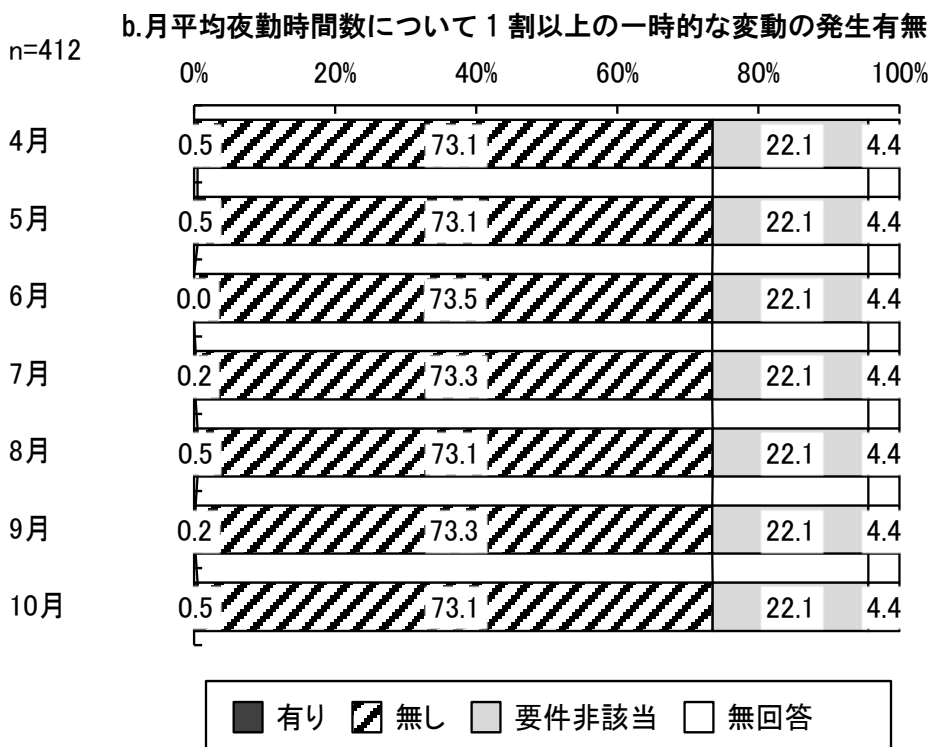
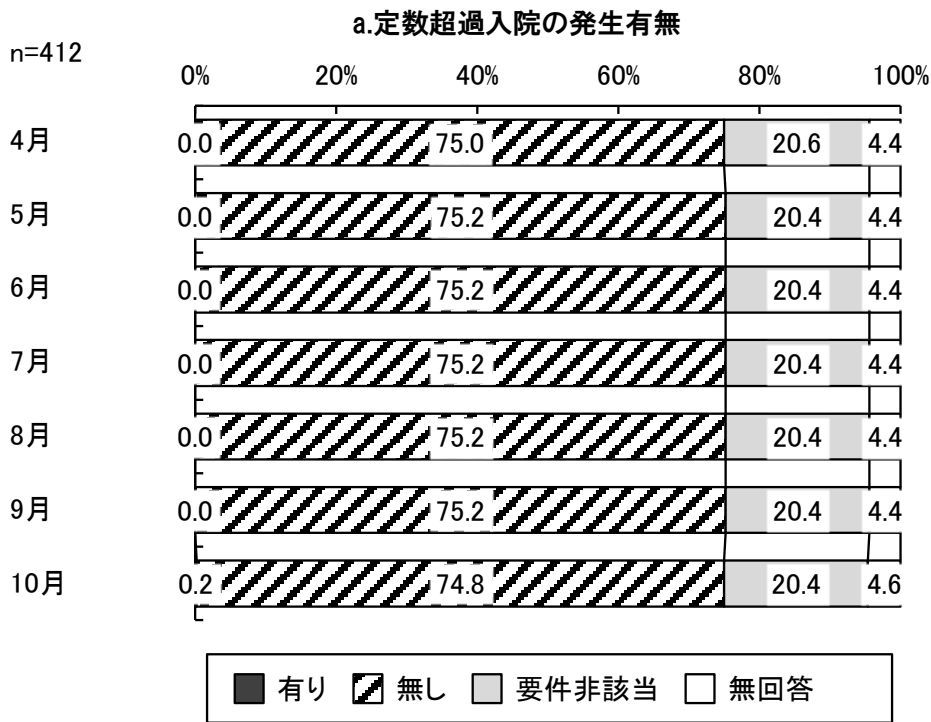


- 重点医療機関(新型コロナ患者専用の病院や病棟を設定する医療機関)として都道府県から指定されている
- 協力医療機関(新型コロナ疑い患者専用の個室病床を設定する医療機関)として都道府県から指定されている
- その他
- 無回答

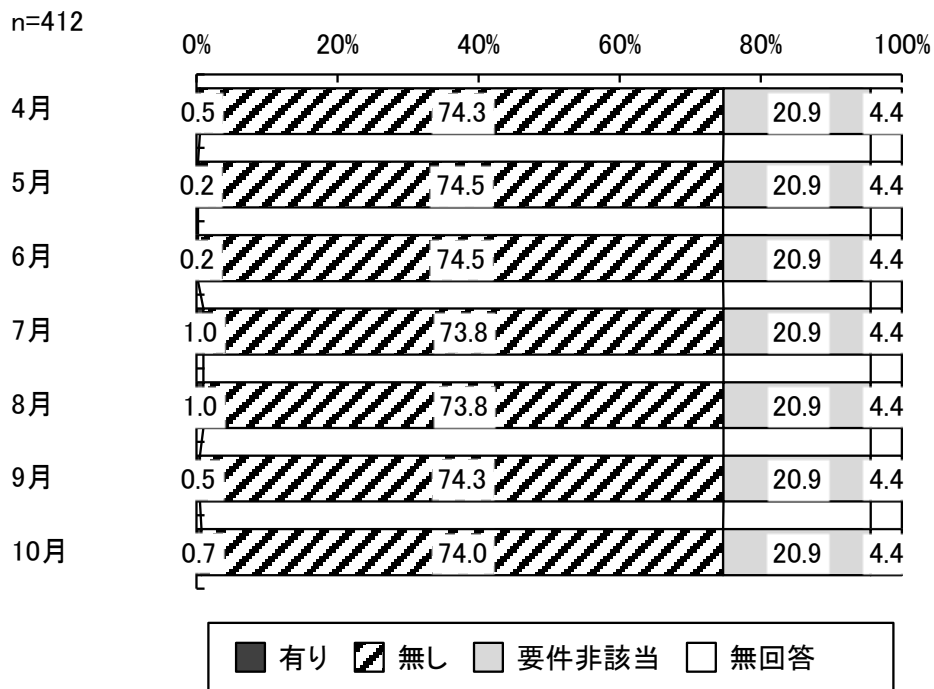
④ 施設基準等の臨時的な取り扱いに伴う各種配置要件や診療実績への影響
(令和2年4月～10月)

「新型コロナウイルス感染症患者等を受け入れた保険医療機関等における施設基準等の臨時的な取扱い」に関連し、届け出ている診療報酬の施設基準で求められている各種配置要件や診療実績への影響の状況は以下のとおりであった。

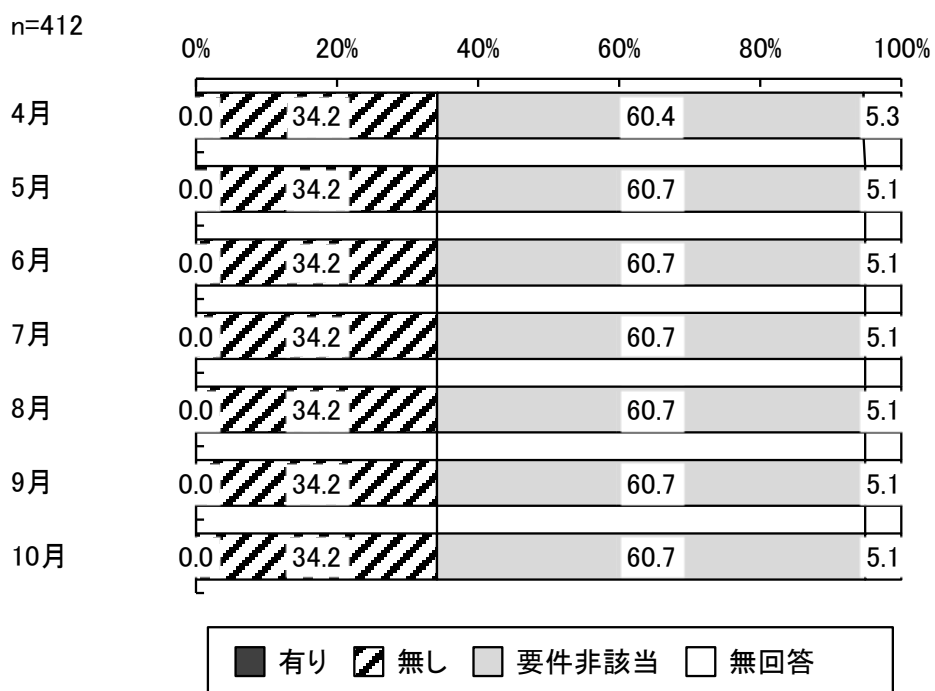
図表2-29 新型コロナウイルス感染症患者等を受け入れた保険医療機関等における各種配置要件や診療実績への影響の状況



c. 看護要員の数、看護要員の数と入院患者の比率並びに看護師及び准看護師の数に対する看護師の比率について1割以上の一時的な変動の発生有無

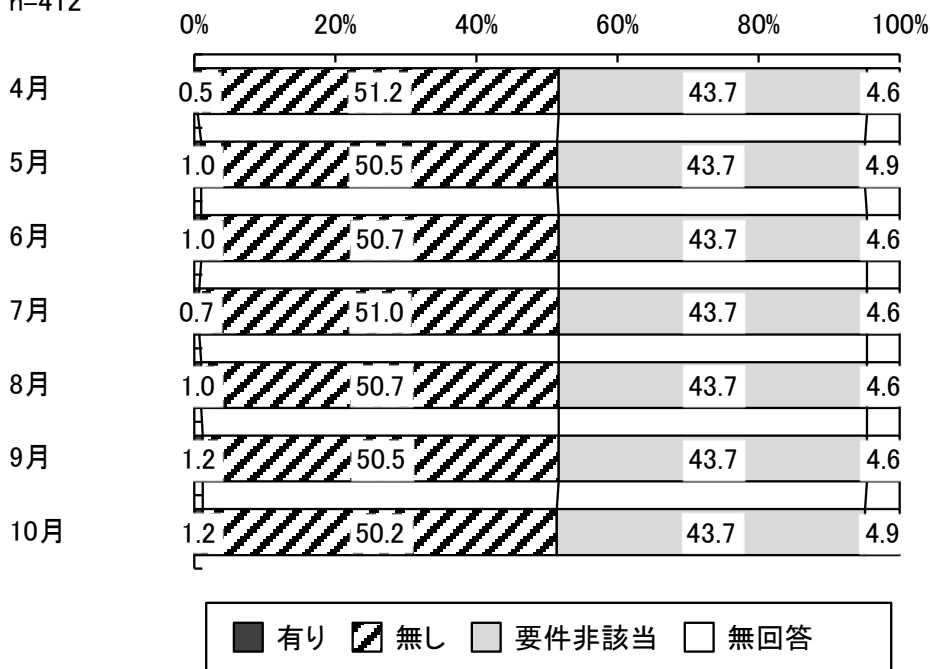


d. 「DPC 対象病院への参加基準を満たさなくなった場合」の発生有無



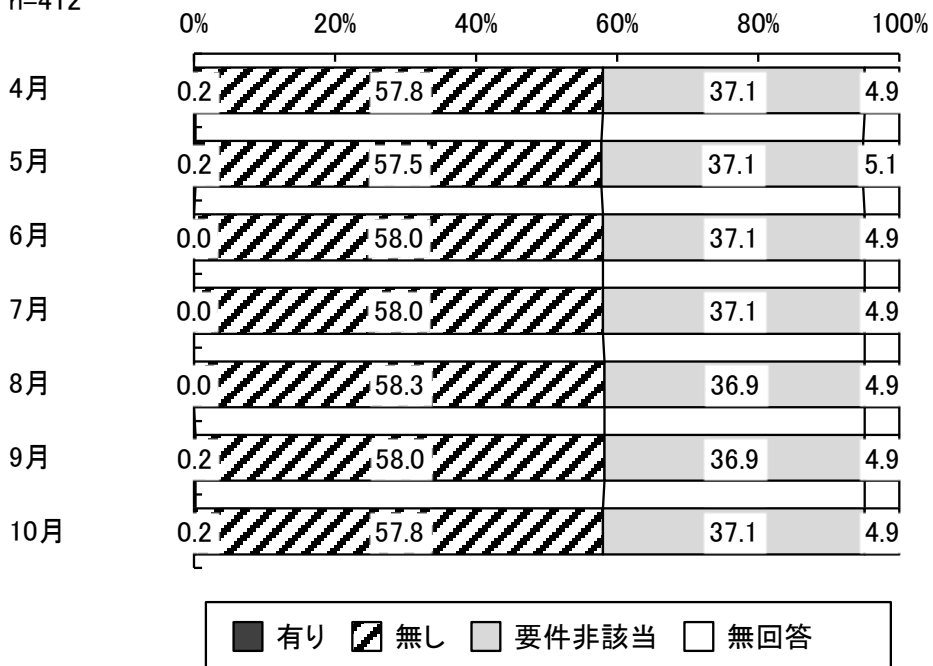
e.平均在院日数について施設基準等通知における当該要件を満たさなくなった場合の発生有無

n=412



f.在宅復帰率への影響について施設基準等通知における当該要件を満たさなくなった場合の発生有無

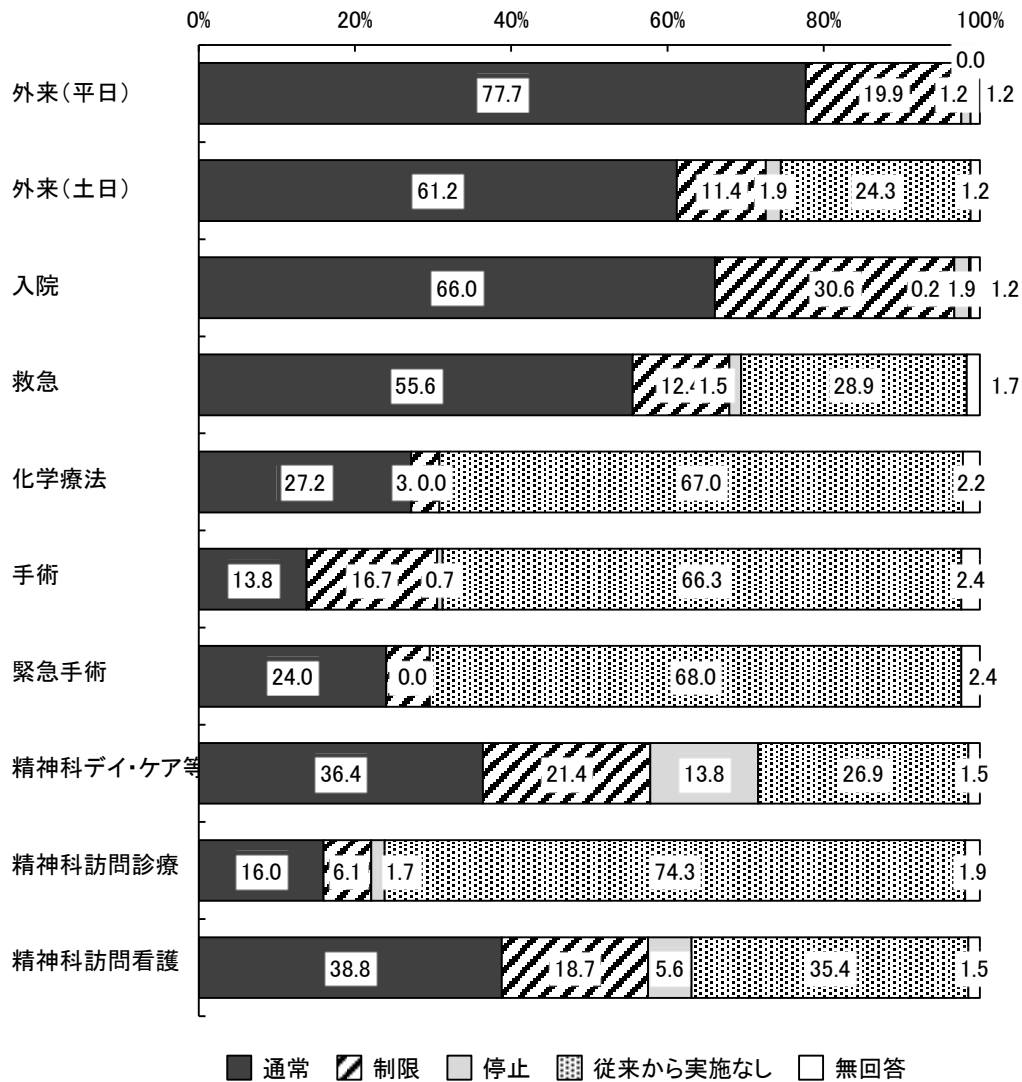
n=412



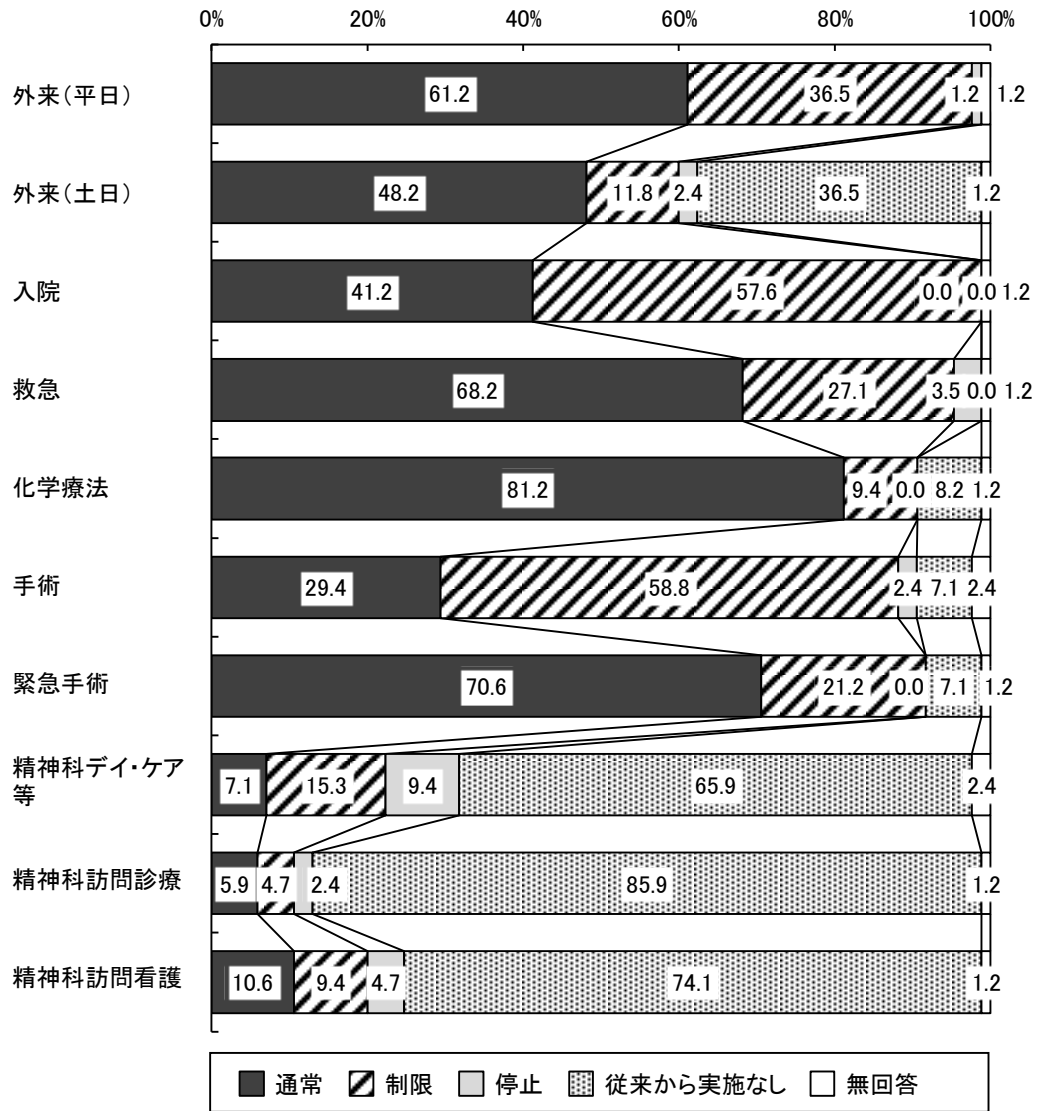
⑤ 医療提供状況への変化の影響(令和2年4月から11月1日まで)

令和2年4月から11月1日までの期間の医療提供状況への変化の影響についてみると、制限が多かった医療内容は、「入院」(30.6%)、「精神科デイケア等」(21.4%)、「外来(平日)」(19.9%)の順であった。

図表 2 - 30 医療提供状況への変化の影響(全体)

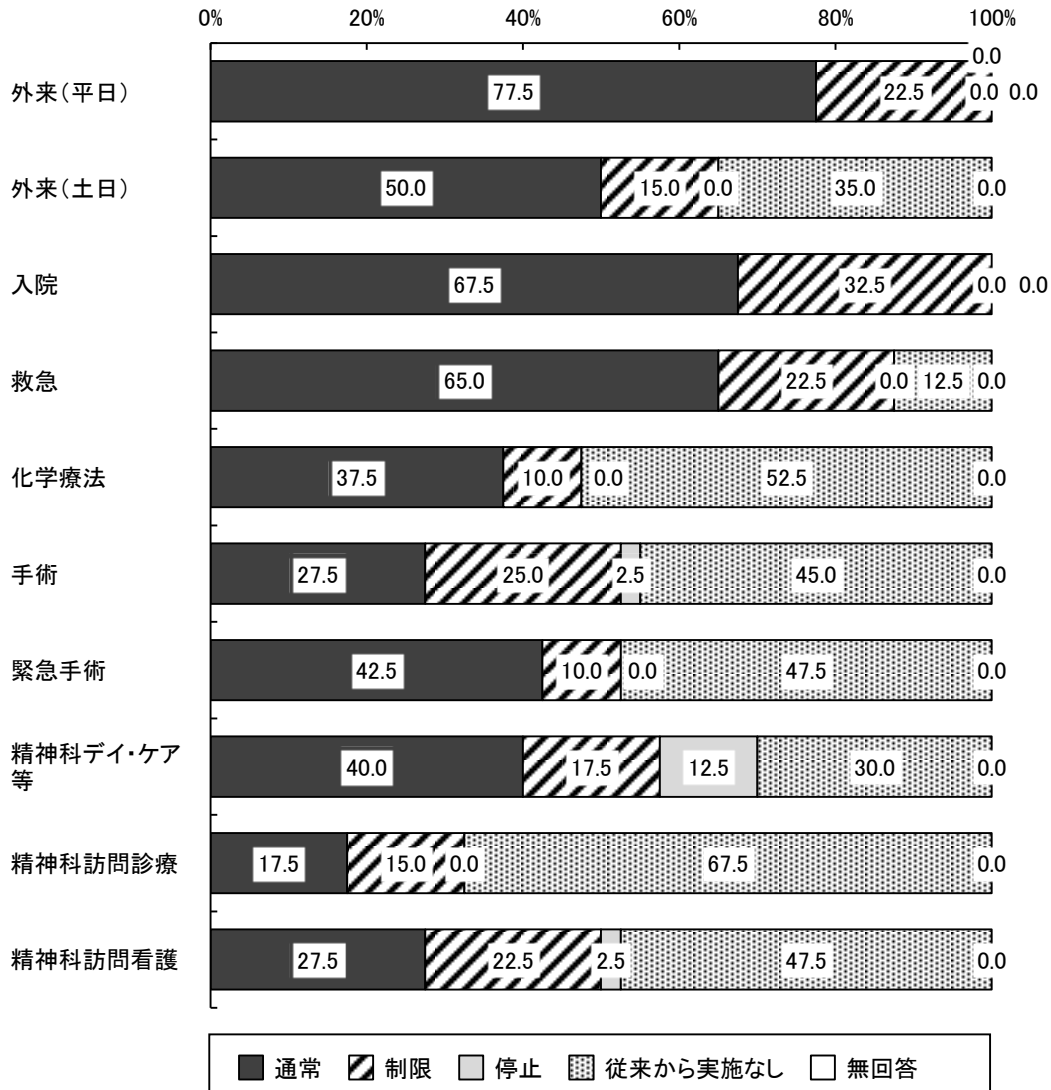


【重点医療機関に指定された施設】

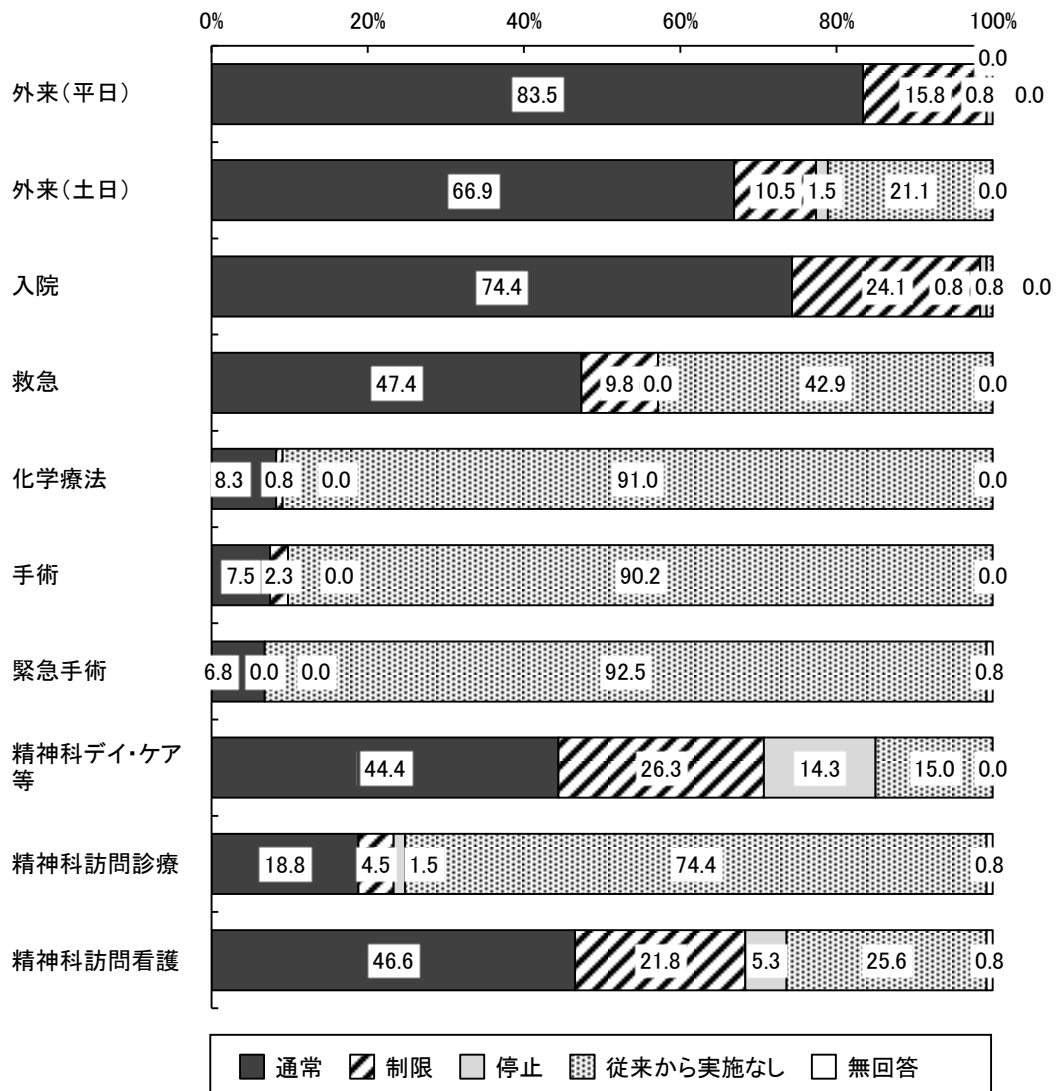


【協力医療機関に指定された施設】

「協力医療機関に指定された施設」においては、通常とおり行ったもので最も多かったものは「外来（平日）」（77.5%）、次に多かったものが「入院」（67.5%）であった。一方、「制限したもので最も多かったものは、「入院」（32.5%）で、次に多かったものが、「手術」（25.0%）であった。



【その他】



⑥ 外来患者数と総入院患者数(令和元年4月～10月、令和2年4月～10月)

⑥-1 外来患者数

令和元年4月～10月および令和2年4月～10月の外来患者数は以下のとおりであった。

図表2-31 外来患者数(病院種別)

【重点医療機関に指定された施設】

外来患者数	1) 初診の患者数									2) 再診の延べ患者数				3) 紹介状により他の病院または診療所に紹介した患者数			
				(うち)紹介状により紹介された患者数													
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値	
令和元年(平成31年)	4月	n=84	2023.6	1356.5	1866.0	n=82	1113.7	642.4	1161.5	n=83	25494.0	19148.9	21393.0	n=81	1150.4	664.8	1211.0
	5月	n=84	2055.8	1416.5	1859.5	n=82	1071.2	611.4	1137.5	n=83	23315.8	15021.4	19284.0	n=81	4714.6	32541.7	1133.0
	6月	n=84	2032.2	1387.6	1869.0	n=82	1131.7	652.7	1187.0	n=83	23540.7	15491.7	20108.0	n=81	1083.9	624.2	1019.0
	7月	n=84	2218.8	1485.9	2054.5	n=82	1247.9	709.7	1312.0	n=83	25305.8	16635.7	20716.0	n=81	1209.7	688.2	1125.0
	8月	n=84	2132.2	1461.0	1986.0	n=83	1095.1	639.1	1149.0	n=83	24111.4	15753.9	20354.0	n=81	1134.2	655.2	1095.0
	9月	n=84	1958.5	1331.0	1777.0	n=83	1049.2	602.5	1105.0	n=83	23203.8	15070.7	19774.0	n=81	1073.4	612.1	1143.0
	10月	n=84	2027.2	1359.7	1904.0	n=83	1126.7	649.4	1201.0	n=83	25038.5	16202.1	20634.0	n=81	1143.2	648.8	1090.0
令和2年	4月	n=84	1147.1	759.5	1147.5	n=83	652.6	377.3	727.0	n=83	19406.5	11732.5	17048.0	n=82	887.2	498.7	916.5
	5月	n=84	1067.1	793.9	1049.5	n=83	560.1	318.1	611.0	n=83	16932.1	10205.9	15104.0	n=82	8234.1	67730.4	703.0
	6月	n=84	1556.6	1026.6	1513.0	n=83	915.8	508.2	937.0	n=83	21728.5	13912.9	18302.0	n=81	937.2	547.1	942.0
	7月	n=84	1712.8	1112.8	1643.0	n=83	995.6	551.5	1056.0	n=83	22705.6	14607.9	19024.0	n=82	1000.4	566.6	996.5
	8月	n=84	1662.8	1121.4	1569.5	n=83	904.2	506.2	980.0	n=83	21191.3	13650.4	18298.0	n=82	948.0	540.7	929.0
	9月	n=84	1683.9	1144.4	1583.0	n=83	975.1	567.1	1033.0	n=83	22490.3	14737.9	18339.0	n=82	982.3	562.0	908.0
	10月	n=83	1832.8	1184.2	1785.0	n=83	1088.5	634.6	1126.0	n=82	24127.0	15368.6	20393.0	n=82	1077.4	621.3	1001.0

【協力医療機関に指定された施設】

外来患者数	1) 初診の患者数									2) 再診の延べ患者数				3) 紹介状により他の病院または診療所に紹介した患者数			
				(うち)紹介状により紹介された患者数													
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値	
令和元年(平成31年)	4月	n=39	929.7	1103.8	231.0	n=34	460.3	549.2	161.5	n=39	11758.2	12262.0	6184.0	n=35	673.4	1208.2	123.0
	5月	n=39	968.4	1155.5	220.0	n=34	462.4	544.0	169.0	n=39	11211.5	11557.7	5845.0	n=35	792.7	1903.9	131.0
	6月	n=39	922.5	1081.0	261.0	n=34	480.6	561.3	152.5	n=39	11247.7	11738.8	5988.0	n=35	526.2	634.9	127.0
	7月	n=39	1029.3	1211.4	263.0	n=34	538.3	637.9	188.5	n=39	12394.5	12873.7	6499.0	n=35	582.8	714.4	127.0
	8月	n=39	994.4	1174.0	266.0	n=34	462.9	544.2	156.0	n=39	11723.7	12151.8	6201.0	n=35	569.5	701.9	139.0
	9月	n=39	880.9	1034.3	289.0	n=34	445.5	529.9	159.0	n=39	10975.1	11158.2	5865.0	n=35	532.0	641.0	146.0
	10月	n=39	880.3	1038.8	274.0	n=34	453.7	549.4	167.5	n=39	11403.7	11715.8	6320.0	n=35	516.3	625.0	140.0
令和2年	4月	n=39	614.0	751.3	158.0	n=34	302.2	371.1	98.0	n=39	9510.4	9428.0	5654.0	n=35	419.7	496.4	95.0
	5月	n=39	582.6	711.9	175.0	n=34	276.3	323.1	122.0	n=39	8311.3	7948.8	5290.0	n=35	547.3	1275.0	89.0
	6月	n=39	774.1	916.8	252.0	n=34	406.5	477.5	164.0	n=39	10054.9	10048.5	5728.0	n=35	440.9	522.4	120.0
	7月	n=39	825.1	979.3	259.0	n=34	420.6	497.5	157.5	n=39	10656.1	10920.2	5900.0	n=35	482.0	572.5	130.0
	8月	n=39	808.6	943.5	229.0	n=34	386.2	461.0	168.5	n=39	9964.9	10179.5	5798.0	n=35	457.2	548.2	118.0
	9月	n=39	856.5	1029.5	255.0	n=33	427.5	498.8	193.0	n=39	10326.9	10536.7	6010.0	n=35	463.0	539.9	143.0
	10月	n=39	957.1	1198.7	263.0	n=33	476.9	558.1	205.0	n=39	10986.2	11223.9	6585.0	n=35	506.9	607.5	143.0

【その他の施設】

外来患者数	1) 初診の患者数									2) 再診の延べ患者数				3) 紹介状により他の病院または診療所に紹介した患者数			
				(うち)紹介状により紹介された患者数													
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値	
令和元年(平成31年)	4月	n=130	121.9	327.2	48.0	n=109	52.5	185.8	16.0	n=129	2957.2	3983.0	2118.0	n=107	54.2	188.0	13.0
	5月	n=131	120.0	333.0	47.0	n=110	49.7	179.2	15.5	n=129	2817.6	3846.2	2047.0	n=107	55.7	193.9	13.0
	6月	n=131	125.2	335.8	49.0	n=110	52.3	194.3	15.5	n=129	2914.9	4011.9	1985.0	n=107	59.7	203.6	15.0
	7月	n=130	133.2	363.9	57.0	n=109	58.6	214.4	18.0	n=129	3082.2	4292.8	2218.0	n=107	63.4	221.4	15.0
	8月	n=131	124.1	347.6	49.0	n=110	51.6	192.5	13.0	n=129	2894.3	4090.4	2050.0	n=108	58.9	207.5	15.0
	9月	n=130	119.5	320.4	47.5	n=109	49.7	183.7	15.0	n=129	2795.5	3955.8	1968.0	n=109	56.8	196.8	13.0
	10月	n=131	126.0	337.7	52.0	n=110	52.3	193.9	15.0	n=129	3034.7	4164.7	2172.0	n=108	57.9	201.6	15.0
令和2年	4月	n=130	90.0	234.0	38.0	n=111	37.9	131.0	14.0	n=129	2639.5	3520.6	1953.0	n=108	47.1	159.2	11.5
	5月	n=131	83.2	212.8	37.0	n=112	32.9	113.0	11.0	n=129	2364.6	3120.7	1681.0	n=109	40.1	137.3	11.0
	6月	n=130	111.6	295.1	46.0	n=111	48.1	174.3	14.0	n=129	2702.2	3840.0	1959.0	n=108	53.2	180.8	14.5
	7月	n=131	114.9	306.8	48.0	n=110	51.1	182.2	16.0	n=129	2868.5	3968.9	2068.0	n=109	53.7	180.4	14.0
	8月	n=130	107.6	286.7	44.0	n=110	45.3	157.9	14.5	n=129	2693.9	3704.0	1892.0	n=108	51.7	175.8	13.5
	9月	n=130	109.1	281.1	46.0	n=110	47.9	163.1	16.0	n=129	2776.3	3819.4	1940.0	n=108	53.3	177.8	12.0
	10月	n=131	121.1	322.8	50.0	n=110	53.4	185.3	16.0	n=129	3086.1	4252.4	2121.0	n=106	58.3	196.2	13.0

【精神科病院】

外来患者数		1) 初診の患者数			(うち)紹介状により紹介された患者数			2) 再診の延べ患者数			3) 紹介状により他の病院または診療所に紹介した患者数						
		平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値				
令和元年(平成31年)	4月	n=270	66.5	130.3	44.0	n=217	25.7	49.0	15.0	n=268	2381.8	1990.4	2039.0	n=208	27.3	80.1	13.5
	5月	n=271	64.8	132.9	43.0	n=218	24.3	48.2	15.0	n=269	2269.8	1922.0	1909.0	n=208	35.2	145.8	13.0
	6月	n=271	67.4	135.4	43.0	n=217	24.8	53.3	14.0	n=269	2297.8	2003.7	1944.0	n=208	28.9	80.0	14.0
	7月	n=270	72.2	145.8	47.0	n=216	27.4	57.3	16.0	n=269	2470.7	2106.2	2112.0	n=208	29.9	89.0	14.0
	8月	n=271	66.2	142.2	42.0	n=218	23.8	52.2	13.0	n=269	2318.0	1973.8	1904.0	n=210	27.4	78.0	13.0
	9月	n=270	65.3	135.9	42.5	n=217	23.1	49.1	14.0	n=269	2237.2	1913.9	1832.0	n=210	26.3	76.1	13.0
令和2年	4月	n=270	51.4	97.5	34.5	n=221	21.3	39.7	12.0	n=268	2136.2	1783.2	1781.0	n=211	24.0	68.7	11.0
	5月	n=271	48.7	93.6	32.0	n=222	18.8	33.4	11.0	n=269	1929.5	1600.3	1607.0	n=212	21.1	58.7	11.0
	6月	n=270	63.0	115.0	42.5	n=221	24.4	48.3	13.0	n=269	2187.8	1820.6	1832.0	n=211	26.4	69.4	12.0
	7月	n=271	63.2	116.9	44.0	n=221	25.3	49.0	15.0	n=269	2302.0	1953.0	1953.0	n=212	28.1	74.8	14.0
	8月	n=270	59.4	115.3	38.0	n=221	23.8	49.0	14.0	n=269	2170.5	1847.2	1821.0	n=211	26.4	70.5	12.0
	9月	n=270	61.7	117.5	43.0	n=221	24.8	50.6	14.0	n=269	2226.7	1882.9	1874.0	n=211	26.8	72.7	12.0
10月	n=270	68.7	128.8	49.0	n=221	27.8	55.4	17.0	n=268	2453.7	2216.5	1978.0	n=209	28.8	77.3	13.0	

【精神科を有する病院】

外来患者数		1) 初診の患者数			(うち)紹介状により紹介された患者数			2) 再診の延べ患者数			3) 紹介状により他の病院または診療所に紹介した患者数						
		平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値				
令和元年(平成31年)	4月	n=120	1878.3	1342.9	1831.5	n=115	1013.9	675.0	1046.0	n=118	23911.0	18467.2	20502.0	n=116	1062.4	883.9	979.5
	5月	n=120	1915.6	1403.2	1815.5	n=115	980.4	643.1	1042.0	n=118	22111.4	15246.6	19459.0	n=116	3573.1	27268.2	954.0
	6月	n=120	1881.6	1362.8	1846.0	n=115	1034.0	683.9	1141.0	n=118	22325.5	15665.8	19949.5	n=116	971.0	671.7	980.5
	7月	n=120	2058.8	1464.6	1991.5	n=115	1138.8	745.2	1252.0	n=118	24090.4	16894.6	20906.5	n=116	1082.7	744.8	1062.0
	8月	n=120	1983.7	1430.6	1946.0	n=115	1011.3	664.2	1112.0	n=118	22935.2	16001.0	20448.0	n=116	1023.7	711.3	1026.0
	9月	n=120	1808.3	1305.1	1735.5	n=115	968.6	630.4	1008.0	n=118	21970.6	15266.7	19761.0	n=116	972.3	667.7	990.0
令和2年	4月	n=120	1866.0	1339.6	1805.5	n=115	1031.2	683.7	1114.0	n=118	23515.4	16472.0	20606.0	n=116	1013.7	703.8	1049.5
	5月	n=120	1110.2	797.7	1136.0	n=116	606.8	412.6	636.0	n=118	18451.6	12130.0	16709.0	n=116	801.7	547.2	797.0
	6月	n=120	1034.5	801.4	1004.0	n=116	525.5	346.5	570.5	n=118	16166.0	10560.9	14865.0	n=116	6028.4	57053.1	667.0
	7月	n=120	1477.3	1039.3	1485.0	n=116	845.6	547.7	901.5	n=118	20574.3	14252.2	17943.5	n=116	853.7	590.5	869.0
	8月	n=120	1612.4	1124.6	1605.5	n=115	916.1	586.1	973.0	n=118	21496.3	14965.8	18884.0	n=116	912.5	620.1	913.0
	9月	n=120	1564.0	1111.4	1569.5	n=115	831.6	536.9	901.0	n=118	20085.1	13981.7	17243.0	n=116	863.5	588.1	852.5
10月	n=119	1591.8	1144.4	1566.5	n=115	897.7	592.1	943.0	n=118	21198.7	14937.7	18282.5	n=116	894.6	607.9	890.0	
		n=119	1744.5	1220.5	1759.0	n=115	1003.9	666.0	1043.0	n=117	22677.4	15703.3	19596.0	n=116	978.5	672.6	986.5

⑥-2 総入院患者数

令和元年4月～10月および令和2年4月～10月の総入院患者数は以下のとおりである。

図表 2 - 32 総入院患者数
【重点医療機関に指定された施設】

			平均値	標準偏差	中央値
令和元年(平成31年)	4月	n=83	13913.4	7584.7	13618.0
	5月	n=83	13885.7	7471.8	13104.0
	6月	n=83	13976.6	7633.1	13633.0
	7月	n=83	14502.5	7952.4	13948.0
	8月	n=83	14428.4	7955.4	13417.0
	9月	n=83	13699.5	7457.2	13007.0
	10月	n=83	14293.4	7636.4	13250.0
令和2年	4月	n=83	11892.7	6507.9	11554.0
	5月	n=83	10963.8	6079.2	10690.0
	6月	n=83	11846.7	6579.8	11363.0
	7月	n=83	12874.5	7146.0	12303.0
	8月	n=83	12904.1	7119.5	12354.0
	9月	n=83	12467.0	6920.9	12020.0
	10月	n=82	14025.8	9907.9	12848.0

【協力医療機関に指定された施設】

			平均値	標準偏差	中央値
令和元年(平成31年)	4月	n=39	8836.7	7282.8	6857.0
	5月	n=39	8901.2	7184.6	6872.0
	6月	n=39	8954.6	7276.4	6857.0
	7月	n=39	9323.5	7413.0	7303.0
	8月	n=39	9186.3	7373.6	7228.0
	9月	n=39	8546.7	6803.0	6756.0
	10月	n=39	8869.6	7041.4	6883.0
令和2年	4月	n=39	8263.1	6506.0	6877.0
	5月	n=39	7981.5	6047.3	6827.0
	6月	n=39	8198.1	6405.9	6628.0
	7月	n=39	8692.8	6881.9	6910.0
	8月	n=39	8656.0	6841.2	6814.0
	9月	n=39	8338.1	6600.7	6494.0
	10月	n=39	8796.1	7076.8	6781.0

【その他の施設】

			平均値	標準偏差	中央値
令和元年(平成31年)	4月	n=130	5607.4	4566.1	5380.5
	5月	n=130	5766.9	4673.7	5555.0
	6月	n=130	5615.6	4583.6	5389.5
	7月	n=130	5812.1	4750.7	5538.5
	8月	n=130	5827.3	4740.7	5549.0
	9月	n=130	5864.5	5437.8	5332.0
	10月	n=130	5803.0	4730.6	5528.0
令和2年	4月	n=130	5444.2	4402.7	5254.5
	5月	n=130	5551.4	4481.2	5424.5
	6月	n=130	5465.4	4437.2	5199.5
	7月	n=130	5705.6	4645.0	5483.0
	8月	n=130	5709.0	4637.9	5538.5
	9月	n=130	5512.2	4455.6	5395.0
	10月	n=130	5683.8	4608.8	5505.0

図表 2 - 33 総入院患者数（開設者別）

国			平均値	標準偏差	中央値
令和元年(平成31年)	4月	n=17	15880.8	8070.1	16355.0
	5月	n=17	15403.7	7843.8	16464.0
	6月	n=17	15975.2	8007.7	16854.0
	7月	n=17	16697.9	8481.6	17160.0
	8月	n=17	16613.9	8462.4	17247.0
	9月	n=17	15859.4	7957.4	16614.0
	10月	n=17	16380.3	8213.1	17196.0
令和2年	4月	n=17	13948.1	7137.7	14515.0
	5月	n=17	12795.8	6667.5	12881.0
	6月	n=17	13839.2	7238.7	13941.0
	7月	n=17	15073.1	7789.5	15447.0
	8月	n=17	14871.6	7756.6	14850.0
	9月	n=17	14272.7	7622.3	14823.0
	10月	n=17	15326.3	8178.7	15579.0

公立			平均値	標準偏差	中央値
令和元年(平成31年)	4月	n=48	7804.4	5853.6	6189.0
	5月	n=48	7928.6	5793.2	6389.0
	6月	n=48	7817.8	5754.1	6160.5
	7月	n=48	8083.7	5922.7	6541.5
	8月	n=48	8056.0	5878.1	6242.5
	9月	n=48	7667.3	5581.3	6027.5
	10月	n=48	7941.8	5830.4	6317.5
令和2年	4月	n=48	6741.9	4653.0	5503.5
	5月	n=48	6291.2	4326.1	5534.0
	6月	n=48	6617.9	4590.9	6041.0
	7月	n=48	7163.3	5034.0	6444.0
	8月	n=48	7196.5	5078.3	5929.5
	9月	n=48	6945.4	4945.7	5979.0
	10月	n=48	7263.5	5276.5	6050.5

公的			平均値	標準偏差	中央値
令和元年(平成31年)	4月	n=26	10250.9	5374.7	10883.5
	5月	n=26	10426.8	5408.8	11430.5
	6月	n=26	10300.6	5303.8	11140.0
	7月	n=26	10637.2	5467.6	11415.0
	8月	n=26	10616.0	5478.1	11127.0
	9月	n=26	10245.7	5225.8	10995.5
	10月	n=26	10526.7	5471.3	11328.5
令和2年	4月	n=26	9251.5	4641.6	9536.5
	5月	n=26	8963.2	4442.8	9402.0
	6月	n=26	9323.1	4679.4	9733.0
	7月	n=26	9784.5	4840.8	10189.0
	8月	n=26	9772.3	4892.0	10476.5
	9月	n=26	9506.9	4758.1	10242.0
	10月	n=26	10034.3	5047.7	10469.0

社会保険関係団体			平均値	標準偏差	中央値
令和元年(平成31年)	4月	n=1	9697.0	0.0	9697.0
	5月	n=1	9791.0	0.0	9791.0
	6月	n=1	10067.0	0.0	10067.0
	7月	n=1	9997.0	0.0	9997.0
	8月	n=1	10070.0	0.0	10070.0
	9月	n=1	9659.0	0.0	9659.0
	10月	n=1	10013.0	0.0	10013.0
令和2年	4月	n=1	9179.0	0.0	9179.0
	5月	n=1	7981.0	0.0	7981.0
	6月	n=1	9269.0	0.0	9269.0
	7月	n=1	9040.0	0.0	9040.0
	8月	n=1	9124.0	0.0	9124.0
	9月	n=1	8650.0	0.0	8650.0
	10月	n=1	10113.0	0.0	10113.0

医療法人			平均値	標準偏差	中央値
令和元年(平成31年)	4月	n=226	5587.1	4083.8	5512.5
	5月	n=226	5760.9	4221.2	5737.5
	6月	n=226	5587.8	4085.6	5548.5
	7月	n=226	5792.6	4225.9	5743.0
	8月	n=226	5793.7	4250.8	5832.0
	9月	n=226	5728.1	4657.5	5621.5
	10月	n=226	5760.1	4219.8	5788.5
令和2年	4月	n=225	5426.8	3961.4	5468.0
	5月	n=225	5549.7	4038.0	5635.0
	6月	n=225	5443.6	3953.4	5472.0
	7月	n=225	5676.3	4147.0	5602.0
	8月	n=225	5680.6	4143.3	5701.0
	9月	n=225	5479.9	3994.0	5462.0
	10月	n=225	5643.0	4121.9	5661.0

個人			平均値	標準偏差	中央値
令和元年(平成31年)	4月	n=5	3476.4	1908.4	3633.0
	5月	n=5	3617.6	2023.8	3693.0
	6月	n=5	3612.2	2019.5	3559.0
	7月	n=5	3806.8	2151.4	3725.0
	8月	n=5	3797.6	2143.4	3724.0
	9月	n=5	3610.6	2038.3	3555.0
	10月	n=5	3712.8	2104.1	3685.0
令和2年	4月	n=5	3541.2	2006.7	3543.0
	5月	n=5	3629.4	2036.5	3682.0
	6月	n=5	3516.6	1974.0	3580.0
	7月	n=5	3685.6	2087.1	3688.0
	8月	n=5	3708.6	2101.5	3681.0
	9月	n=5	3580.6	2017.6	3564.0
	10月	n=5	3670.4	2056.9	3695.0

学校法人			平均値	標準偏差	中央値
令和元年(平成31年)	4月	n=23	17581.8	10319.0	22827.0
	5月	n=23	17455.4	10186.1	22278.0
	6月	n=23	17680.2	10354.0	22931.0
	7月	n=23	18270.7	10664.2	23834.0
	8月	n=23	18168.0	10606.2	22955.0
	9月	n=23	16665.9	9993.8	19146.0
	10月	n=23	17575.2	10397.1	19412.0
令和2年	4月	n=23	15007.1	9016.0	18514.0
	5月	n=23	13921.7	8588.7	16516.0
	6月	n=23	15267.1	9191.9	18655.0
	7月	n=23	16640.6	9905.4	21241.0
	8月	n=23	16657.3	9938.1	20797.0
	9月	n=23	16079.0	9521.6	20280.0
	10月	n=22	20107.1	15393.6	22255.5

社会福祉法人			平均値	標準偏差	中央値
令和元年(平成31年)	4月	n=5	9284.0	5062.9	10195.0
	5月	n=5	9462.6	5121.7	10476.0
	6月	n=5	9297.0	5033.2	10209.0
	7月	n=5	9726.6	5232.4	10809.0
	8月	n=5	9789.4	5280.1	10636.0
	9月	n=5	9479.2	5179.9	10139.0
	10月	n=5	9616.2	5256.1	10282.0
令和2年	4月	n=5	9248.8	5078.1	9964.0
	5月	n=5	9512.0	5195.0	10278.0
	6月	n=5	9159.6	5005.8	9701.0
	7月	n=5	9605.4	5237.0	10248.0
	8月	n=5	9618.4	5244.0	10021.0
	9月	n=5	9260.2	5068.8	9684.0
	10月	n=5	9551.6	5199.9	9933.0

その他			平均値	標準偏差	中央値
令和元年(平成31年)	4月	n=44	11862.3	7901.6	9855.0
	5月	n=44	12011.8	7917.5	10199.0
	6月	n=44	11963.6	8084.3	10007.5
	7月	n=44	12454.2	8405.5	10370.0
	8月	n=44	12376.8	8297.5	10389.5
	9月	n=44	11876.0	7957.1	9948.0
	10月	n=44	12446.7	8008.5	10613.5
令和2年	4月	n=44	10911.4	7035.3	9521.0
	5月	n=44	10478.8	6431.4	9540.5
	6月	n=44	10838.9	7004.2	9399.5
	7月	n=44	11533.7	7599.0	9903.5
	8月	n=44	11540.5	7529.1	9836.5
	9月	n=44	11115.3	7282.6	9448.5
	10月	n=44	11676.1	7752.9	9838.5

図表 2 - 34 総入院患者数（病院種別）

【精神科病院】

			平均値	標準偏差	中央値
令和元年(平成31年)	4月	n=268	5524.5	4077.4	5502.0
	5月	n=268	5712.5	4227.8	5723.0
	6月	n=268	5545.5	4100.1	5481.0
	7月	n=268	5736.8	4247.6	5650.0
	8月	n=268	5753.1	4260.1	5727.5
	9月	n=268	5663.8	4589.9	5498.5
	10月	n=268	5705.7	4228.7	5653.5
令和2年	4月	n=268	5377.5	3980.9	5358.5
	5月	n=268	5506.3	4079.2	5560.5
	6月	n=268	5396.2	3982.8	5425.0
	7月	n=268	5631.5	4169.1	5588.0
	8月	n=268	5635.3	4162.7	5662.0
	9月	n=268	5434.2	4017.1	5435.0
	10月	n=268	5586.0	4126.7	5617.0

【精神科を有する病院】

			平均値	標準偏差	中央値
令和元年(平成31年)	4月	n=119	13764.6	8087.0	12979.0
	5月	n=119	13745.6	7973.1	12912.0
	6月	n=119	13830.4	8122.7	13470.0
	7月	n=119	14374.7	8387.5	13289.0
	8月	n=119	14262.8	8372.0	12913.0
	9月	n=119	13519.0	7873.6	12546.0
	10月	n=119	14096.2	8098.9	12992.0
令和2年	4月	n=119	12013.9	6983.7	11237.0
	5月	n=119	11199.5	6549.7	10503.0
	6月	n=119	12012.9	7082.0	11363.0
	7月	n=119	12954.2	7672.8	12296.0
	8月	n=119	12944.4	7660.0	12080.0
	9月	n=119	12516.9	7395.6	11978.0
	10月	n=118	13812.8	9630.0	12725.5

⑥-3 救急搬送件数

令和元年4月～10月および令和2年4月～10月の救急搬送件数は以下のとおりである。

図表 2 - 35 救急搬送件数

【重点医療機関に指定された施設】

			平均値	標準偏差	中央値
令和元年(平成31年)	4月	n=82	359.9	253.3	294.5
	5月	n=82	377.1	273.7	337.5
	6月	n=82	351.4	242.4	294.0
	7月	n=82	379.7	269.4	333.5
	8月	n=82	403.5	281.0	356.5
	9月	n=82	371.4	257.2	322.0
	10月	n=82	360.1	247.2	314.0
令和2年	4月	n=82	251.9	183.9	205.0
	5月	n=82	266.1	196.6	230.0
	6月	n=82	278.6	194.0	238.5
	7月	n=82	304.7	216.4	259.0
	8月	n=82	331.9	232.7	300.5
	9月	n=82	307.1	212.5	268.0
	10月	n=82	311.8	215.1	281.0

【協力医療機関に指定された施設】

			平均値	標準偏差	中央値
令和元年(平成31年)	4月	n=35	167.5	337.4	63.0
	5月	n=36	179.3	388.3	55.5
	6月	n=35	175.9	353.5	51.0
	7月	n=36	181.9	361.7	48.5
	8月	n=35	199.3	399.2	67.0
	9月	n=35	158.5	255.5	67.0
	10月	n=35	149.8	241.9	70.0
令和2年	4月	n=36	117.7	180.5	42.5
	5月	n=35	129.3	200.3	70.0
	6月	n=35	126.6	186.6	51.0
	7月	n=35	137.3	198.2	68.0
	8月	n=35	151.7	217.7	78.0
	9月	n=36	137.1	203.6	65.5
	10月	n=35	144.4	207.1	71.0

【その他の施設】

			平均値	標準偏差	中央値
令和元年(平成31年)	4月	n=105	23.4	113.5	1.0
	5月	n=103	25.9	121.7	1.0
	6月	n=105	22.3	103.2	1.0
	7月	n=105	24.3	115.0	1.0
	8月	n=104	27.5	135.3	1.0
	9月	n=106	24.0	114.3	1.0
	10月	n=105	23.0	108.5	1.0
令和2年	4月	n=110	18.6	92.2	1.0
	5月	n=106	21.2	101.7	1.0
	6月	n=106	20.2	91.0	1.0
	7月	n=107	21.3	102.5	1.0
	8月	n=105	23.9	118.5	1.0
	9月	n=103	21.2	103.4	1.0
10月	n=106	22.2	109.6	1.0	

図表 2 - 36 救急搬送件数（病院種別）

【精神科病院】

			平均値	標準偏差	中央値
令和元年(平成31年)	4月	n=209	5.5	23.8	1.0
	5月	n=205	6.6	27.5	1.0
	6月	n=207	5.6	23.2	1.0
	7月	n=207	5.8	24.6	1.0
	8月	n=206	6.4	30.2	1.0
	9月	n=211	6.1	29.0	1.0
	10月	n=209	5.6	23.6	1.0
令和2年	4月	n=212	4.7	22.0	1.0
	5月	n=209	5.3	23.1	1.0
	6月	n=210	5.2	21.4	1.0
	7月	n=211	5.6	23.3	1.0
	8月	n=207	6.1	27.7	1.0
	9月	n=209	5.6	25.1	1.0
	10月	n=210	5.7	25.6	1.0

【精神科を有する病院】

			平均値	標準偏差	中央値
令和元年(平成31年)	4月	n=112	354.8	291.4	276.0
	5月	n=114	366.8	325.0	289.5
	6月	n=113	345.4	287.3	291.0
	7月	n=113	373.4	310.6	312.0
	8月	n=113	397.9	331.8	333.0
	9月	n=113	357.2	270.4	307.0
	10月	n=112	349.1	258.9	289.0
令和2年	4月	n=115	246.6	196.7	203.0
	5月	n=113	265.0	211.8	220.0
	6月	n=112	277.6	204.1	226.5
	7月	n=113	298.3	227.1	238.0
	8月	n=113	326.7	247.2	277.0
	9月	n=113	301.8	226.1	248.0
	10月	n=113	307.5	229.0	272.0

図表 2 - 37 外来患者数、総入院患者数（全項目について回答ありの施設における総合計）

		N	合計		指数		
			令和元年	令和2年	前年比率 R2年/R1年	令和元年 R1年4月基準	令和2年 R1年4月基準
外来患者数 1) 初診の患者数	4月	n=286	234,741	140,249	59.7%	1.00	0.60
	5月	n=286	238,630	130,948	54.9%	1.02	0.56
	6月	n=286	235,699	186,466	79.1%	1.00	0.79
	7月	n=286	257,501	203,011	78.8%	1.10	0.86
	8月	n=286	247,074	196,230	79.4%	1.05	0.84
	9月	n=286	226,074	200,108	88.5%	0.96	0.85
	10月	n=286	233,540	217,585	93.2%	0.99	0.93
うち紹介状により紹介された患者数	4月	n=286	120,432	73,126	60.7%	0.51	0.31
	5月	n=286	116,162	63,713	54.8%	0.49	0.27
	6月	n=286	122,607	101,626	82.9%	0.52	0.43
	7月	n=286	135,009	109,441	81.1%	0.58	0.47
	8月	n=286	119,744	99,596	83.2%	0.51	0.42
	9月	n=286	114,762	107,069	93.3%	0.49	0.46
	10月	n=286	122,185	119,777	98.0%	0.52	0.51
外来患者数 2) 再診の患者数	4月	n=286	3,227,876	2,541,628	78.7%	13.75	10.83
	5月	n=286	2,996,226	2,233,322	74.5%	12.76	9.51
	6月	n=286	3,027,687	2,795,090	92.3%	12.90	11.91
	7月	n=286	3,265,509	2,929,008	89.7%	13.91	12.48
	8月	n=286	3,101,218	2,739,984	88.4%	13.21	11.67
	9月	n=286	2,976,455	2,880,573	96.8%	12.68	12.27
	10月	n=286	3,193,104	3,079,553	96.4%	13.60	13.12
外来患者数 3) 紹介状によりほかの病院又は診療所に紹介した患者数	4月	n=286	128,984	97,877	75.9%	0.55	0.42
	5月	n=286	421,864	86,140	20.4%	1.80	0.37
	6月	n=286	119,181	104,246	87.5%	0.51	0.44
	7月	n=286	131,975	111,521	84.5%	0.56	0.48
	8月	n=286	124,556	105,520	84.7%	0.53	0.45
	9月	n=286	118,430	109,386	92.4%	0.50	0.47
	10月	n=286	123,625	119,500	96.7%	0.53	0.51
総入院患者数	4月	n=286	2,574,074	2,342,396	91.0%	10.97	9.98
	5月	n=286	2,603,752	2,264,876	87.0%	11.09	9.65
	6月	n=286	2,583,787	2,341,505	90.6%	11.01	9.97
	7月	n=286	2,680,213	2,493,546	93.0%	11.42	10.62
	8月	n=286	2,671,075	2,495,111	93.4%	11.38	10.63
	9月	n=286	2,548,743	2,408,143	94.5%	10.86	10.26
	10月	n=286	2,644,619	2,575,663	97.4%	11.27	10.97
救急搬送件数	4月	n=286	40,663	29,225	71.9%	0.17	0.12
	5月	n=286	43,000	30,995	72.1%	0.18	0.13
	6月	n=286	40,040	32,007	79.9%	0.17	0.14
	7月	n=286	43,291	34,692	80.1%	0.18	0.15
	8月	n=286	46,103	37,934	82.3%	0.20	0.16
	9月	n=286	41,485	35,001	84.4%	0.18	0.15
	10月	n=286	40,023	35,715	89.2%	0.17	0.15

図表 2 - 38 外来患者数、総入院患者数（全項目について回答ありの施設における総合計）
（病院種別）

【重点医療機関に指定された施設】

		N	合計		指数			
			令和元年	令和2年	前年比率 R2年/R1年	令和元年 R1年4月基準	令和2年 R1年4月基準	
外来患者数 1) 初診の患者数	4月	n=83	169,853	96,305	56.7%	1.00	0.57	
	5月	n=83	172,555	89,590	51.9%	1.02	0.53	
	6月	n=83	170,550	130,585	76.6%	1.00	0.77	
	7月	n=83	186,223	143,731	77.2%	1.10	0.85	
	8月	n=83	178,950	139,563	78.0%	1.05	0.82	
	9月	n=83	164,387	141,331	86.0%	0.97	0.83	
	10月	n=83	170,123	152,121	89.4%	1.00	0.90	
	うち紹介状により紹介された患者数	4月	n=82	91,325	54,166	59.3%	0.54	0.32
		5月	n=82	87,842	46,487	52.9%	0.52	0.27
		6月	n=82	92,798	76,014	81.9%	0.55	0.45
		7月	n=82	102,326	82,631	80.8%	0.60	0.49
		8月	n=83	90,892	75,046	82.6%	0.54	0.44
		9月	n=83	87,080	80,934	92.9%	0.51	0.48
		10月	n=83	93,518	90,341	96.6%	0.55	0.53
外来患者数 2) 再診の患者数	4月	n=82	2,112,962	1,608,479	76.1%	12.44	9.47	
	5月	n=82	1,932,214	1,403,263	72.6%	11.38	8.26	
	6月	n=82	1,951,117	1,801,234	92.3%	11.49	10.60	
	7月	n=82	2,097,192	1,881,981	89.7%	12.35	11.08	
	8月	n=82	1,998,389	1,756,598	87.9%	11.77	10.34	
	9月	n=82	1,923,165	1,864,173	96.9%	11.32	10.98	
	10月	n=82	2,075,210	1,978,410	95.3%	12.22	11.65	
外来患者数 3) 紹介状によりほかの病院又は診療所に紹介した患者数	4月	n=81	93,186	72,749	78.1%	0.55	0.43	
	5月	n=81	381,886	675,195	176.8%	2.25	3.98	
	6月	n=81	87,795	75,911	86.5%	0.52	0.45	
	7月	n=81	97,985	82,031	83.7%	0.58	0.48	
	8月	n=81	91,868	77,732	84.6%	0.54	0.46	
	9月	n=81	86,949	80,552	92.6%	0.51	0.47	
総入院患者数	4月	n=82	1,154,795	987,090	85.5%	6.80	5.81	
	5月	n=82	1,152,496	909,988	79.0%	6.79	5.36	
	6月	n=82	1,160,040	983,268	84.8%	6.83	5.79	
	7月	n=82	1,203,690	1,068,563	88.8%	7.09	6.29	
	8月	n=82	1,197,533	1,071,018	89.4%	7.05	6.31	
	9月	n=82	1,137,037	1,034,739	91.0%	6.69	6.09	
	10月	n=82	1,186,333	1,150,116	96.9%	6.98	6.77	
救急搬送件数	4月	n=82	29,508	20,658	70.0%	0.17	0.12	
	5月	n=82	30,924	21,819	70.6%	0.18	0.13	
	6月	n=82	28,813	22,843	79.3%	0.17	0.13	
	7月	n=82	31,132	24,987	80.3%	0.18	0.15	
	8月	n=82	33,089	27,214	82.2%	0.19	0.16	
	9月	n=82	30,456	25,185	82.7%	0.18	0.15	
	10月	n=82	29,526	25,566	86.6%	0.17	0.15	

【協力医療機関に指定された施設】

		N	合計		指数		
			令和元年	令和2年	前年比率 R2年/R1年	令和元年 R1年4月基準	令和2年 R1年4月基準
外来患者数 1) 初診の患者数	4月	n=39	36,257	23,945	66.0%	0.21	0.14
	5月	n=39	37,766	22,721	60.2%	0.22	0.13
	6月	n=39	35,979	30,189	83.9%	0.21	0.18
	7月	n=39	40,144	32,178	80.2%	0.24	0.19
	8月	n=39	38,780	31,535	81.3%	0.23	0.19
	9月	n=39	34,353	33,402	97.2%	0.20	0.20
	10月	n=39	34,331	37,327	108.7%	0.20	0.22
うち紹介状により紹介された患者数	4月	n=34	15,651	10,273	65.6%	0.09	0.06
	5月	n=34	15,722	9,395	59.8%	0.09	0.06
	6月	n=34	16,341	13,822	84.6%	0.10	0.08
	7月	n=34	18,303	14,301	78.1%	0.11	0.08
	8月	n=34	15,737	13,131	83.4%	0.09	0.08
	9月	n=34	15,148	14,106	93.1%	0.09	0.08
	10月	n=34	15,424	15,737	102.0%	0.09	0.09
外来患者数 2) 再診の患者数	4月	n=39	458,571	370,906	80.9%	2.70	2.18
	5月	n=39	437,250	324,139	74.1%	2.57	1.91
	6月	n=39	438,659	392,140	89.4%	2.58	2.31
	7月	n=39	483,384	415,587	86.0%	2.85	2.45
	8月	n=39	457,224	388,630	85.0%	2.69	2.29
	9月	n=39	428,028	402,750	94.1%	2.52	2.37
	10月	n=39	444,745	428,463	96.3%	2.62	2.52
外来患者数 3) 紹介状によりほかの病院又は診療所に紹介した患者数	4月	n=35	23,568	14,690	62.3%	0.14	0.09
	5月	n=35	27,745	19,154	69.0%	0.16	0.11
	6月	n=35	18,418	15,431	83.8%	0.11	0.09
	7月	n=35	20,398	16,871	82.7%	0.12	0.10
	8月	n=35	19,932	16,001	80.3%	0.12	0.09
	9月	n=35	18,620	16,204	87.0%	0.11	0.10
	10月	n=35	18,070	17,743	98.2%	0.11	0.10
総入院患者数	4月	n=39	344,630	322,261	93.5%	2.03	1.90
	5月	n=39	347,145	311,279	89.7%	2.04	1.83
	6月	n=39	349,228	319,727	91.6%	2.06	1.88
	7月	n=39	363,618	339,020	93.2%	2.14	2.00
	8月	n=39	358,266	337,583	94.2%	2.11	1.99
	9月	n=39	333,322	325,186	97.6%	1.96	1.91
	10月	n=39	345,914	343,049	99.2%	2.04	2.02
救急搬送件数	4月	n=35	5,863	4,238	72.3%	0.03	0.02
	5月	n=36	6,454	4,524	70.1%	0.04	0.03
	6月	n=35	6,155	4,430	72.0%	0.04	0.03
	7月	n=36	6,548	4,805	73.4%	0.04	0.03
	8月	n=35	6,976	5,308	76.1%	0.04	0.03
	9月	n=35	5,549	4,937	89.0%	0.03	0.03
	10月	n=35	5,242	5,055	96.4%	0.03	0.03

【その他の施設】

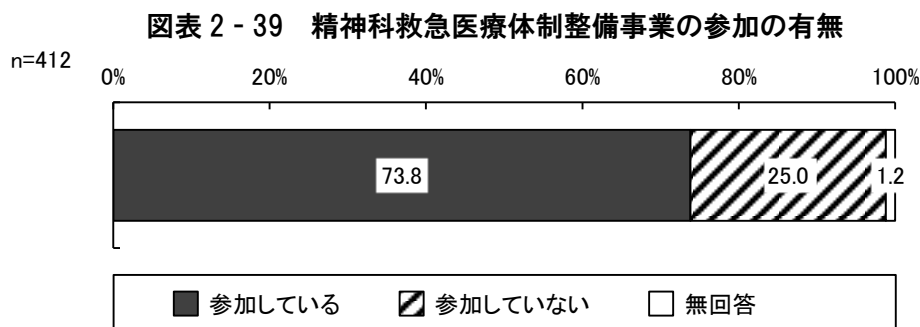
		N	合計		指数			
			令和元年	令和2年	前年比率 R2年/R1年	令和元年 R1年4月基準	令和2年 R1年4月基準	
外来患者数 1) 初診の患者数	4月	n=130	15,850	11,697	73.8%	0.09	0.07	
	5月	n=130	15,716	10,899	69.3%	0.09	0.06	
	6月	n=130	16,396	14,511	88.5%	0.10	0.09	
	7月	n=130	17,320	15,053	86.9%	0.10	0.09	
	8月	n=130	16,254	13,985	86.0%	0.10	0.08	
	9月	n=130	15,540	14,182	91.3%	0.09	0.08	
	10月	n=130	16,504	15,858	96.1%	0.10	0.09	
	うち紹介状 により紹介 された患者 数	4月	n=109	5,723	4,207	73.5%	0.03	0.02
		5月	n=109	5,463	3,687	67.5%	0.03	0.02
		6月	n=109	5,752	5,344	92.9%	0.03	0.03
7月		n=109	6,389	5,618	87.9%	0.04	0.03	
8月		n=109	5,678	4,986	87.8%	0.03	0.03	
9月		n=109	5,413	5,268	97.3%	0.03	0.03	
10月		n=109	5,748	5,870	102.1%	0.03	0.03	
外来患者数 2) 再診の患者 数	4月	n=127	379,460	338,962	89.3%	2.23	2.00	
	5月	n=127	361,619	303,810	84.0%	2.13	1.79	
	6月	n=127	370,618	347,000	93.6%	2.18	2.04	
	7月	n=127	395,560	368,382	93.1%	2.33	2.17	
	8月	n=127	371,448	345,937	93.1%	2.19	2.04	
	9月	n=127	358,822	356,424	99.3%	2.11	2.10	
	10月	n=127	389,572	396,408	101.8%	2.29	2.33	
外来患者数 3) 紹介状によ りほかの病院 又は診療所に 紹介した患者 数	4月	n=106	5,802	5,079	87.5%	0.03	0.03	
	5月	n=106	5,955	4,363	73.3%	0.04	0.03	
	6月	n=106	6,390	5,741	89.8%	0.04	0.03	
	7月	n=106	6,785	5,857	86.3%	0.04	0.03	
	8月	n=106	6,364	5,585	87.8%	0.04	0.03	
	9月	n=107	6,188	5,755	93.0%	0.04	0.03	
	10月	n=107	6,253	6,175	98.8%	0.04	0.04	
総入院患者数	4月	n=128	718,760	698,123	97.1%	4.23	4.11	
	5月	n=128	739,274	711,824	96.3%	4.35	4.19	
	6月	n=128	719,951	700,908	97.4%	4.24	4.13	
	7月	n=128	745,260	731,824	98.2%	4.39	4.31	
	8月	n=128	747,088	732,125	98.0%	4.40	4.31	
	9月	n=128	752,508	706,904	93.9%	4.43	4.16	
	10月	n=128	744,306	728,845	97.9%	4.38	4.29	
救急搬送件数	4月	n=103	2,460	2,047	83.2%	0.01	0.01	
	5月	n=102	2,670	2,246	84.1%	0.02	0.01	
	6月	n=103	2,338	2,138	91.4%	0.01	0.01	
	7月	n=103	2,548	2,282	89.6%	0.02	0.01	
	8月	n=103	2,863	2,505	87.5%	0.02	0.01	
	9月	n=105	2,544	2,187	86.0%	0.01	0.01	
	10月	n=103	2,411	2,357	97.8%	0.01	0.01	

(3) 救急医療の提供状況

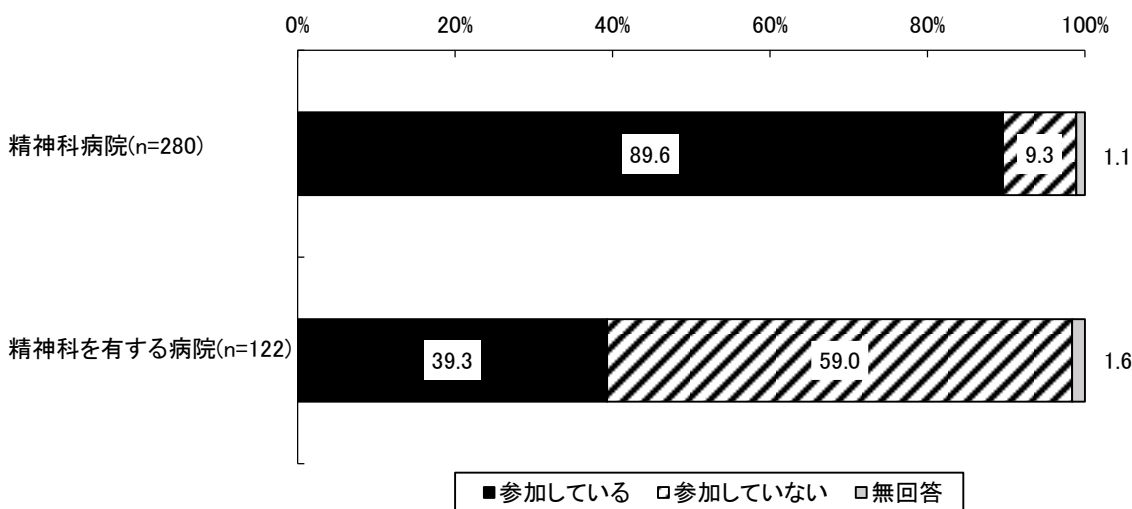
① 精神科救急医療体制整備事業の参加の有無(令和2年10月30日時点)

精神科救急医療体制整備事業に「参加している」と回答した施設は全体の73.8%であった。

なお、参加していない理由としては、「体制が整っていないため(入院対応不可、医師やスタッフ不足、看護配置基準を満たしていない等)」、「救急対応困難なため」、「同じ地域に参加病院がある」等の回答があった。



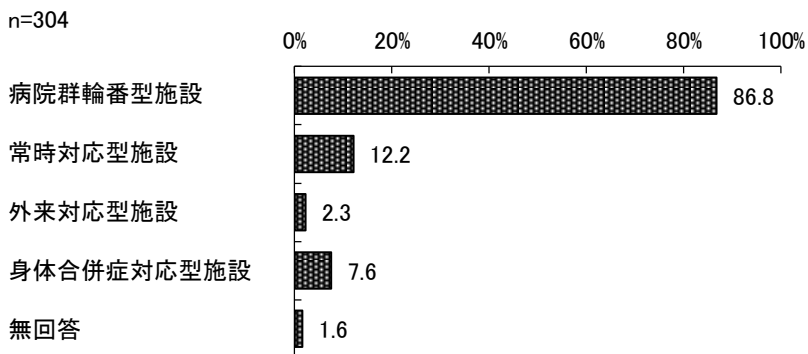
図表 2 - 40 精神科救急医療体制整備事業の参加の有無(病院種別)



①-1 精神科救急医療体制の種別(令和2年10月30日時点)

参加している精神科救急医療体制の種別で最も多いものが「病院群輪番型施設」で86.8%であった。

図表 2 - 41 参加している精神科救急医療体制の種別(複数回答)

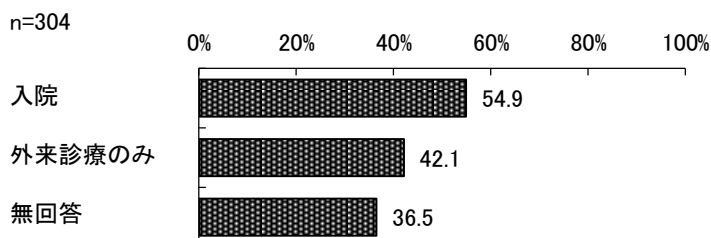


①-2 精神科救急医療体制整備事業の当番日と診療実績(令和2年10月)

令和2年10月の1か月間の当番日数と診療実績は以下のとおりであった。

図表2-42 精神科救急医療体制整備事業の当番日と診療実績

		平均値	標準偏差	中央値
令和2年10月1か月間の精神科救急医療体制整備事業の当番日	n=291	7.4	9.4	4.0



		入院			外来診療のみ			
		平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値	
令和2年10月1か月間に精神科救急医療体制整備事業の診療実績件数	n=167	5.2	8.7	3.0	n=128	23.2	192.1	2.0

② 時間外、休日、深夜の救急外来体制

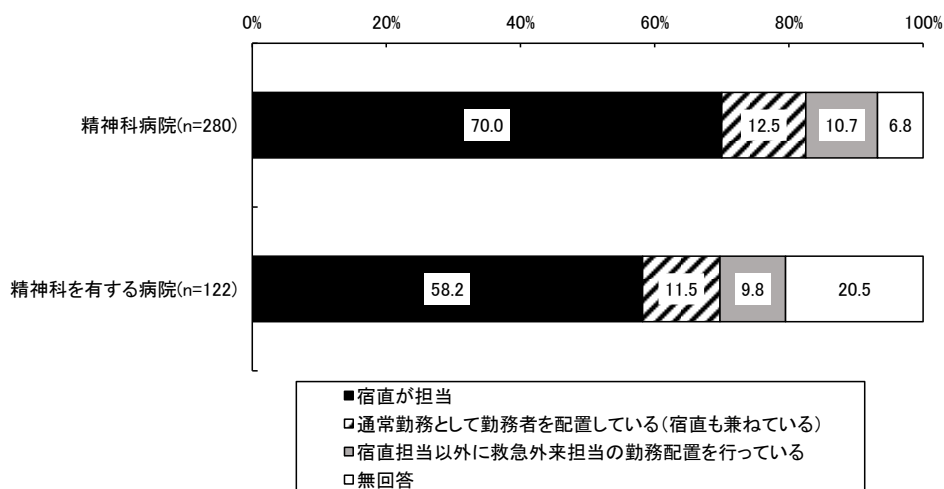
精神疾患にかかる時間外、休日、深夜の救急外来体制は以下のとおりであった。

【医師】

図表2-43 精神疾患にかかる時間外、休日、深夜の救急外来を担当する医師数(病院種別)

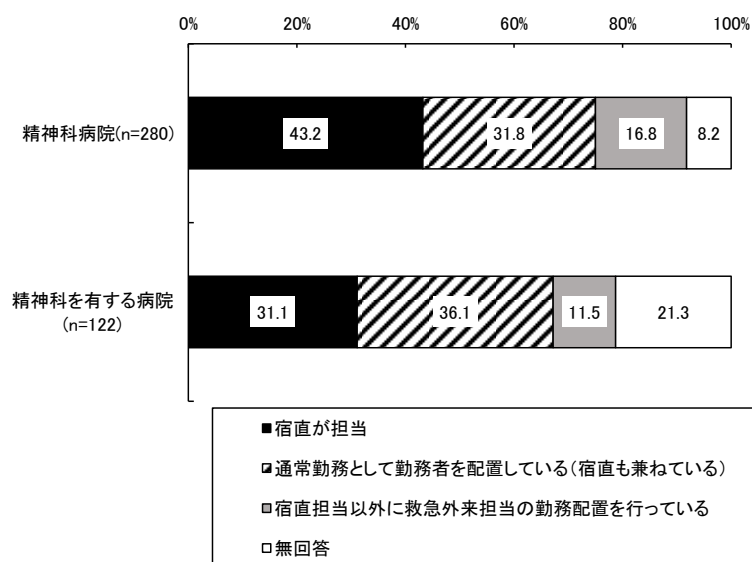
		調査数	平均値	標準偏差	中央値
a. 医師総数	全体	n=382	11.4	48.7	1.0
	精神科病院	n=266	3.6	7.3	1.0
	精神科を有する病院	n=107	31.5	88.2	2.0
b. (うち)精神科医	全体	n=308	3.2	5.6	1.0
	精神科病院	n=203	3.0	5.5	1.0
	精神科を有する病院	n=96	3.7	6.0	1.0
c. (うち)精神保健指定医	全体	n=314	2.7	5.0	1.0
	精神科病院	n=217	2.8	5.5	1.0
	精神科を有する病院	n=89	2.4	3.5	1.0

図表 2 - 44 精神疾患にかかる時間外、休日、深夜の救急外来の実施体制（病院種別）



【看護師（保健師含む）】

図表 2 - 45 精神疾患にかかる時間外、休日、深夜の救急外来の実施体制（病院種別）

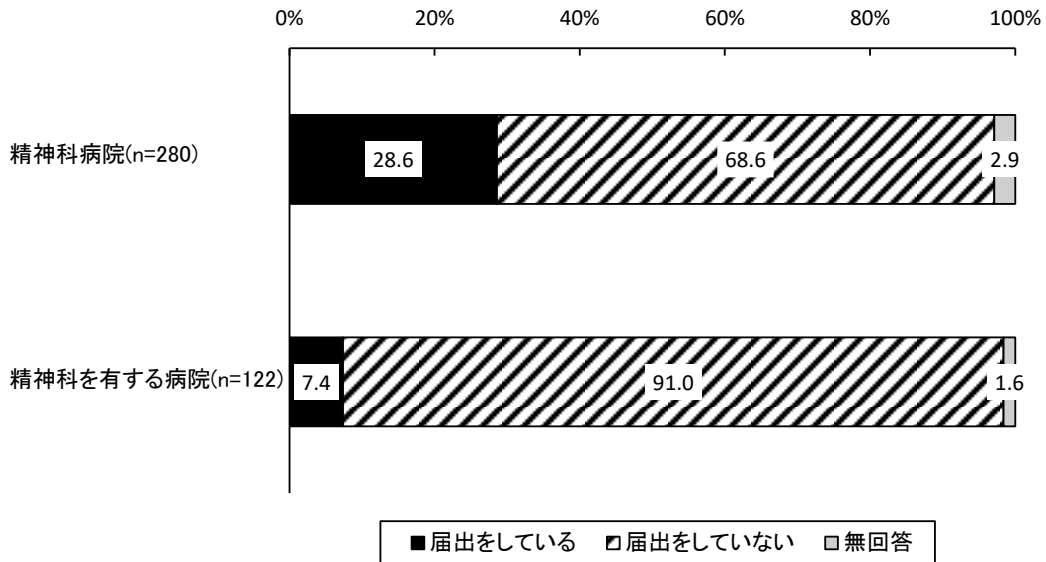


(4) 精神科救急入院料等について

① 精神科救急入院料の届出の有無

精神科救急入院料の届出状況をみると、病院種別では、精神科病院では、「届出をしている」が28.6%、精神科を有する病院は7.4%であった。

図表 2 - 46 精神科救急入院料の届出の有無（病院種別）



② 患者数(令和元年11月～令和2年10月)

令和元年11月～令和2年10月の入院形態別患者数は以下のとおりであった。

図表2-47 入院形態別患者数(延べ人数)

		平均値	標準偏差	中央値
措置入院患者数	n=90	265.6	1160.3	15.5
緊急措置入院患者数	n=86	7.6	13.1	3.0
応急入院患者数	n=89	17.2	19.6	11.0
鑑定入院患者数	n=85	24.0	112.1	0.0
医療観察法入院数	n=81	159.2	809.6	0.0

③ 精神疾患に係る救急外来診療件数

令和元年11月～令和2年10月の精神疾患に係る救急外来診療件数は以下のとおりであった。

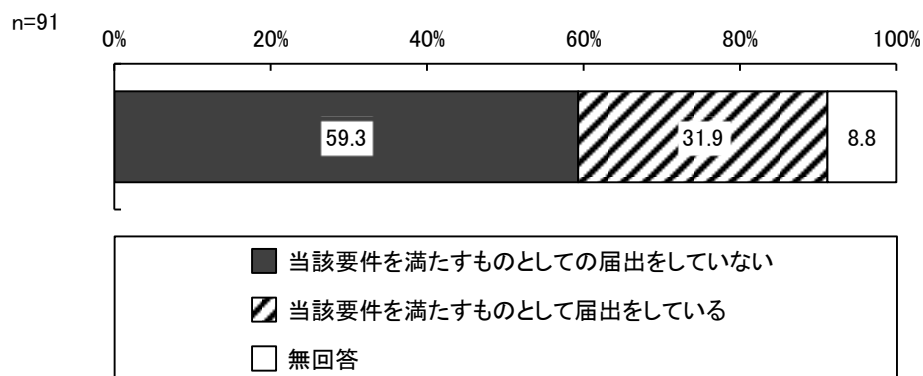
図表2-48 精神疾患に係る救急外来診療件数

		平均値	標準偏差	中央値
時間外の診療件数	n=80	219.1	153.8	154.5
休日の診療件数	n=69	94.8	95.1	63.0
深夜の診療件数	n=68	50.3	58.0	33.5

④ 精神疾患に係る時間外、休日又は深夜における診療(電話等再診を除く)件数の年間実績について「人口1万人当たり1.87件以上であること」という要件を満たすものとしての届出有無

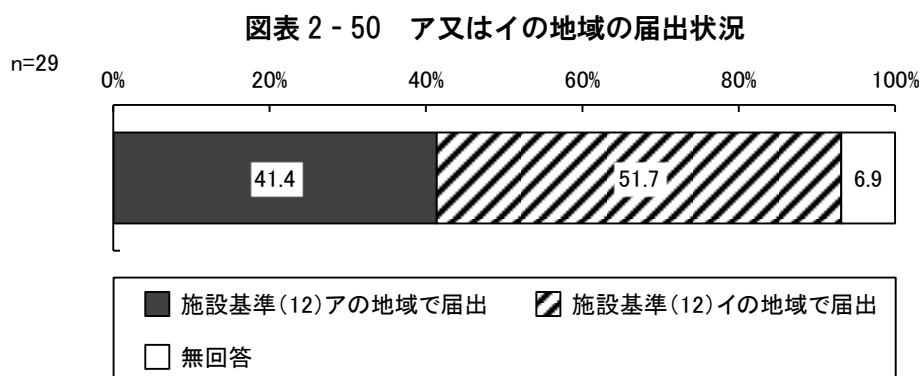
常時精神科救急外来診療が可能であり、精神疾患に係る時間外、休日又は深夜における診療(電話等再診を除く)件数の年間実績について、「施設基準1の(12)のア又はイの地域における人口1万人当たり1.87件以上であること」という要件を満たすものとしての届出有無については「届出をしていない」が59.3%であり、「届出をしている」と回答したのは31.9%であった。

図表2-49 人口1万人当たり1.87件以上であるという要件を満たすものとしての届出有無



④-1 ア又はイの地域の届出状況

施設基準1の(12)のア又はイの地域の届出状況は以下のとおりで、「施設基準(12)アの地域で届出をしている」が41.4%「施設基準(12)イの地域で届出をしている」施設が51.7%であった。



注: ア 当該保険医療機関の所在地の都道府県(政令市の区域を含むものとする)

イ 1 精神科救急医療圏と1 基幹病院が対となって明確に区分された医療圏がある場合(例えば政令市は市立病院が政令市以外の地区は県立病院が救急基幹病院となる)は当該圏域。

④-2 初診患者数の延べ人数

初診患者数(精神疾患について過去3か月間に当該保険医療機関に受診していない患者)の延べ人数は以下のとおりである。

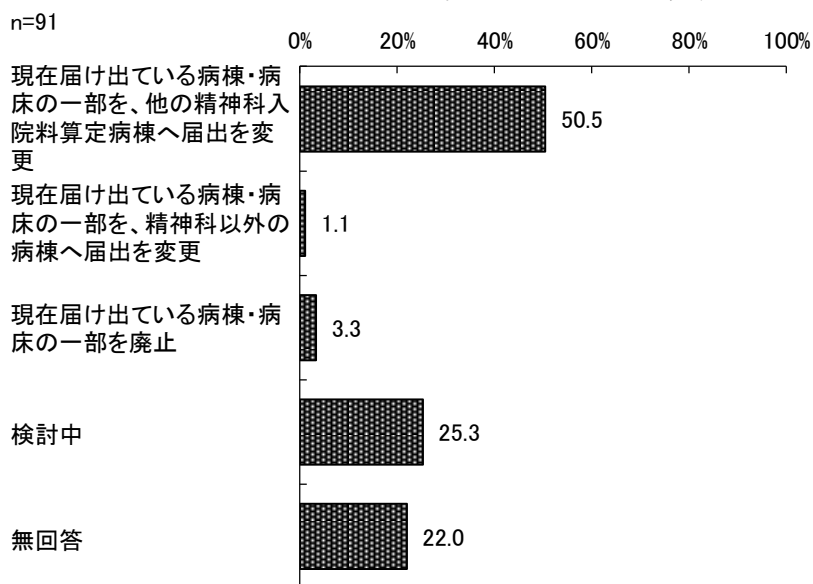
図表 2 - 51 初診患者数(精神疾患について過去3か月間に当該保険医療機関に受診していない患者)の延べ人数

		平均値	標準偏差	中央値
常時精神科救急外来診療が可能であり精神疾患に係る時間外、休日又は深夜における診療件数の年間実績のうち初診患者延べ人数	n=37	88.2	67.2	75.0

⑤ 施設基準を満たさなくなった場合の対応方法

令和4年4月以降、病棟数または病床数の上限に関する施設基準を満たさなくなった場合の対応方法としては、「現在届け出ている病棟・病床の一部を、他の精神科入院料算定病棟へ届出を変更」と回答した施設が50.5%であった。

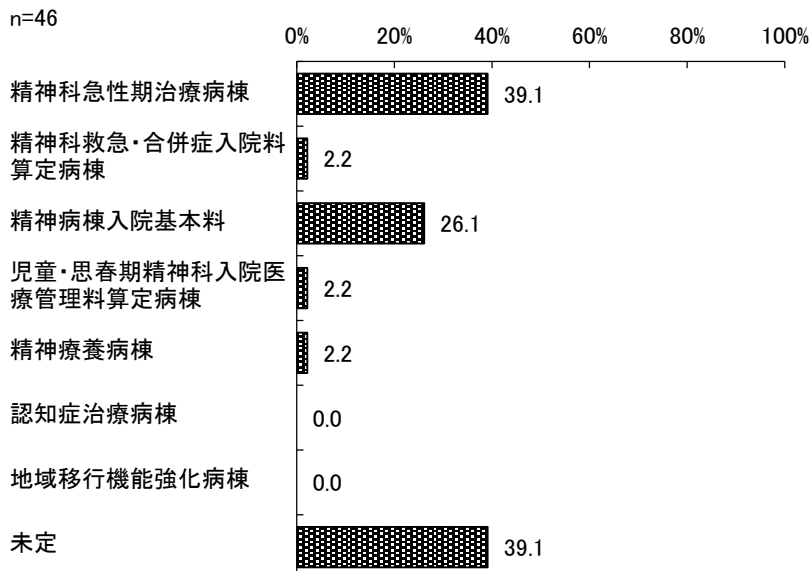
図表2-52 病棟数または病床数の上限に関する施設基準を満たさなくなった場合の対応方法（複数回答）



【「現在届け出ている病棟・病床の一部を、他の精神科入院料算定病棟へ届出を変更」と回答した場合の検討している他の精神科入院料算定病棟等の種類】

前問で「現在届け出ている病棟・病床の一部を、他の精神科入院料算定病棟へ届出を変更」と回答した施設を対象に、検討している他の精神科入院料算定病棟等の種類を尋ねたところ、「精神科急性期治療病棟」39.1%が最も多くなっていた。なお、「未定」も39.1%みられた。

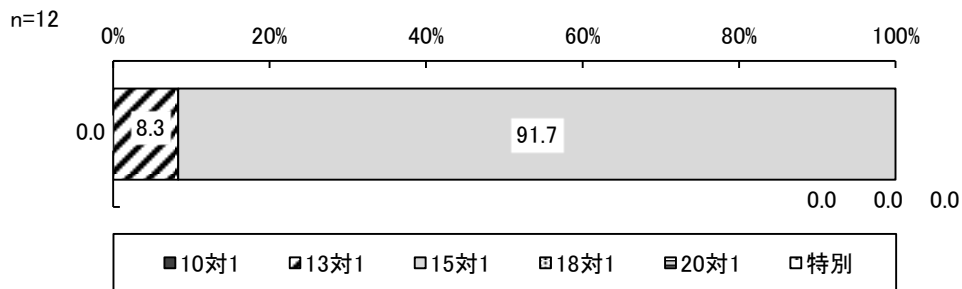
図表 2 - 53 現在届け出ている病棟・病床の一部を、他の精神科入院料算定病棟へ届出を変更する場合の、検討している他の精神科入院料算定病棟等の種類（複数回答）



【前問で「精神病棟入院基本料」と回答した場合の区分】

前問で、「精神病棟入院基本料」と回答した施設について、その区分を尋ねたところ、「15対1」が91.7%であった。

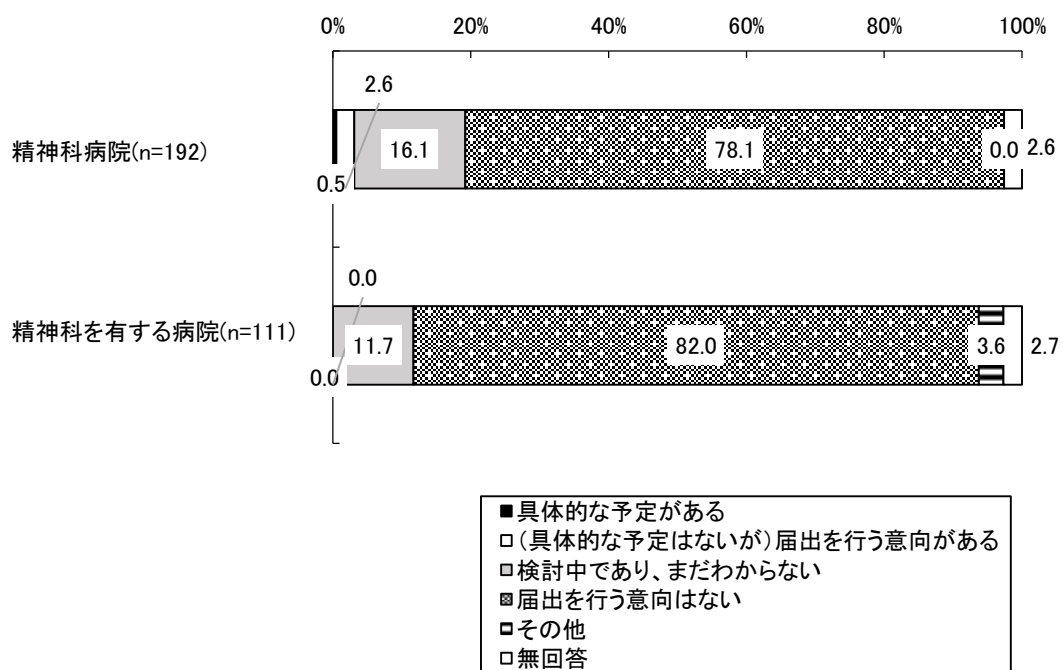
図表 2 - 54 精神病棟入院基本料と回答した場合の区分



⑥ 精神科救急入院料の届出意向

精神科救急入院料の届出意向について病院種別に見ると、精神科病院では、「届出を行う意向はない」78.1%、「検討中であり、まだわからない」が16.1%であった。精神科を有する病院は、それぞれ82.0%、11.7%であった。

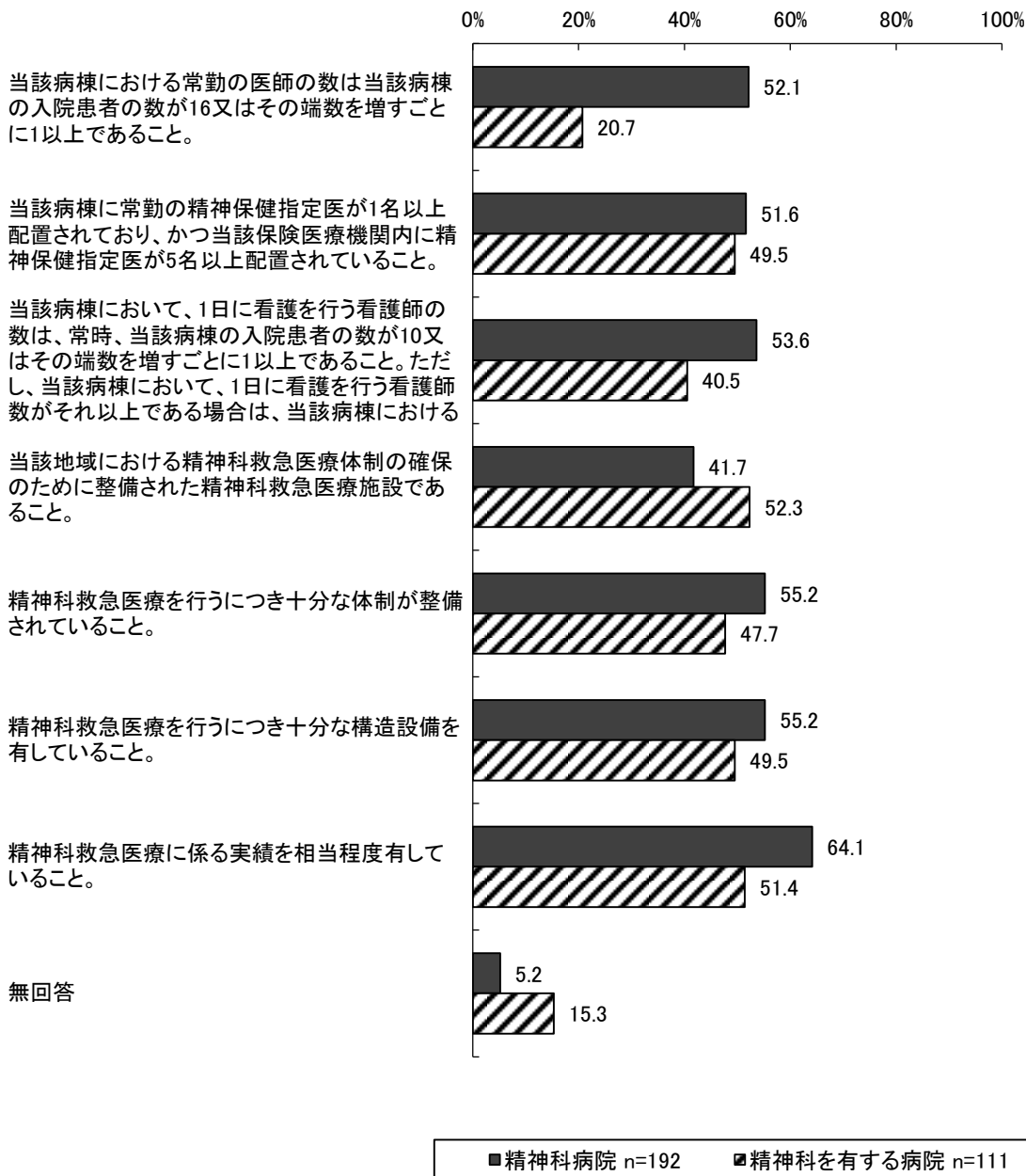
図表 2 - 55 精神科救急入院料の届出意向（病院種別）



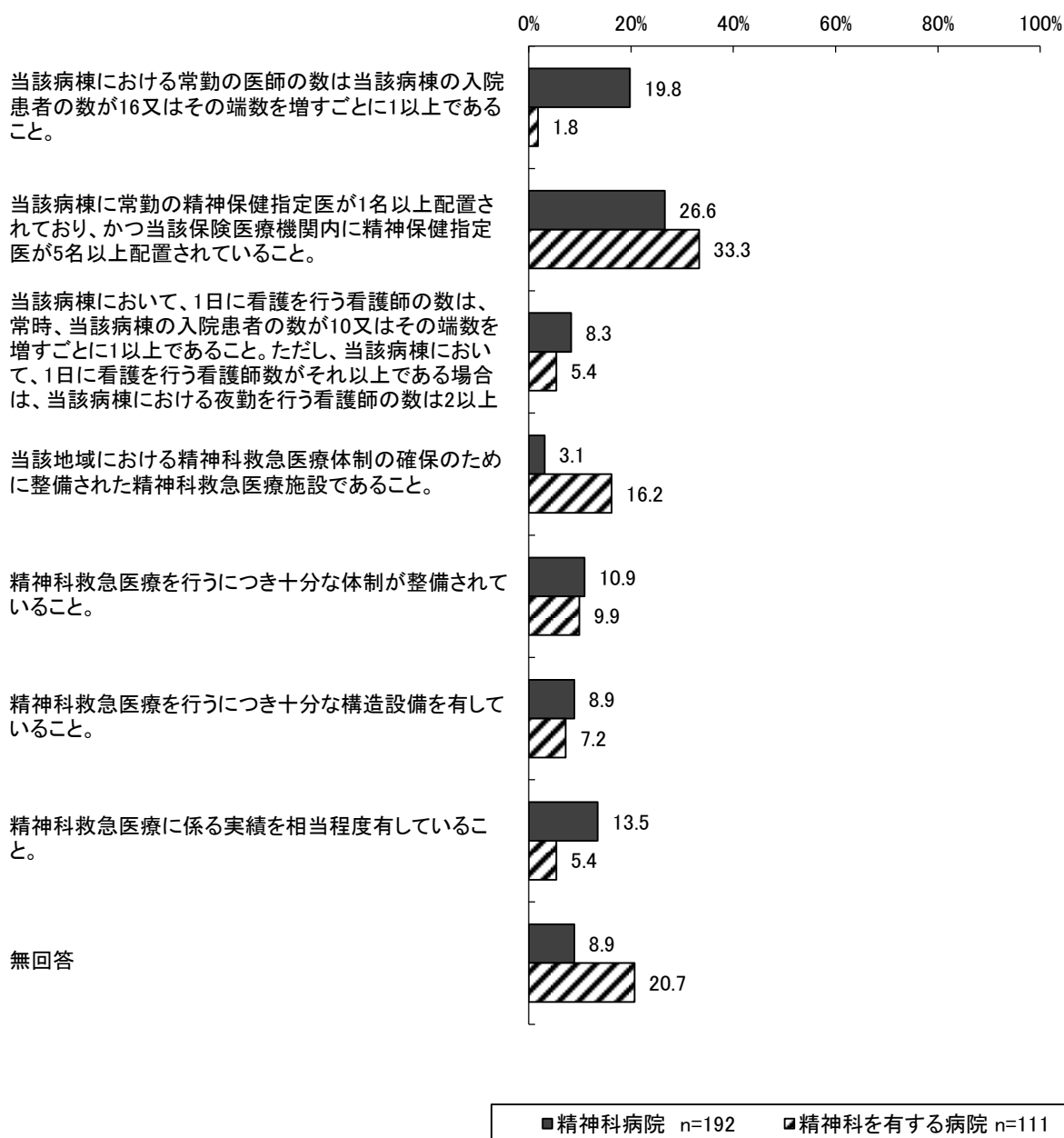
⑦ 精神科救急入院料の要件のうち満たすことが難しいもの

「精神科救急入院料の要件のうち満たすことが難しいもの」は以下のとおりであった。

図表 2 - 56 精神科救急入院料の要件のうち満たすことが難しいもの（病院種別）（複数回答）



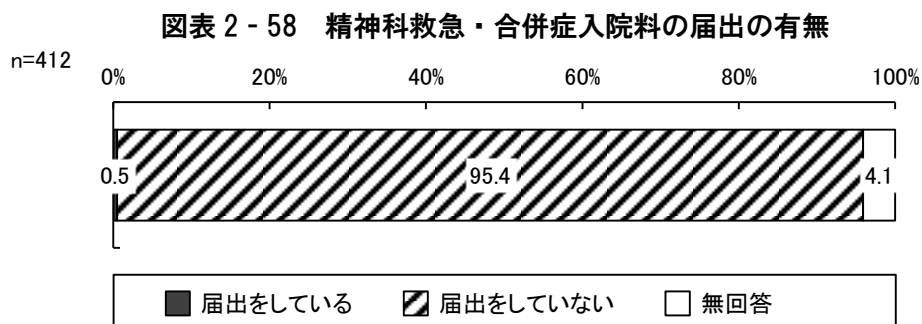
図表 2 - 57 精神科救急入院料の要件のうち満たすことが最も難しいもの（病院種別）



(5) 精神科救急・合併症入院料について

① 精神科救急・合併症入院料の届出の有無

精神科救急・合併症入院料の届出状況を見ると、95.4%の施設で届出なしとの回答であった。



② 入院日数(令和2年10月)

令和2年10月の該当する病棟の入院日数は以下のとおりであった。

図表 2 - 59 該当する病棟の入院日数

	令和2年10月の該当する病棟の入院日数			
	n	平均値	標準偏差	中央値
a. 令和2年10月の1か月間当該入院料を算定している病棟の延べ入院日数	n=2	896.0	76.0	896.0
b. (うち) 新規入院患者の延べ入院日数	n=2	162.5	143.5	162.5

③ 退院患者数(令和元年11月～令和2年10月)

該当する病棟の直近1年間の各退院患者数のうち以下に該当する患者数は以下のとおりであった。

図表 2 - 60 該当する病棟の直近1年間の新規入院患者の退院患者数

・該当する病棟の1年間の退院患者数のうち措置入院患者数、鑑定入院患者数、医療観察法入院患者数、クロザピンの新規導入を目的とした入院患者数を対象

	n	平均値	標準偏差	中央値
a. 令和元年11月から令和2年10月における直近1年間について入院日から起算して3か月以内に退院し自宅等へ移行した患者数	n=2	7.5	4.5	7.5
b. 令和元年11月から令和2年10月における直近1年間について3か月超の後に退院した患者数	n=2	2.5	2.5	2.5

④ 救急外来診療件数(令和元年11月～令和2年10月)

該当する病棟の直近1年間の精神疾患に係る救急外来診療件数は以下のとおりであった。

図表2-61 該当する病棟の直近1年間の精神疾患に係る救急外来診療件数

		平均値	標準偏差	中央値
時間外の診療件数	n=2	52.0	48.0	52.0
休日の診療件数	n=2	33.0	17.0	33.0
深夜の診療件数	n=2	30.0	28.0	30.0

⑤ 新規入院患者数(令和元年11月～令和2年10月)

当該病棟の新規入院患者数は以下のとおりであった。

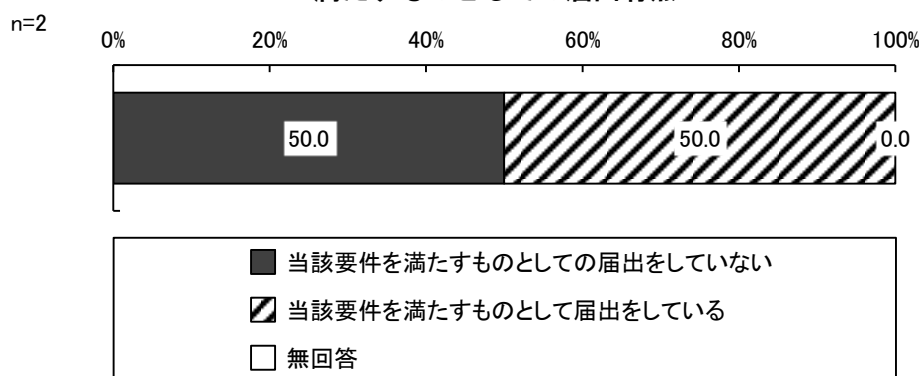
図表2-62 当該病棟の新規入院患者数

		平均値	標準偏差	中央値
当該病棟の新規入院患者数	n=2	249.0	50.0	249.0
措置入院患者数	n=2	8.5	6.5	8.5
緊急措置入院	n=2	1.0	0.0	1.0
医療保護入院	n=2	216.5	32.5	216.5
応急入院	n=2	18.0	4.0	18.0
鑑定入院	n=2	0.0	0.0	0.0
医療観察法入院	n=2	0.0	0.0	0.0
合併症ユニットへ入院する身体疾患を有する精神障害者	n=2	111.0	9.0	111.0

⑥ 精神疾患に係る時間外、休日又は深夜における診療実績に関する要件の届出有無

常時精神科救急外来診療が可能であり、精神疾患に係る時間外、休日又は深夜における診療(電話等再診を除く)件数の年間実績について、「施設基準1の(12)のア又はイの地域における人口1万人当たり2.5件以上であること」という要件を満たすものとしての届出有無については以下のとおりであった。

図表2-63 人口1万人当たり2.5件以上であること」という要件を満たすものとしての届出有無



注: ア 当該保険医療機関の所在地の都道府県(政令市の区域を含むものとする)

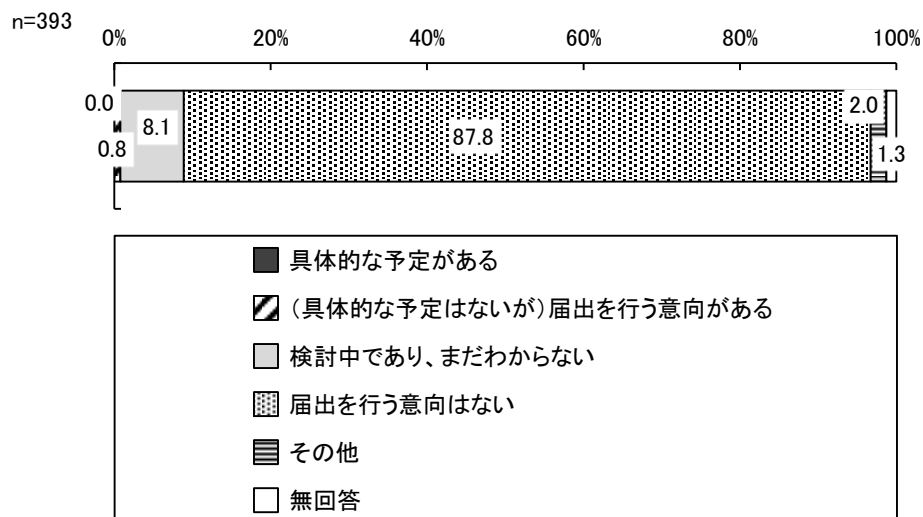
イ 1 精神科救急医療圏と1 基幹病院が対となって明確に区分された医療圏がある場合(例えば政令市は市立病院が政令市以外の地区は県立病院が救急基幹病院となる)は、当該圏域。

⑦ 精神科救急・合併症入院料の届出意向の有無

精神科救急・合併症入院料の届出意向については、「届出を行う意向はない」と回答した施設が 87.8%であった。

なお、「その他」としては、「現在の基準では精神科単科病院では検討が難しい」等の回答があった。

図表 2 - 64 精神科救急・合併症入院料の届出意向の有無



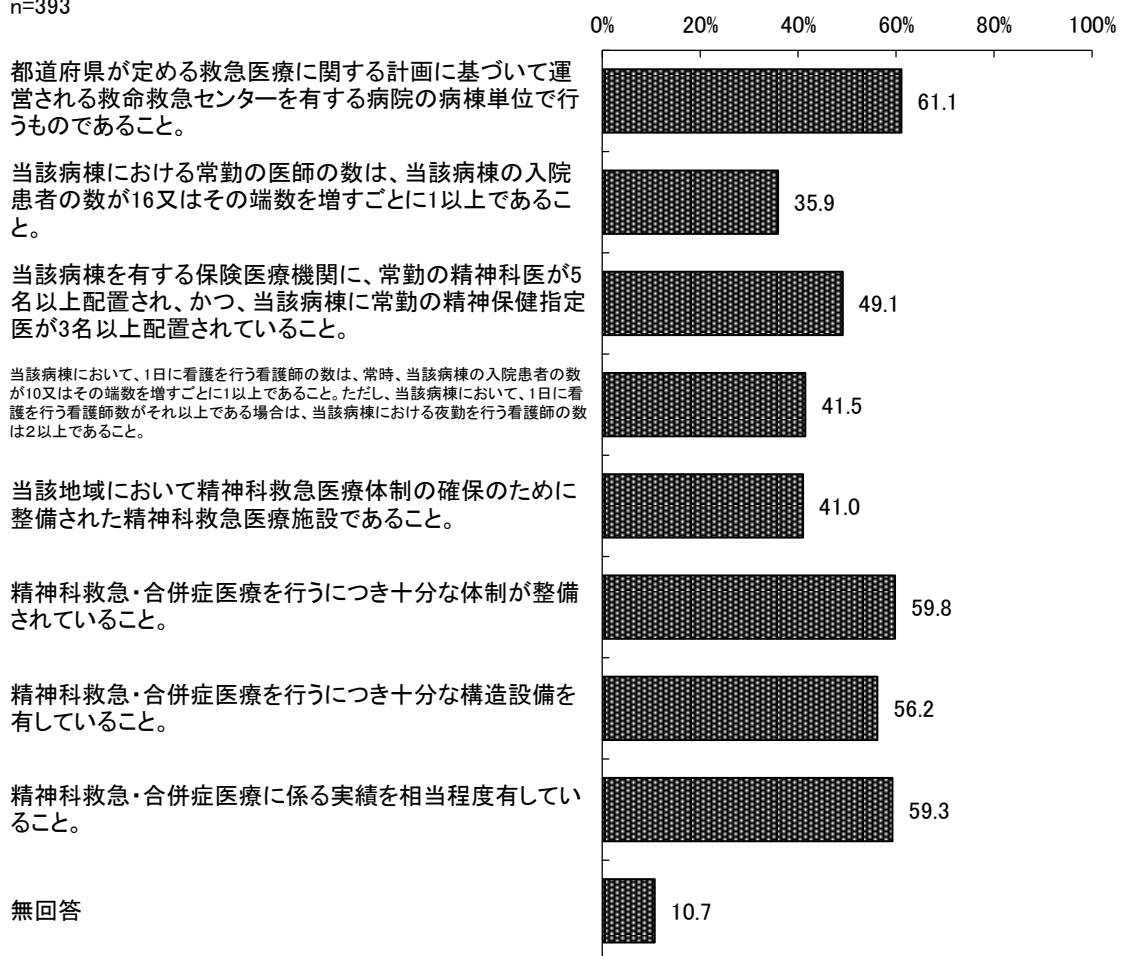
⑧ 精神科救急・合併症入院料の届出の要件として満たすことが難しいもの

精神科救急・合併症入院料の届出の要件として満たすことが難しいものについてみると、「都道府県が定める救急医療に関する計画に基づいて運営される救命救急センターを有する病院の病棟単位で行うものであること」(61.1%)、「精神科救急・合併症医療を行うにつき十分な体制が整備されていること」(59.8%)、「精神科救急・合併医療に係る実績を相当程度有していること」(59.3%)の順であった。

また、精神科救急・合併症入院料の要件として最も満たすことが難しいものをみると、「都道府県が定める救急医療に関する計画に基づいて運営される救命救急センターを有する病院の病棟単位で行うものであること」(27.7%)、「当該病棟を有する保険医療機関に、常勤の精神科医が5名以上配置され、かつ、当該病棟に常勤の精神保健指定医が3名以上配置されていること」(20.9%)の順に多くなっていた。

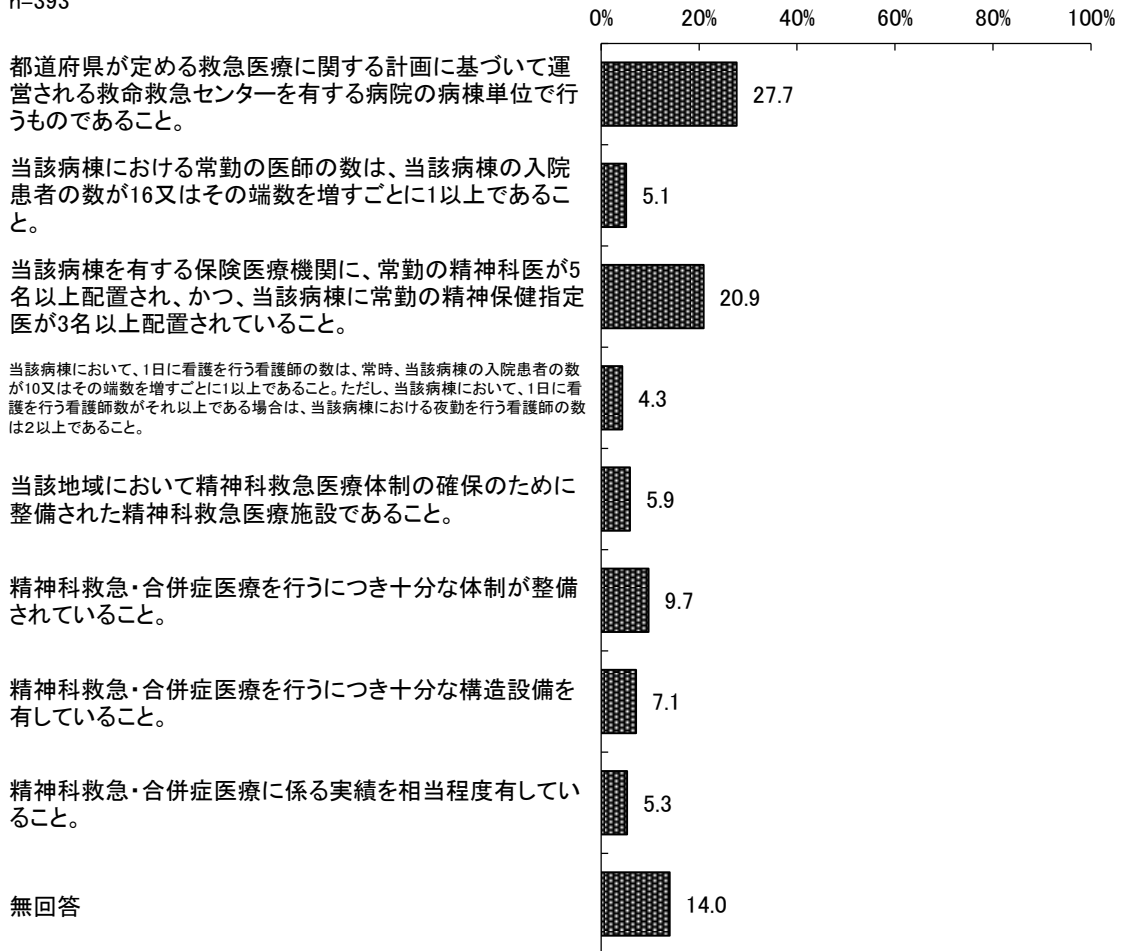
図表 2 - 65 精神科救急・合併症入院料の届出の要件として満たすことが難しいもの（複数回答）

n=393



図表 2 - 66 精神科救急・合併症入院料の届出の要件として満たすことが最も難しいもの

n=393



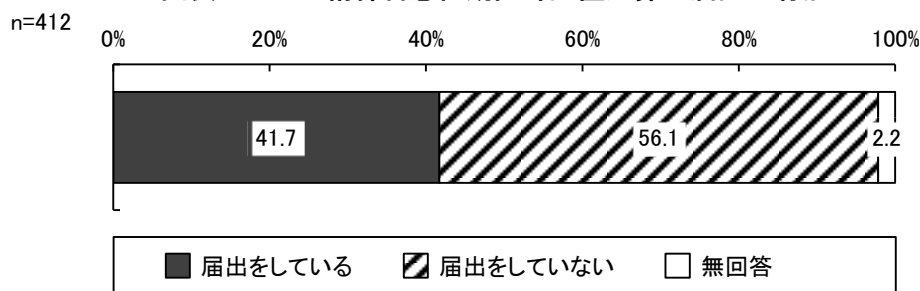
(6) 精神科急性期医師配置加算について

① 精神科急性期医師配置加算の届出の有無

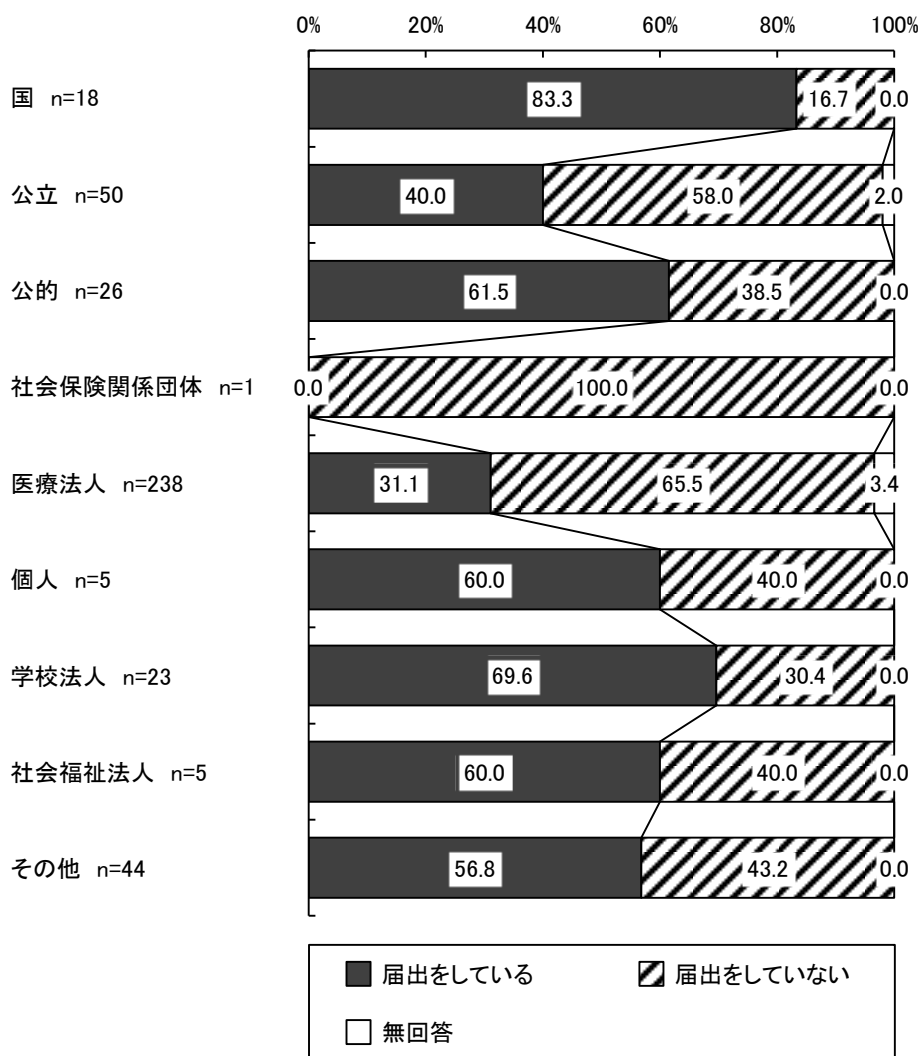
精神科急性期医師配置加算の届出をしている施設は全体の 41.7%で、そのうち「急性期医師配置加算 1」を届け出ている施設が 6.4%、「急性期医師配置加算 2 イ」を届け出ている施設が 35.5%、「急性期医師配置加算 2 ロ」を届け出ている施設が 47.7%、「急性期医師配置加算 3」を届け出ている施設が 1.7%、であった。

開設者別にみると、「国立」は 83.3%、「公立」は 40.0%、「公的」は 61.5%、「学校法人」は 69.6%であった。

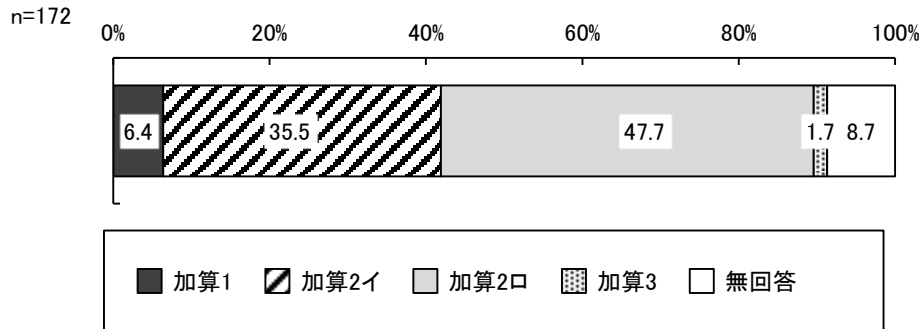
図表 2 - 67 精神科急性期医師配置加算の届出の有無



図表 2 - 68 精神科急性期医師配置加算の届出の有無(開設者別)



図表 2 - 69 届出の種別



注:加算 1:

- イ 精神科救急医療に係る実績を相当程度有していること。
- ロ 治療抵抗性統合失調症患者に対する入院医療に係る実績を相当程度有していること。
- ハ 精神科急性期治療病棟入院料1を算定する精神病棟であること

加算 2 イ:

- イ 精神病棟入院基本料(十対一入院基本料又は十三対一入院基本料に限る。)又は特定機能病院入院基本料を算定する精神病棟(七対一入院基本料、十対一入院基本料又は十三対一入院基本料に限る。)であること。
- ロ 精神障害者であって身体疾患を有する患者に対する急性期治療を行うにつき十分な体制を有する保険医療機関の精神病棟であること。
- ハ 許可病床(精神病床を除く。)の数が百床(別表第六の二に掲げる地域に所在する保険医療機関にあつては八十床)以上の病院であること。

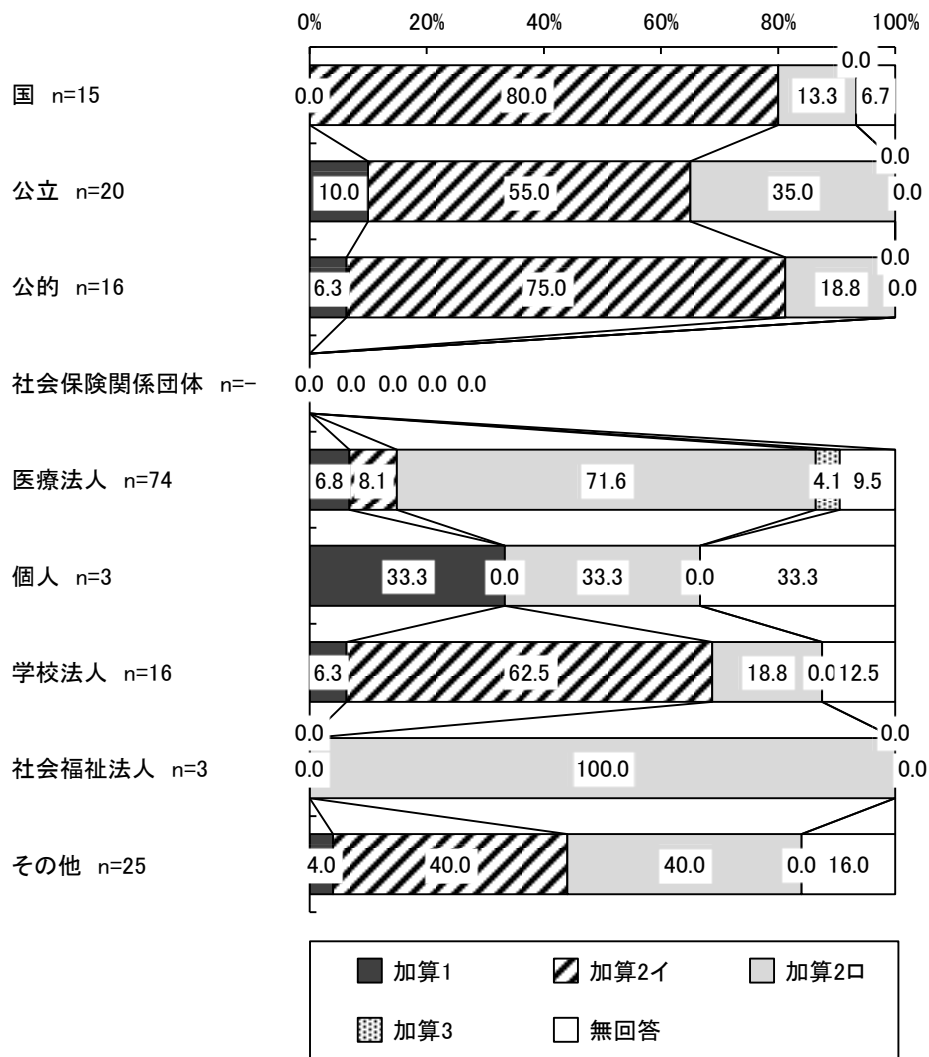
加算 2 ロ:

- ・加算 1 のイ及びハを満たすものであること。

加算 3:

- イ 精神科救急医療に係る実績を一定程度有していること。
- ロ 治療抵抗性統合失調症患者に対する入院医療に係る実績を一定程度有していること。
- ハ 加算 1 のハを満たすものであること。

図表 2 - 70 届出の種類別(開設者別)



② クロザピン導入件数

精神科急性期医師配置加算の届出をしていない施設にてクロザピンを新規導入した件数は以下のとおりであった。

図表 2 - 71 クロザピンを新規導入件数

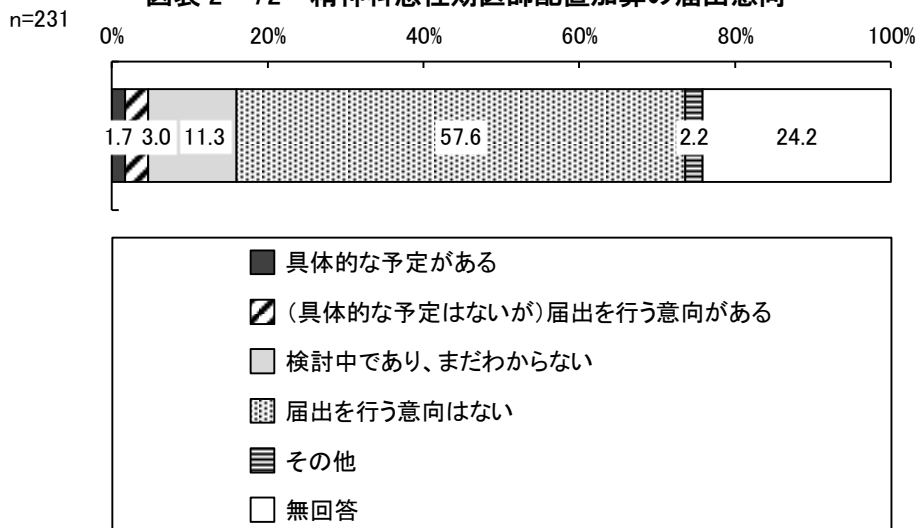
		平均値	標準偏差	中央値
当該病棟のクロザピン新規導入件数 年間あたり	n=109	0.5	1.5	0.0

③ 精神科急性期医師配置加算の届出意向

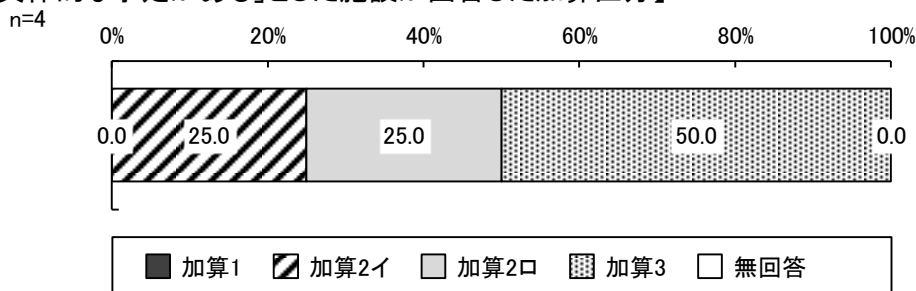
精神科急性期医師配置加算の届出をしていない施設にて、精神科急性期医師配置加算の届出意向をみると、「具体的な予定がある」(1.7%)、「(具体的な予定はないが)届出を行う意向がある」(3.0%)、「検討中であり、まだわからない」(11.3%)であった。一方、「届出を行う意向はない」が57.6%であった。

なお、「その他」の回答として、「人員確保できれば行いたい」、「精神科急性期の入院医療においては精神科救急入院料での入院治療がより効果的」等があった。

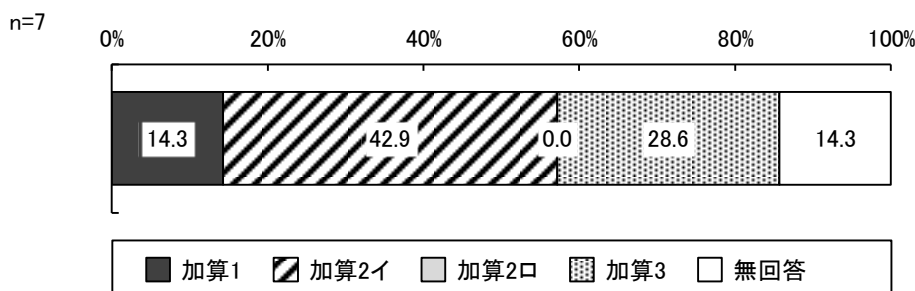
図表 2 - 72 精神科急性期医師配置加算の届出意向



【「具体的な予定がある」とした施設が回答した加算区分】



【(具体的な予定はないが)届出を行う意向がある」とした施設が回答した加算区分】

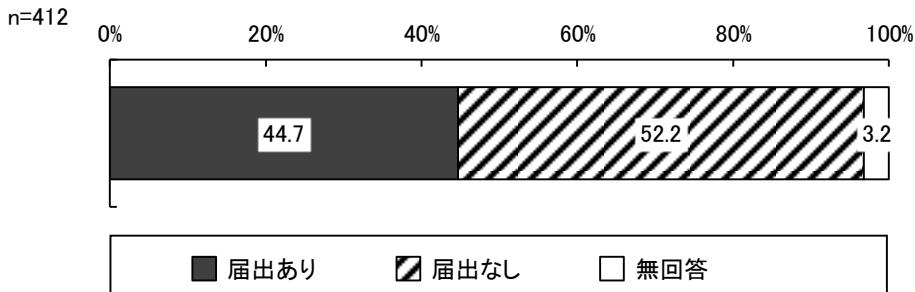


(7) クロザピンの使用状況

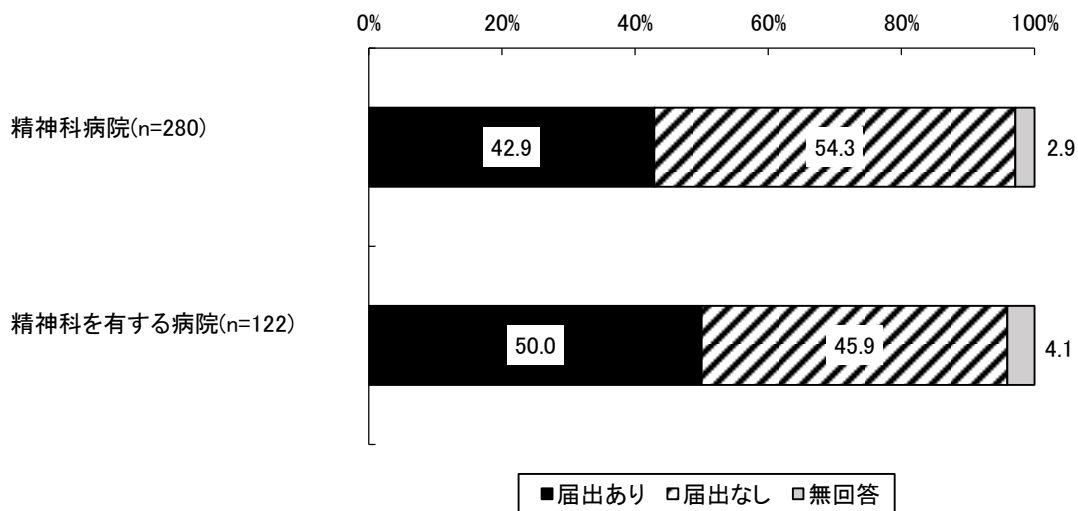
① 治療抵抗性統合失調症治療指導管理料の施設基準の届出の有無

治療抵抗性統合失調症治療指導管理料の施設基準の届出ありと回答した施設は 44.7%、届出なしと回答した施設が 52.2%であった。

図表 2 - 73 治療抵抗性統合失調症治療指導管理料の施設基準の届出の有無



図表 2 - 74 治療抵抗性統合失調症治療指導管理料の施設基準の届出の有無（病院種別）



①-1 治療抵抗性統合失調症治療指導管理料の診療実績(令和元年6月)

令和元年6月の治療抵抗性統合失調症治療指導管理料の診療実績は以下のとおりであった。

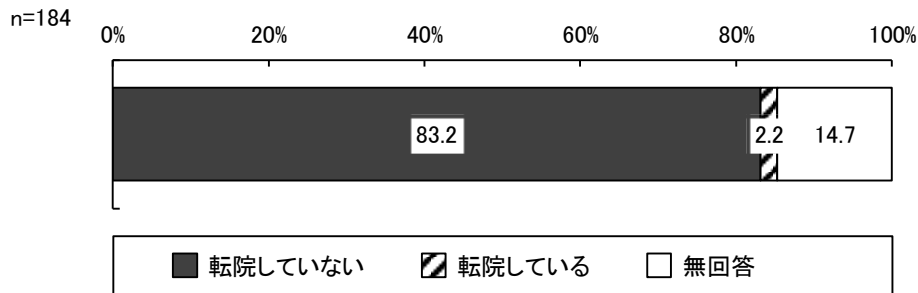
図表 2 - 75 治療抵抗性統合失調症治療指導管理料の診療実績

	令和元年6月1か月間における診療実績			
		平均値	標準偏差	中央値
実患者数	n=176	13.4	27.0	5.0
算定件数	n=172	20.0	64.3	5.0

② 転院の有無(令和2年8月～10月)

治療ができない(クロザピンが投与できない)ことによる転院の有無については、83.2%の施設が転院していないとの回答であった。

図表 2 - 76 クロザピンが投与できないことによる転院の有無

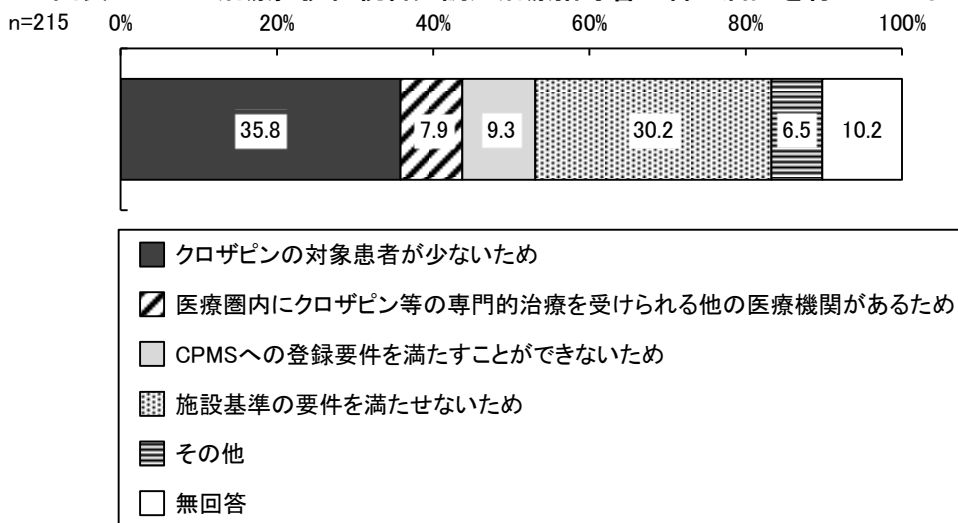


③ 治療抵抗性統合失調症治療指導管理料の届出を行っていない理由

治療抵抗性統合失調症治療指導管理料の届出を行っていない理由として最も多かったものは「クロザピンの対象患者が少ないため」(35.8%)であった。

なお、「その他」として、「治療計画作成から患者への指導が医師への負担となる」、「体制の整備に時間を要するため」、「クロザピン導入に対し前向きではない」、「身体合併症の精神患者の治療を主に実施しているため」等の回答があった。

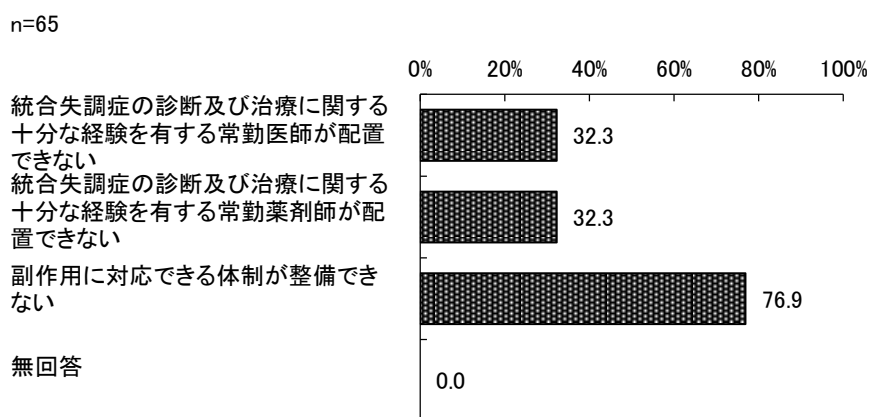
図表 2 - 77 治療抵抗性統合失調症治療指導管理料の届出を行っていない理由



③-1 治療抵抗性統合失調症治療指導管理料の届出の施設基準のうち満たすことが難しい要件

治療抵抗性統合失調症治療指導管理料の届出の施設基準のうち満たすことが難しい要件として最も多かったものは「副作用に対応できる体制が整備できない」(76.9%)であった。

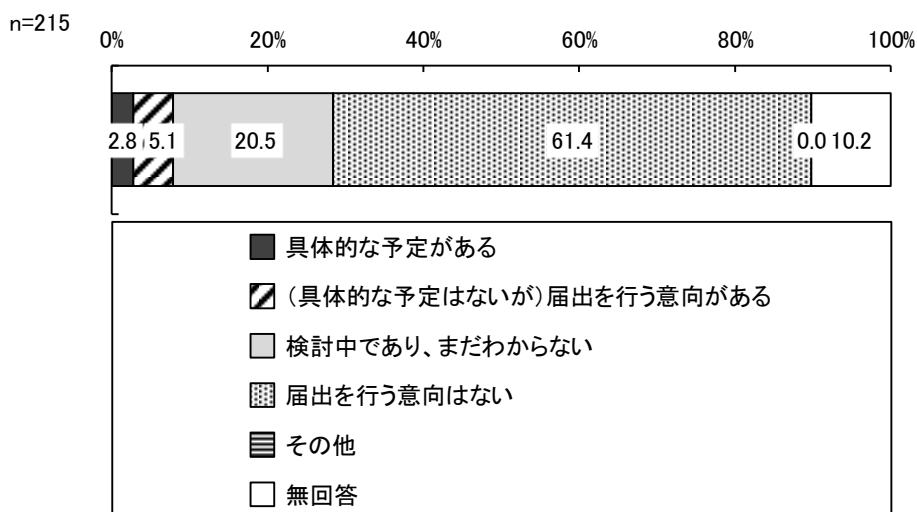
図表 2 - 78 治療抵抗性統合失調症治療指導管理料の届出の施設基準のうち満たすことが難しい要件 (複数回答)



④ 治療抵抗性統合失調症治療指導管理料の届出意向

治療抵抗性統合失調症治療指導管理料の今後の届出意向については「届出を行う意向はない」とした施設が61.4%であった。

図表 2 - 79 治療抵抗性統合失調症治療指導管理料の届出意向



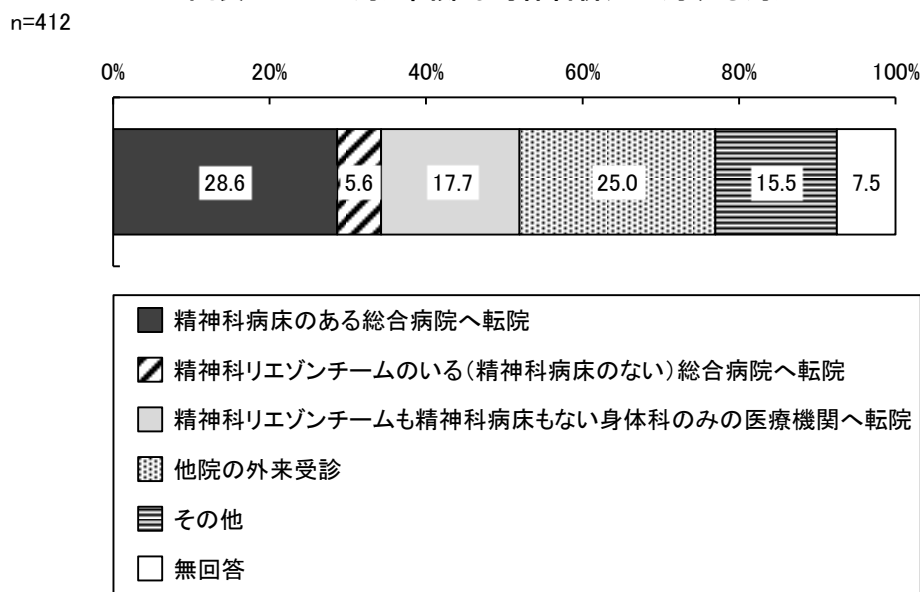
(8) 身体合併症への対応状況

① 対応困難な身体合併症に対する対応について

対応困難な身体合併症に対する対応として最も多かった回答は「精神科病床のある総合病院へ転院」(28.6%)であった。

なお、「その他」としては、「自施設の他科(内科等)で対応」、「単科の精神病院へ転院」、「自施設で身体疾患の治療を行いながら精神科リエゾンチームが介入、その後精神科病床のある他院へ転院」等の回答があった。

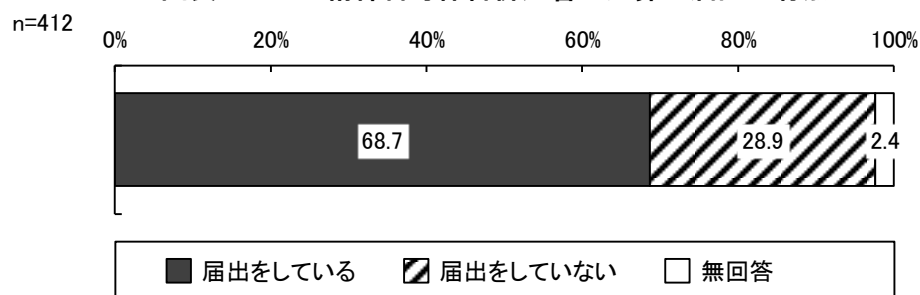
図表 2 - 80 対応困難な身体合併症に対する対応



② 精神科身体合併症管理加算の届出の有無

精神科身体合併症管理加算の「届出をしている」と回答した施設は68.7%であった。

図表 2 - 81 精神科身体合併症管理加算の届出の有無

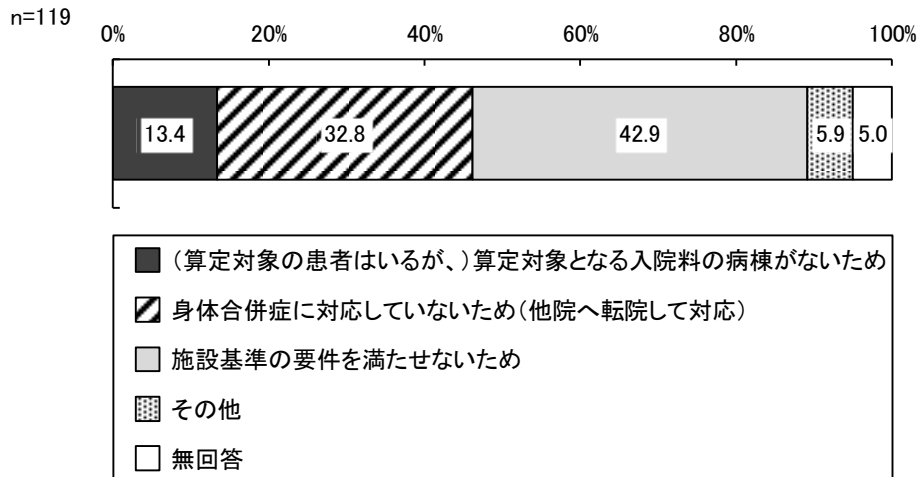


③ 精神科身体合併症管理加算の届出を行っていない理由

精神科身体合併症管理加算の届出をしていない理由をみると、「施設基準の要件を満たせないため」が最も多く、42.9%であった。

なお、「その他」の理由としては、「精神科病棟がないため」、「精神医療を専門的に実施していないため」等の回答があった。

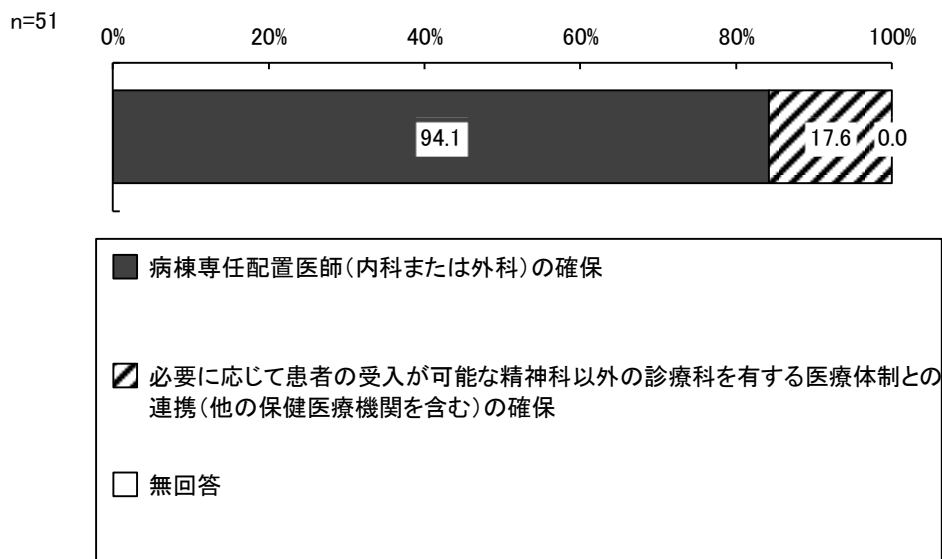
図表 2 - 82 精神科身体合併症管理加算の届出を行っていない理由



③-1 満たすことが難しい要件

精神科身体合併症管理加算の届出をしていない理由として「施設基準の要件を満たせないため」と回答した施設について、満たすことが難しい要件として最も多かったものは「病棟専任配置医師(内科または外科)の確保」(94.1%)であった。

図表 2 - 83 満たすことが難しい要件 (複数回答)



④ 摂食障害の新規入院患者数(令和2年4月～9月)

摂食障害の新規入院患者数は以下のとおりであった。

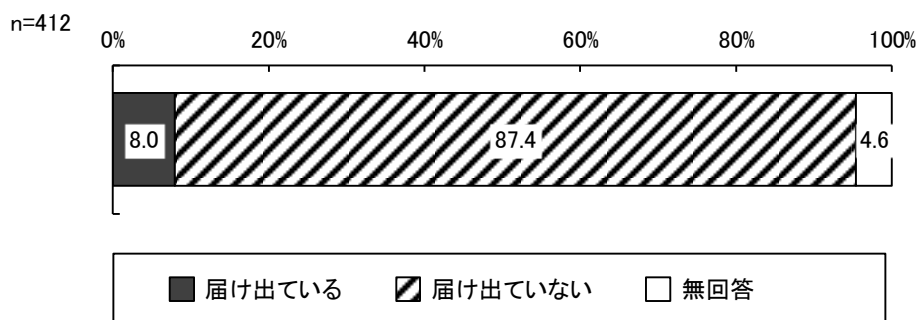
図表 2 - 84 摂食障害の新規入院患者数(延べ人数)

		平均値	標準偏差	中央値
令和2年4月から9月における摂食障害の新規入院患者数	n=352	5.5	28.7	0.0

⑤ 摂食障害入院医療管理加算の届出の有無

摂食障害入院医療管理加算の届出状況は以下のとおりで、87.4%が「届け出ていない」と回答した。

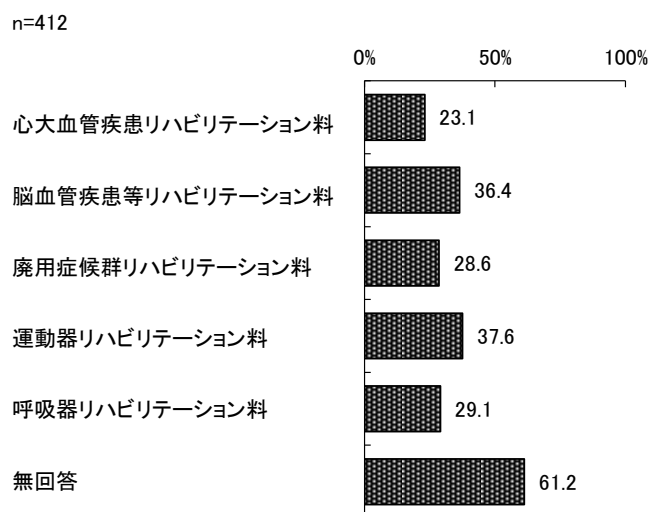
図表 2 - 85 摂食障害入院医療管理加算の届出の有無



⑥ 疾患別リハビリテーションの施設基準の届出状況

疾患別リハビリテーションの届出状況については、「運動器リハビリテーション科」の届出が最も多く 37.6%、次いで多いのが「脳血管疾患等リハビリテーション科」(36.4%)であった。

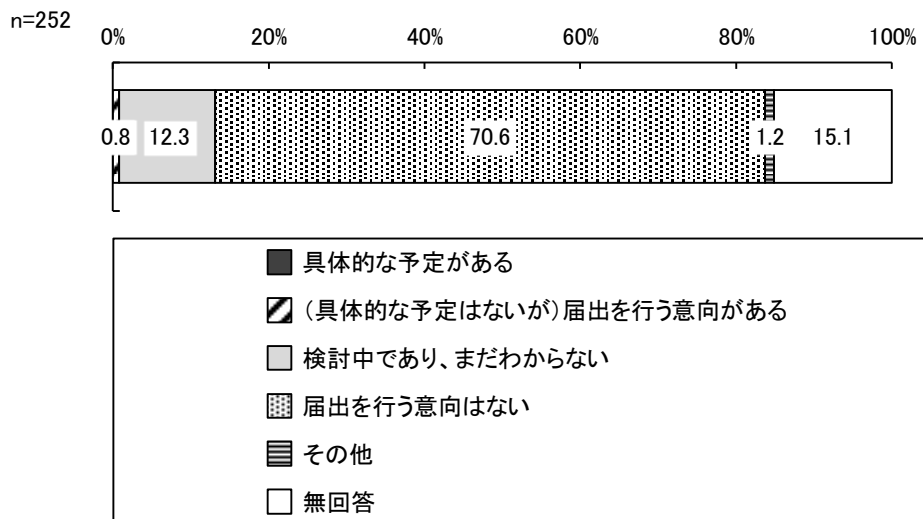
図表 2 - 86 疾患別リハビリテーションの施設基準の届出状況(複数回答)



⑥-1 疾患別リハビリテーションの施設基準の届出意向

疾患別リハビリテーションの「届出をしていない」と回答した施設における届出意向をみると、「届出を行う意向はない」が70.6%であった。

図表 2 - 87 疾患別リハビリテーションの施設基準の届出意向

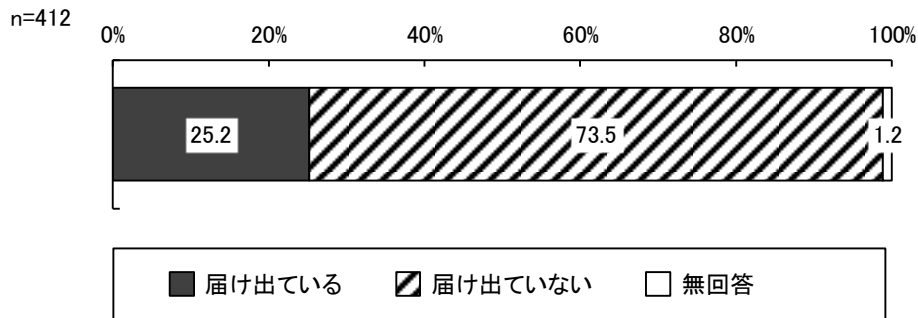


(9) 精神科リエゾンチームの状況

① 精神科リエゾンチーム加算の届出の有無

精神科リエゾンチーム加算の「届け出ている」と回答した施設は25.2%、「届け出していない」と回答した施設は73.5%であった。

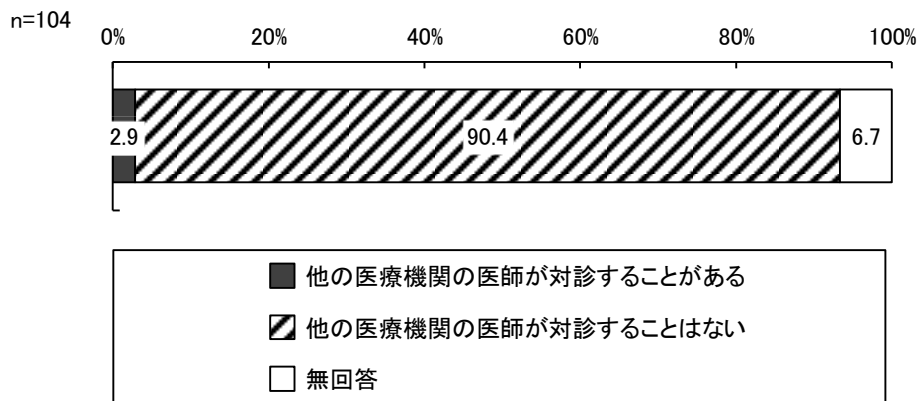
図表 2 - 88 精神科リエゾンチーム加算の届出の有無



② 他の医療機関の医師による対診の有無

他の医療機関の医師による対診の有無については「他の医療機関の医師が対診することはない」が90.4%であった。

図表 2 - 89 他の医療機関の医師による対診の有無



③ 1)精神科リエゾンチーム加算を算定した患者数(令和2年 10 月)

精神科リエゾンチーム加算を算定した患者数は以下のとおりであった。

図表 2 - 90 精神科リエゾンチーム加算を算定した患者数(実人数)

		平均値	標準偏差	中央値
1)総数	n=97	26.62	27.97	20.00
a.(うち)新型コロナウイルス感染症の患者数	n=92	1.07	3.61	0.00
2)対象疾患別患者数				
a. 症状性を含む器質性精神障害(F0)	n=80	5.38	11.99	1.50
b. 精神作用物質使用による精神及び行動の障害(F1)	n=77	1.21	1.79	0.00
c. 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害(F2)	n=80	2.36	3.20	1.00
d. 気分[感情]障害(F3)	n=81	2.79	2.81	2.00
e. 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	n=82	3.24	5.95	1.00
f. 生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群(F5)	n=74	2.53	4.17	0.00
g. 成人の人格及び行動の障害(F6)	n=70	0.07	0.31	0.00
h. 知的障害<精神遅滞>(F7)	n=75	0.65	1.64	0.00
i. 心理的発達の障害(F8)	n=70	0.17	0.41	0.00
j. 小児<児童>期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害(F9)	n=68	0.15	0.75	0.00
k. 自殺企図	n=67	0.61	1.56	0.00
l. せん妄	n=83	13.25	15.70	8.00

④ カンファレンス開催回数(令和2年 10 月)

精神科リエゾンチーム加算を届け出ている施設にて、令和2年10月の1か月間に開催したカンファレンスの回数は以下のとおりであった。

図表 2 - 91 カンファレンス開催回数

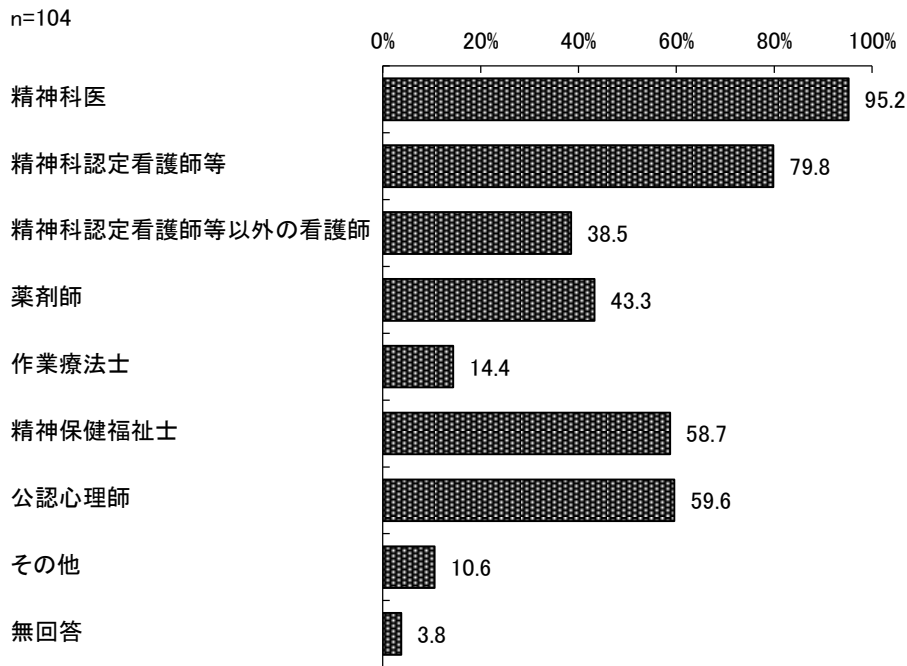
		平均値	標準偏差	中央値
令和2年10月1か月間にカンファレンスを開催した回数	n=96	6.3	8.6	4.0

⑤ カンファレンスの参加職種

カンファレンスへの参加職種で最も多い職種は「精神科医」で95.2%、次に多い職種が「精神科認定看護師等」で79.8%であった。

なお、「その他」の職種としては「精神看護専門看護師」、「研修医」、「救急・集中治療科医師」、「医事課」、「緩和ケア医師」等の回答があった。

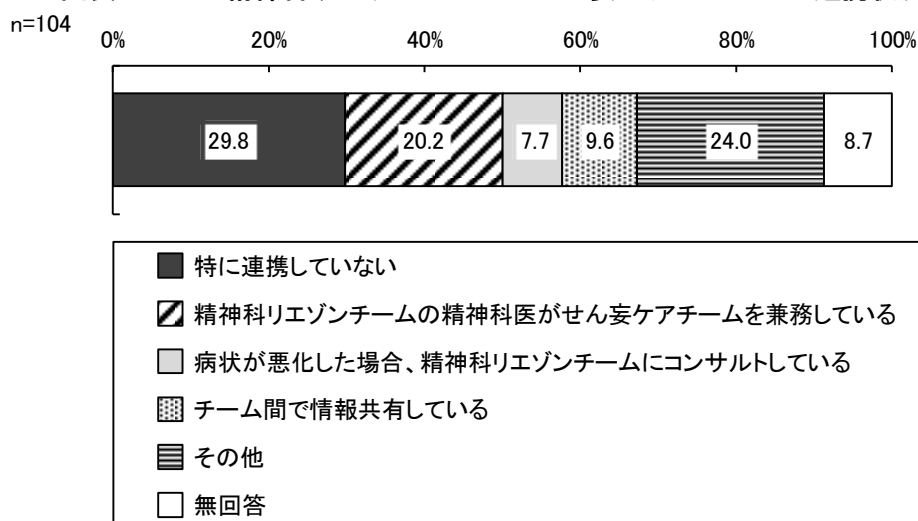
図表 2 - 92 カンファレンスの参加職種（複数回答）



⑥ 1) 精神科リエゾンチームのせん妄ケアチームとの連携状況

精神科リエゾンチームのせん妄ケアチームとの連携状況は以下のとおりで、「特に連携していない」(29.8%)、「精神科リエゾンチームの精神科医が兼務している」(20.2%)であった。

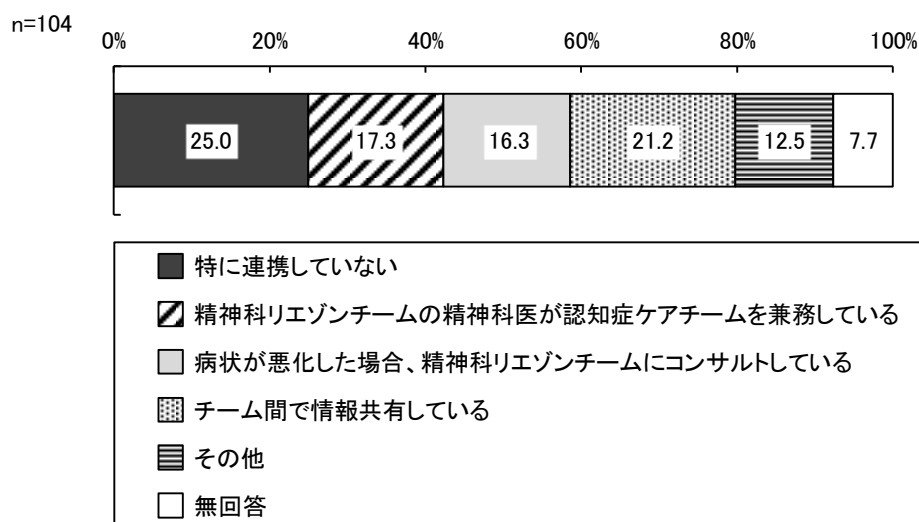
図表 2 - 93 精神科リエゾンチームのせん妄ケアチームとの連携状況



⑥ 2) 精神科リエゾンチームの認知症ケアチームとの連携状況

精神科リエゾンチームの認知症ケアチームとの連携状況で最も多かったものは「特に連携していない」(25.0%)、次に多かったものは「チーム間で情報共有している」(21.2%)であった。

図表 2 - 94 精神科リエゾンチームの認知症ケアチームとの連携状況

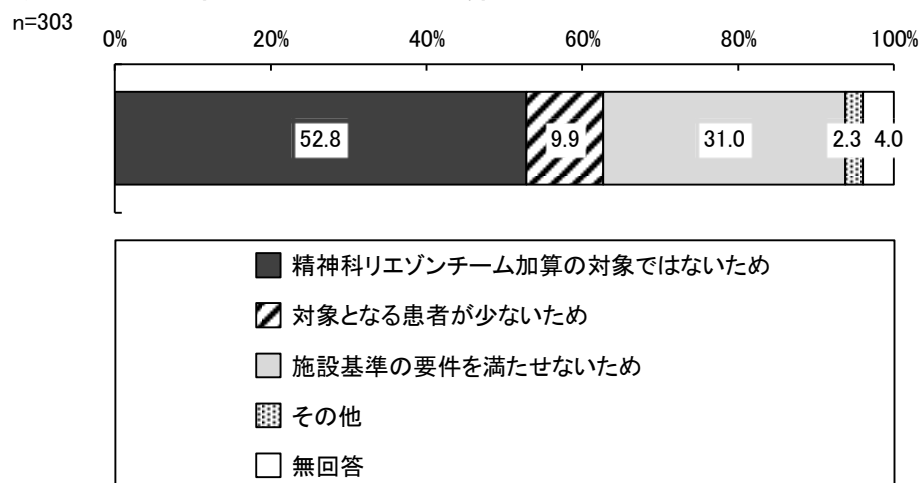


⑦ 精神科リエゾンチーム加算の届出を行っていない理由

精神科リエゾンチーム加算の届出をしていない理由をみると、「精神科リエゾンチーム加算の対象ではないため」が52.8%で最も多く、次いで「施設基準の要件を満たせないため」が31.0%であった。

なお、「その他」の理由としては、「精神科単科の病院であるため」、「一般病棟を有していないため」等の回答があった。

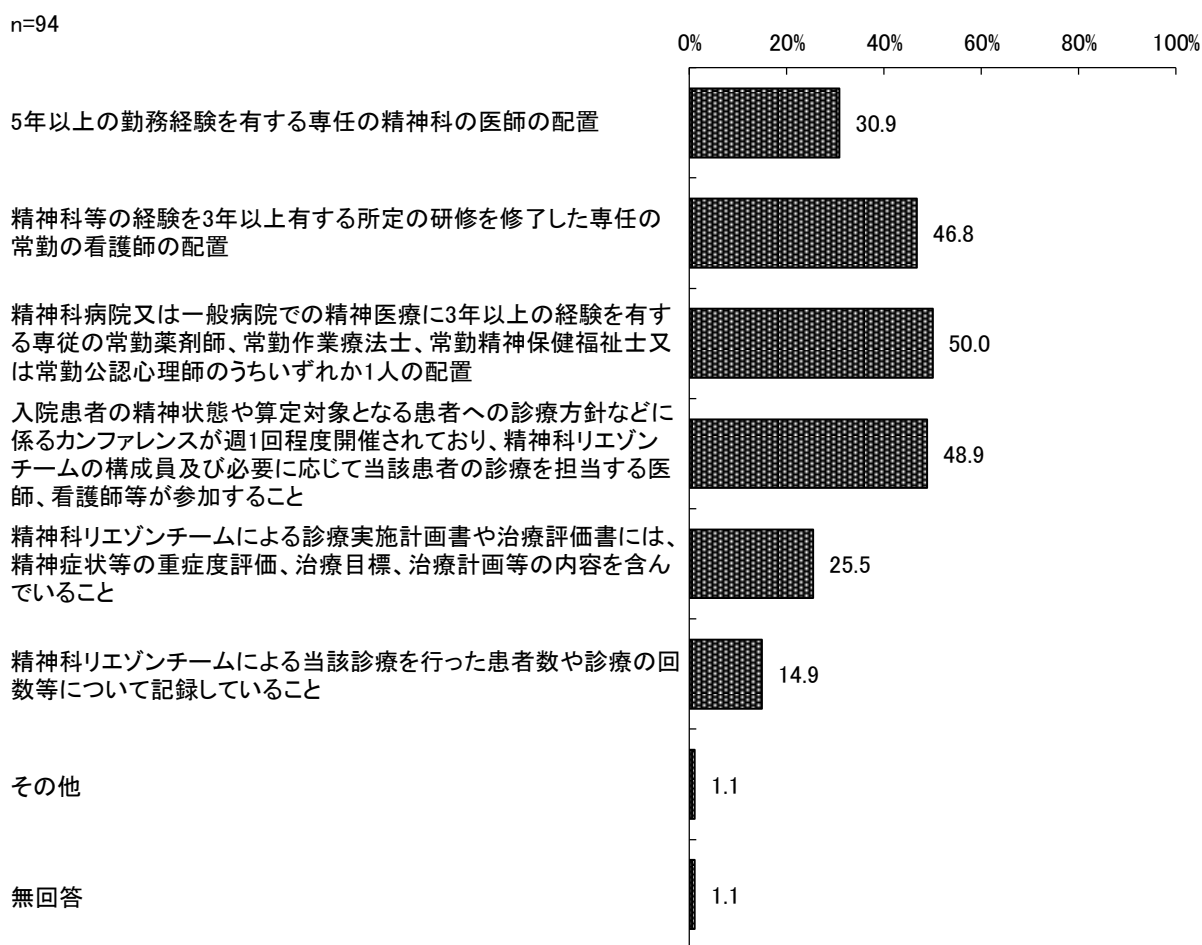
図表 2 - 95 精神科リエゾンチーム加算の届出を行っていない理由



⑦-1 満たすことが難しい要件

精神科リエゾンチーム加算の届出をしていない理由として「施設基準の要件を満たせないため」と回答した施設について、満たすことが難しい要件のうち最も多かったものは「精神科病院又は一般病院での精神医療に3年以上の経験を有する専従の常勤薬剤師、常勤作業療法士、常勤精神保健福祉士又は常勤公認心理師のうちいずれか1人の配置」を回答した施設が最も多く（50.0%）、次いで多かったものは「入院患者の精神状態や算定対象となる患者への診療方針などに係るカンファレンスが週1回程度開催されており、精神科リエゾンチームの構成員及び必要に応じて当該患者の診療を担当する医師、看護師等が参加すること」（48.9%）であった。

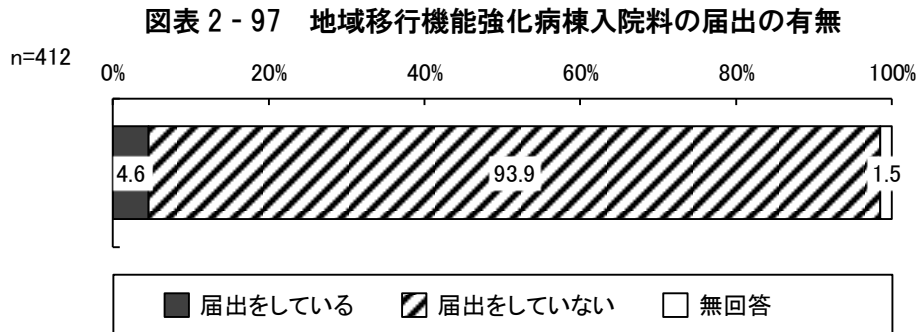
図表 2 - 96 満たすことが難しい要件（複数回答）



(10) 地域移行機能強化病棟について

① 地域移行機能強化病棟入院料の届出の有無

地域移行機能強化病棟入院料の施設基準の「届出をしている」施設は、全体の4.6%で、「届出をしていない」が93.9%であった。



② 地域移行機能強化病棟入院料の届出時期

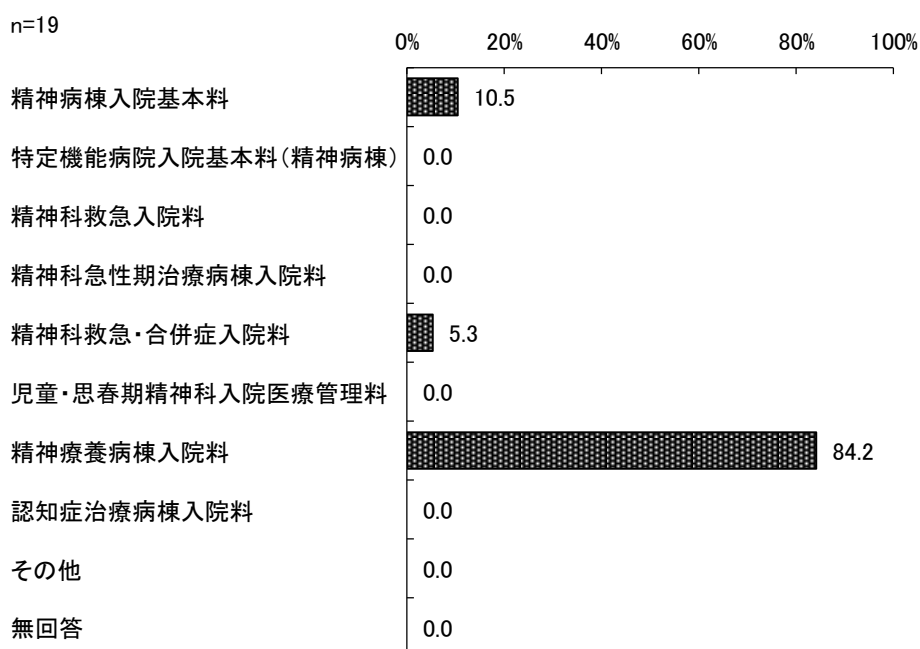
図表 2 - 98 地域移行機能強化病棟入院料の届出時期

	n	平均値	標準偏差	中央値
地域移行機能強化病棟入院料の届出をした時期(年)	n=19	2018.0	1.5	2019.0

③ 地域移行機能強化病棟に転換した病床種別

地域移行機能強化病棟に転換した病床種別で最も多かったものは「精神療養病棟入院料」で84.2%であった。

図表 2 - 99 地域移行機能強化病棟に転換した病床種別（複数回答）



④ 地域移行機能強化病棟入院料の届出に当たっての精神病床の許可病床数の変更有無

地域移行機能強化病棟入院料の届出をしている施設のうち、届出に当たり精神病床の許可病床数の変更状況については以下のとおりであった。

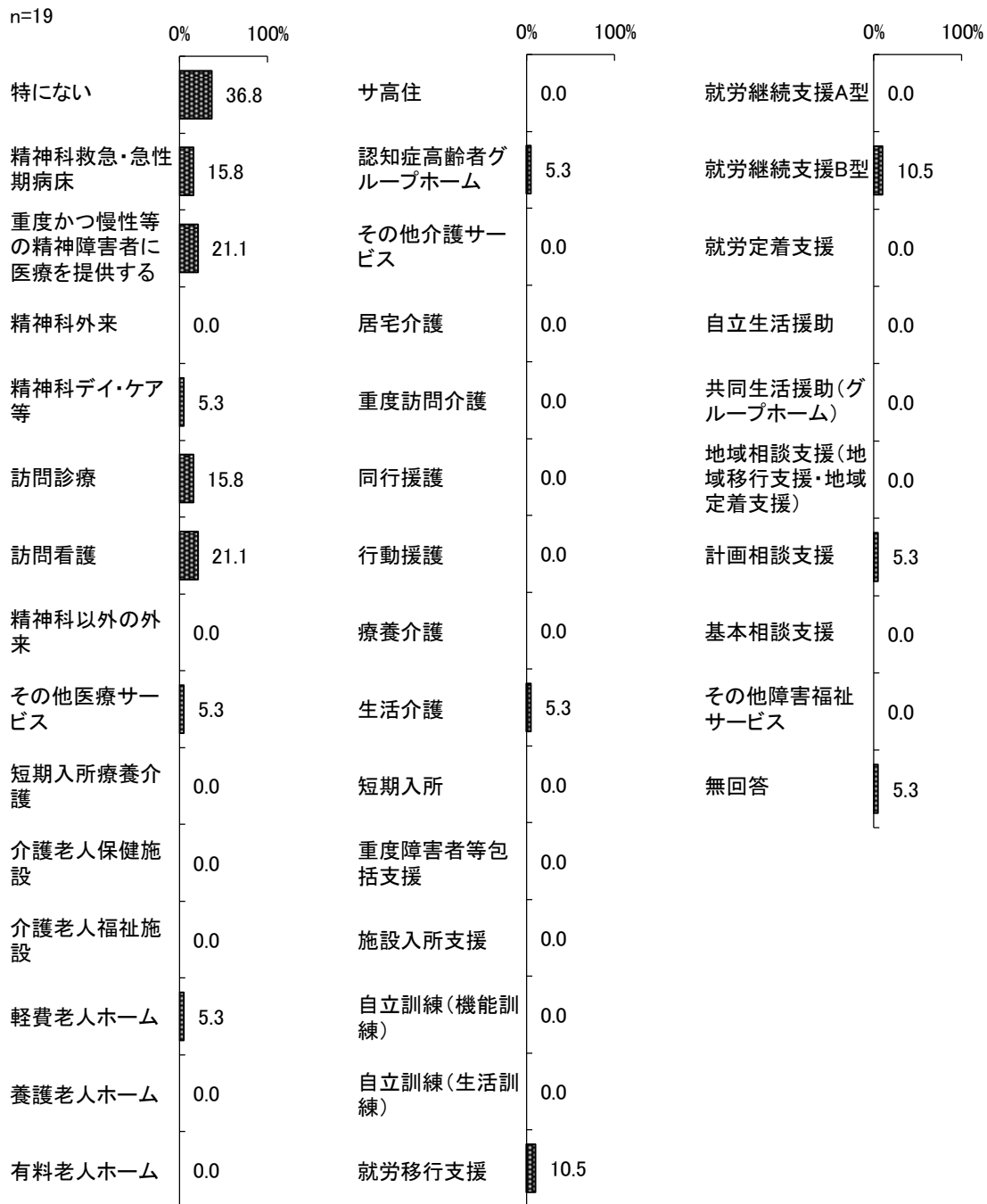
図表 2 - 100 精神病床の許可病床数の変更有無

		平均値	標準偏差	中央値
地域移行機能強化病棟入院料の届出に当たり削減した精神病床の許可病床数	n=9	32.0	28.7	26.0

⑤ 病床削減後に実施したい新たなサービス・事業

地域移行機能強化病棟入院料の届出をしている施設が、病床削減後に新たに実施したいサービス・事業は以下のとおりであった。

図表 2 - 101 病床削減後に実施したいサービス・事業（複数回答）

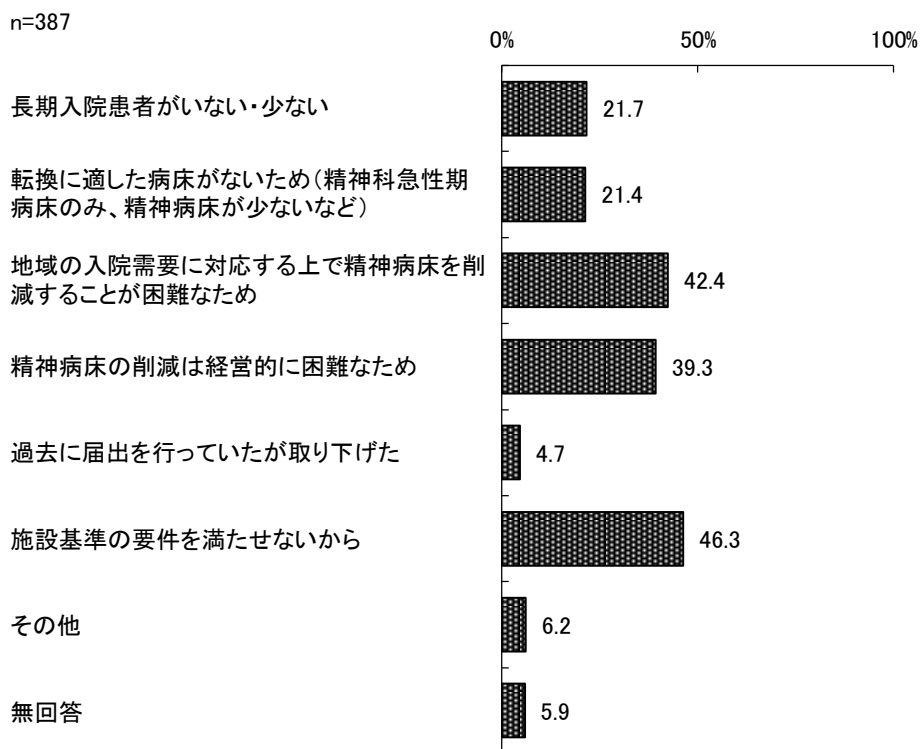


⑥ 地域移行機能強化病棟入院料の届出を行っていない理由

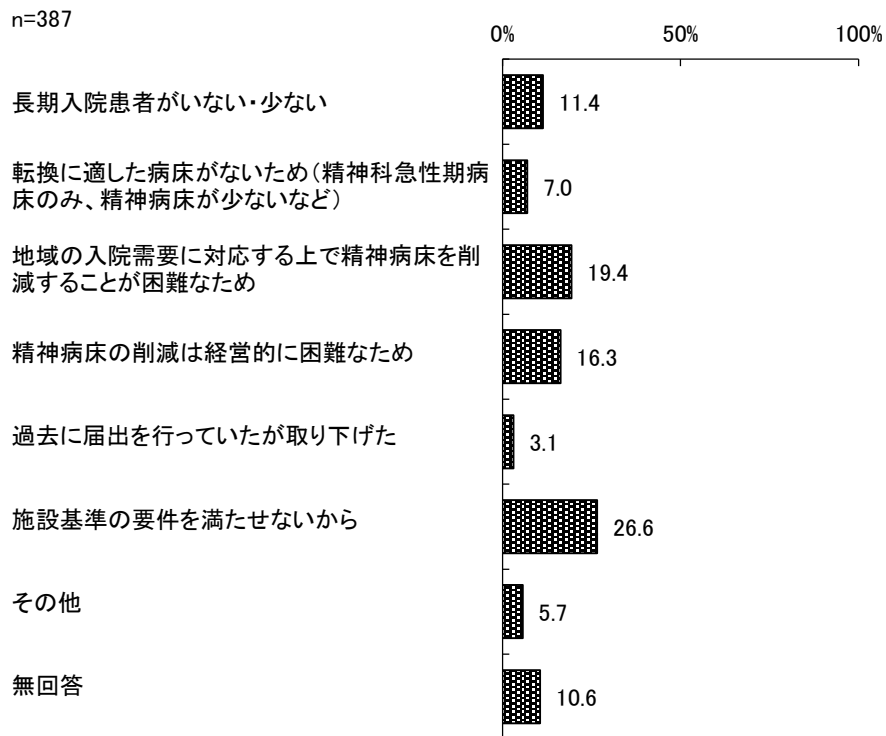
地域移行機能強化病棟入院料の届出を行っていない理由として最も多かったものは「施設基準の要件を満たせないから」が 46.3%で、次に多かったものは「地域の入院需要に対応する上で精神病床を削減することが困難なため」(42.4%)であった。

なお、「過去に届出を行っていたが取り下げた」の理由としては、「病床減少、目標数に到達したため」等があった。

図表 2 - 102 地域移行機能強化病棟入院料の届出を行っていない理由（複数回答）



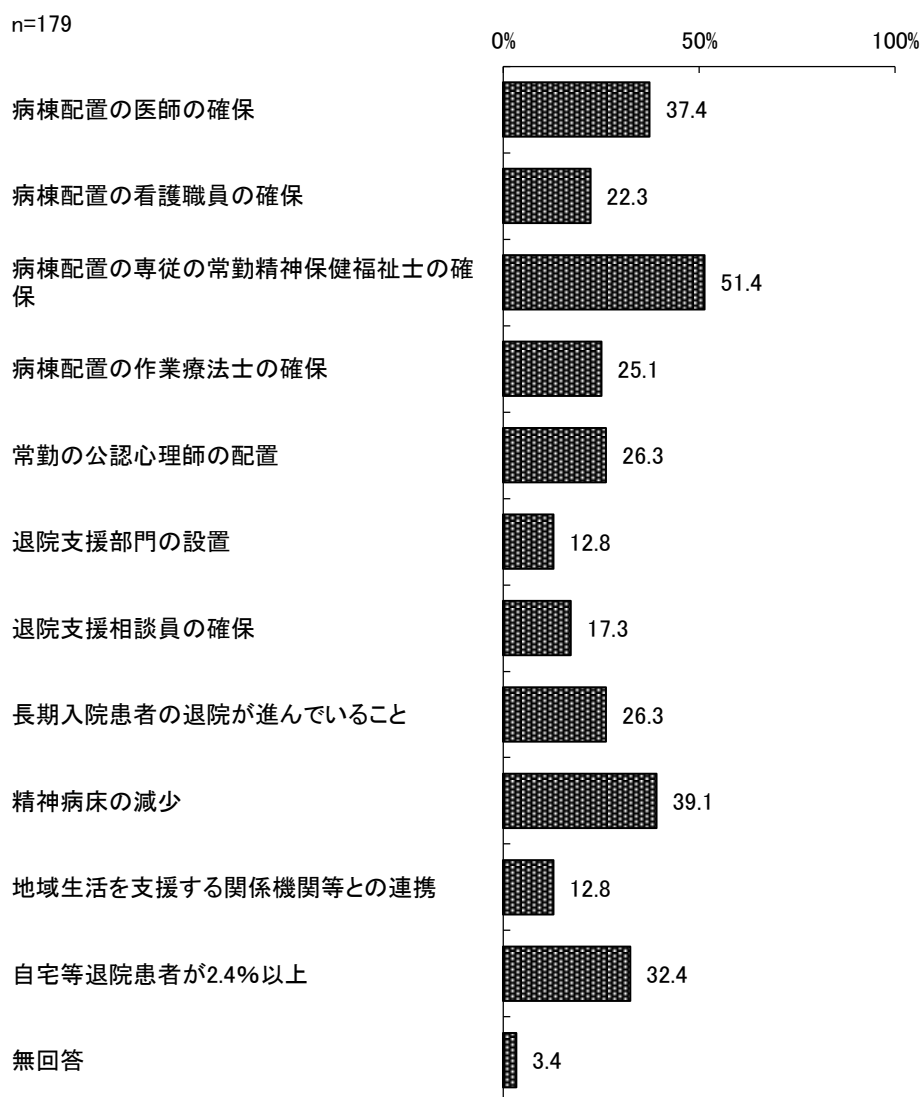
図表 2 - 103 地域移行機能強化病棟入院料の届出を行っていない理由のうち最もあてはまるもの



⑦-1 満たすことが難しい要件

地域移行機能強化病棟入院料の届出をしていない理由として「施設基準の要件を満たせないから」と回答した施設について、満たすことが難しい要件として最も多かったものは「病棟配置の専従の常勤精神保健福祉士の確保」が51.4%であった。

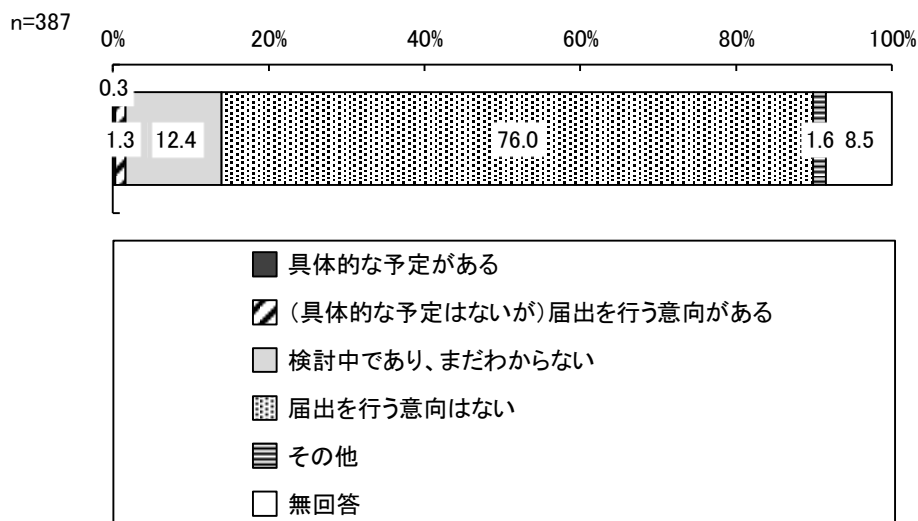
図表 2 - 104 満たすことが難しい要件（複数回答）



⑧ 地域移行機能強化病棟入院料の届出意向

地域移行機能強化病棟入院料の届出意向は以下のとおりで、「届出を行う意向はない」との回答が 76.0%であった。

図表 2 - 105 地域移行機能強化病棟入院料の届出意向



⑧-1 地域移行機能強化病棟入院料の届出を行う状況

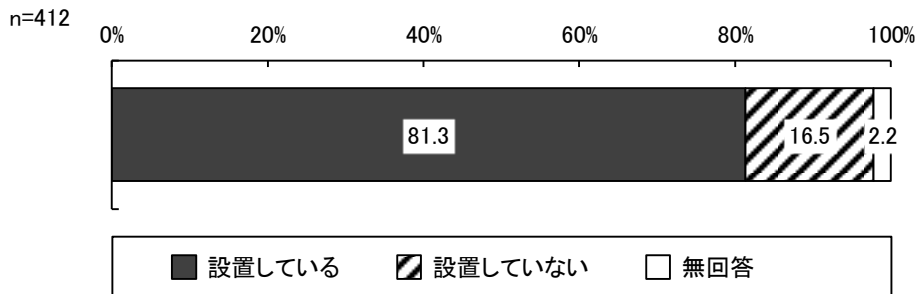
- ・施設基準の緩和(精神病床の減少要件、精神保健福祉士や公認心理士の常勤要件、病棟配置スタッフ数、自宅など通院患者の割合等)
- ・病床稼働率が大幅に低下した場合
- ・診療報酬の強化(地域移行機能強化病棟入院料の診療報酬が上がること)
- ・入院需要が減少し、病床減少が可能な状況
- ・人件費、人材確保(病棟配置の専従の常勤精神保健福祉士等)
- ・高齢化した長期入院患者の退院先施設の確保 等

(11) 退院支援部門の体制

① 退院支援を担当する専門部署の設置の有無

退院支援を担当する専門部署（地域移行推進室等名称は問わない）の設置については、「設置している」と回答した施設が81.3%であった。

図表2-106 退院支援を担当する専門部署の設置の有無

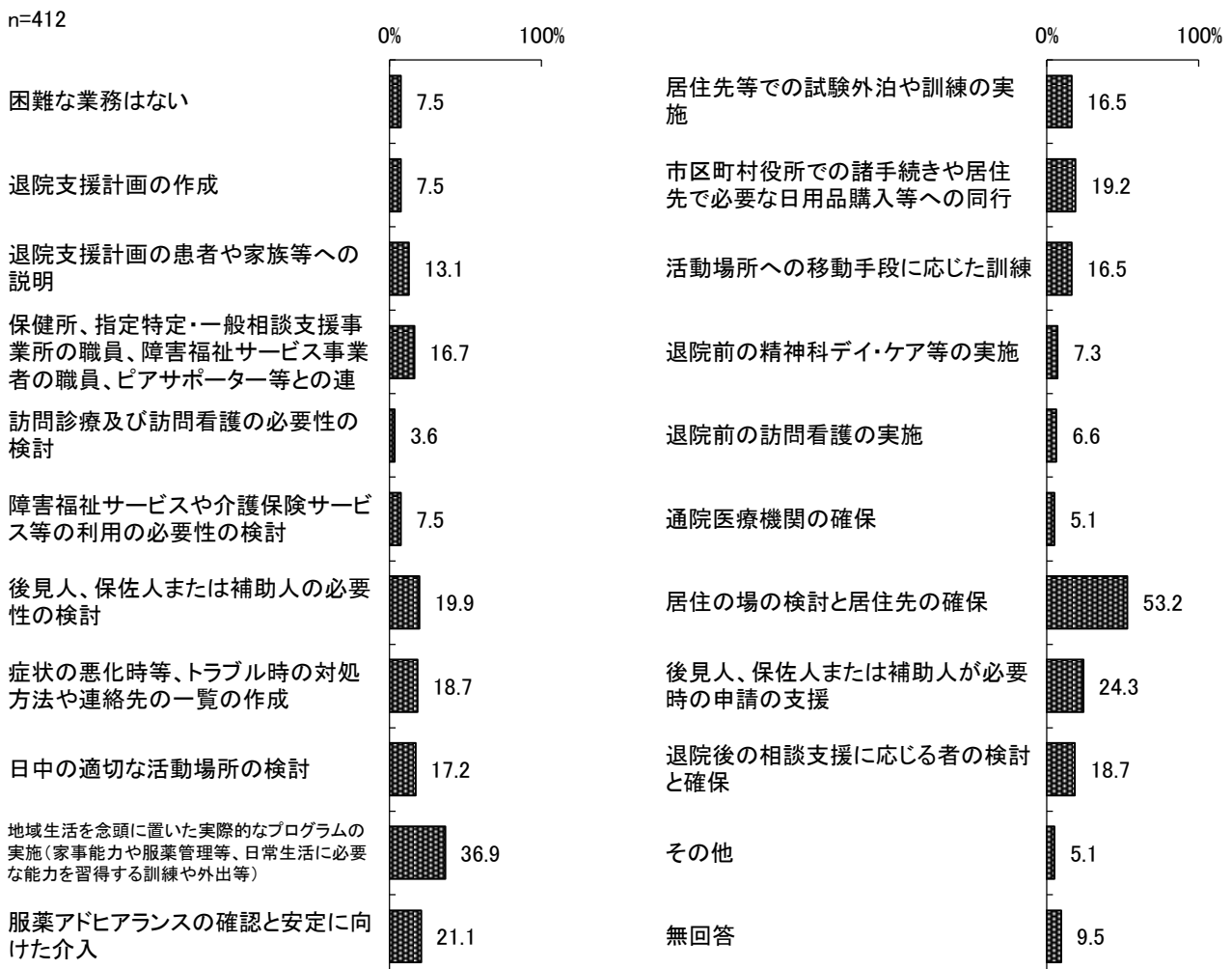


② 管理者等が特に困難と感じる退院支援業務等

管理者等が特に困難と感じる退院支援業務等として挙げられたもので最も多かったものは「居住の場の検討と居住先の確保」(53.2%)で、次に多かったものは「地域生活を念頭に置いた実際的なプログラムの実施（家事能力や服薬管理等、日常生活に必要な能力を習得する訓練や外出等）」(36.9%)であった。

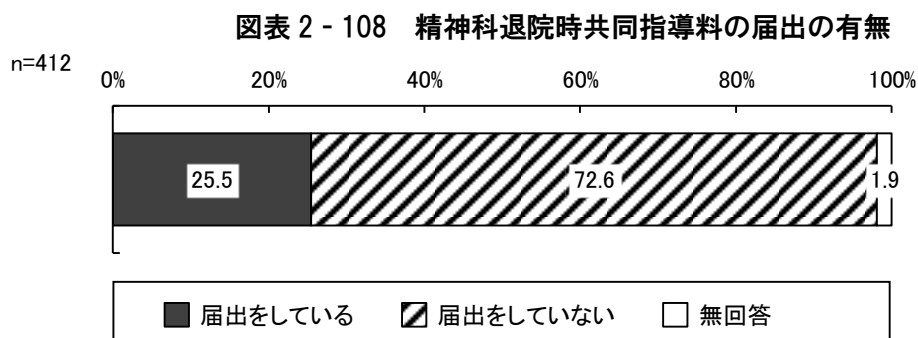
なお、「その他」には、「家族の理解」、「コロナ蔓延による受入拒否施設の増加、高額な自費でのPCR検査陰性証明の義務」、「就労先を失った患者の就労支援先がない、相談支援先がない」、「通院医療機関との連携」等の回答があった。

図表2-107 管理者等が特に困難と感じる退院支援業務等（上位5つまで）

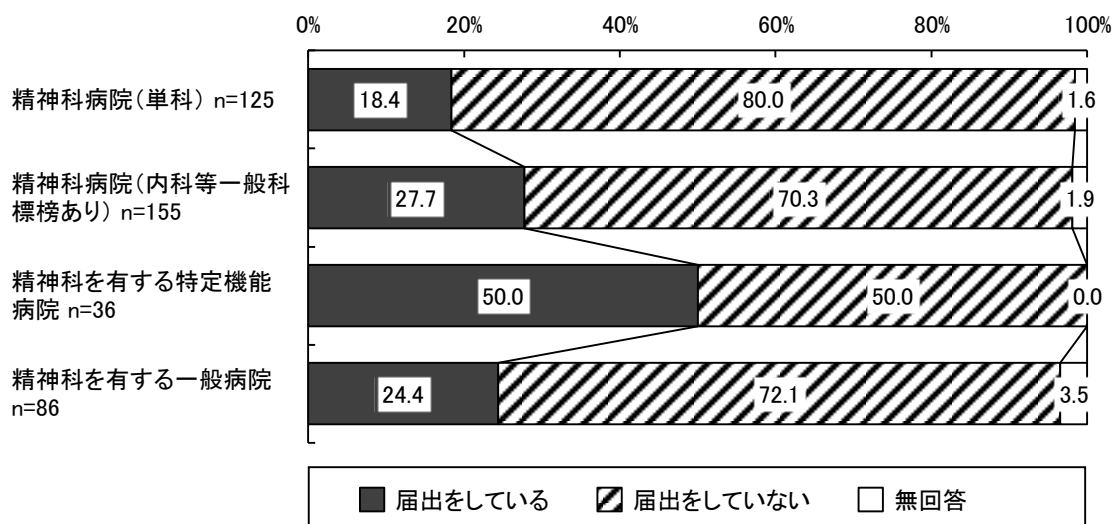


③ 精神科退院時共同指導料の届出の有無

精神科退院時共同指導料の施設基準の「届出をしている」施設は、全体の25.5%で、「届出をしていない」が72.6%であった。



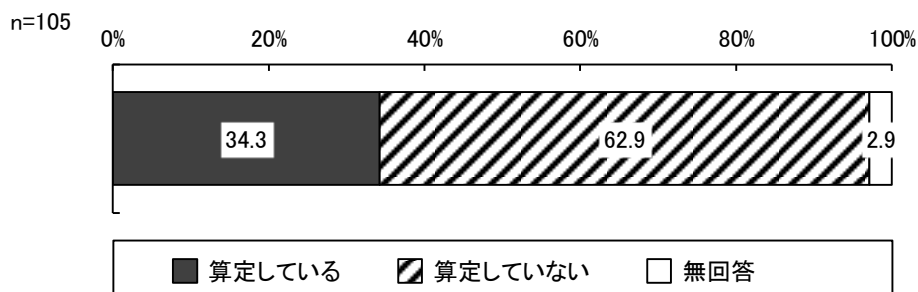
図表 2 - 109 精神科退院時共同指導料の届出の有無（病院種別）



③-1 精神科退院時共同指導料の算定状況(令和2年8月～10月)

精神科退院時共同指導料の届出をしている施設で、令和2年8月～10月の精神科退院時共同指導料を「算定していない」施設は62.9%であった。

図表 2 - 110 精神科退院時共同指導料の算定状況

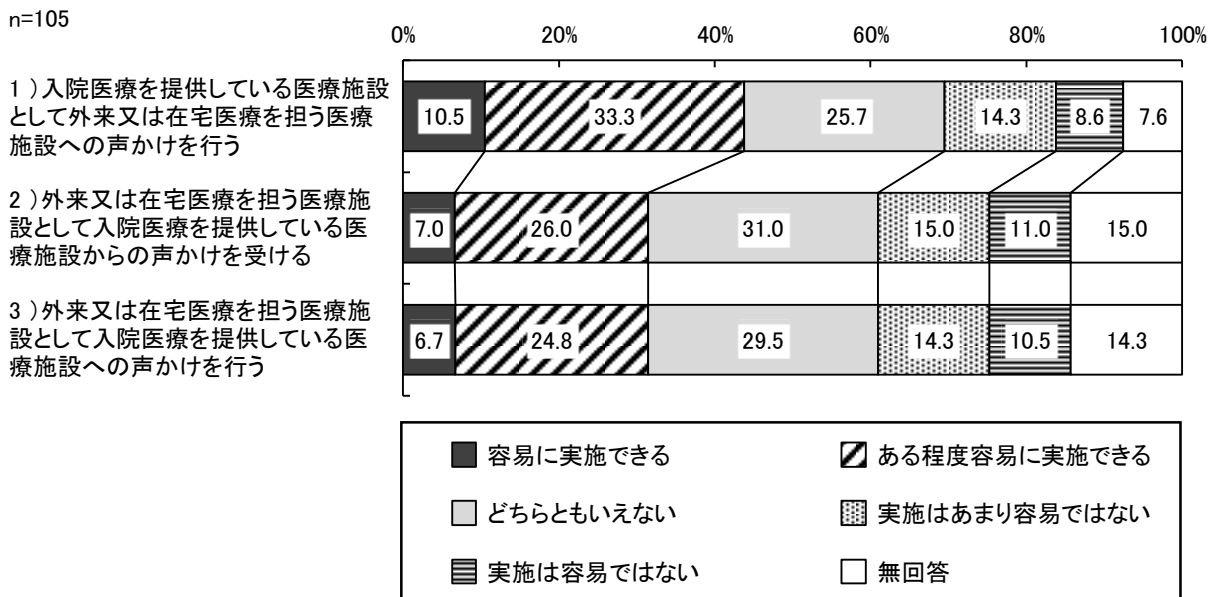


	a. 令和2年8月から10月の算定回数				b.aの患者に対する共同指導に基づく多職種カンファレンスの開催回数				c. bのうちビデオ通話等による開催回数			
	n	平均値	標準偏差	中央値	n	平均値	標準偏差	中央値	n	平均値	標準偏差	中央値
1) 精神科退院時共同指導料1・イ(I)	n=19	0.0	0.0	0.0	n=14	0.0	0.0	0.0	n=12	0.0	0.0	0.0
2) 精神科退院時共同指導料1・ロ(II)	n=18	0.0	0.0	0.0	n=13	0.0	0.0	0.0	n=12	0.0	0.0	0.0
3) 精神科退院共同指導料2	n=35	1.1	2.0	0.0	n=28	1.1	1.8	0.0	n=25	0.3	0.7	0.0

③-2 退院時の医療機関との連携活動等の実施状況

退院時に共同して指導を実施する医療機関との連携活動等の実施状況は以下のとおりで、「入院医療を提供している医療施設として外来又は在宅医療を担う医療施設への声かけを行う」ことについては、「容易に実施できる」(10.5%)、「ある程度容易に実施できる」(33.3%)という回答であった。「外来又は在宅医療を担う医療施設として入院医療を提供している医療施設からの声かけを受ける」ことについては、「容易に実施できる」(7.0%)、「ある程度容易に実施できる」(26.0%)であり、「外来又は在宅医療を担う医療施設として入院医療を提供している医療施設への声かけを行う」ことについては、「容易に実施できる」(6.7%)、「ある程度容易に実施できる」(24.8%)であった。

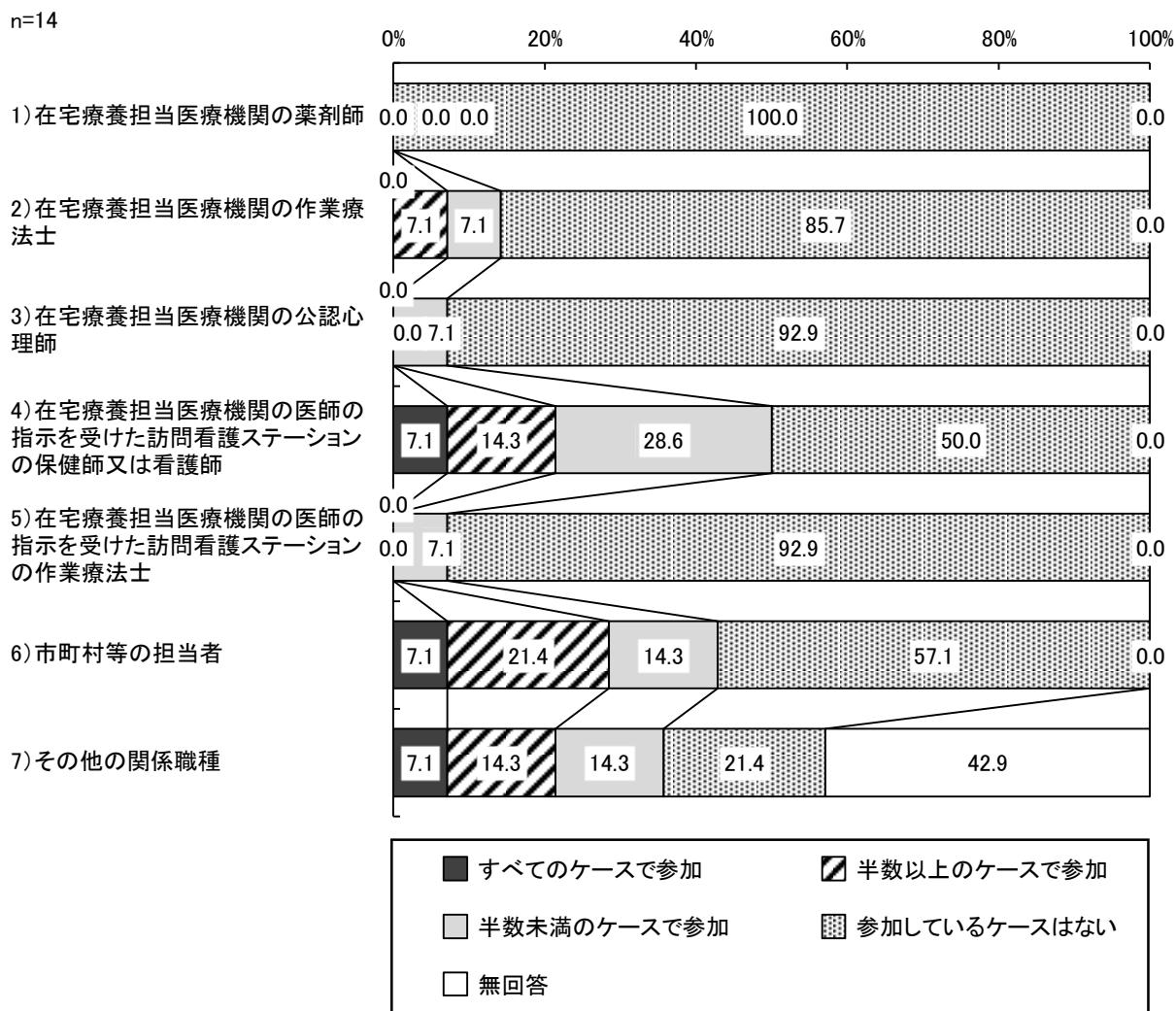
図表 2 - 111 退院時の医療機関との連携活動等の実施状況



③-3 共同指導を実施する多職種チーム参加状況(精神科退院時共同指導料2を算定している施設)

精神科退院時共同指導料の届出をしており、入院医療を提供する施設(精神科退院時共同指導料2を算定している施設)における共同指導を実施する多職種チームの参加状況をみると、「市町村等の担当者」が「すべてのケースで参加」しているが7.1%、「半数以上のケースで参加」が21.4%であった。

図表2-112 多職種チーム参加状況(精神科退院時共同指導料2を算定している施設)



注1:精神科退院時共同指導料2を算定する場合は、精神科の医師、看護師等、精神保健福祉士については、共同指導への参加は必須とされているため、その他の職種について調査を実施している。

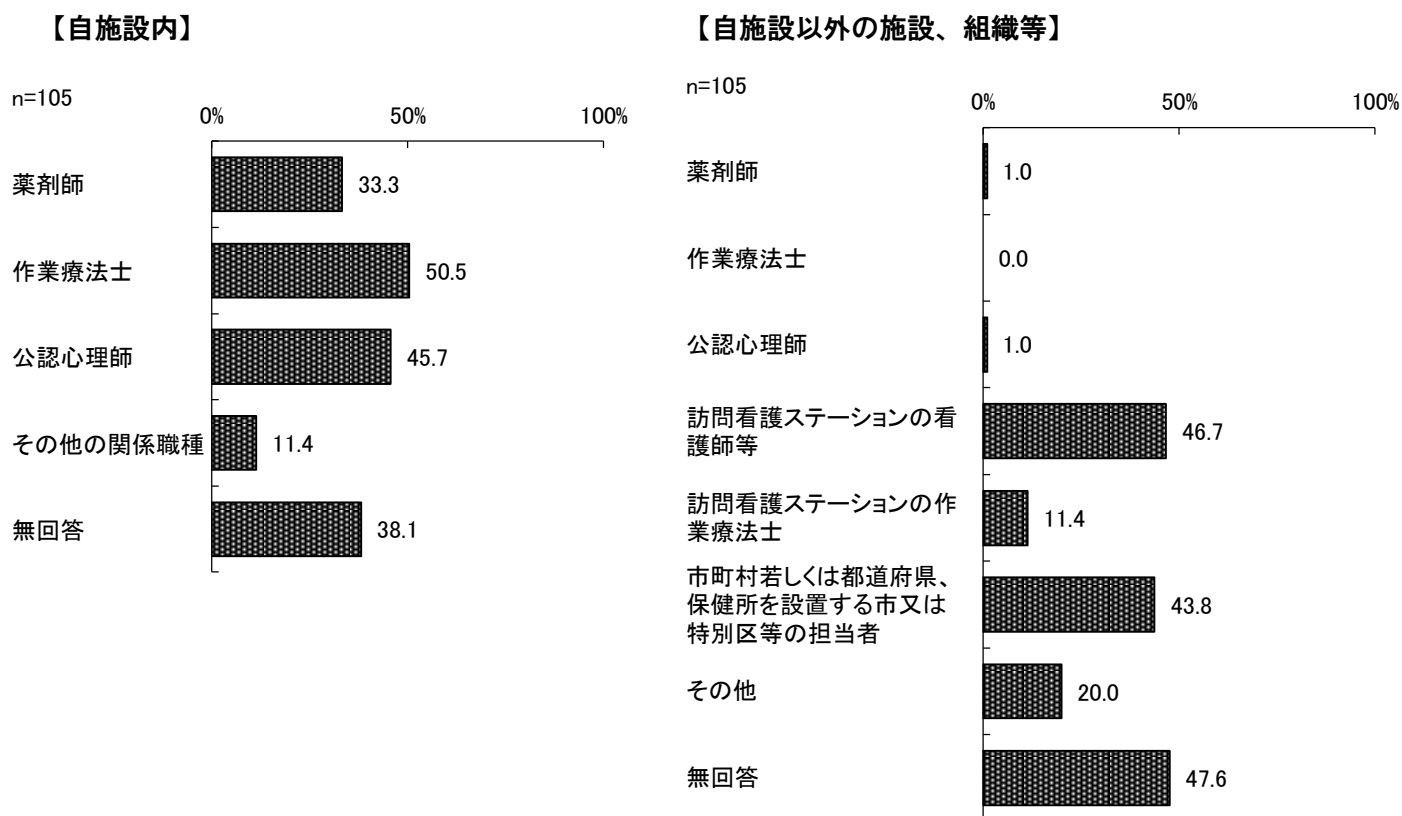
注2:精神科退院時共同指導料1を算定している多職種チーム参加状況については、回答数が0であったため集計していない

③-4 医師、看護師、精神保健福祉士以外に多職種によるカンファレンスに参加している職種

精神科退院時共同指導料の届出をしている施設において、医師、看護師、精神保健福祉士以外でカンファレンスに参加している職種をみると、「自施設内」では「作業療法士」が最も多く 50.5%、次に多かった職種が「公認心理士」（45.7%）であった。「自施設以外の施設、組織等」において、最も多かったものは「訪問看護ステーションの看護師等」で 46.7% であった。

なお、「その他」の回答としては、「自施設内」においては、「管理栄養士」、「理学療法士」、「言語聴覚士」、「自施設以外の施設、組織」においては、「ケアマネージャー」、「相談支援専門員」等があった。

図表 2 - 113 医師、看護師、精神保健福祉士以外のカンファレンス参加職種（複数回答）

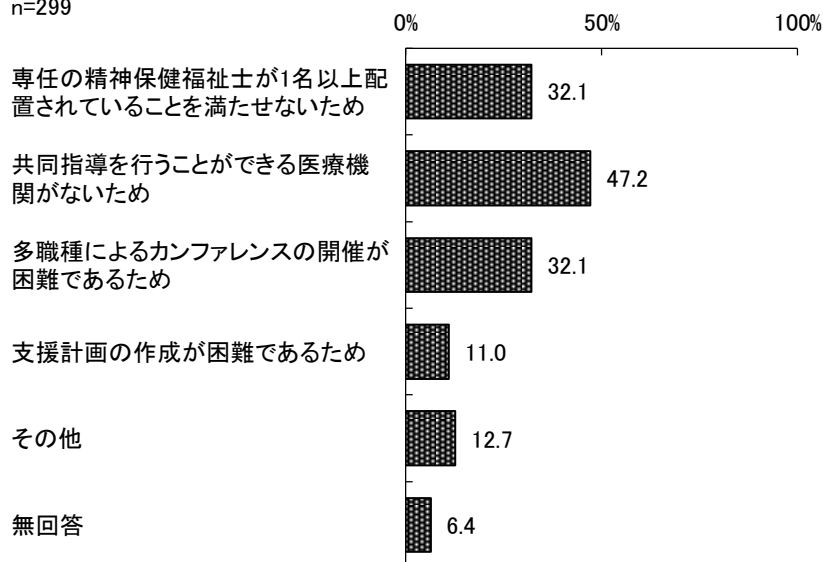


④ 精神科退院時共同指導料の届出を行っていない理由

精神科退院時共同指導料の「届出をしていない」と回答した施設における届出をしていない理由は、「共同指導を行うことができる医療機関がないため」が47.2%で最も多かった。

なお、「その他」の理由としては、「対象となる患者がない」、「要件の緩和（多職種チームを構成する職種、共同指導の実施が困難）」等の回答があった。

図表 2 - 114 精神科退院時共同指導料の届出を行っていない理由（複数回答）
n=299



⑤ 精神科退院時共同指導料の普及と充実を図るための方策と課題（自由記述）

- ・在宅医療を担う医療施設や地域との密な連携。
- ・実施している医療機関からの情報収集。
- ・地域の医療機関が指導料1を申請するには、精神保健福祉士の配置が必須だが、精神保健福祉士を配置しているクリニックは少ない。精神保健福祉士の確保が課題。
- ・日程を調整し、他医療機関と連携していくことは時間的に困難。
- ・多職種チームを組むためのマンパワーが不足。
- ・医療機関同士が顔を合わせてカンファレンスをするのはスケジュールの面からかなり難しい。
- ・リモート、オンライン体制の充実等 等

⑥ 患者の地域移行と地域定着を推進するために必要な取組（自由記述）

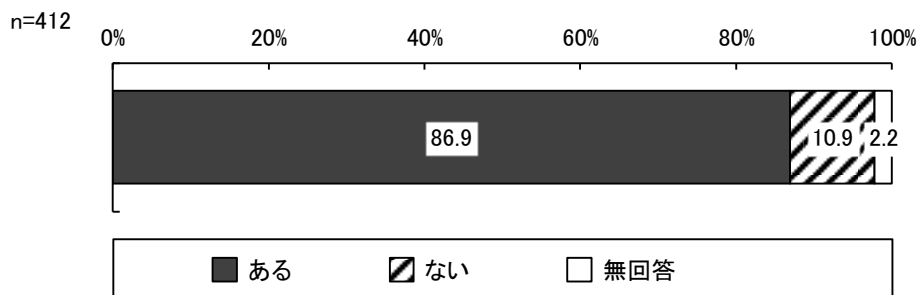
- ・居住地確保や保佐人等の要件の緩和。
- ・見守り体制等の地域のサポートの充実や地域住民の理解を深める取組。
- ・病院と地域関係者の連携（顔の見える関係作り）。
- ・専任の精神保健福祉士の配置や医師・看護師など多職種でカンファレンスができる環境整備と意識の醸成。
- ・地域の相談支援体制の充実。
- ・訪問看護、訪問診療の強化等 等

(12) 外来医療の状況

① 医師以外の職種が行う療養生活環境を整備するための相談等の支援有無

精神科外来患者に対し診察以外に、「医師以外の職種が、患者や家族に療養生活環境整備の相談支援を行うことがある」と回答した施設は86.9%であった。

図表 2 - 115 医師以外の職種が行う療養生活環境を整備するための相談等の支援有無

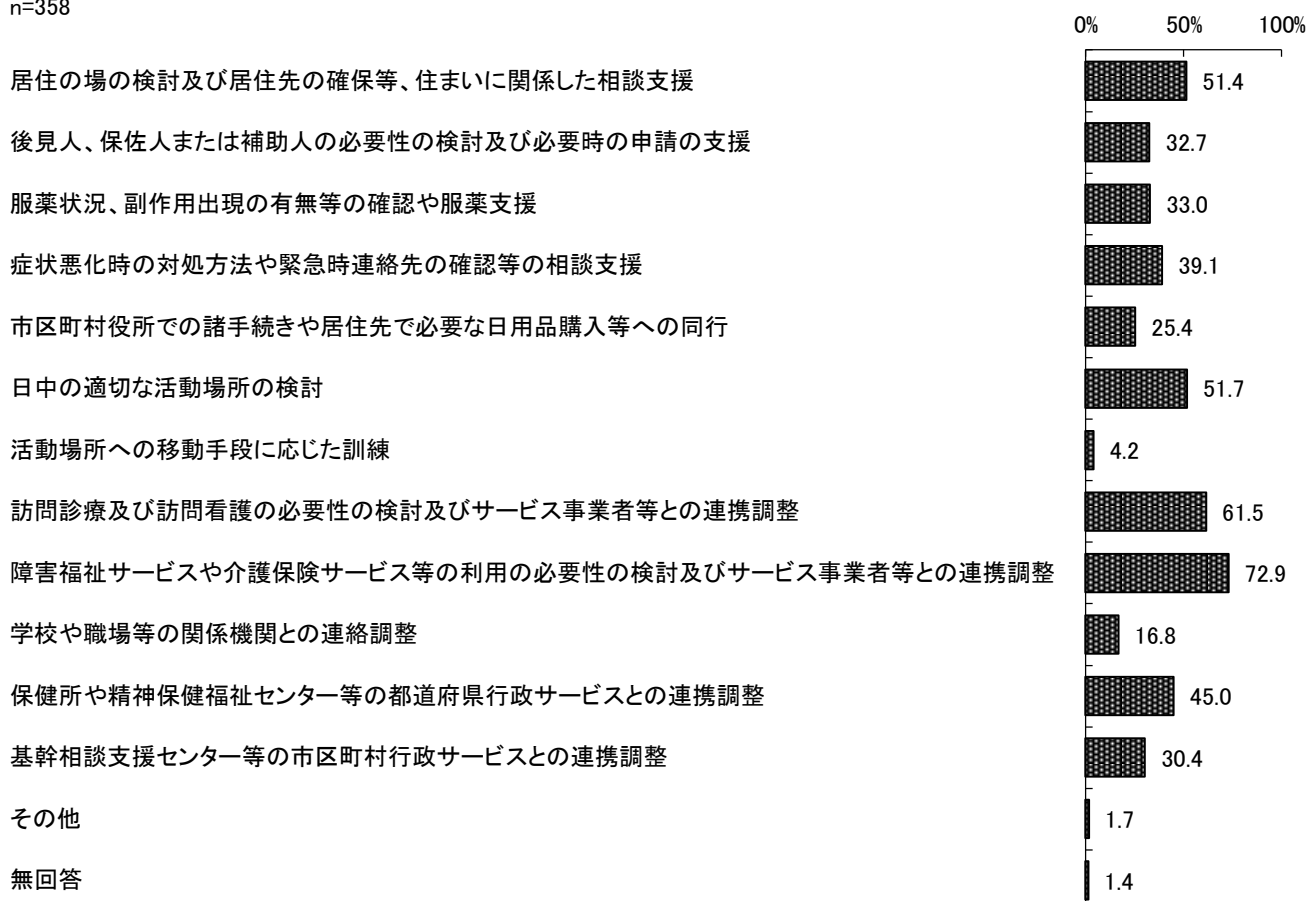


② 具体的な支援内容

精神科外来患者に対し診察以外に、「医師以外の職種が、患者や家族に療養生活環境整備の相談支援を行うことがある」と回答した施設において、医師以外の職種が行う具体的な支援として、最も多かった回答は「障害福祉サービスや介護保険サービス等の利用の必要性の検討及びサービス事業者等との連携調整」で72.9%、次いで「訪問診療及び訪問看護の必要性の検討及びサービス事業者等との連携調整」(61.5%)であった。

図表 2 - 116 医師以外の職種が行う患者への支援提供（上位5つまで）

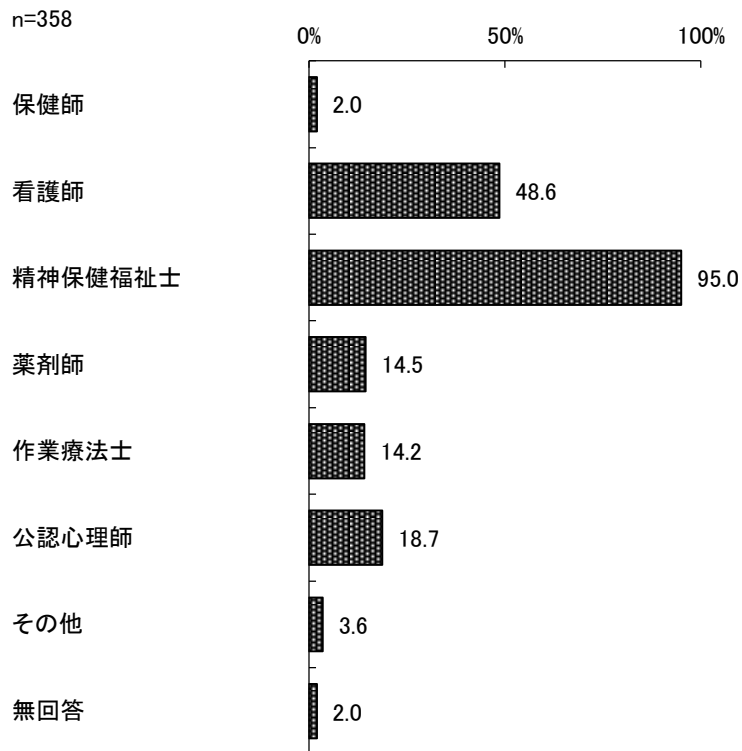
n=358



③ 支援を行っている職種

患者への支援提供を行っている最も多い職種は精神保健福祉士で95.0%であった。なお、「その他」の回答としては、「社会福祉士」等があった。

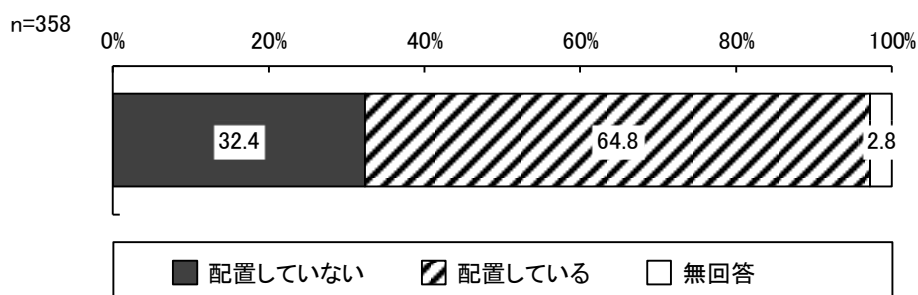
図表 2 - 117 支援を行っている職種（複数回答）



④ 外来で相談業務を行う精神保健福祉士の配置有無

病棟専従の精神保健福祉士以外に外来で相談業務を行う精神保健福祉士の配置の有無については、「配置している」と回答した施設が64.8%であった。

図表 2 - 118 病棟専従以外の精神保健福祉士の配置有無

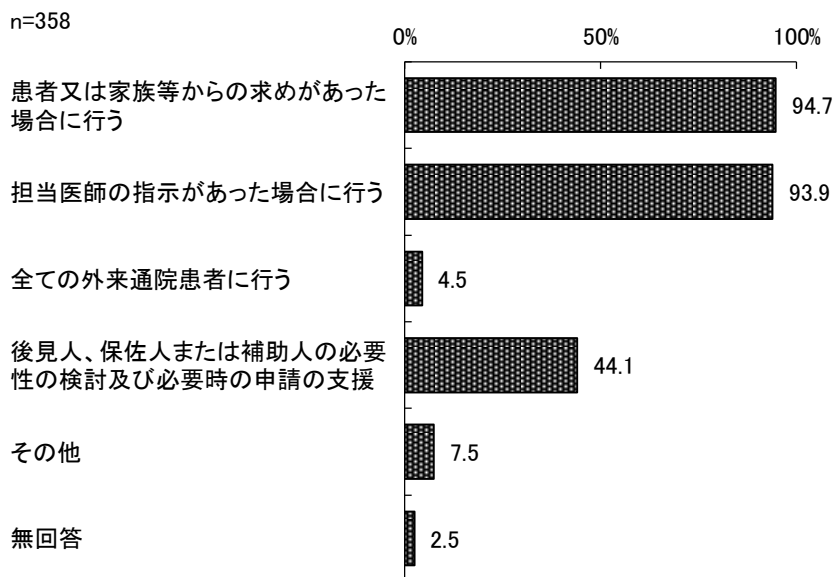


⑤ どのような場合に支援を行うか

精神科外来患者に対する支援について「患者又は家族等からの求めがあった場合に行く」が94.7%で最も多く、次に多かったものは「担当医師の指示があった場合に行く」(93.9%)であった。

なお、「その他」には、「精神保健福祉士が必要と判断した時」、「関係機関から要請、自治体、地域支援者等からの依頼があった場合」などの回答があった。

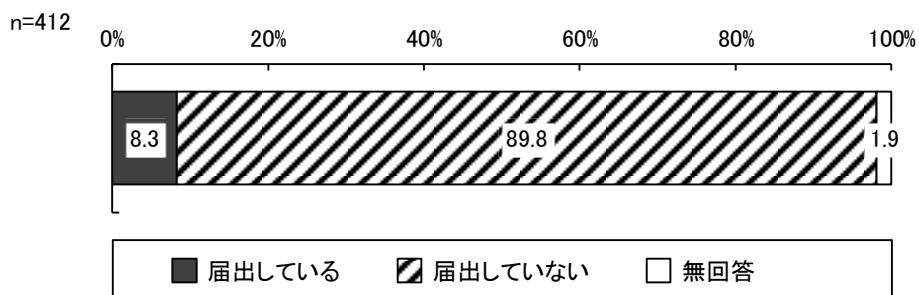
図表 2 - 119 どのような場合に精神科外来患者に対する支援を行うか（複数回答）



⑥ 療養生活環境整備指導加算の届出状況等

療養生活環境整備指導加算の届出状況は以下のとおりで、「届出している」が8.3%、「届出していない」が89.8%、であった。

図表 2 - 120 療養生活環境整備指導加算の届出状況

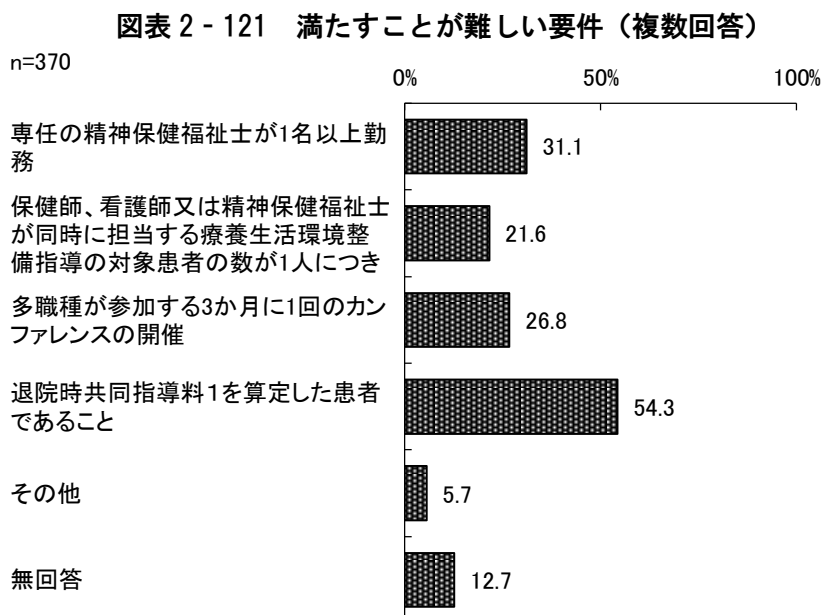


【「届出している」施設の令和2年8月から10月までの算定回数・算定患者数(実人数)】

		平均値	標準偏差	中央値
療養生活環境整備指導加算算定回数	n=30	25.3	121.4	0.0
療養生活環境整備指導加算算定患者数	n=30	10.8	47.2	0.0

⑥-1 満たすことが難しい要件

療養生活環境整備指導加算の届出をしていない理由として、満たすことが難しい要件として最も多かったものは「精神科退院時共同指導料1を算定した患者であること」(54.3%)であった。



⑦ 療養生活環境整備指導加算の実施に関する課題（自由記述）

療養生活環境整備指導加算の実施に関する課題について、自由回答を求めたところ、以下のような回答があった。

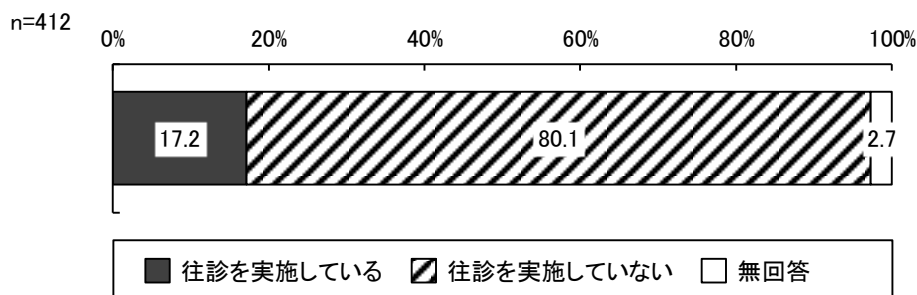
- ・ 精神病棟を有する他の医療機関との連携および精神保健福祉士の確保。
- ・ 精神科退院時共同指導料を算定できる環境の整備。
- ・ 専任の精神保健福祉士等、療養場所および施設におけるマンパワーの確保。 等

(13) 在宅医療の状況

① 精神科在宅患者の往診の実施状況(令和2年10月)

令和2年10月における精神科在宅患者の往診の実施状況を見ると、「往診を実施している」が17.2%であった。

図表 2 - 122 精神科在宅患者の往診の実施状況



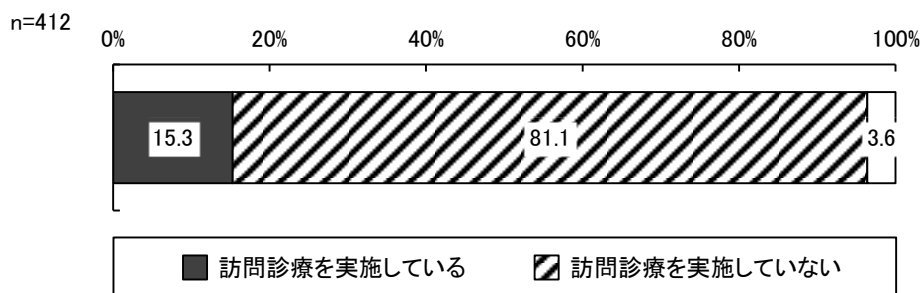
【「往診をしている」と回答した施設の令和2年10月の実施回数・実患者数】

		平均値	標準偏差	中央値
往診実施回数	n=67	1.7	5.7	0.0
実患者数	n=67	1.5	4.9	0.0

② 精神科在宅患者の訪問診療の実施(令和2年10月)

令和2年10月における精神科在宅患者の訪問診療の実施状況を見ると、「訪問診療を実施している」が15.3%であった。

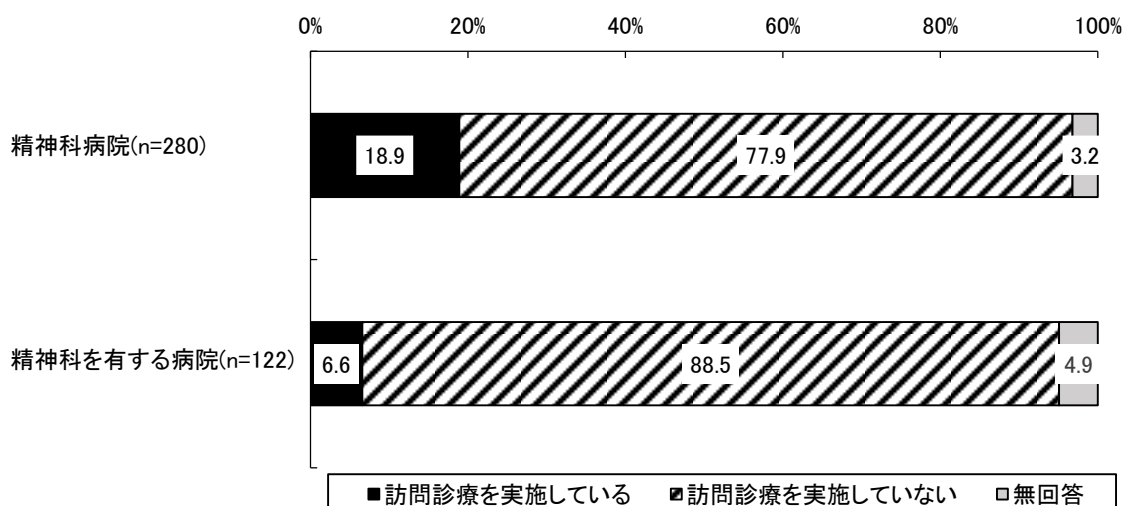
図表 2 - 123 精神科在宅患者の訪問診療の実施状況



【「訪問診療を実施している」と回答した施設の令和2年10月の実施回数・実患者数】

		平均値	標準偏差	中央値
訪問診療実施回数	n=59	31.7	84.4	4.0
実患者数	n=59	24.0	48.1	7.0

図表 2 - 124 精神科在宅患者の訪問診療の実施状況および実患者数(病院種別)



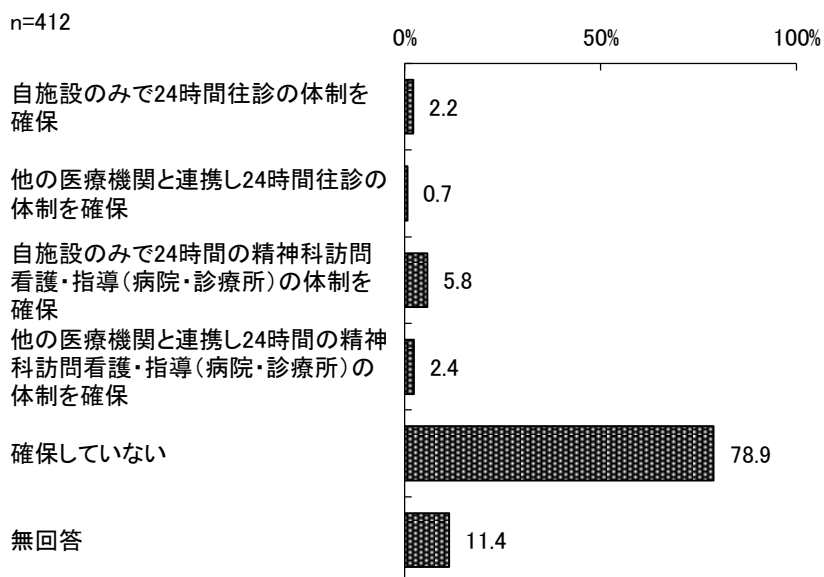
【「訪問診療を実施している」と回答した施設の令和 2 年 10 月の実施回数・実患者数(病院種別)】

		平均値	標準偏差	中央値
精神科病院(n=50)	往診実施回数	36.2	90.9	4.5
	実患者数	25.6	51.2	7.5
精神科を有する病院(n=7)	往診実施回数	6.9	10.1	3.0
	実患者数	17.9	23.4	6.0

③ 24 時間体制として整備されている体制

施設独自あるいは他の医療機関との連携等により、24 時間体制として整備されているものについて「確保していない」との回答が 78.9%であった。

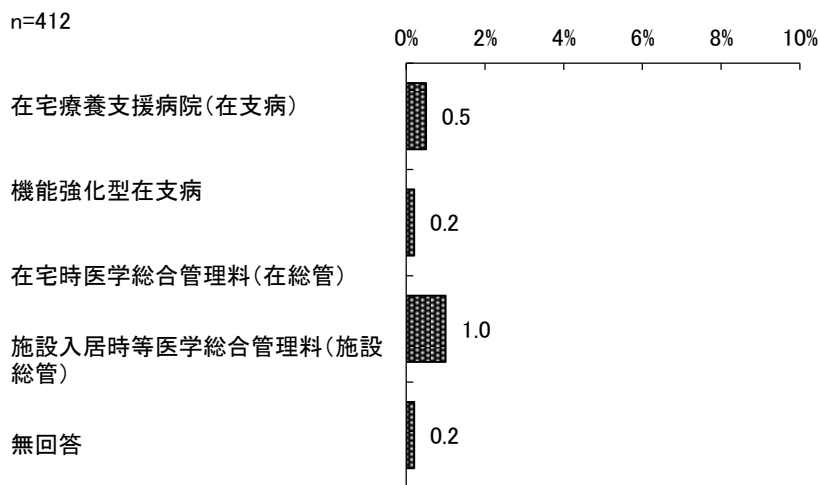
図表 2 - 125 24 時間体制として整備されている体制（複数回答）



④ 在宅医療に係る施設基準のうち届出を行っているもの

在宅医療に関わる施設基準のうち届出を行っているものは以下のとおりであった。

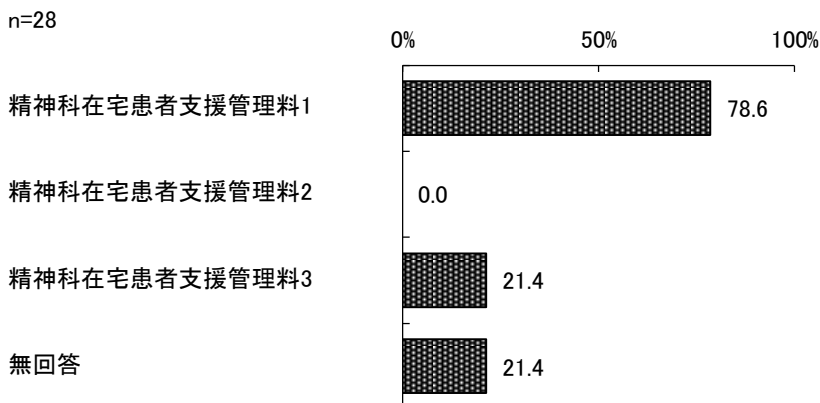
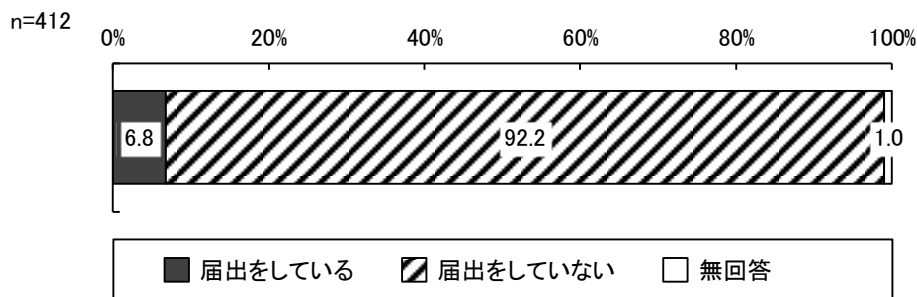
図表 2 - 126 在宅医療に関わる施設基準のうち届出を行っている施設基準（複数回答）



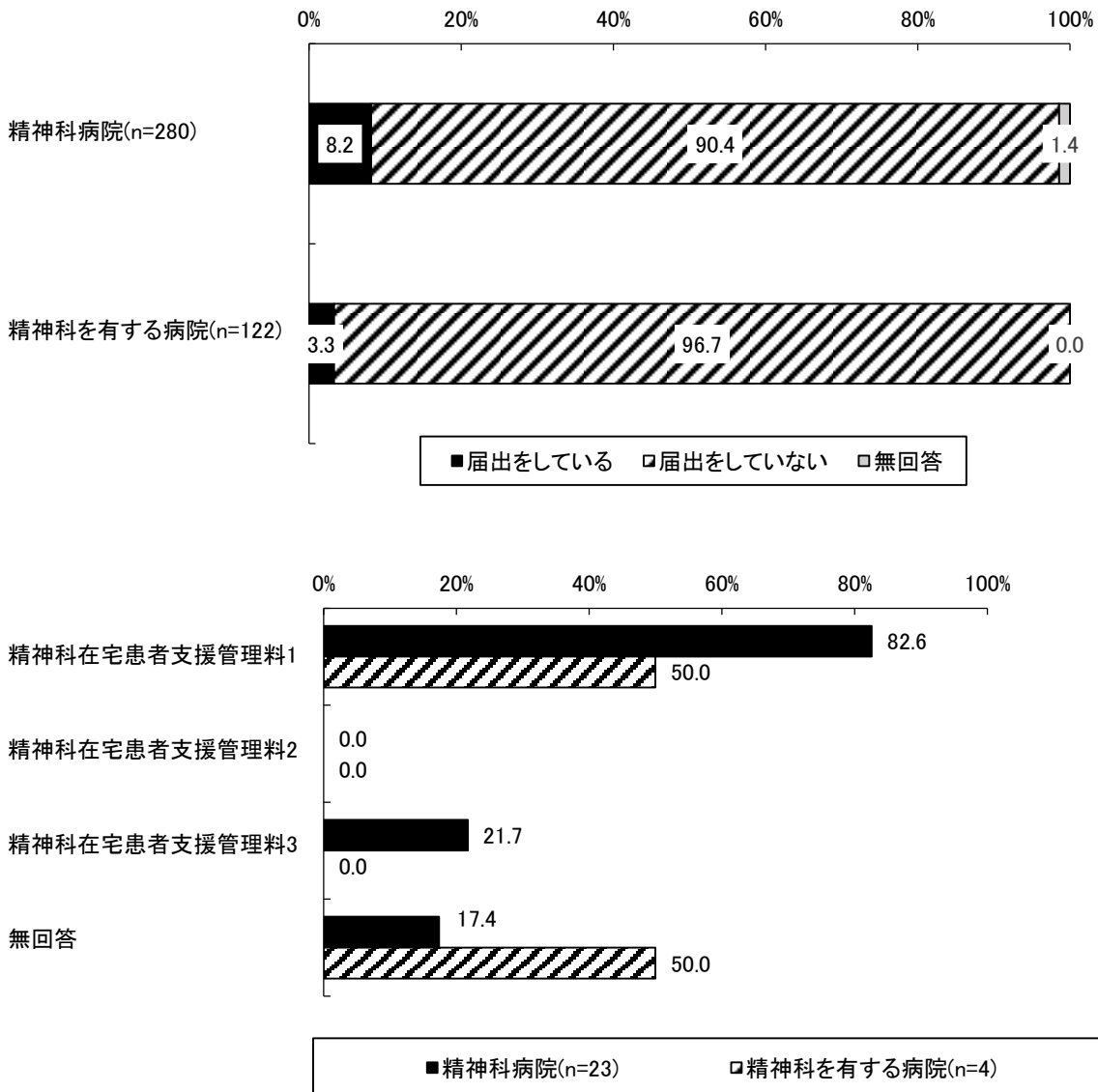
⑤ 精神科在宅患者支援管理料の施設基準の届出有無

精神科在宅患者支援管理料の施設基準については、「届出をしていない」が 92.2%であった。届出をしている施設 (6.8%) の中で最も多い届出の種類は「精神科在宅患者支援管理料 1」(78.6%)であった。

図表 2 - 127 精神科在宅患者支援管理料の施設基準の届出有無および届出の種類（複数回答）

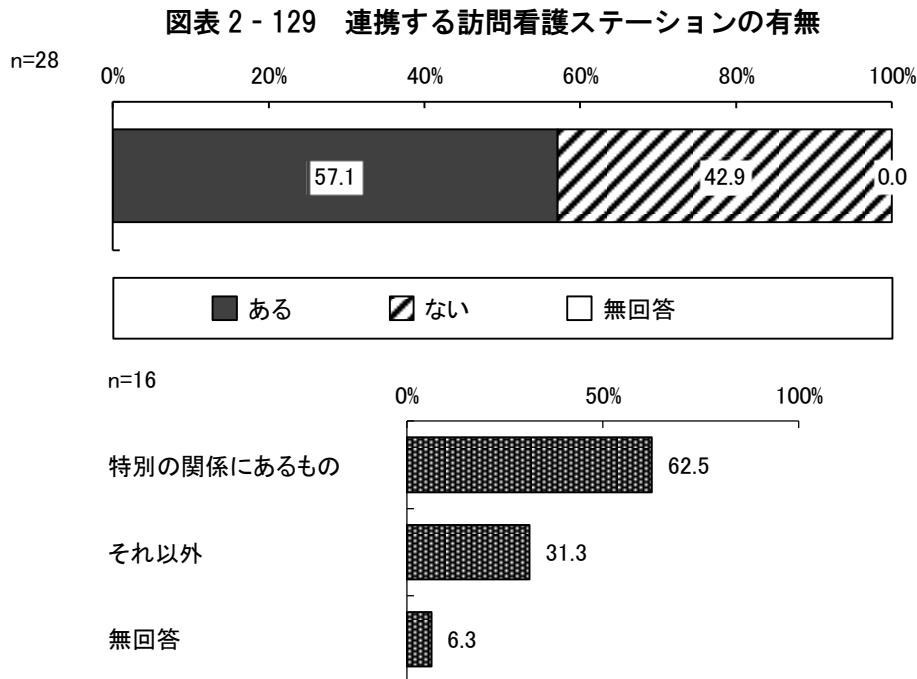


図表 2 - 128 精神科在宅患者支援管理料の施設基準の届出有無
および届出の種類（複数回答、病院種別）



⑤-1 連携する訪問看護ステーションの有無

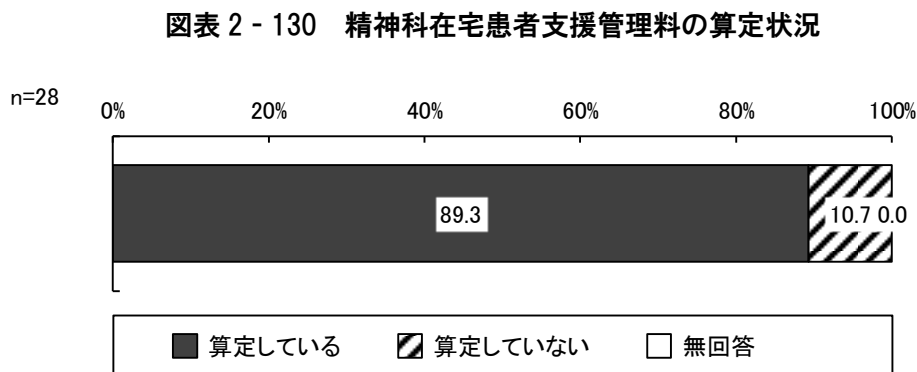
精神科在宅患者支援管理料の施設基準の届出をしていると回答した施設において、連携する訪問看護ステーションが「ある」と回答した施設は57.1%であった。また、連携事務所については「特別の関係にあるもの」と回答したものが62.5%であった。



注:「特別の関係」とは、①開設者が同一、②代表者が同一、③代表者同士が親族等、④役員等のうち他の保険医療機関の役員等の親族等が3割超、⑤人事、資金等の関係により互いに重要な影響を与えうる場合を示す。

⑤-2 精神科在宅患者支援管理料の算定状況(令和2年8月~10月)

精神科在宅患者支援管理料の施設基準の届出をしていると回答した施設において、精神科在宅患者支援管理料を「算定している」と回答した施設は89.3%であった。



⑤-2-1 精神科在宅患者支援管理料に基づく医学管理を実施している職員の体制

精神科在宅患者支援管理料に基づく医学管理を実施している職員の体制は以下のとおりであった。

図表 2 - 131 精神科在宅患者支援管理料に基づく医学管理を実施している職員の体制

	常勤							
		専従			専任			
		n	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	
1) 医師	n=7	0.1	0.4	0.0	n=23	1.5	1.1	1.0
a. (うち)精神保健指定医	n=7	0.1	0.4	0.0	n=23	1.4	1.1	1.0
2) 保健師・看護師	n=9	0.3	0.5	0.0	n=18	1.7	2.2	1.0
3) 精神保健福祉士	n=10	0.6	0.9	0.0	n=22	1.5	1.0	1.0
4) 作業療法士	n=7	0.1	0.4	0.0	n=14	0.6	0.5	1.0
5) その他	n=6	0.0	0.0	0.0	n=11	0.2	0.4	0.0

	非常勤							
		専従			専任			
		n	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	
1) 医師	n=6	0.0	0.0	0.0	n=6	0.0	0.0	0.0
a. (うち)精神保健指定医	n=6	0.0	0.0	0.0	n=6	0.0	0.0	0.0
2) 保健師・看護師	n=6	0.0	0.0	0.0	n=6	0.2	0.4	0.0
3) 精神保健福祉士	n=6	0.0	0.0	0.0	n=6	0.2	0.4	0.0
4) 作業療法士	n=6	0.0	0.0	0.0	n=6	0.0	0.0	0.0
5) その他	n=6	0.0	0.0	0.0	n=7	0.1	0.4	0.0

⑤-2-2 精神科在宅患者支援管理料の算定件数(令和2年10月)

精神科在宅患者支援管理料の算定をしている施設における令和2年10月の算定件数は以下のとおりであった。

図表2-132 精神科在宅患者支援管理料の算定件数

		平均値	標準偏差	中央値
1)精神科在宅患者支援管理料1	n=18	32.1	43.9	13.0
イ. 重症患者等のうち、集中的な支援を必要とする患者(1)単一建物診療患者1人	n=9	2.8	7.9	0.0
イ. 重症患者等のうち、集中的な支援を必要とする患者(2)単一建物診療患者2人以上	n=9	2.2	6.3	0.0
ロ. 重症患者等(1)単一建物診療患者1人	n=8	0.6	1.3	0.0
ロ. 重症患者等(2)単一建物診療患者2人以上	n=8	0.0	0.0	0.0
ハ. イ又はロ以外の患者(1)単一建物診療患者1人	n=12	3.8	7.1	1.5
うち2020年3月末時点で算定していた患者の算定件数	n=11	3.7	7.4	0.0
ハ. イ又はロ以外の患者(2)単一建物診療患者2人以上	n=14	33.9	43.6	13.5
うち2020年3月末時点で算定していた患者の算定件数	n=14	25.1	35.6	10.0
2)精神科在宅患者支援管理料2	n=-	-	-	-
イ. 重症患者等のうち、集中的な支援を必要とする患者(1)単一建物診療患者1人	n=-	-	-	-
イ. 重症患者等のうち、集中的な支援を必要とする患者(2)単一建物診療患者2人以上	n=-	-	-	-
ロ. 重症患者等(1)単一建物診療患者1人	n=-	-	-	-
ロ. 重症患者等(2)単一建物診療患者2人以上	n=-	-	-	-
3)精神科在宅患者支援管理料3	n=5	2.2	4.4	0.0
イ. 単一建物診療患者1人	n=5	2.2	4.4	0.0
ロ. 単一建物診療患者2人以上	n=5	0.0	0.0	0.0

⑤-2-3 精神科退院時共同指導料に基づく各種カンファレンスの開催回数、対象実患者数、参加職種(令和2年8月～10月)

【a チームカンファレンス】

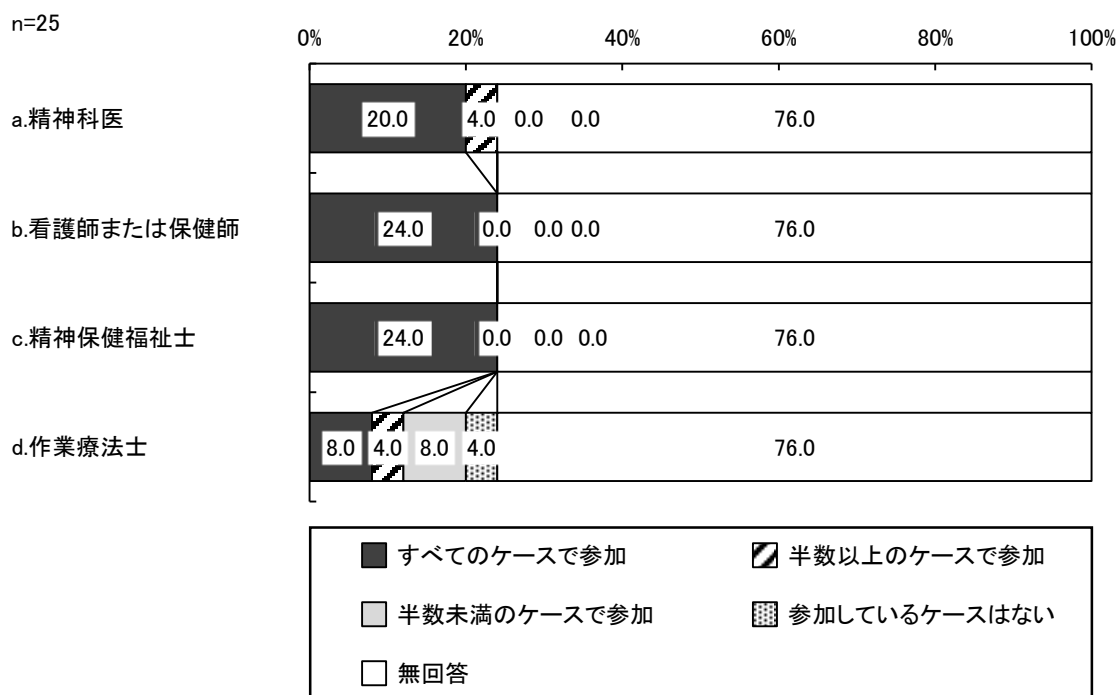
精神科退院時共同指導料に基づく各種カンファレンスの開催回数、対象実患者数、参加職種は以下のとおりであった。

図表 2 - 133 チームカンファレンスの開催回数、対象実患者数

		平均値	標準偏差	中央値
開催回数	n=12	6.9	16.8	0.5
うちビデオ通話等により実施	n=12	0.3	0.8	0.0

		平均値	標準偏差	中央値
対象実患者数	n=12	8.0	21.8	0.5

図表 2 - 134 チームカンファレンスの参加職種



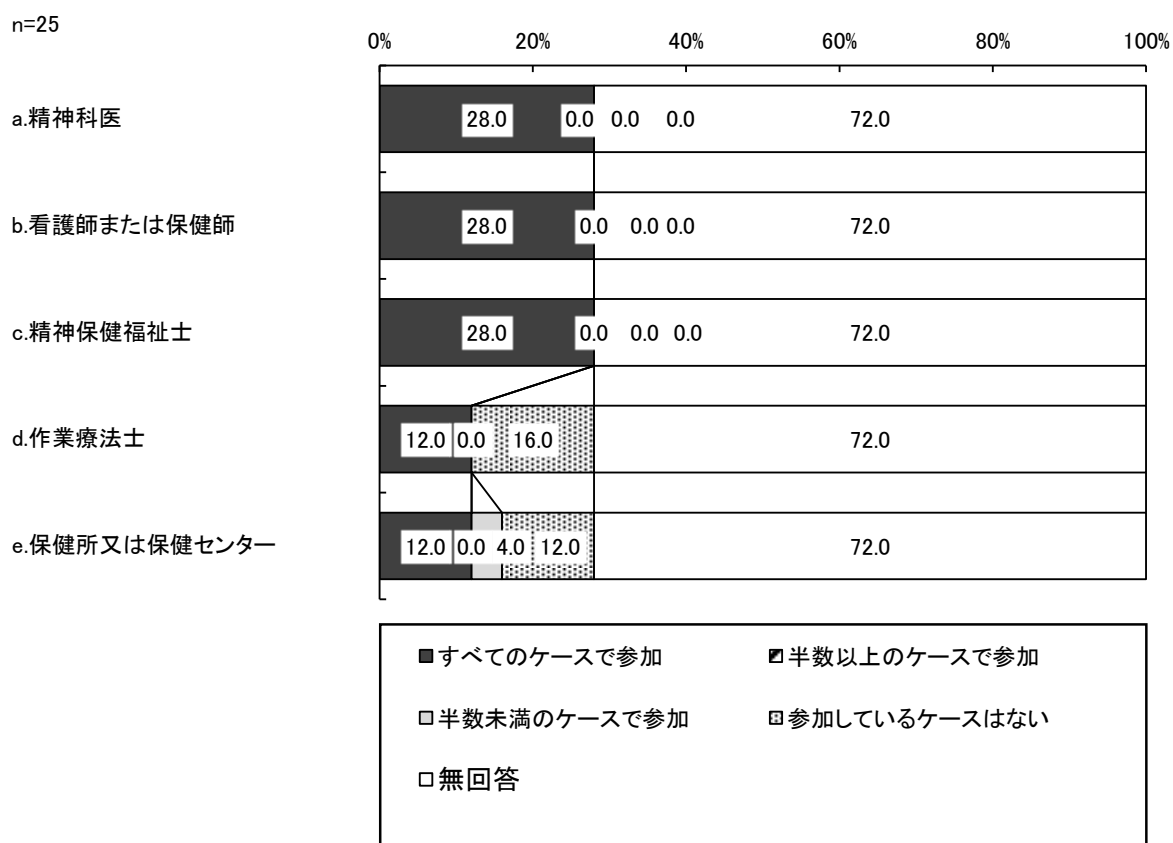
【b 共同カンファレンス】

図表 2 - 135 共同カンファレンスの開催回数、対象実患者数

		平均値	標準偏差	中央値
開催回数	n=11	2.9	4.0	1.0
	うちビデオ通話等により実施	0.6	1.0	0.0

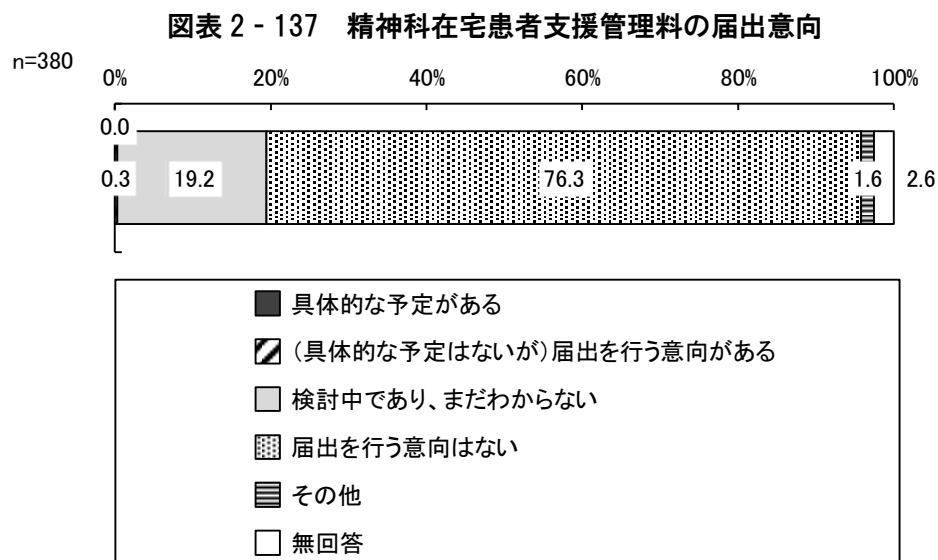
		平均値	標準偏差	中央値
対象実患者数	n=11	2.7	3.3	1.0

図表 2 - 136 共同カンファレンスの参加職種



⑥ 精神科在宅患者支援管理料の届出意向

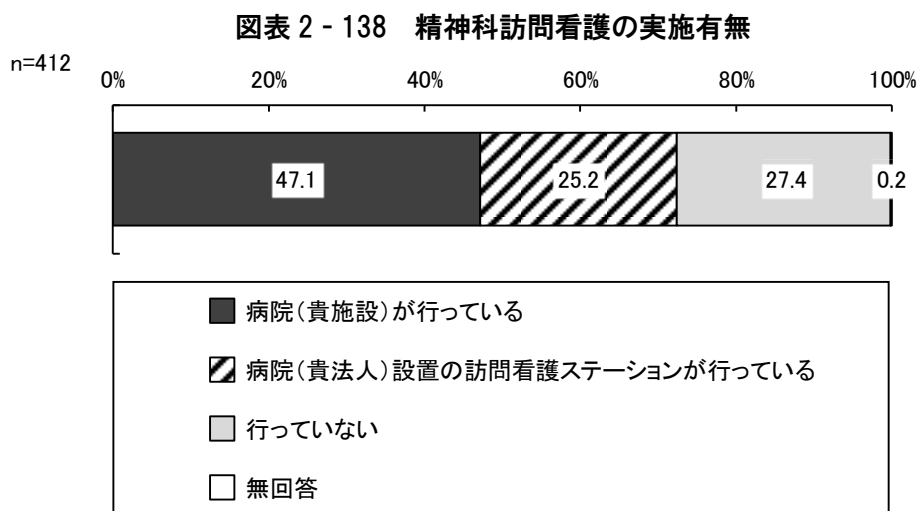
精神科在宅患者支援管理料の施設基準の届出をしていない施設にて、「届出を行う意向はない」と回答した施設は76.3%であった。



(14) 精神科訪問看護の状況

① 精神科訪問看護の実施有無

精神科訪問看護の実施については、自施設で行っているとの回答が 47.1%で最も多く、病院設置の訪問看護ステーションが行っていると回答した施設が 25.2%であった。



② 精神科訪問看護に携わる職員数

精神科訪問看護を行っている施設にて、精神科訪問看護に携わる職員数（常勤換算）は以下のとおりであった。

なお、「その他」には「看護補助者」、「管理栄養士」、「臨床心理士」等の回答があった。

**図表 2 - 139 精神科訪問看護に携わる職員数
(病棟看護職員による退院前訪問看護は除く)**

	1)保健師・看護師			2)准看護師			3)作業療法士					
	n	平均値	標準偏差	中央値	n	平均値	標準偏差	中央値	n	平均値	標準偏差	中央値
a. 令和元年10月	n=178	4.2	4.3	3.0	n=79	0.7	1.7	0.0	n=93	1.0	1.3	1.0
b. 令和2年10月	n=181	4.0	3.5	3.0	n=79	0.6	1.1	0.0	n=93	1.0	1.3	1.0
	4)精神保健福祉士			5)その他			6)合計					
	n	平均値	標準偏差	中央値	n	平均値	標準偏差	中央値	n	平均値	標準偏差	中央値
a. 令和元年10月	n=137	2.1	2.4	1.0	n=63	0.2	0.5	0.0	n=124	6.8	6.2	5.0
b. 令和2年10月	n=135	2.1	2.4	1.0	n=62	0.1	0.4	0.0	n=127	6.4	4.9	5.0

③ 精神科訪問看護を実施した患者数(令和2年10月)

精神科訪問看護を行っている施設にて、令和2年10月1か月間に、精神科訪問看護を実施した患者数(実人数)は以下のとおりであった。

図表2-140 精神科訪問看護を実施した患者数(実人数)

		平均値	標準偏差	中央値
令和2年10月1か月間の精神科訪問看護を実施した患者数(実人数)	n=186	72.6	64.9	55.0
上記のうち、身体疾患を有する患者数(実人数)	n=141	19.3	38.5	1.0
上記のうち、他の精神科療法を行った患者数(実人数)	n=150	43.6	53.0	27.0

④ 週当たりの訪問回数別患者数

令和2年10月25日～10月31日の1週間に実施した精神訪問看護における訪問回数別患者数(実人数)は以下のとおりであった。

図表2-141 週当たりの訪問回数別患者数(実人数)(令和2年10月25日～10月31日)

週1回				週2回				週3回			
	平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
n=194	30.4	32.7	19.5	n=194	3.2	8.4	0.5	n=194	1.1	2.8	0.0
週4回				週5回以上				合計			
	平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
n=194	0.1	0.3	0.0	n=194	0.1	0.8	0.0	n=194	34.7	37.3	24.0

⑤ 精神科訪問看護の時間区分ごとの算定患者数と算定回数(令和2年10月)

令和2年10月1か月間に行った精神科訪問看護の時間区分ごとの算定患者数と算定回数は以下のとおりであった。

算定患者数

図表2-142 精神科訪問看護の時間区分ごとの算定患者数と算定回数

	n	1)30分未満			2)30分以上			3)合計				
		平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値		
a. 精神科訪問看護・指導料(I)	n=194	9.8	41.1	0.0	n=194	50.6	62.7	32.5	n=194	60.4	75.2	44.0
b. (うち)保健師又は看護師による算定回数	n=194	14.2	52.5	0.0	n=194	46.1	56.7	28.5	n=194	60.4	77.5	42.0
c. (うち)作業療法士による算定回数	n=194	2.9	21.8	0.0	n=194	4.7	21.4	0.0	n=194	7.5	39.0	0.0
d. (うち)精神保健福祉士による算定回数	n=194	0.5	1.7	0.0	n=194	5.8	12.7	0.0	n=194	6.3	13.7	0.0
e. (うち)准看護師による算定回数	n=194	0.2	2.2	0.0	n=194	1.2	5.2	0.0	n=194	1.4	6.2	0.0
f. 精神科訪問看護・指導料(Ⅲ)(同一建物居住者)	n=194	3.2	17.0	0.0	n=194	4.6	9.7	0.0	n=194	7.8	20.8	0.0
g. (うち)保健師又は看護師による算定回数	n=194	3.1	16.0	0.0	n=194	3.9	8.6	0.0	n=194	7.0	19.5	0.0
h. (うち)作業療法士による算定回数	n=194	0.3	2.3	0.0	n=194	0.4	2.1	0.0	n=194	0.8	3.1	0.0
i. (うち)精神保健福祉士による算定回数	n=194	0.3	1.8	0.0	n=194	0.5	1.9	0.0	n=194	0.8	2.8	0.0
j. (うち)准看護師による算定回数	n=194	0.2	1.6	0.0	n=194	0.1	0.6	0.0	n=194	0.3	1.9	0.0

算定回数

	n	1)30分未満			2)30分以上			3)合計				
		平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値		
a. 精神科訪問看護・指導料(I)	n=194	18.0	55.4	0.0	n=194	113.6	133.7	70.0	n=194	131.6	149.3	84.0
b. (うち)保健師又は看護師による算定回数	n=194	18.3	55.2	0.0	n=194	109.3	131.5	71.0	n=194	127.6	143.5	79.0
c. (うち)作業療法士による算定回数	n=194	0.9	5.2	0.0	n=194	6.5	23.2	0.0	n=194	7.4	25.0	0.0
d. (うち)精神保健福祉士による算定回数	n=194	0.9	3.4	0.0	n=194	13.1	33.4	0.0	n=194	14.0	35.1	0.0
e. (うち)准看護師による算定回数	n=194	0.3	4.2	0.0	n=194	1.9	7.9	0.0	n=194	2.2	9.7	0.0
f. 精神科訪問看護・指導料(Ⅲ)(同一建物居住者)	n=194	8.4	42.1	0.0	n=194	10.4	23.1	0.0	n=194	18.8	53.8	0.0
g. (うち)保健師又は看護師による算定回数	n=194	8.4	43.3	0.0	n=194	9.9	23.0	0.0	n=194	18.3	55.6	0.0
h. (うち)作業療法士による算定回数	n=194	1.1	10.1	0.0	n=194	0.7	2.9	0.0	n=194	1.7	11.7	0.0
i. (うち)精神保健福祉士による算定回数	n=194	2.1	21.8	0.0	n=194	1.0	4.6	0.0	n=194	3.1	24.2	0.0
j. (うち)准看護師による算定回数	n=194	0.4	3.9	0.0	n=194	0.3	2.6	0.0	n=194	0.7	5.1	0.0

⑥ 複数名精神科訪問看護・指導加算を算定した患者数と回数(令和2年10月)

精神科訪問看護を実施した患者のうち、複数名精神科訪問看護・指導加算を算定した患者で、算定した患者数が最も多かったのは1日に1回であった。その平均は43人であった。

図表 2 - 143 複数名精神科訪問看護・指導加算を算定した患者数と回数

	1)算定患者数			2)算定回数				
	n	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値	
a. 1日に1回	n=174	42.8	62.0	18.5	n=174	98.8	134.8	40.5
b. 1日に2回	n=93	0.1	0.4	0.0	n=93	0.3	2.3	0.0
c. 1日に3回以上	n=91	1.7	16.3	0.0	n=91	2.5	23.9	0.0

⑦ 複数名訪問が必要な理由と同行職種ごとの算定患者数

複数名訪問が必要な理由は職種によって異なるが、「利用者及び家族それぞれへの支援が必要」が保健師・看護師、准看護師、精神保健福祉士で最も多く、次いで「暴力行為、迷惑行為等が認められる」が保健師・看護師及び准看護師で多かった。同行職種ごとの算定患者数は以下のとおりであった。

なお、「その他」の職種では「栄養士」、「臨床心理士」等の回答があった。また、複数名訪問が必要な理由としては「複数名の方が患者の情動の安定につながる」、「訪問に車での移動が必要なため運転士役を兼務」、「女性スタッフ一人での訪問が難しい」、「主治医の指示、病院の方針」、「患者希望」等の回答があった。

図表 2 - 144 複数名訪問が必要な理由と同行職種ごとの算定患者数

	1)保健師・看護師			2)准看護師			3)看護補助者					
	n	平均値	標準偏差	中央値	n	平均値	標準偏差	中央値	n	平均値	標準偏差	中央値
a. 理由1)	n=84	15.6	29.7	2.0	n=49	2.4	8.1	0.0	n=44	0.0	0.0	0.0
b. 理由2)	n=83	9.4	14.2	2.0	n=48	1.7	4.6	0.0	n=44	0.2	1.1	0.0
c. 理由3)	n=96	27.4	50.5	7.5	n=50	4.1	12.0	0.0	n=44	1.1	6.7	0.0
d. 理由4)	n=62	14.8	27.1	2.0	n=43	2.4	10.0	0.0	n=42	1.9	11.7	0.0
	4)作業療法士			5)精神保健福祉士			6)その他					
	n	平均値	標準偏差	中央値	n	平均値	標準偏差	中央値	n	平均値	標準偏差	中央値
a. 理由1)	n=54	2.7	7.9	0.0	n=64	3.2	7.4	0.0	n=43	0.0	0.0	0.0
b. 理由2)	n=54	3.0	6.9	0.0	n=60	3.6	6.8	0.0	n=42	0.2	1.2	0.0
c. 理由3)	n=59	3.0	6.7	0.0	n=82	10.7	18.4	1.0	n=43	0.0	0.2	0.0
d. 理由4)	n=50	5.0	14.7	0.0	n=58	6.0	13.2	0.0	n=40	0.0	0.0	0.0

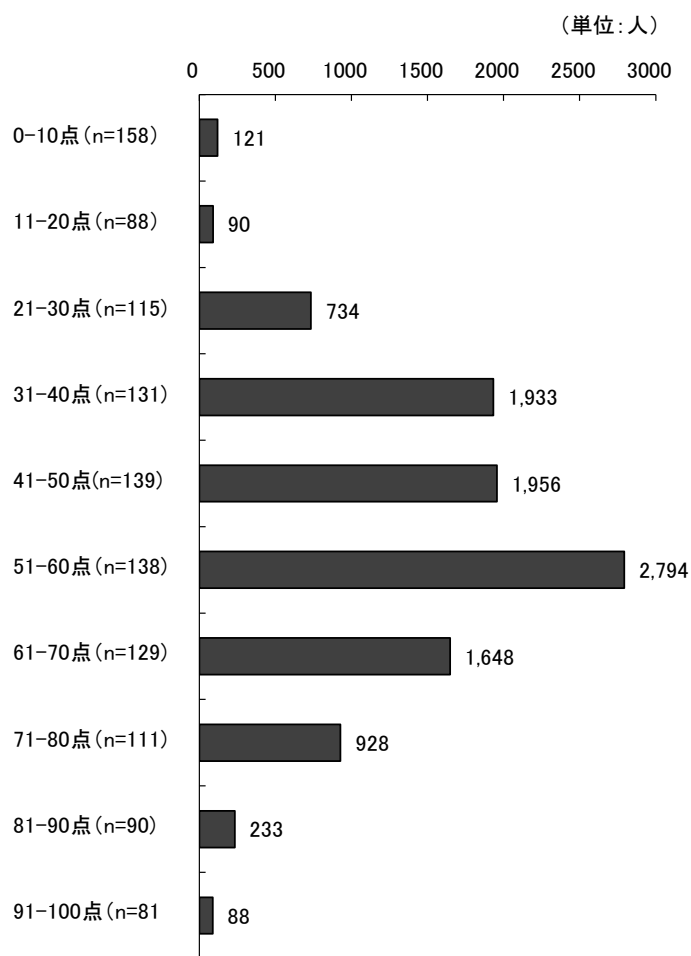
注:

- 理由 1) 暴力行為、著しい迷惑行為、器物破損行為等が認められる者
- 理由 2) 利用者の身体的理由により一人の看護師等による訪問看護が困難と認められる者
- 理由 3) 利用者及びその家族それぞれへの支援が必要な者
- 理由 4) その他

⑧ 月の初日の訪問看護時における GAF 尺度の判定値ごとの患者数(令和2年10月)

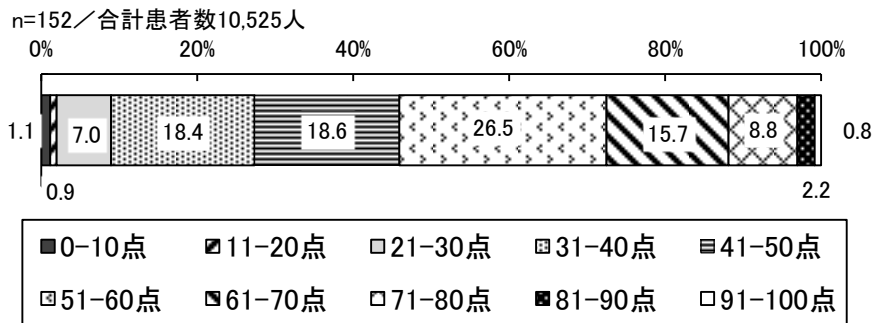
精神科訪問看護の患者の月の初日の訪問看護時における GAF 尺度により判定した値（カテゴリ）ごとの患者数について、回答のあった施設の合計値をみると、「51-60点」（2,794人、26.5%）で最頻値となっていた。また、精神科訪問看護の患者の月の初日の訪問看護時における GAF 尺度により判定した値（カテゴリ別）ごとの患者数をもとに、回答のあった施設の平均 GAF 得点をみると、「50-60点未満」（53施設）、「40-50点未満」（49施設）の順に多かった。

図表 2 - 145 月の初日の訪問看護時における GAF 尺度の判定値ごとの患者数
（回答施設の得点別患者数）

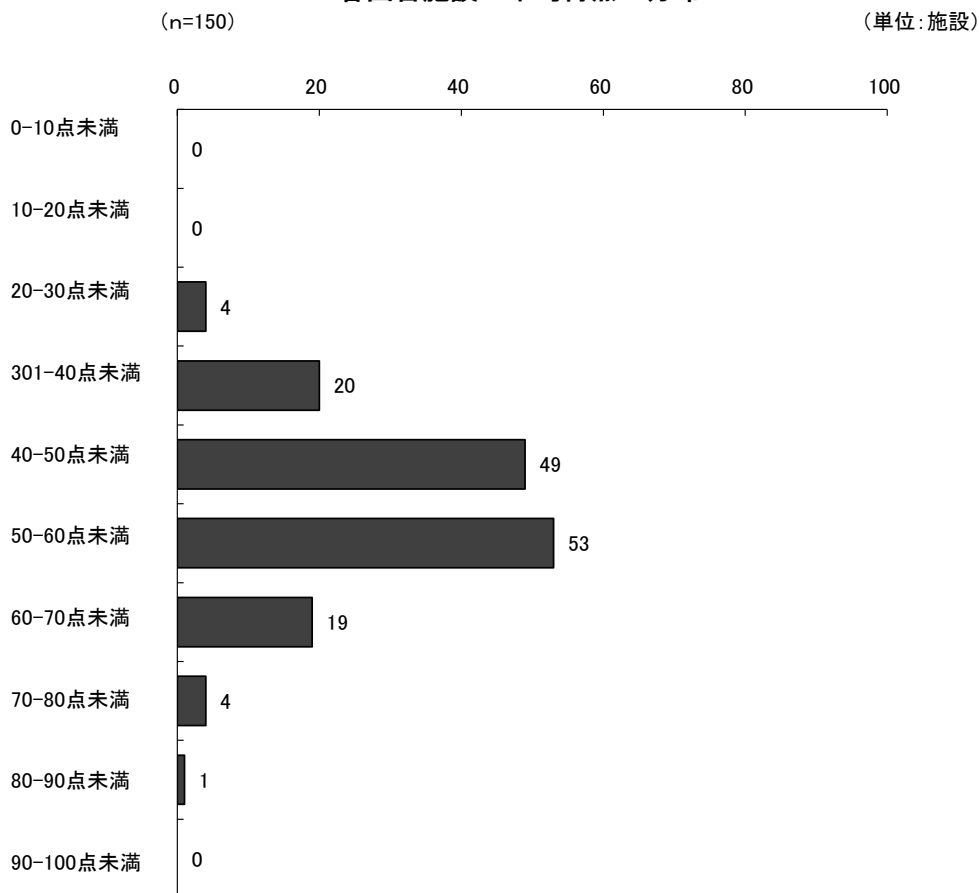


注：各得点区分に記載したn数は、各得点区分における回答施設数を指す。

図表 2 - 146 月の初日の訪問看護時における GAF 尺度の判定値ごとの患者数
(回答施設の得点別患者数の構成比)



図表 2 - 147 月の初日の訪問看護時における GAF 尺度の判定値の
各回答施設の平均得点の分布



注: 回答施設ごとに、GAF 得点の各階級の中央値に、記入された患者数を乗じて得られた値を用いて平均値を算出したもの。

⑨ 精神科認定看護師等の実人数

令和2年10月1日時点の精神科訪問看護に従事する精神科認定看護師等の人数は以下のとおりであった。

図表2-148 精神科認定看護師等の実人数（令和2年10月1日時点）

		平均値	標準偏差	中央値
1) 精神科認定看護師(日本精神科看護協会)	n=159	0.2	0.7	0.0
2) 「精神看護」の専門看護師(日本看護協会)	n=154	0.1	0.5	0.0
3) 「認知症看護」の認定看護師(日本看護協会)	n=154	0.0	0.3	0.0

図表2-149 精神科認定看護師等の実人数（令和2年10月1日時点）
（1人以上の回答があった施設を対象に集計）

		平均値	標準偏差	中央値
1) 訪問看護に従事する精神科認定看護師(日本精神科看護協会)の実人数	n=17	1.7	1.3	1.0
		平均値	標準偏差	中央値
2) 訪問看護に従事する「精神看護」の専門看護師(日本看護協会)の実人数	n=5	2.0	2.0	1.0
		平均値	標準偏差	中央値
3) 訪問看護に従事する「認知症看護」の認定看護師(日本看護協会)の実人数	n=4	1.5	0.5	1.5

⑩ 精神科認定看護師等による実施状況

令和2年10月1か月間の精神科訪問看護の実施状況は以下のとおりであった。

図表2-150 精神科認定看護師等による実施状況（令和2年10月1か月間）

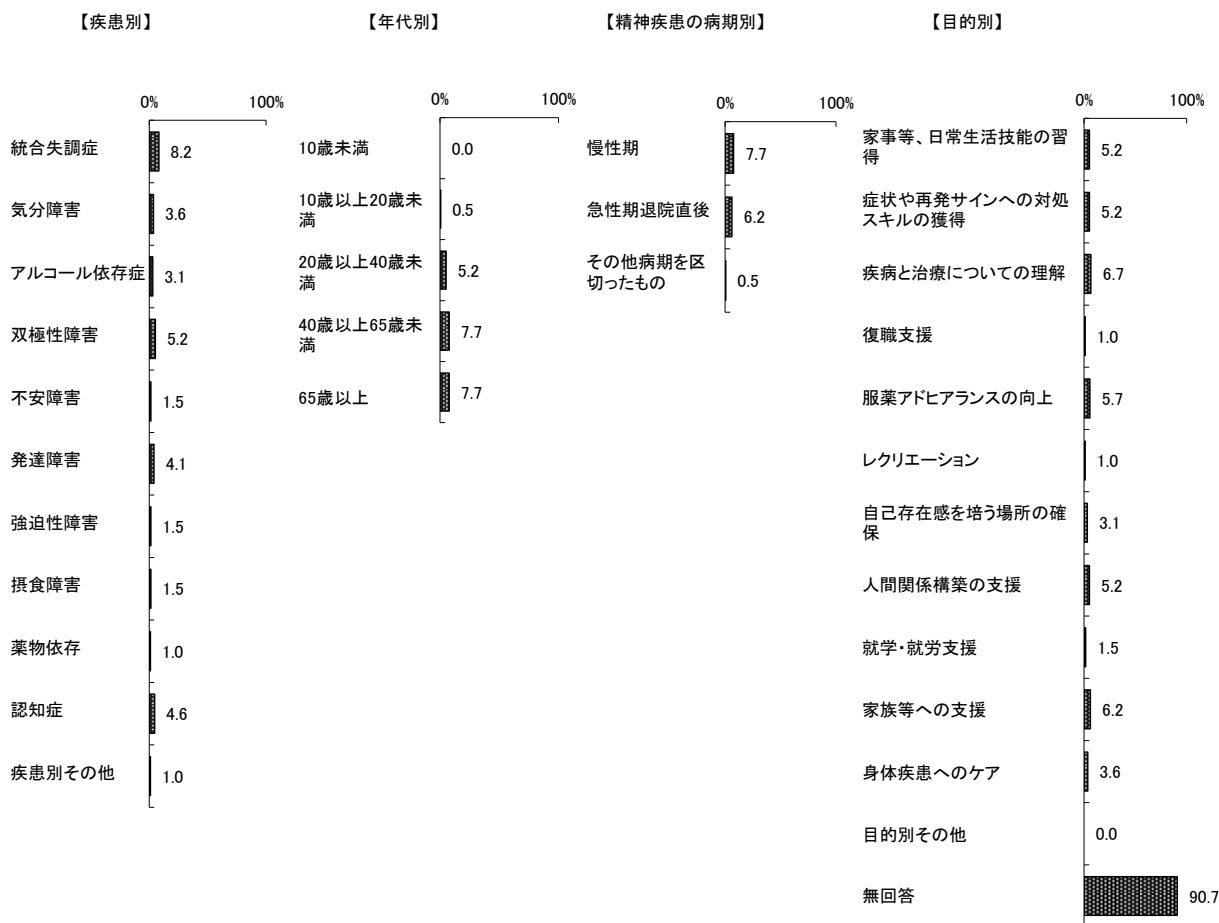
		平均値	標準偏差	中央値
1) 精神科訪問看護の実施回数	n=20	27.5	46.3	6.0
2) 訪問看護ステーションや他医療機関との同行訪問回数	n=16	0.0	0.0	0.0
3) 訪問看護ステーションや他医療機関へのコンサルテーションの実施回数	n=16	0.0	0.0	0.0
a. (うち)訪問看護ステーション又は他医療機関へ出向いて実施	n=16	0.0	0.0	0.0
b. (うち)自施設で実施	n=16	0.0	0.0	0.0
c. (うち)ICTを活用して実施				
c-1) ビデオ通話	n=16	0.0	0.0	0.0
c-2) 電話	n=16	0.0	0.0	0.0
c-3) メール等	n=16	0.0	0.0	0.0
d. (うち)上記以外の方法で実施	n=23	0.0	0.0	0.0

⑪ 精神科認定看護師等が実施したケア内容

精神科訪問看護師等が実施したケアの内容は以下のとおりで、「疾患別」で最も多かったものは「統合失調症」(8.2%)で、「年代別」では、「40歳以上65歳未満」(7.7%)と「65歳以上」(7.7%)で、「精神疾患の病期別」では「慢性期」(7.7%)、「急性期退院直後」(6.2%)、また、「目的別」で最も多かったものは「疾病と治療についての理解」(6.7%)であった。

図表 2 - 151 精神科認定看護師等が実施したケア内容（複数回答）

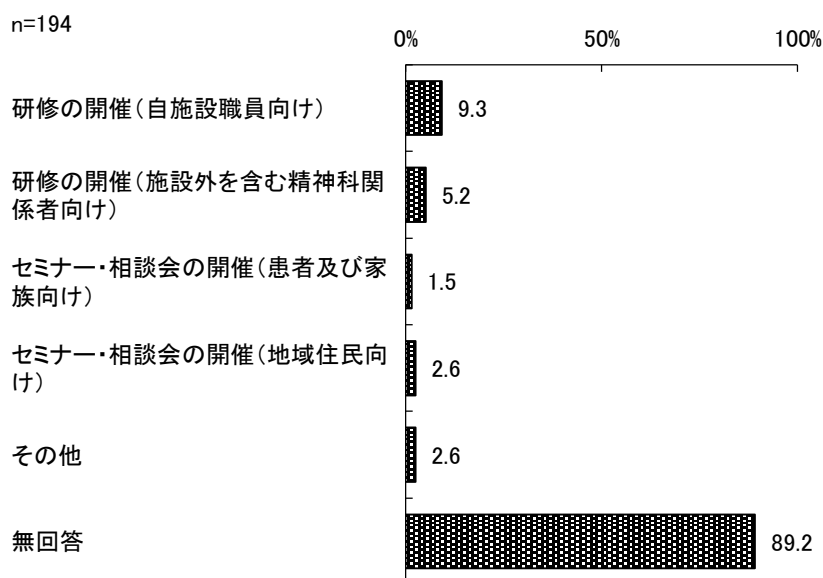
n=194



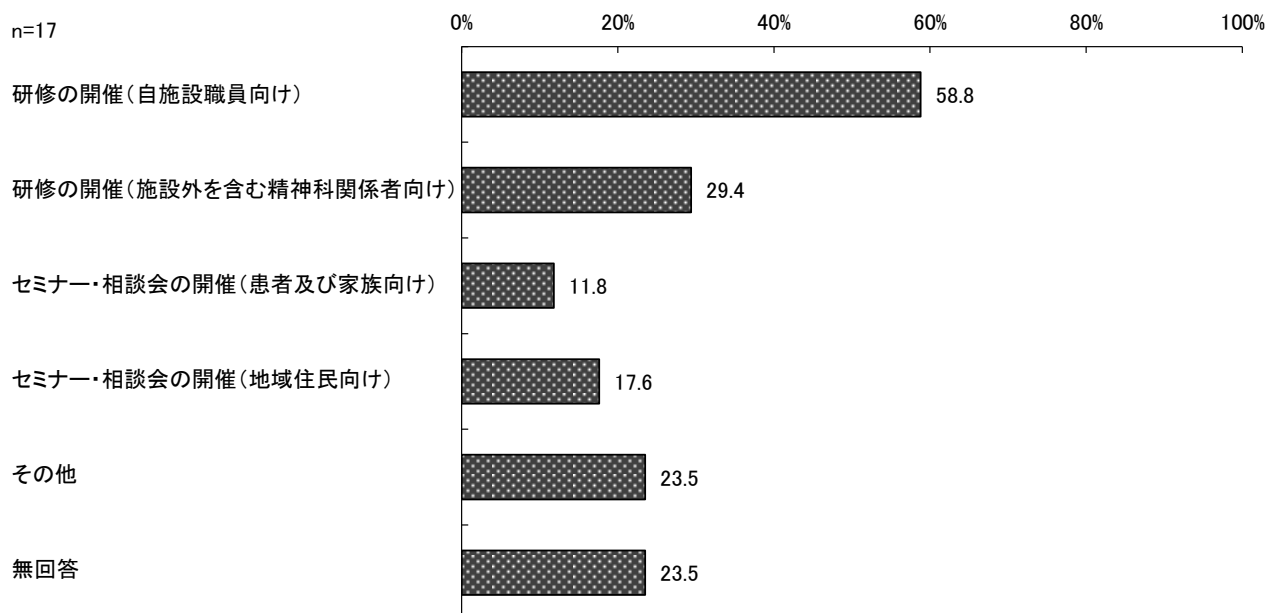
⑫ 精神科認定看護師等による活動内容

精神科認定看護師等が実施するその他の活動内容で最も多かったものは、「研修の開催（自施設職員向け）」(9.3%)で、次に多かったものは「研修の開催（施設外を含む精神科関係者向け）」(5.2%)であった。

図表 2 - 152 精神科認定看護師等による活動内容（複数回答）

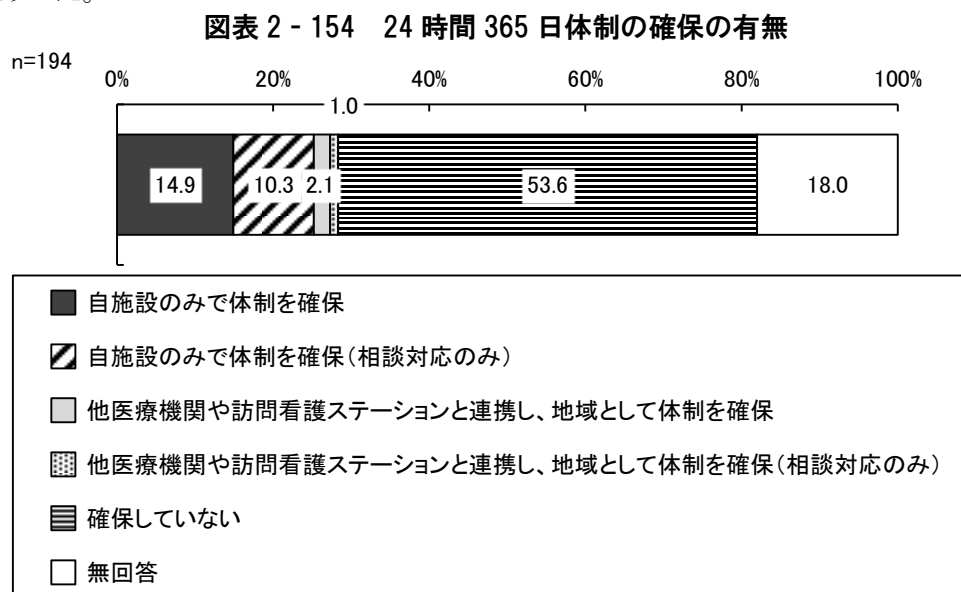


図表 2 - 153 精神科認定看護師等による活動内容
(複数回答、精神科認定看護師がいる医療機関のみ対象)



⑬ 24時間365日体制の確保の有無

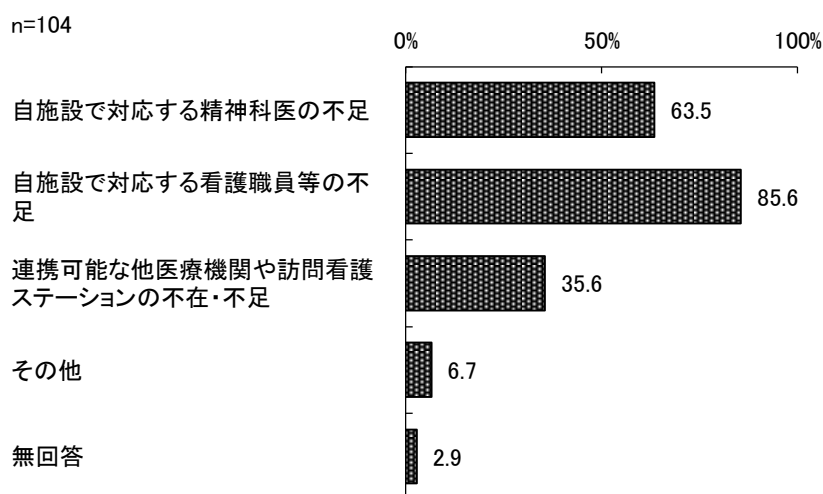
24時間365日体制の確保の有無については、「確保していない」と回答した施設が53.6%であった。



⑬-1 確保されていない理由

24時間365日体制が確保されていない理由として最も多いものが「自施設で対応する看護職員等の不足」が85.6%であった。

図表 2 - 155 24時間365日体制が確保されていない理由（複数回答）



⑭ 新型コロナウイルス感染症患者および疑い患者への訪問看護・指導の際に算定する在宅移行管理加算を算定した実人数および算定回数(令和2年4月～10月)

新型コロナウイルス感染症患者および疑い患者に行った訪問看護・指導で在宅移行管理加算を算定した実人数および算定回数は以下のとおりであった。

図表 2 - 156 在宅移行管理加算を算定した実人数および算定回数
(新型コロナウイルス感染症患者および疑い患者)

		平均値	標準偏差	中央値
実人数	n=161	0.2	2.9	0.0
算定回数	n=161	1.0	12.9	0.0

図表 2 - 157 在宅移行管理加算を算定した実人数および算定回数
(1以上の回答があった施設を対象に集計)

		平均値	標準偏差	中央値
実人数	n=1	37.0	0.0	37.0
算定回数	n=1	164.0	0.0	164.0

⑮ 電話での訪問看護・指導を行った場合に算定する訪問看護・指導体制充実加算を算定した実人数および算定回数(令和2年4月～10月)

電話等での訪問看護・指導を行った場合に算定する訪問看護・指導体制充実加算を算定した算定実人数および算定回数は以下のとおりであった。

図表 2 - 158 訪問看護・指導体制充実加算を算定した実人数および算定回数

		平均値	標準偏差	中央値
実人数	n=157	0.6	6.0	0.0
算定回数	n=132	1.6	15.1	0.0

図表 2 - 159 訪問看護・指導体制充実加算を算定した実人数および算定回数
(1以上の回答があった施設を対象に集計)

		平均値	標準偏差	中央値
実人数	n=6	15.7	26.4	3.0
算定回数	n=6	34.8	62.0	4.0

⑯ 精神科訪問看護に関する診療報酬項目の改定に関する意見(自由回答)

- ・地域移行を推進するための精神科訪問看護の評価。
- ・訪問看護ステーションの精神科訪問看護基本療養費については、GAF 尺度による判定にあたっては、それぞれの職種別経験年数の条件を付したうえでの加算等の検討が必要であると考え。
- ・GAF 尺度判定時の手引きの必要性。
- ・女性スタッフを中心に、訪問スタッフの安全確保に向けての考慮。
- ・加算の強化(新型コロナウイルス感染症対策強化の加算、臨床心理士と公認心理師の加算、移動時間加算等)。 等

3. 病棟票

【調査対象等】

調査対象：病院票の対象施設に、以下の入院基本料等を届け出ている病棟についてそれぞれ以下について回答を求めた。

- ・ a、b、c の届出を行っている全病棟について記入。
- ・ d、e の届出を行っている病棟より、1 棟を選択の上記入。
 - a. 精神科救急入院料
 - b. 精神科急性期治療病棟入院料
 - c. 精神科救急・合併症入院料
 - d. 精神病棟入院基本料（10 対 1、13 対 1、15 対 1）
 - e. 精神科療養病棟入院料

回 答 数：846 病棟

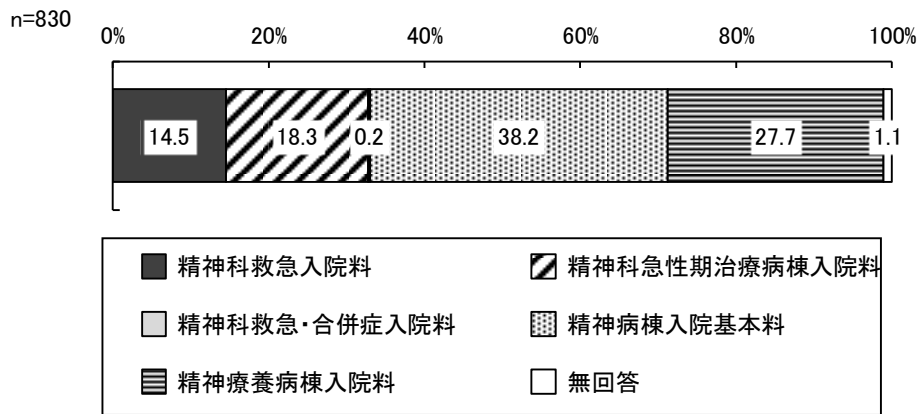
回 答 者：当該病棟の責任者

(1) 入院基本料について（令和 2 年 1 0 月 1 日時点）

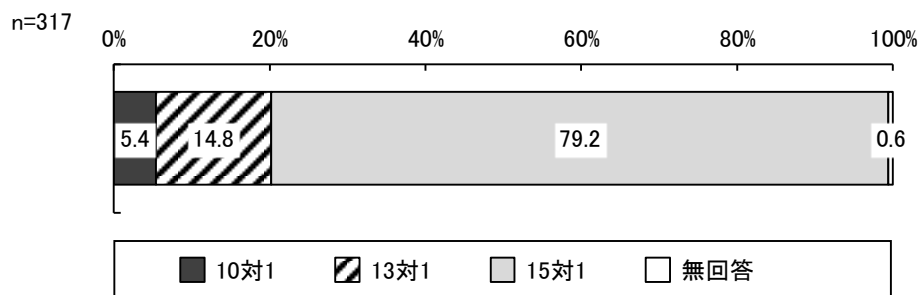
① 病棟の入院基本料等

病棟の入院基本料で最も多かったのは「精神病棟入院基本料」で 38.2%、次に多かったものは「精神療養病棟入院料」（27.7%）であった。

図表 3 - 1 病棟の入院基本料等



【精神病棟入院基本料を選択した病棟】



② 入院基本料等を算定している許可病床数

入院基本料を算定している許可病床数は以下のとおりであった。

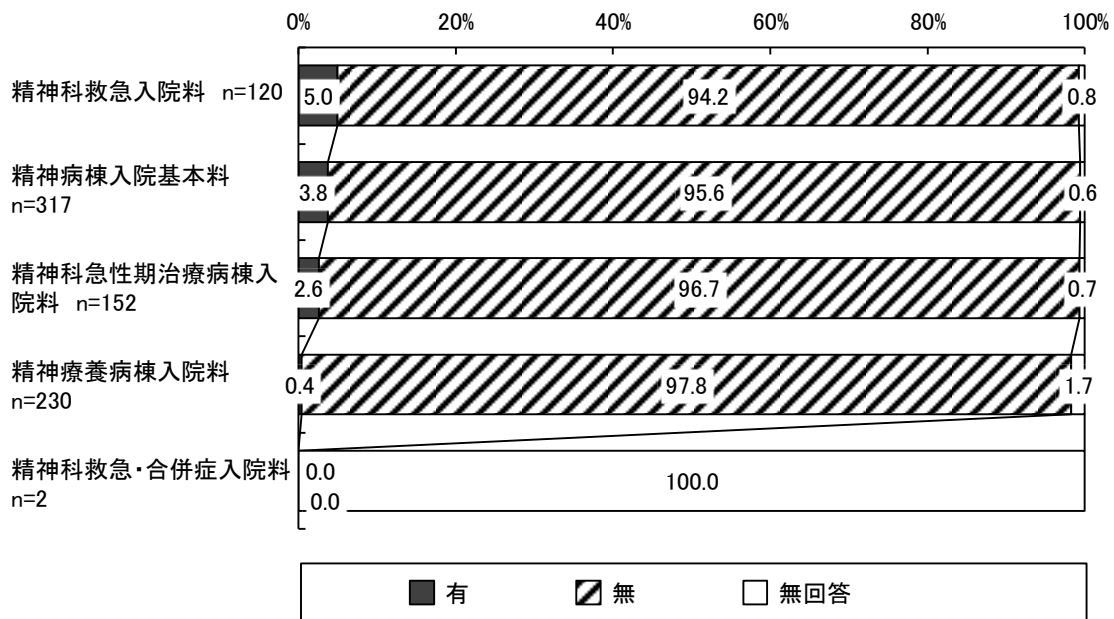
図表 3 - 2 許可病床数（病棟入院基本料別、複数回答）

		平均値	標準偏差	中央値
精神科救急入院料	n=118	55.0	32.8	48.0
精神病棟入院基本料	n=292	53.4	19.6	52.0
精神科急性期治療病棟入院料	n=141	47.7	9.2	49.0
精神療養病棟入院料	n=221	59.9	25.5	59.0
精神科救急・合併症入院料	n=1	40.0	0.0	40.0

(2) 新型コロナウイルス感染症患者の受け入れ状況（令和2年10月1か月間）

令和2年10月1か月間における、新型コロナウイルス感染症患者の受け入れ状況をみると、いずれの入院基本料を算定している病棟においても、9割以上が新型コロナウイルス感染患者の受け入れは無しとの回答であった。

図表3-3 新型コロナウイルス感染症患者の受け入れ状況（入院基本料等別）



【「有」の病棟の令和2年10月1か月間における患者数】

		平均値	標準偏差	中央値
精神科救急入院料	n=6	3.2	3.1	2.0
精神病棟入院基本料	n=9	26.6	22.6	20.0
精神科急性期治療病棟入院料	n=3	2.0	0.8	2.0
精神療養病棟入院料	n=1	1.0	0.0	1.0
精神科救急・合併症入院料	n=0	-	-	-

注：新型コロナウイルス感染症の疑似症と診断された患者を含む。

(3) 入院患者の状況

① 在院患者数(令和2年10月30日時点)

在院患者数の状況は以下のとおりであった。

【年齢階級別】

図表 3 - 4 在院患者数(年齢階級別)

	令和2年10月30日時点での在院患者数				20歳未満				20歳以上40歳未満			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
精神科救急入院料	n=119	46.2	27.4	42.0	n=115	2.7	3.6	2.0	n=118	10.4	5.8	9.5
精神科病棟入院基本料	n=308	45.3	36.8	44.0	n=273	0.7	1.8	0.0	n=290	4.6	5.8	4.0
精神科急性期治療病棟入院料	n=148	36.4	10.0	37.5	n=137	0.7	1.5	0.0	n=146	6.3	4.1	6.0
精神療養病棟入院料	n=227	55.5	24.6	53.0	n=192	0.1	0.3	0.0	n=211	2.9	3.2	2.0
精神科救急・合併症入院料	n=2	26.5	4.5	26.5	n=2	2.0	1.0	2.0	n=2	2.5	0.5	2.5

	40歳以上65歳未満				65歳以上75歳未満				75歳以上			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
精神科救急入院料	n=118	18.3	10.4	17.0	n=118	6.6	5.0	6.0	n=116	8.6	11.3	6.0
精神科病棟入院基本料	n=295	17.2	10.4	16.0	n=294	10.9	7.6	10.0	n=294	10.4	10.2	7.0
精神科急性期治療病棟入院料	n=147	14.8	6.1	15.0	n=147	6.1	3.0	6.0	n=147	8.5	7.1	7.0
精神療養病棟入院料	n=219	21.1	11.3	20.0	n=219	17.4	8.9	17.0	n=219	14.9	12.6	12.0
精神科救急・合併症入院料	n=2	8.5	0.5	8.5	n=2	7.5	4.5	7.5	n=2	6.0	1.0	6.0

注:本集計結果は、当該病棟の在院患者数、年齢区分別人数の平均値、標準偏差、中央値を示している。

【在院期間別】

図表 3 - 5 在院患者数(在院期間別)

	令和2年10月30日時点での在院患者数			
		平均値	標準偏差	中央値
精神科救急入院料	n=119	46.2	27.4	42.0
精神科病棟入院基本料	n=308	45.3	36.8	44.0
精神科急性期治療病棟入院料	n=148	36.4	10.0	37.5
精神療養病棟入院料	n=227	55.5	24.6	53.0
精神科救急・合併症入院料	n=2	26.5	4.5	26.5

	1週間未満				1週間以上2週間未満				2週間以上1か月未満			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
精神科救急入院料	n=113	5.2	3.5	5.0	n=113	5.0	3.7	5.0	n=113	11.6	7.3	11.0
精神科病棟入院基本料	n=273	1.4	1.8	1.0	n=270	1.5	1.7	1.0	n=283	2.9	3.5	2.0
精神科急性期治療病棟入院料	n=140	3.4	2.2	3.0	n=139	3.2	1.9	3.0	n=142	7.0	3.9	6.5
精神療養病棟入院料	n=184	0.3	0.8	0.0	n=185	0.4	0.9	0.0	n=190	0.8	1.4	0.0
精神科救急・合併症入院料	n=2	3.0	1.0	3.0	n=2	4.0	0.0	4.0	n=2	7.5	0.5	7.5

	1か月以上2か月未満				2か月以上3か月未満				3か月以上6か月未満			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
精神科救急入院料	n=113	13.2	9.2	12.0	n=113	7.5	6.2	6.0	n=107	2.2	2.9	1.0
精神科病棟入院基本料	n=283	3.6	4.0	2.0	n=287	3.0	4.0	2.0	n=287	4.4	4.2	4.0
精神科急性期治療病棟入院料	n=143	9.8	4.1	10.0	n=141	6.5	4.1	6.0	n=137	3.2	3.0	3.0
精神療養病棟入院料	n=196	1.3	1.6	1.0	n=190	1.4	2.4	1.0	n=204	3.3	4.9	3.0
精神科救急・合併症入院料	n=2	7.0	2.0	7.0	n=2	3.5	0.5	3.5	n=2	1.0	1.0	1.0

	6か月以上1年未満				1年以上5年未満				5年以上			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
精神科救急入院料	n=100	0.8	1.2	0.0	n=100	0.8	1.2	0.0	n=98	0.2	0.7	0.0
精神科病棟入院基本料	n=291	4.6	5.5	4.0	n=288	11.3	8.5	11.0	n=288	11.8	11.2	10.0
精神科急性期治療病棟入院料	n=129	1.3	1.7	1.0	n=128	1.7	2.1	1.0	n=126	0.9	1.8	0.0
精神療養病棟入院料	n=206	4.8	4.0	4.0	n=208	19.0	10.1	18.0	n=206	25.6	15.1	24.0
精神科救急・合併症入院料	n=1	0.0	0.0	0.0	n=1	0.0	0.0	0.0	n=2	0.5	0.5	0.5

注:本集計結果は、当該病棟の入院患者の在院日数別患者数の平均値、標準偏差、中央値を示している。

【主たる疾患別】

図表 3 - 6 在院患者数（主たる疾患別）

○精神救急入院料

		平均値	標準偏差	中央値
当該病棟における令和2年10月30日時点での在院患者数	n=119	46.2	27.4	42.0
当該病棟の主たる疾患別入院患者数 a.認知症(他の精神疾患によるものは除く)(F00-03)	n=108	6.3	9.9	3.0
当該病棟の主たる疾患別入院患者数 b.その他の症状性を含む器質性精神障害(F04-09)	n=100	1.2	2.4	1.0
当該病棟の主たる疾患別入院患者数 c.アルコールによる精神・行動の障害(F10)	n=105	1.9	2.4	1.0
当該病棟の主たる疾患別入院患者数 d.その他の精神作用物質による精神・行動の障害(F11-19)	n=98	1.1	3.4	0.0
当該病棟の主たる疾患別入院患者数 e.統合失調症(F20)	n=109	16.8	9.1	15.0
当該病棟の主たる疾患別入院患者数 f.その他の精神病性障害(F21-29)	n=105	2.2	2.5	2.0
当該病棟の主たる疾患別入院患者数 g.気分(感情)障害(F3)	n=109	11.0	7.4	10.0
当該病棟の主たる疾患別入院患者数 h.神経症性・ストレス関連・身体表現性障害(F4)	n=107	2.5	2.1	2.0
当該病棟の主たる疾患別入院患者数 i.生理的障害・身体的要因に関連した行動症候群(F5)	n=99	0.4	1.2	0.0
当該病棟の主たる疾患別入院患者数 j.成人の人格・行動の障害(F6)	n=100	0.4	0.8	0.0
当該病棟の主たる疾患別入院患者数 k.知的障害(精神遅滞)(F7)	n=102	1.3	1.5	1.0
当該病棟の主たる疾患別入院患者数 l.心理的発達の障害(F8)	n=105	1.4	1.7	1.0
当該病棟の主たる疾患別入院患者数 m.小児期・青年期に通常発症する行動・情緒の障害(F90-98)	n=98	0.5	1.1	0.0
当該病棟の主たる疾患別入院患者数 n.詳細不明の精神障害(F99)	n=96	0.3	0.9	0.0
当該病棟の主たる疾患別入院患者数 o.てんかん(G40)	n=95	0.2	0.5	0.0

注:本集計結果は、当該病棟の入院患者の主たる疾患別人数の平均値、標準偏差、中央値を示している。

○精神病棟入院基本料

		平均値	標準偏差	中央値
当該病棟における令和2年10月30日時点での在院患者数	n=308	45.3	36.8	44.0
当該病棟の主たる疾患別入院患者数 a.認知症(他の精神疾患によるものは除く)(F00-03)	n=267	5.9	8.9	3.0
当該病棟の主たる疾患別入院患者数 b.その他の症状性を含む器質性精神障害(F04-09)	n=253	1.5	2.0	1.0
当該病棟の主たる疾患別入院患者数 c.アルコールによる精神・行動の障害(F10)	n=246	1.8	5.5	1.0
当該病棟の主たる疾患別入院患者数 d.その他の精神作用物質による精神・行動の障害(F11-19)	n=237	0.4	1.4	0.0
当該病棟の主たる疾患別入院患者数 e.統合失調症(F20)	n=279	24.1	17.4	0.0
当該病棟の主たる疾患別入院患者数 f.その他の精神病性障害(F21-29)	n=246	1.7	2.8	0.0
当該病棟の主たる疾患別入院患者数 g.気分(感情)障害(F3)	n=272	5.3	4.1	23.0
当該病棟の主たる疾患別入院患者数 h.神経症性・ストレス関連・身体表現性障害(F4)	n=251	1.2	1.7	0.0
当該病棟の主たる疾患別入院患者数 i.生理的障害・身体的要因に関連した行動症候群(F5)	n=235	0.3	0.8	1.0
当該病棟の主たる疾患別入院患者数 j.成人の人格・行動の障害(F6)	n=234	0.2	0.5	0.0
当該病棟の主たる疾患別入院患者数 k.知的障害(精神遅滞)(F7)	n=255	1.3	1.9	5.0
当該病棟の主たる疾患別入院患者数 l.心理的発達の障害(F8)	n=243	0.6	1.2	0.0
当該病棟の主たる疾患別入院患者数 m.小児期・青年期に通常発症する行動・情緒の障害(F90-98)	n=231	0.1	0.5	1.0
当該病棟の主たる疾患別入院患者数 n.詳細不明の精神障害(F99)	n=228	0.1	0.5	0.0
当該病棟の主たる疾患別入院患者数 o.てんかん(G40)	n=239	0.4	0.7	0.0

注:本集計結果は、当該病棟の入院患者の主たる疾患別人数の平均値、標準偏差、中央値を示している。

○精神科急性期治療病棟入院料

		平均値	標準偏差	中央値
当該病棟における令和2年10月30日時点での在院患者数	n=148	36.4	10.0	37.5
当該病棟の主たる疾患別入院患者数 a.認知症(他の精神疾患によるものは除く)(F00-03)	n=133	5.4	7.5	3.0
当該病棟の主たる疾患別入院患者数 b.その他の症状性を含む器質性精神障害(F04-09)	n=121	1.1	1.6	1.0
当該病棟の主たる疾患別入院患者数 c.アルコールによる精神・行動の障害(F10)	n=127	3.8	8.6	1.0
当該病棟の主たる疾患別入院患者数 d.その他の精神作用物質による精神・行動の障害(F11-19)	n=119	0.5	1.6	0.0
当該病棟の主たる疾患別入院患者数 e.統合失調症(F20)	n=136	12.9	8.3	12.0
当該病棟の主たる疾患別入院患者数 f.その他の精神病性障害(F21-29)	n=124	1.8	2.8	1.0
当該病棟の主たる疾患別入院患者数 g.気分(感情)障害(F3)	n=136	7.8	5.6	6.5
当該病棟の主たる疾患別入院患者数 h.神経症性・ストレス関連・身体表現性障害(F4)	n=129	1.8	2.1	1.0
当該病棟の主たる疾患別入院患者数 i.生理的障害・身体的要因に関連した行動症候群(F5)	n=118	0.3	0.7	0.0
当該病棟の主たる疾患別入院患者数 j.成人の人格・行動の障害(F6)	n=116	0.4	1.3	0.0
当該病棟の主たる疾患別入院患者数 k.知的障害(精神遅滞)(F7)	n=124	0.8	1.1	1.0
当該病棟の主たる疾患別入院患者数 l.心理的発達の障害(F8)	n=123	0.7	0.9	0.0
当該病棟の主たる疾患別入院患者数 m.小児期・青年期に通常発症する行動・情緒の障害(F90-98)	n=114	0.2	0.6	0.0
当該病棟の主たる疾患別入院患者数 n.詳細不明の精神障害(F99)	n=113	0.1	0.5	0.0
当該病棟の主たる疾患別入院患者数 o.てんかん(G40)	n=116	0.2	0.5	0.0

注:本集計結果は、当該病棟の入院患者の主たる疾患別人数の平均値、標準偏差、中央値を示している。

○精神療養病棟入院料

		平均値	標準偏差	中央値
当該病棟における令和2年10月30日時点での在院患者数	n=227	55.5	24.6	53.0
当該病棟の主たる疾患別入院患者数 a.認知症(他の精神疾患によるものは除く)(F00-03)	n=198	5.7	10.0	3.0
当該病棟の主たる疾患別入院患者数 b.その他の症状性を含む器質性精神障害(F04-09)	n=189	2.0	2.3	1.0
当該病棟の主たる疾患別入院患者数 c.アルコールによる精神・行動の障害(F10)	n=190	1.7	4.3	1.0
当該病棟の主たる疾患別入院患者数 d.その他の精神作用物質による精神・行動の障害(F11-19)	n=169	0.2	0.6	0.0
当該病棟の主たる疾患別入院患者数 e.統合失調症(F20)	n=211	38.2	18.6	37.0
当該病棟の主たる疾患別入院患者数 f.その他の精神病性障害(F21-29)	n=183	1.9	3.2	1.0
当該病棟の主たる疾患別入院患者数 g.気分(感情)障害(F3)	n=208	4.7	4.0	4.0
当該病棟の主たる疾患別入院患者数 h.神経症性・ストレス関連・身体表現性障害(F4)	n=181	1.0	1.5	0.0
当該病棟の主たる疾患別入院患者数 i.生理的障害・身体的要因に関連した行動症候群(F5)	n=167	0.1	0.3	0.0
当該病棟の主たる疾患別入院患者数 j.成人の人格・行動の障害(F6)	n=171	0.2	0.5	0.0
当該病棟の主たる疾患別入院患者数 k.知的障害(精神遅滞)(F7)	n=187	1.4	3.0	1.0
当該病棟の主たる疾患別入院患者数 l.心理的発達の障害(F8)	n=169	0.4	0.8	0.0
当該病棟の主たる疾患別入院患者数 m.小児期・青年期に通常発症する行動・情緒の障害(F90-98)	n=168	0.1	0.2	0.0
当該病棟の主たる疾患別入院患者数 n.詳細不明の精神障害(F99)	n=168	0.1	0.6	0.0
当該病棟の主たる疾患別入院患者数 o.てんかん(G40)	n=181	0.6	1.2	0.0

注:本集計結果は、当該病棟の入院患者の主たる疾患別人数の平均値、標準偏差、中央値を示している。

○精神科救急・合併症入院料

		平均値	標準偏差	中央値
当該病棟における令和2年10月30日時点での在院患者数	n=2	26.5	4.5	26.5
当該病棟の主たる疾患別入院患者数 a.認知症(他の精神疾患によるものは除く)(F00-03)	n=2	2.0	0.0	2.0
当該病棟の主たる疾患別入院患者数 b.その他の症状性を含む器質性精神障害(F04-09)	n=2	1.0	0.0	1.0
当該病棟の主たる疾患別入院患者数 c.アルコールによる精神・行動の障害(F10)	n=2	1.0	0.0	1.0
当該病棟の主たる疾患別入院患者数 d.その他の精神作用物質による精神・行動の障害(F11-19)	n=1	0.0	0.0	0.0
当該病棟の主たる疾患別入院患者数 e.統合失調症(F20)	n=2	8.5	0.5	8.5
当該病棟の主たる疾患別入院患者数 f.その他の精神病性障害(F21-29)	n=2	1.5	1.5	1.5
当該病棟の主たる疾患別入院患者数 g.気分(感情)障害(F3)	n=2	8.5	2.5	8.5
当該病棟の主たる疾患別入院患者数 h.神経症性・ストレス関連・身体表現性障害(F4)	n=2	1.5	1.5	1.5
当該病棟の主たる疾患別入院患者数 i.生理的障害・身体的要因に関連した行動症候群(F5)	n=1	1.0	0.0	1.0
当該病棟の主たる疾患別入院患者数 j.成人の人格・行動の障害(F6)	n=1	0.0	0.0	0.0
当該病棟の主たる疾患別入院患者数 k.知的障害(精神遅滞)(F7)	n=2	1.5	0.5	1.5
当該病棟の主たる疾患別入院患者数 l.心理的発達の障害(F8)	n=1	1.0	0.0	1.0
当該病棟の主たる疾患別入院患者数 m.小児期・青年期に通常発症する行動・情緒の障害(F90-98)	n=1	0.0	0.0	0.0
当該病棟の主たる疾患別入院患者数 n.詳細不明の精神障害(F99)	n=1	0.0	0.0	0.0
当該病棟の主たる疾患別入院患者数 o.てんかん(G40)	n=1	0.0	0.0	0.0

注:本集計結果は、当該病棟の入院患者の主たる疾患別人数の平均値、標準偏差、中央値を示している。

【GAF スコア別】

図表 3 - 7 在院患者数 (GAF スコア別)

○精神科救急入院料

		平均値	標準偏差	中央値
当該病棟における令和2年10月30日時点での在院患者数	n=119	46.2	27.4	42.0
当該病棟のGAF 尺度のスコア別入院患者数 a.91~100	n=46	0.0	0.2	0.0
当該病棟のGAF 尺度のスコア別入院患者数 b.81~90	n=46	0.5	2.0	0.0
当該病棟のGAF 尺度のスコア別入院患者数 c.71~80	n=46	1.4	3.3	0.0
当該病棟のGAF 尺度のスコア別入院患者数 d.61~70	n=48	2.9	4.5	0.0
当該病棟のGAF 尺度のスコア別入院患者数 e.51~60	n=48	6.5	7.3	3.0
当該病棟のGAF 尺度のスコア別入院患者数 f.41~50	n=49	5.9	5.2	5.0
当該病棟のGAF 尺度のスコア別入院患者数 g.31~40	n=50	9.0	8.0	7.0
当該病棟のGAF 尺度のスコア別入院患者数 h.21~30	n=50	14.6	14.6	12.0
当該病棟のGAF 尺度のスコア別入院患者数 i.11~20	n=48	6.7	8.7	5.0
当該病棟のGAF 尺度のスコア別入院患者数 j.1~10	n=47	1.6	3.0	0.0
当該病棟のGAF 尺度のスコア別入院患者数 k.0	n=46	1.0	4.4	0.0

○精神病棟入院基本料

		平均値	標準偏差	中央値
当該病棟における令和2年10月30日時点での在院患者数	n=308	45.3	36.8	44.0
当該病棟のGAF 尺度のスコア別入院患者数 a.91~100	n=123	0.2	1.5	0.0
当該病棟のGAF 尺度のスコア別入院患者数 b.81~90	n=126	0.6	2.0	0.0
当該病棟のGAF 尺度のスコア別入院患者数 c.71~80	n=128	1.5	4.7	0.0
当該病棟のGAF 尺度のスコア別入院患者数 d.61~70	n=131	3.2	7.0	0.0
当該病棟のGAF 尺度のスコア別入院患者数 e.51~60	n=135	3.5	5.4	1.0
当該病棟のGAF 尺度のスコア別入院患者数 f.41~50	n=137	3.3	4.1	2.0
当該病棟のGAF 尺度のスコア別入院患者数 g.31~40	n=143	6.0	0.0	6.0
当該病棟のGAF 尺度のスコア別入院患者数 h.21~30	n=148	10.0	0.0	10.0
当該病棟のGAF 尺度のスコア別入院患者数 i.11~20	n=139	5.0	0.0	5.0
当該病棟のGAF 尺度のスコア別入院患者数 j.1~10	n=133	1.0	0.0	1.0
当該病棟のGAF 尺度のスコア別入院患者数 k.0	n=122	0.0	0.0	0.0

○精神科急性期治療病棟入院料

		平均値	標準偏差	中央値
当該病棟における令和2年10月30日時点での在院患者数	n=148	36.4	10.0	37.5
当該病棟のGAF 尺度のスコア別入院患者数 a.91~100	n=47	0.1	0.3	0.0
当該病棟のGAF 尺度のスコア別入院患者数 b.81~90	n=50	0.6	1.5	0.0
当該病棟のGAF 尺度のスコア別入院患者数 c.71~80	n=50	2.7	4.8	0.5
当該病棟のGAF 尺度のスコア別入院患者数 d.61~70	n=54	5.3	7.5	3.0
当該病棟のGAF 尺度のスコア別入院患者数 e.51~60	n=56	4.3	4.5	3.5
当該病棟のGAF 尺度のスコア別入院患者数 f.41~50	n=54	5.2	6.2	3.5
当該病棟のGAF 尺度のスコア別入院患者数 g.31~40	n=57	7.2	7.0	5.0
当該病棟のGAF 尺度のスコア別入院患者数 h.21~30	n=56	8.8	7.8	7.5
当該病棟のGAF 尺度のスコア別入院患者数 i.11~20	n=54	3.8	5.5	2.0
当該病棟のGAF 尺度のスコア別入院患者数 j.1~10	n=51	1.2	2.5	0.0
当該病棟のGAF 尺度のスコア別入院患者数 k.0	n=44	0.4	2.8	0.0

○精神療養病棟入院料

		平均値	標準偏差	中央値
当該病棟における令和2年10月30日時点での在院患者数	n=227	55.5	24.6	53.0
当該病棟のGAF 尺度のスコア別入院患者数 a.91~100	n=160	0.0	0.0	0.0
当該病棟のGAF 尺度のスコア別入院患者数 b.81~90	n=160	0.0	0.1	0.0
当該病棟のGAF 尺度のスコア別入院患者数 c.71~80	n=161	0.1	0.3	0.0
当該病棟のGAF 尺度のスコア別入院患者数 d.61~70	n=160	0.1	0.5	0.0
当該病棟のGAF 尺度のスコア別入院患者数 e.51~60	n=166	0.6	1.5	0.0
当該病棟のGAF 尺度のスコア別入院患者数 f.41~50	n=170	1.1	2.7	0.0
当該病棟のGAF 尺度のスコア別入院患者数 g.31~40	n=194	11.9	12.4	8.0
当該病棟のGAF 尺度のスコア別入院患者数 h.21~30	n=202	29.7	18.8	27.0
当該病棟のGAF 尺度のスコア別入院患者数 i.11~20	n=197	10.8	9.1	9.0
当該病棟のGAF 尺度のスコア別入院患者数 j.1~10	n=183	3.5	6.0	1.0
当該病棟のGAF 尺度のスコア別入院患者数 k.0	n=159	0.0	0.1	0.0

注:本集計結果は、当該病棟の入院患者の GAF スコアカテゴリ別人数の平均値、標準偏差、中央値を示している。

○精神科救急・合併症入院料

		平均値	標準偏差	中央値
当該病棟における令和2年10月30日時点での在院患者数	n=2	26.5	4.5	26.5
当該病棟のGAF 尺度のスコア別入院患者数 a.91~100	n=1	0.0	0.0	0.0
当該病棟のGAF 尺度のスコア別入院患者数 b.81~90	n=1	0.0	0.0	0.0
当該病棟のGAF 尺度のスコア別入院患者数 c.71~80	n=1	0.0	0.0	0.0
当該病棟のGAF 尺度のスコア別入院患者数 d.61~70	n=1	1.0	0.0	1.0
当該病棟のGAF 尺度のスコア別入院患者数 e.51~60	n=2	3.0	2.0	3.0
当該病棟のGAF 尺度のスコア別入院患者数 f.41~50	n=2	1.5	1.5	1.5
当該病棟のGAF 尺度のスコア別入院患者数 g.31~40	n=2	4.5	0.5	4.5
当該病棟のGAF 尺度のスコア別入院患者数 h.21~30	n=2	10.0	3.0	10.0
当該病棟のGAF 尺度のスコア別入院患者数 i.11~20	n=2	5.0	1.0	5.0
当該病棟のGAF 尺度のスコア別入院患者数 j.1~10	n=2	2.0	0.0	2.0
当該病棟のGAF 尺度のスコア別入院患者数 k.0	n=1	0.0	0.0	0.0

注:本集計結果は、当該病棟の入院患者のGAF スコアカテゴリ別人数の平均値、標準偏差、中央値を示している。

【向精神薬使用状況別】

図表 3 - 8 在院患者数（向精神薬の使用状況別）

	a. 主傷病に対して薬物療法を受けている患者数				b.(aのうち)クロザピンを投与している患者数			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
精神科救急入院料	n=112	42.4	28.0	40.0	n=107	0.9	1.9	0.0
精神病棟入院基本料	n=285	36.3	18.7	38.0	n=282	1.1	2.2	0.0
精神科急性期治療病棟入院料	n=136	33.2	13.2	35.0	n=130	0.5	1.3	0.0
精神療養病棟入院料	n=211	50.9	27.2	51.0	n=198	0.5	1.7	0.0
精神科救急・合併症入院料	n=2	26.5	4.5	26.5	n=2	0.0	0.0	0.0

	c. (aのうち)持続性抗精神病注射薬剤(LAI)を投与している患者数				d. (cのうち)非定形LAIを投与している患者数			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
精神科救急入院料	n=110	2.8	6.0	1.0	n=105	1.9	5.6	0.0
精神病棟入院基本料	n=277	3.1	4.3	1.0	n=266	1.8	3.1	0.0
精神科急性期治療病棟入院料	n=130	1.6	1.9	1.0	n=123	1.1	1.7	0.0
精神療養病棟入院料	n=204	1.6	2.6	0.0	n=198	0.6	1.5	0.0
精神科救急・合併症入院料	n=2	0.0	0.0	0.0	n=2	0.0	0.0	0.0

注:本集計結果は、当該病棟の入院患者の向精神薬の使用状況別患者数の平均値、標準偏差、中央値を示している。

【個室使用】

図表 3 - 9 個室を使用している患者数

		平均値	標準偏差	中央値
精神科救急入院料	n=114	25.4	18.0	23.0
精神病棟入院基本料	n=297	6.3	7.5	4.0
精神科急性期治療病棟入院料	n=141	9.1	7.6	7.0
精神療養病棟入院料	n=213	5.7	9.0	4.0
精神科救急・合併症入院料	n=2	9.0	4.0	9.0

注:本集計結果は、当該病棟の個室を使用している入院患者数の平均値、標準偏差、中央値を示している。

② 新規入院患者数(令和2年10月1か月間)

令和2年10月1か月間の新規入院患者数は以下のとおりであった。

図表3-10 新規入院患者数

	令和2年10月1か月間の当該病棟における新規入院患者数			(うち)任意入院			(うち)医療保護入院					
	n	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値		
精神科救急入院料	n=105	28.0	16.7	26.0	n=104	7.4	6.1	6.5	n=105	18.1	11.9	16.0
精神病棟入院基本料	n=296	7.6	8.9	4.0	n=262	4.8	6.2	2.0	n=254	3.8	4.7	2.0
精神科急性期治療病棟入院料	n=143	17.0	7.8	16.0	n=140	10.0	6.9	8.0	n=139	7.0	5.5	6.0
精神療養病棟入院料	n=223	3.7	10.1	1.0	n=178	2.6	6.6	1.0	n=168	2.1	6.5	0.0
精神科救急・合併症入院料	n=2	19.0	1.0	19.0	n=2	1.5	0.5	1.5	n=2	13.0	1.0	13.0
	(うち)措置入院			(うち)緊急措置入院			(うち)応急入院					
	n	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値		
精神科救急入院料	n=97	1.4	1.9	1.0	n=94	0.5	1.5	0.0	n=97	0.9	1.3	0.0
精神病棟入院基本料	n=222	0.1	0.4	0.0	n=219	0.0	0.5	0.0	n=219	0.0	0.2	0.0
精神科急性期治療病棟入院料	n=115	0.4	1.1	0.0	n=111	0.1	0.2	0.0	n=111	0.1	0.3	0.0
精神療養病棟入院料	n=152	0.0	0.1	0.0	n=151	0.0	0.0	0.0	n=151	0.0	0.1	0.0
精神科救急・合併症入院料	n=2	1.5	0.5	1.5	n=1	0.0	0.0	0.0	n=2	3.0	1.0	3.0

③退院・転院患者数(令和2年10月1か月間)

令和2年10月1か月間の退院・転院患者数は以下のとおりであった。

図表3-11 退院・転院患者数

○精神科救急入院料

		平均値	標準偏差	中央値
令和2年10月1か月間の当該病棟における退院・転院患者数	n=118	22.9	13.9	20.0
令和2年10月1か月間の当該病棟における退院・転院患者数 a.(うち)自宅(親族の家含む)・賃貸住宅など	n=118	18.0	11.6	16.0
令和2年10月1か月間の当該病棟における退院・転院患者数 b.(うち)他の医療機関の精神科病棟	n=102	1.0	1.5	0.0
令和2年10月1か月間の当該病棟における退院・転院患者数 c.【再掲】特別な関係にある施設	n=90	0.1	0.4	0.0
令和2年10月1か月間の当該病棟における退院・転院患者数 d.(うち)他の医療機関の精神科病棟以外の病棟	n=103	1.1	1.4	1.0
令和2年10月1か月間の当該病棟における退院・転院患者数 e.【再掲】特別な関係にある施設	n=89	0.1	0.3	0.0
令和2年10月1か月間の当該病棟における退院・転院患者数 f.(うち)共同生活援助(グループホーム)	n=99	1.3	1.6	1.0
令和2年10月1か月間の当該病棟における退院・転院患者数 g.【再掲】特別な関係にある施設	n=88	0.1	0.4	0.0
令和2年10月1か月間の当該病棟における退院・転院患者数 h.(うち)介護老人保健施設	n=101	0.6	0.9	0.0
令和2年10月1か月間の当該病棟における退院・転院患者数 i.【再掲】特別な関係にある施設	n=89	0.0	0.2	0.0
令和2年10月1か月間の当該病棟における退院・転院患者数 j.(うち)介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	n=95	0.5	0.8	0.0
令和2年10月1か月間の当該病棟における退院・転院患者数 k.【再掲】特別な関係にある施設	n=86	0.0	0.1	0.0
令和2年10月1か月間の当該病棟における退院・転院患者数 l.(うち)介護医療院	n=89	0.1	0.5	0.0
令和2年10月1か月間の当該病棟における退院・転院患者数 m.【再掲】特別な関係にある施設	n=86	0.0	0.0	0.0
令和2年10月1か月間の当該病棟における退院・転院患者数 n.(うち)その他精神障害者施設等	n=96	0.7	1.1	0.0
令和2年10月1か月間の当該病棟における退院・転院患者数 o.【再掲】特別な関係にある施設	n=86	0.0	0.2	0.0
令和2年10月1か月間の当該病棟における退院・転院患者数 p.(うち)死亡退院患者数	n=93	0.2	0.5	0.0

○精神病棟入院基本料

		平均値	標準偏差	中央値
令和2年10月1か月間の当該病棟における退院・転院患者数	n=314	7.7	8.1	5.0
令和2年10月1か月間の当該病棟における退院・転院患者数 a.(うち)自宅(親族の家含む)・賃貸住宅など	n=297	5.3	6.8	3.0
令和2年10月1か月間の当該病棟における退院・転院患者数 b.(うち)他の医療機関の精神科病棟	n=233	0.9	2.7	0.0
令和2年10月1か月間の当該病棟における退院・転院患者数 c.【再掲】特別な関係にある施設	n=210	0.0	0.1	0.0
令和2年10月1か月間の当該病棟における退院・転院患者数 d.(うち)他の医療機関の精神科病棟以外の病棟	n=258	0.8	1.1	0.0
令和2年10月1か月間の当該病棟における退院・転院患者数 e.【再掲】特別な関係にある施設	n=211	0.0	0.3	0.0
令和2年10月1か月間の当該病棟における退院・転院患者数 f.(うち)共同生活援助(グループホーム)	n=245	0.6	0.9	0.0
令和2年10月1か月間の当該病棟における退院・転院患者数 g.【再掲】特別な関係にある施設	n=214	0.1	0.3	0.0
令和2年10月1か月間の当該病棟における退院・転院患者数 h.(うち)介護老人保健施設	n=225	0.3	0.8	0.0
令和2年10月1か月間の当該病棟における退院・転院患者数 i.【再掲】特別な関係にある施設	n=209	0.1	0.5	0.0
令和2年10月1か月間の当該病棟における退院・転院患者数 j.(うち)介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	n=223	0.2	0.7	0.0
令和2年10月1か月間の当該病棟における退院・転院患者数 k.【再掲】特別な関係にある施設	n=207	0.0	0.0	0.0
令和2年10月1か月間の当該病棟における退院・転院患者数 l.(うち)介護医療院	n=215	0.0	0.1	0.0
令和2年10月1か月間の当該病棟における退院・転院患者数 m.【再掲】特別な関係にある施設	n=207	0.0	0.0	0.0
令和2年10月1か月間の当該病棟における退院・転院患者数 n.(うち)その他精神障害者施設等	n=227	0.4	0.9	0.0
令和2年10月1か月間の当該病棟における退院・転院患者数 o.【再掲】特別な関係にある施設	n=208	0.0	0.3	0.0
令和2年10月1か月間の当該病棟における退院・転院患者数 p.(うち)死亡退院患者数	n=234	0.4	0.8	0.0

○精神科急性期治療病棟入院料

		平均値	標準偏差	中央値
令和2年10月1か月間の当該病棟における退院・転院患者数	n=151	15.9	6.7	15.0
令和2年10月1か月間の当該病棟における退院・転院患者数 a.(うち)自宅(親族の家含む)・賃貸住宅など	n=151	12.3	6.4	12.0
令和2年10月1か月間の当該病棟における退院・転院患者数 b.(うち)他の医療機関の精神科病棟	n=111	0.3	0.8	0.0
令和2年10月1か月間の当該病棟における退院・転院患者数 c.【再掲】特別な関係にある施設	n=100	0.0	0.2	0.0
令和2年10月1か月間の当該病棟における退院・転院患者数 d.(うち)他の医療機関の精神科病棟以外の病棟	n=123	0.9	1.2	1.0
令和2年10月1か月間の当該病棟における退院・転院患者数 e.【再掲】特別な関係にある施設	n=101	0.0	0.0	0.0
令和2年10月1か月間の当該病棟における退院・転院患者数 f.(うち)共同生活援助(グループホーム)	n=125	1.0	1.4	1.0
令和2年10月1か月間の当該病棟における退院・転院患者数 g.【再掲】特別な関係にある施設	n=100	0.1	0.5	0.0
令和2年10月1か月間の当該病棟における退院・転院患者数 h.(うち)介護老人保健施設	n=120	0.7	1.3	0.0
令和2年10月1か月間の当該病棟における退院・転院患者数 i.【再掲】特別な関係にある施設	n=104	0.1	0.4	0.0
令和2年10月1か月間の当該病棟における退院・転院患者数 j.(うち)介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	n=116	0.6	1.1	0.0
令和2年10月1か月間の当該病棟における退院・転院患者数 k.【再掲】特別な関係にある施設	n=100	0.0	0.1	0.0
令和2年10月1か月間の当該病棟における退院・転院患者数 l.(うち)介護医療院	n=103	0.0	0.0	0.0
令和2年10月1か月間の当該病棟における退院・転院患者数 m.【再掲】特別な関係にある施設	n=99	0.0	0.0	0.0
令和2年10月1か月間の当該病棟における退院・転院患者数 n.(うち)その他精神障害者施設等	n=117	0.7	1.0	0.0
令和2年10月1か月間の当該病棟における退院・転院患者数 o.【再掲】特別な関係にある施設	n=103	0.1	0.3	0.0
令和2年10月1か月間の当該病棟における退院・転院患者数 p.(うち)死亡退院患者数	n=112	0.2	0.4	0.0

○精神療養病棟入院料

		平均値	標準偏差	中央値
令和2年10月1か月間の当該病棟における退院・転院患者数	n=223	3.2	6.8	2.0
令和2年10月1か月間の当該病棟における退院・転院患者数 a.(うち)自宅(親族の家含む)・賃貸住宅など	n=204	1.4	2.8	1.0
令和2年10月1か月間の当該病棟における退院・転院患者数 b.(うち)他の医療機関の精神科病棟	n=176	0.1	0.7	0.0
令和2年10月1か月間の当該病棟における退院・転院患者数 c.【再掲】特別な関係にある施設	n=169	0.0	0.1	0.0
令和2年10月1か月間の当該病棟における退院・転院患者数 d.(うち)他の医療機関の精神科病棟以外の病棟	n=195	0.6	1.3	0.0
令和2年10月1か月間の当該病棟における退院・転院患者数 e.【再掲】特別な関係にある施設	n=173	0.0	0.1	0.0
令和2年10月1か月間の当該病棟における退院・転院患者数 f.(うち)共同生活援助(グループホーム)	n=187	0.3	0.6	0.0
令和2年10月1か月間の当該病棟における退院・転院患者数 g.【再掲】特別な関係にある施設	n=174	0.0	0.2	0.0
令和2年10月1か月間の当該病棟における退院・転院患者数 h.(うち)介護老人保健施設	n=177	0.2	0.5	0.0
令和2年10月1か月間の当該病棟における退院・転院患者数 i.【再掲】特別な関係にある施設	n=171	0.0	0.1	0.0
令和2年10月1か月間の当該病棟における退院・転院患者数 j.(うち)介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	n=183	0.2	0.9	0.0
令和2年10月1か月間の当該病棟における退院・転院患者数 k.【再掲】特別な関係にある施設	n=171	0.0	0.2	0.0
令和2年10月1か月間の当該病棟における退院・転院患者数 l.(うち)介護医療院	n=174	0.0	0.0	0.0
令和2年10月1か月間の当該病棟における退院・転院患者数 m.【再掲】特別な関係にある施設	n=170	0.0	0.0	0.0
令和2年10月1か月間の当該病棟における退院・転院患者数 n.(うち)その他精神障害者施設等	n=178	0.1	0.4	0.0
令和2年10月1か月間の当該病棟における退院・転院患者数 o.【再掲】特別な関係にある施設	n=170	0.0	0.2	0.0
令和2年10月1か月間の当該病棟における退院・転院患者数 p.(うち)死亡退院患者数	n=183	0.3	0.9	0.0

○精神科救急・合併症入院料

		平均値	標準偏差	中央値
令和2年10月1か月間の当該病棟における退院・転院患者数	n=2	19.5	0.5	19.5
令和2年10月1か月間の当該病棟における退院・転院患者数 a.(うち)自宅(親族の家含む)・賃貸住宅など	n=2	14.0	0.0	14.0
令和2年10月1か月間の当該病棟における退院・転院患者数 b.(うち)他の医療機関の精神科病棟	n=2	2.5	1.5	2.5
令和2年10月1か月間の当該病棟における退院・転院患者数 c.【再掲】特別な関係にある施設	n=1	0.0	0.0	0.0
令和2年10月1か月間の当該病棟における退院・転院患者数 d.(うち)他の医療機関の精神科病棟以外の病棟	n=1	0.0	0.0	0.0
令和2年10月1か月間の当該病棟における退院・転院患者数 e.【再掲】特別な関係にある施設	n=1	0.0	0.0	0.0
令和2年10月1か月間の当該病棟における退院・転院患者数 f.(うち)共同生活援助(グループホーム)	n=1	0.0	0.0	0.0
令和2年10月1か月間の当該病棟における退院・転院患者数 g.【再掲】特別な関係にある施設	n=1	0.0	0.0	0.0
令和2年10月1か月間の当該病棟における退院・転院患者数 h.(うち)介護老人保健施設	n=1	0.0	0.0	0.0
令和2年10月1か月間の当該病棟における退院・転院患者数 i.【再掲】特別な関係にある施設	n=1	0.0	0.0	0.0
令和2年10月1か月間の当該病棟における退院・転院患者数 j.(うち)介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	n=2	0.5	0.5	0.5
令和2年10月1か月間の当該病棟における退院・転院患者数 k.【再掲】特別な関係にある施設	n=1	0.0	0.0	0.0
令和2年10月1か月間の当該病棟における退院・転院患者数 l.(うち)介護医療院	n=1	0.0	0.0	0.0
令和2年10月1か月間の当該病棟における退院・転院患者数 m.【再掲】特別な関係にある施設	n=1	0.0	0.0	0.0
令和2年10月1か月間の当該病棟における退院・転院患者数 n.(うち)その他精神障害者施設等	n=2	2.0	1.0	2.0
令和2年10月1か月間の当該病棟における退院・転院患者数 o.【再掲】特別な関係にある施設	n=1	0.0	0.0	0.0
令和2年10月1か月間の当該病棟における退院・転院患者数 p.(うち)死亡退院患者数	n=1	0.0	0.0	0.0

④ 持続性抗精神病注射薬剤(LAI)の投与開始人数(令和2年10月1か月間)

令和2年10月1か月間で当該病棟において持続性抗精神病注射薬剤(LAI)の投与を開始した人数は以下のとおりであった。

図表 3 - 12 持続性抗精神病注射薬剤(LAI)の投与開始人数(入院基本料別)

		平均値	標準偏差	中央値
精神科救急入院料	n=119	0.9	1.5	0.0
精神病棟入院基本料	n=297	0.7	4.6	0.0
精神科急性期治療病棟入院料	n=144	0.7	1.0	0.0
精神療養病棟入院料	n=216	0.2	0.9	0.0
精神科救急・合併症入院料	n=2	0.5	0.5	0.5

(4) クロザピンの導入について

① クロザピンの新規導入を目的とした転棟患者数(令和2年4月～9月)

令和2年4月から9月の間にクロザピンを新規導入した患者数について、患者数及びそのうちクロザピンの新規導入を目的として当該病棟に転棟（または他病院から転院）した患者数（4月から9月の合計値）は、以下のとおりであった。

図表 3 - 13 クロザピンの新規導入患者数、導入を目的とした転棟、転入前の状況

		平均値	標準偏差	中央値	
a. クロザピン新規導入患者数		n=747	0.3	1.0	0.0
b. うちクロザピンの新規導入を目的として当該病棟に転入した患者数		n=598	0.2	0.7	0.0
c. bに該当する患者の転入前の病院/病棟	c-1. 自院の他の精神科病棟	n=520	0.2	0.7	0.0
	c-2. 自院の他の精神科病棟以外の病棟	n=503	0.0	0.0	0.0
	c-3. 他病院	n=503	0.0	0.2	0.0

(5) 身体合併症の対応状況について（令和2年10月1か月間）

令和2年10月1か月間に該当病棟に入院した疾患別人数は、以下のとおりである。
 なお、精神科救急・合併症入院料算定病棟については、回答数が2件であったため掲載していない。

図表3-14 該当病棟に入院した疾患別人数（病棟入院基本料別）

【精神科救急入院料】

	n数	平均値	標準偏差	中央値
a. 精神科身体合併症管理加算を算定した実患者数	n=114	1.4	4.5	0.0
b. 呼吸系疾患	n=104	0.6	2.1	0.0
c. うち新型コロナウイルス感染症	n=100	0.0	0.0	0.0
d. うち新型コロナウイルス感染症の疑似症と診断された患者	n=100	0.0	0.0	0.0
e. 心疾患	n=101	0.1	0.6	0.0
f. 手術又は直達・介達牽引を要する骨折	n=98	0.0	0.1	0.0
g. 骨髄損傷	n=98	0.0	0.2	0.0
h. 重篤な内分泌・代謝性疾患	n=106	0.2	0.6	0.0
i. 重篤な栄養障害	n=99	0.1	0.4	0.0
j. 意識障害	n=101	0.2	0.8	0.0
k. 全身感染症	n=98	0.0	0.0	0.0
l. 中枢神経系の感染	n=98	0.0	0.1	0.0
m. 急性腹症	n=98	0.2	1.0	0.0
n. 劇症肝炎又は重症急性膵炎	n=98	0.0	0.1	0.0
o. 悪性症候群又は横紋筋融解症	n=100	0.1	0.3	0.0
p. 広範囲(半肢以上)の熱傷	n=98	0.0	0.0	0.0
q. 手術、化学療法若しくは放射線療法を要する状態又は末期の悪性腫瘍	n=98	0.1	0.4	0.0
r. 透析導入時	n=98	0.0	0.0	0.0
s. 重篤な血液疾患	n=99	0.0	0.2	0.0
t. 急性かつ重篤な腎疾患	n=98	0.0	0.3	0.0
u. 手術室での手術をを必要とする状態	n=98	0.0	0.3	0.0
v. 膠原病	n=98	0.0	0.0	0.0
w. 妊産婦	n=98	0.0	0.1	0.0
x. 病の患者に対する医療等に関する法律第5条第1項に規定する指定難病	n=99	0.0	0.1	0.0

【精神科棟入院基本料】

	n数	平均値	標準偏差	中央値
a. 精神科身体合併症管理加算を算定した実患者数	n=296	1.9	5.2	0.0
b. 呼吸系疾患	n=284	0.6	1.8	0.0
c. うち新型コロナウイルス感染症	n=269	0.1	1.2	0.0
d. うち新型コロナウイルス感染症の疑似症と診断された患者	n=269	0.0	0.0	0.0
e. 心疾患	n=271	0.1	0.7	0.0
f. 手術又は直達・介達牽引を要する骨折	n=268	0.1	0.5	0.0
g. 骨髄損傷	n=267	0.0	0.1	0.0
h. 重篤な内分泌・代謝性疾患	n=271	0.3	1.3	0.0
i. 重篤な栄養障害	n=267	0.1	0.6	0.0
j. 意識障害	n=274	0.3	1.7	0.0
k. 全身感染症	n=269	0.1	0.3	0.0
l. 中枢神経系の感染	n=267	0.0	0.1	0.0
m. 急性腹症	n=268	0.1	0.6	0.0
n. 劇症肝炎又は重症急性膵炎	n=266	0.0	0.0	0.0
o. 悪性症候群又は横紋筋融解症	n=271	0.1	0.3	0.0
p. 広範囲(半肢以上)の熱傷	n=266	0.0	0.0	0.0
q. 手術、化学療法若しくは放射線療法を要する状態又は末期の悪性腫瘍	n=269	0.1	0.6	0.0
r. 透析導入時	n=266	0.0	0.1	0.0
s. 重篤な血液疾患	n=266	0.1	0.9	0.0
t. 急性かつ重篤な腎疾患	n=266	0.0	0.2	0.0
u. 手術室での手術を必要とする状態	n=271	0.1	0.5	0.0
v. 膠原病	n=266	0.0	0.1	0.0
w. 妊産婦	n=266	0.0	0.1	0.0
x. 病の患者に対する医療等に関する法律第5条第1項に規定する指定難病	n=266	0.0	0.2	0.0

【精神科急性期治療病棟入院料】

	n数	平均値	標準偏差	中央値
a. 精神科身体合併症管理加算を算定した実患者数	n=144	1.0	2.9	0.0
b. 呼吸系疾患	n=137	0.4	1.1	0.0
c. うち新型コロナウイルス感染症	n=135	0.0	0.0	0.0
d. うち新型コロナウイルス感染症の疑似症と診断された患者	n=135	0.0	0.5	0.0
e. 心疾患	n=127	0.1	0.3	0.0
f. 手術又は直達・介達牽引を要する骨折	n=128	0.0	0.1	0.0
g. 骨髄損傷	n=128	0.0	0.1	0.0
h. 重篤な内分泌・代謝性疾患	n=132	0.1	0.6	0.0
i. 重篤な栄養障害	n=128	0.0	0.2	0.0
j. 意識障害	n=132	0.3	1.4	0.0
k. 全身感染症	n=128	0.0	0.1	0.0
l. 中枢神経系の感染	n=127	0.0	0.0	0.0
m. 急性腹症	n=129	0.1	0.6	0.0
n. 劇症肝炎又は重症急性膵炎	n=127	0.0	0.0	0.0
o. 悪性症候群又は横紋筋融解症	n=129	0.0	0.2	0.0
p. 広範囲(半肢以上)の熱傷	n=127	0.0	0.0	0.0
q. 手術、化学療法若しくは放射線療法を要する状態又は末期の悪性腫瘍	n=127	0.0	0.1	0.0
r. 透析導入時	n=127	0.0	0.0	0.0
s. 重篤な血液疾患	n=127	0.0	0.0	0.0
t. 急性かつ重篤な腎疾患	n=127	0.0	0.0	0.0
u. 手術室での手術をを必要とする状態	n=128	0.0	0.1	0.0
v. 膠原病	n=127	0.0	0.0	0.0
w. 妊産婦	n=127	0.0	0.0	0.0
x. 病の患者に対する医療等に関する法律第5条第1項に規定する指定難病	n=128	0.0	0.3	0.0

【精神療養病棟入院料】

	n数	平均値	標準偏差	中央値
a. 精神科身体合併症管理加算を算定した実患者数	n=222	0.1	0.7	0.0
b. 呼吸系疾患	n=221	0.1	0.6	0.0
c. うち新型コロナウイルス感染症	n=221	0.0	0.0	0.0
d. うち新型コロナウイルス感染症の疑似症と診断された患者	n=221	0.0	0.1	0.0
e. 心疾患	n=221	0.0	0.1	0.0
f. 手術又は直達・介達牽引を要する骨折	n=221	0.0	0.0	0.0
g. 骨髄損傷	n=221	0.0	0.0	0.0
h. 重篤な内分泌・代謝性疾患	n=221	0.0	0.1	0.0
i. 重篤な栄養障害	n=221	0.0	0.0	0.0
j. 意識障害	n=221	0.0	0.0	0.0
k. 全身感染症	n=221	0.0	0.0	0.0
l. 中枢神経系の感染	n=221	0.0	0.0	0.0
m. 急性腹症	n=222	0.0	0.1	0.0
n. 劇症肝炎又は重症急性膵炎	n=221	0.0	0.0	0.0
o. 悪性症候群又は横紋筋融解症	n=221	0.0	0.1	0.0
p. 広範囲(半肢以上)の熱傷	n=221	0.0	0.0	0.0
q. 手術、化学療法若しくは放射線療法を要する状態又は末期の悪性腫瘍	n=221	0.0	0.1	0.0
r. 透析導入時	n=221	0.0	0.0	0.0
s. 重篤な血液疾患	n=221	0.0	0.0	0.0
t. 急性かつ重篤な腎疾患	n=221	0.0	0.0	0.0
u. 手術室での手術を必要とする状態	n=221	0.0	0.0	0.0
v. 膠原病	n=221	0.0	0.0	0.0
w. 妊産婦	n=221	0.0	0.0	0.0
x. 病の患者に対する医療等に関する法律第5条第1項に規定する指定難病	n=221	0.0	0.0	0.0

4. 入院患者票

【調査対象等】

調査対象：病院調査の調査対象病院に入院していた患者のうち、以下に記載した条件に該当する入院患者最大6名

a. 以下の入院基本料等を算定している患者3名

- ・精神科救急入院料
- ・精神科急性期治療病棟入院料
- ・精神科救急・合併症入院料

b. 精神病棟入院基本料（10対1、13対1、15対1）、精神科療養病棟入院料を算定している患者より、以下の各条件に該当する患者計3名

- ・入院期間が1年未満の患者 1名
- ・入院期間が1年以上3年未満の患者 1名
- ・入院期間が3年以上の患者 1名

回答数：1,604名

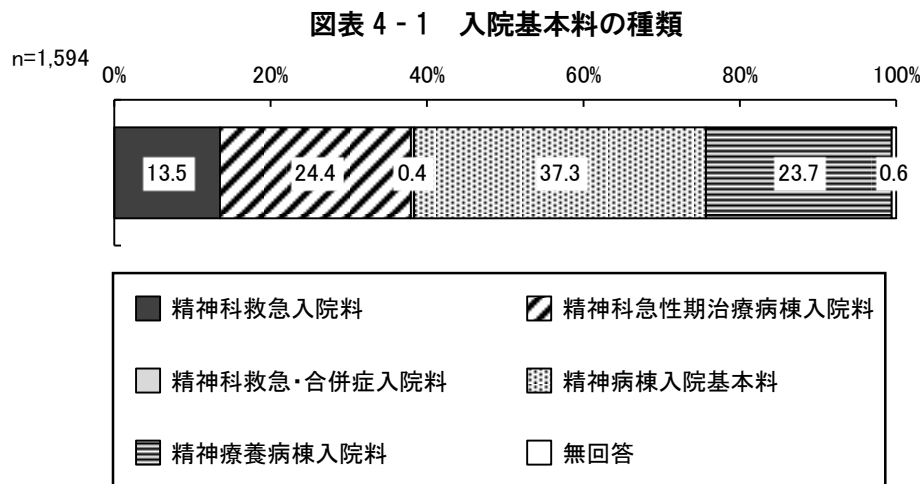
回答者：対象患者の入院している病棟責任者

(1) 入院患者の基本属性

① 入院基本料の種類と入院期間(令和2年10月1日時点)

①-1 入院基本料の種類

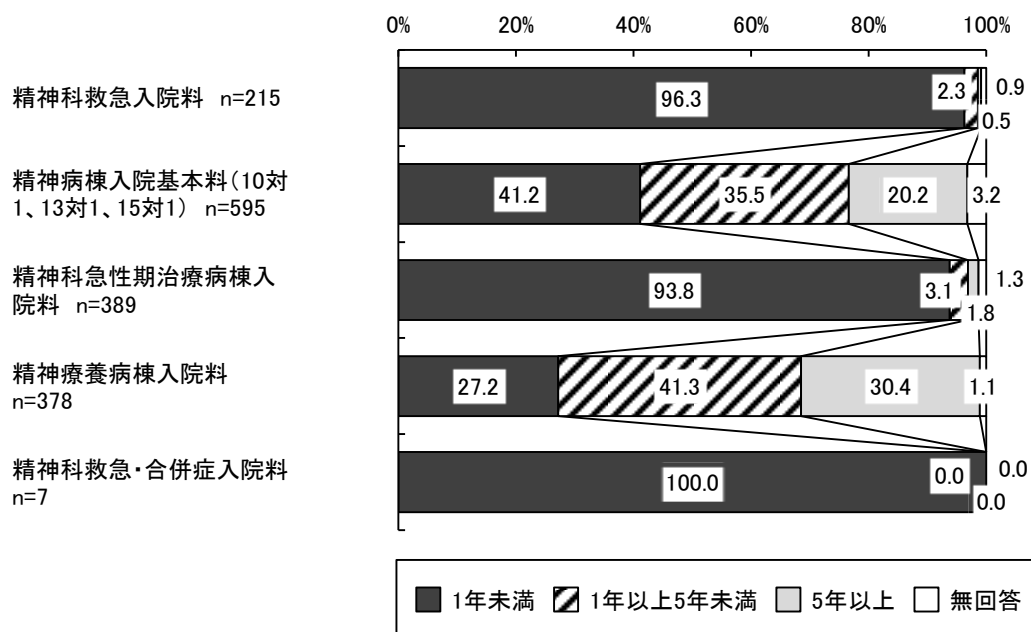
入院していた病棟の入院基本料の種類で最も多かったものは「精神病棟入院基本料」で37.3%、次に多かったものは「精神科急性期治療病棟入院料」(24.4%)であった。



①-2 入院期間

入院期間で最も多かったものは1年未満で、「精神科救急入院料」では96.3%、「精神科急性期治療病棟入院料」では93.8%、「精神科救急・合併症入院料」では100.0%であった。

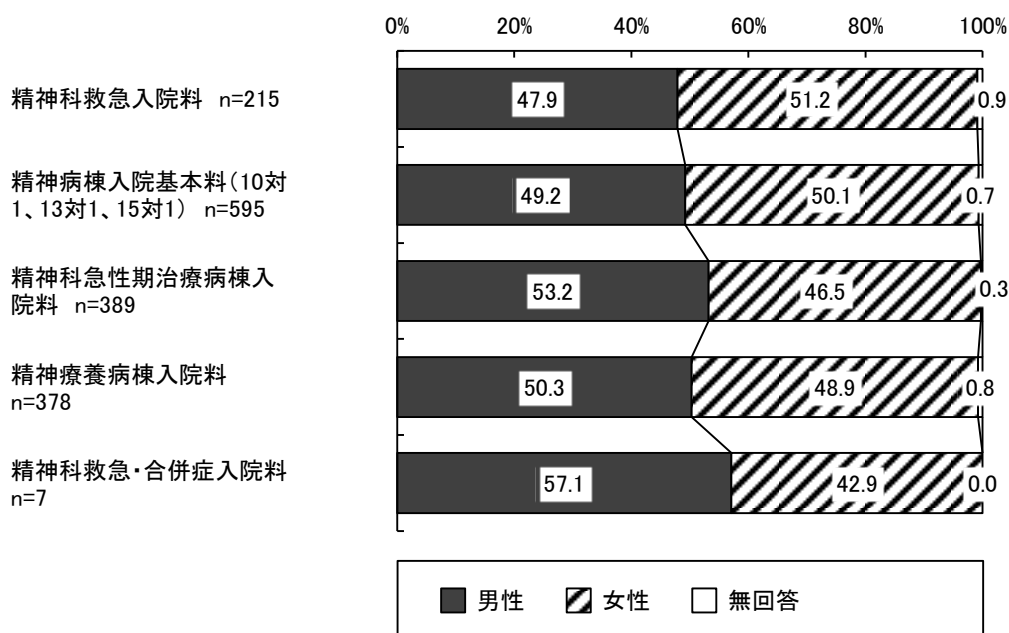
図表 4 - 2 入院期間（入院基本料別）



② 性別

患者の性別については、「精神科救急入院料」では、男性(47.9%)、女性(51.2%)、「精神病棟入院基本料」では男性(49.2%)、女性(50.1%)、「精神科急性期治療病棟入院料」では男性(53.2%)、女性(46.5%)、「精神科療養病棟入院料」では男性(50.3%)、女性(48.9%)「精神科救急・合併症入院料」では男性(57.1%)、女性(42.9%)であった。

図表 4 - 3 患者の性別（入院基本料別）



③ 年齢

年齢構成については以下のとおりであった。

図表 4 - 4 患者の年齢（入院基本料別）

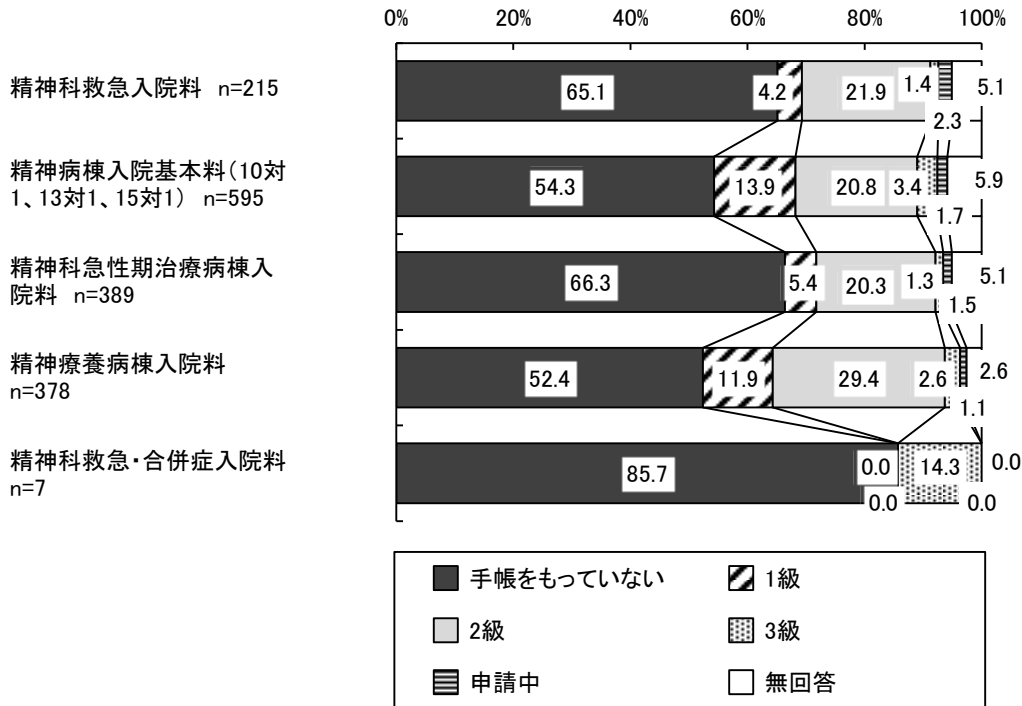
単位：歳

		平均値	標準偏差	中央値
精神科救急入院料	n=206	49.6	18.3	48.5
精神病棟入院基本料(10対1、13対1、15対1)	n=575	57.5	17.0	59.0
精神科急性期治療病棟入院料	n=379	53.8	18.5	52.0
精神療養病棟入院料	n=367	59.6	15.5	60.0
精神科救急・合併症入院料	n=7	53.6	16.6	55.0

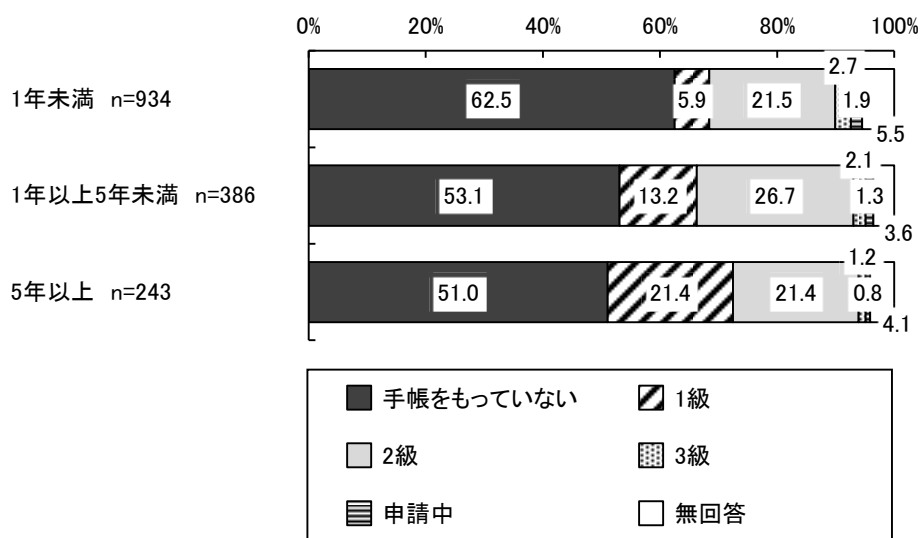
④ 精神障害手帳の所持

精神障害手帳については、いずれの入院料においても、手帳を持っていない患者が5割以上を占めていた。

図表 4 - 5 入院患者が所持している精神障害手帳（入院基本料別）



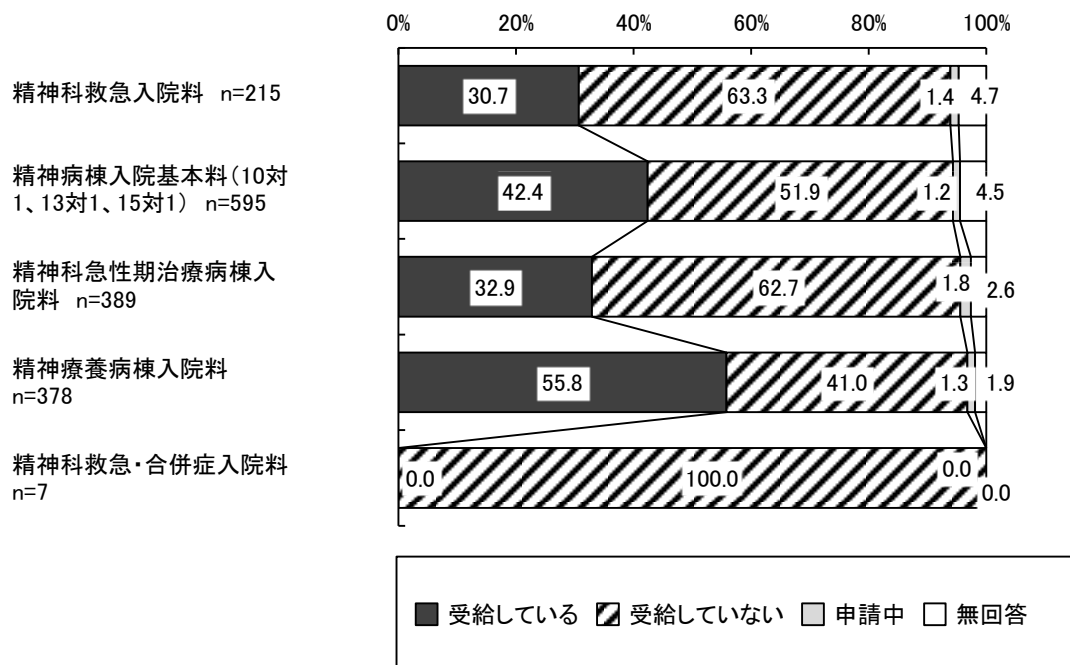
図表 4 - 6 入院患者が所持している精神障害手帳(入院期間別)



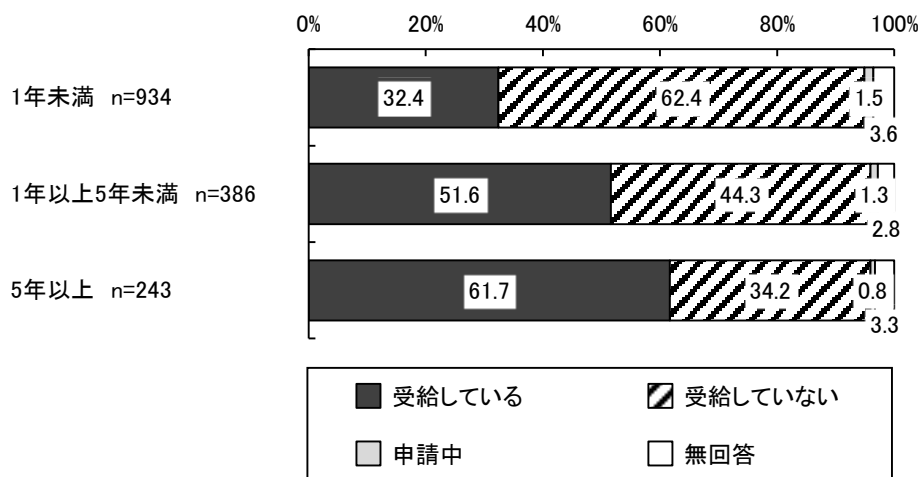
⑤ 障害年金の受給状況

障害年金の受給状況については、「精神療養病棟入院料」算定患者のうち 55.8%、「精神病棟入院基本料」算定患者のうち 42.4%が受給していた。

図表 4 - 7 入院患者の障害年金の受給状況(入院基本料別)



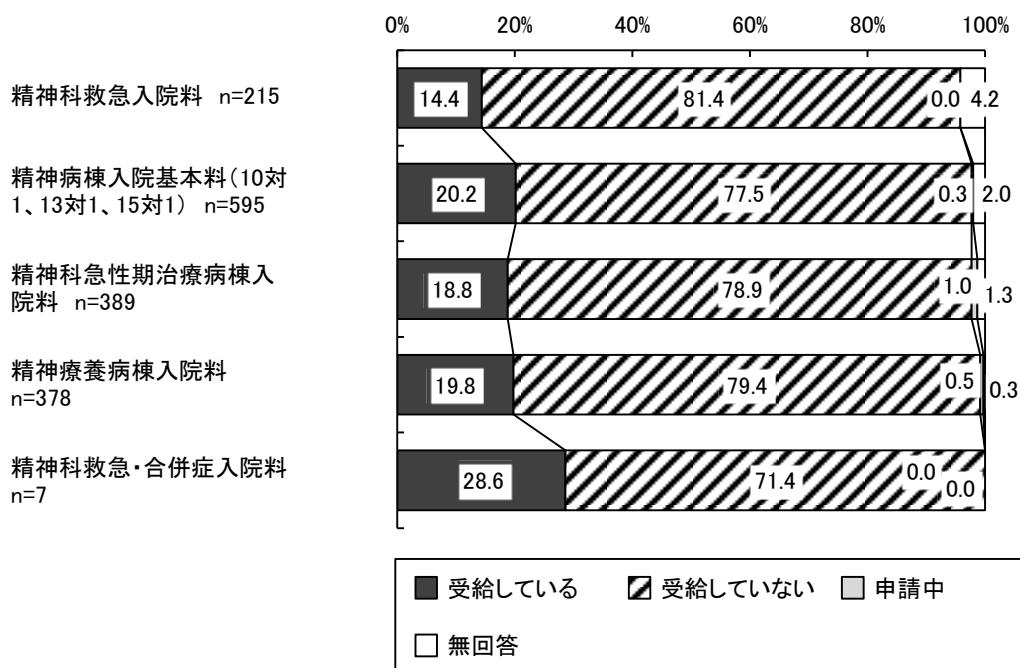
図表 4 - 8 入院患者の障害年金の受給状況(入院期間別)



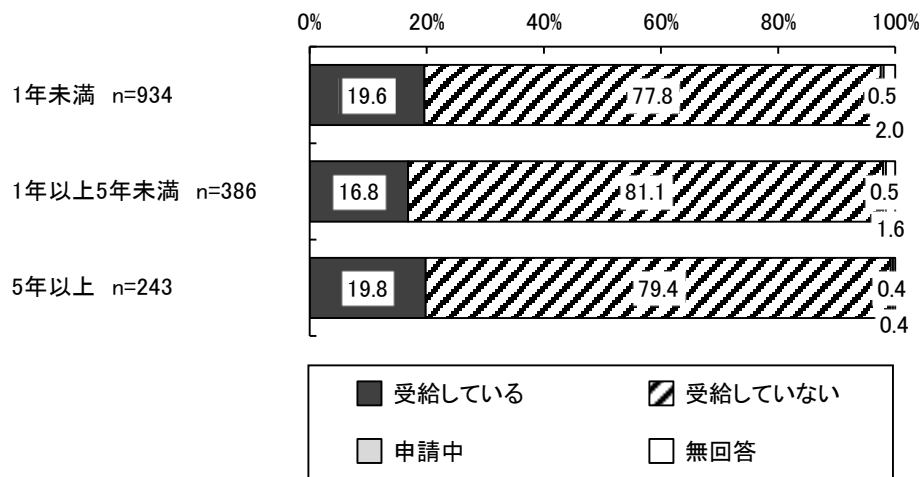
⑥ 生活保護の受給状況

生活保護については、いずれの入院料でも8割前後の患者は受給していないという回答であった。

図表 4 - 9 入院患者の生活保護の受給状況 (入院基本料別)



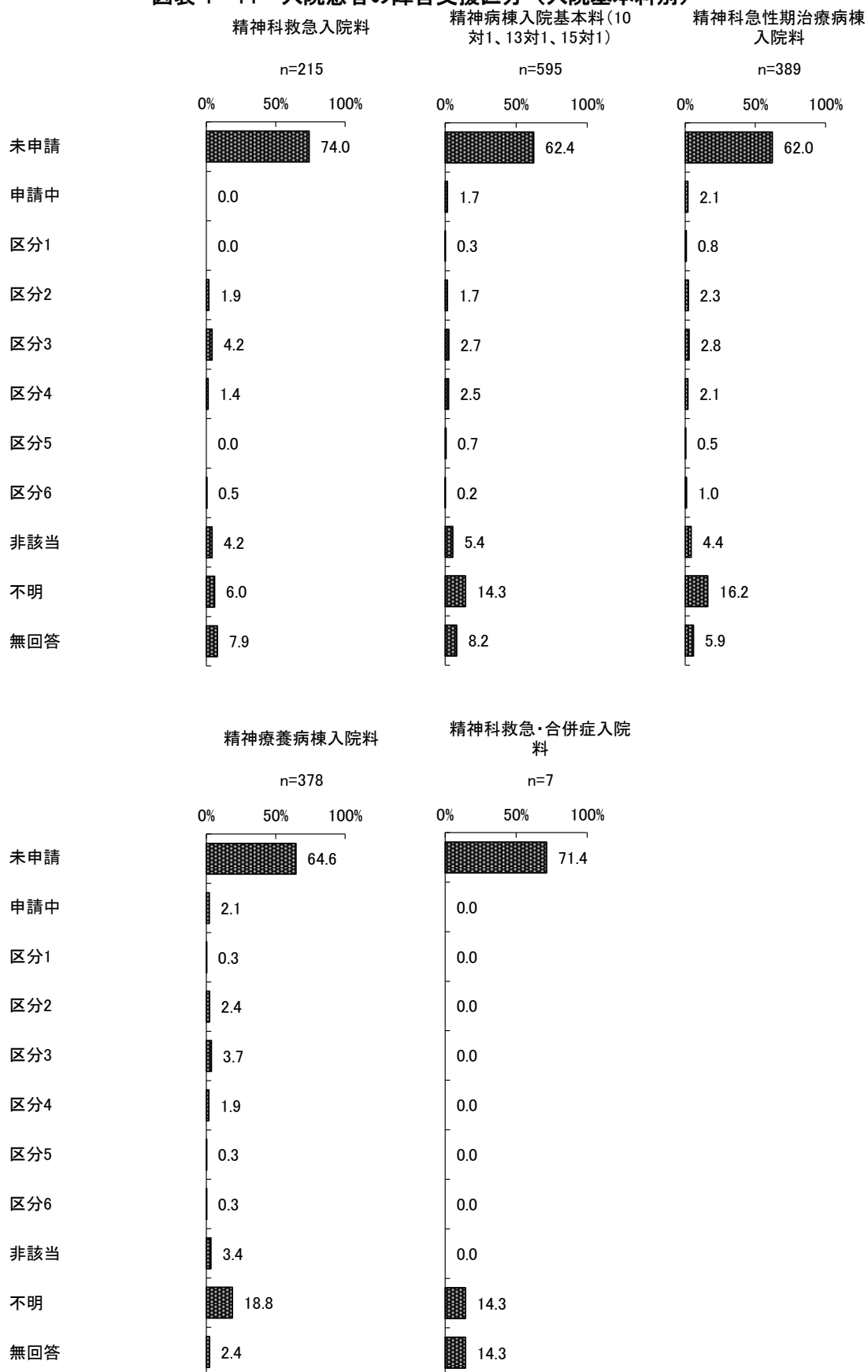
図表 4 - 10 入院患者の生活保護の受給状況(入院期間別)



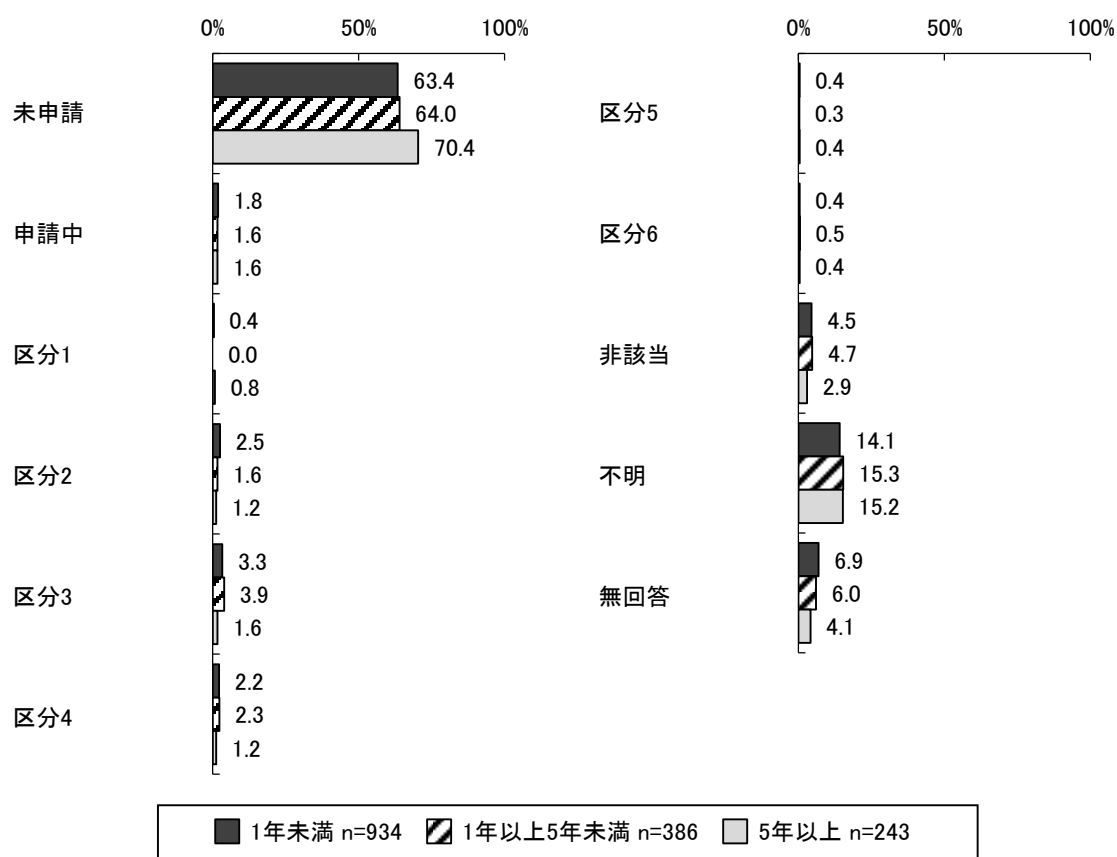
⑦ 障害支援区分

障害支援区分についてはいずれの入院料においても「未申請」が7割近くを占めていた。

図表4-11 入院患者の障害支援区分（入院基本料別）



図表 4 - 12 入院患者の障害支援区分（入院期間別）



(2) 入院時の状況

① 入院日から調査基準日までの在院日数

在院日数については以下のとおりであった。

図表 4 - 13 入院日から調査基準日までの在院日数（入院基本料別）

単位：日

	n	平均値	標準偏差	中央値
精神科救急入院料	n=190	64.2	254.7	27.0
精神病棟入院基本料(10対1、13対1、15対1)	n=575	1396.1	2464.2	439.0
精神科急性期治療病棟入院料	n=364	145.4	699.5	30.0
精神療養病棟入院料	n=371	1904.8	2842.5	891.0
精神科救急・合併症入院料	n=7	101.0	115.8	37.0

② 入棟日から調査基準日までの在院日数

入棟日から調査基準日までの在院日数については以下のとおりであった。

図表 4 - 14 入棟日から調査基準日までの在院日数（入院基本料別）

単位：日

	n	平均値	標準偏差	中央値
精神科救急入院料	n=187	67.34	274.29	25.00
精神病棟入院基本料(10対1、13対1、15対1)	n=546	864.20	1563.30	342.50
精神科急性期治療病棟入院料	n=347	144.26	712.77	30.00
精神療養病棟入院料	n=348	1209.78	1913.03	538.50
精神科救急・合併症入院料	n=7	59.57	53.84	37.00

③ 精神科・神経科の初診日(他の医療機関を含む)からの日数

精神科・神経科の初診日からの日数は以下のとおりであった。

図表 4 - 15 精神科・神経科の初診日(他の医療機関を含む)からの日数(入院基本料別)

単位:日

		平均値	標準偏差	中央値
精神科救急入院料	n=137	3753.0	4191.3	2313.0
精神病棟入院基本料(10対1、13対1、15対1)	n=323	6113.9	5401.0	5141.0
精神科急性期治療病棟入院料	n=247	3527.8	4482.8	1598.0
精神療養病棟入院料	n=233	7465.9	5700.3	6616.0
精神科救急・合併症入院料	n=6	1201.3	1655.3	291.5

④ 前回(直近)の退院日からの日数

前回(直近)の退院日からの日数は以下のとおりであった。

図表 4 - 16 前回(直近)の退院日からの日数(入院基本料別)

単位:日

		平均値	標準偏差	中央値
精神科救急入院料	n=115	1282.7	1895.2	434.0
精神病棟入院基本料(10対1、13対1、15対1)	n=398	2289.2	3120.3	952.0
精神科急性期治療病棟入院料	n=218	1184.8	1856.5	468.0
精神療養病棟入院料	n=289	2452.4	3013.3	1417.0
精神科救急・合併症入院料	n=2	1074.5	913.5	1074.5

⑤ 精神科・神経科への通算入院回数

精神科・神経科への通算入院回数は以下のとおりであった。

図表 4 - 17 精神科・神経科への通算入院回数(入院基本料別)

単位:回

		平均値	標準偏差	中央値
精神科救急入院料	n=187	3.4	3.7	2.0
精神病棟入院基本料(10対1、13対1、15対1)	n=472	4.8	4.7	3.0
精神科急性期治療病棟入院料	n=331	3.9	4.3	2.0
精神療養病棟入院料	n=328	4.7	4.1	4.0
精神科救急・合併症入院料	n=6	3.8	6.4	1.0

⑥ 精神科・神経科への通算入院期間

精神科・神経科への通算入院期間は以下のとおりであった。

図表 4 - 18 精神科・神経科への通算入院期間(入院基本料別)

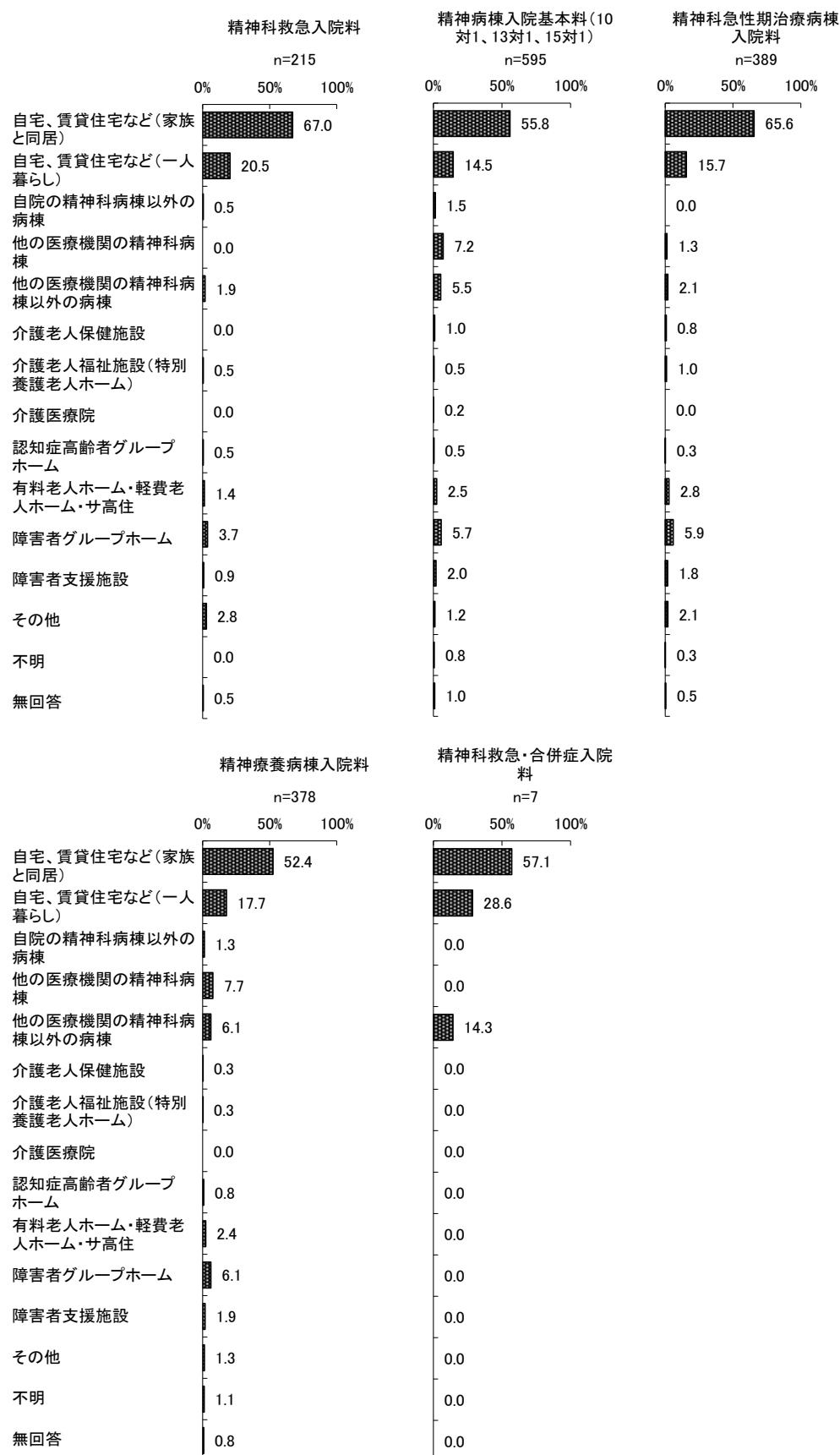
単位:か月

		平均値	標準偏差	中央値
精神科救急入院料	n=152	10.4	19.5	3.0
精神病棟入院基本料(10対1、13対1、15対1)	n=386	83.9	122.0	32.0
精神科急性期治療病棟入院料	n=265	18.0	41.3	5.0
精神療養病棟入院料	n=272	106.1	130.4	51.5
精神科救急・合併症入院料	n=6	19.0	31.6	5.5

⑦ 入院前の居場所

入院前の居場所については、いずれの入院料でも「自宅、賃貸住宅など（家族と同居）」が最も多かった（「精神科救急入院料」（67.0%）、「精神病棟入院基本料」（55.8%）、「精神科急性期治療病棟入院料」（65.6%）、「精神療養病棟入院料」（52.4%）、「精神科救急・合併症入院料」（57.1%）。なお、「その他」の回答には「救護施設」等があった。

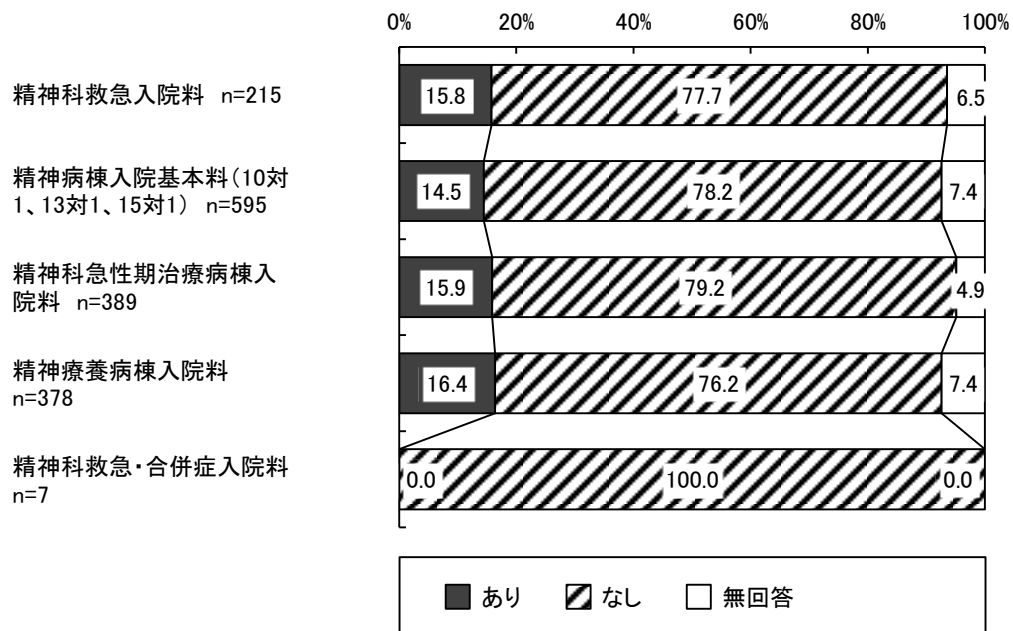
図表 4 - 19 入院前の居場所（入院基本料別）



⑧ 直近の在宅医療機関における精神科訪問看護の利用の有無

精神科訪問看護の利用については、いずれの入院料でも7割以上が利用無しとの回答であった。

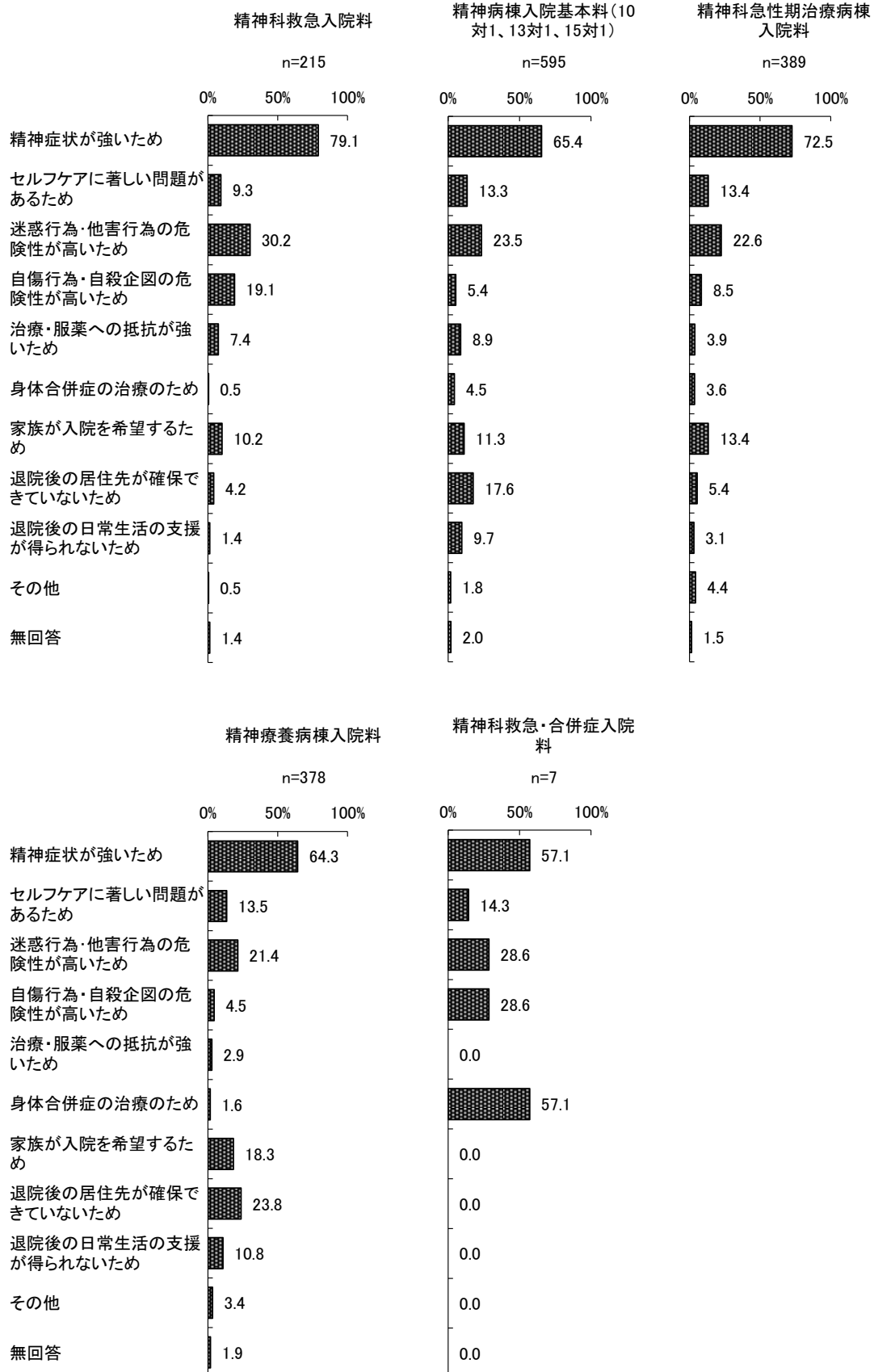
図表 4 - 20 直近の在宅医療機関における精神科訪問看護の利用の有無（入院基本料別）



⑨ 現在入院している病棟における主な入院理由

現在入院している病棟における主な入院理由で最も多かったものはいずれの入院料でも「精神症状が強いため」であった（「精神科救急入院料」（79.1%）、「精神病棟入院基本料」（65.4%）、「精神科急性期治療病棟入院料」（72.5%）、「精神療養病棟入院料」（64.3%）、「精神科救急・合併症入院料」（57.1%）。なお、「その他」の回答として、「アルコール依存症」、「本人の不安、退院に拒否的」等があった。

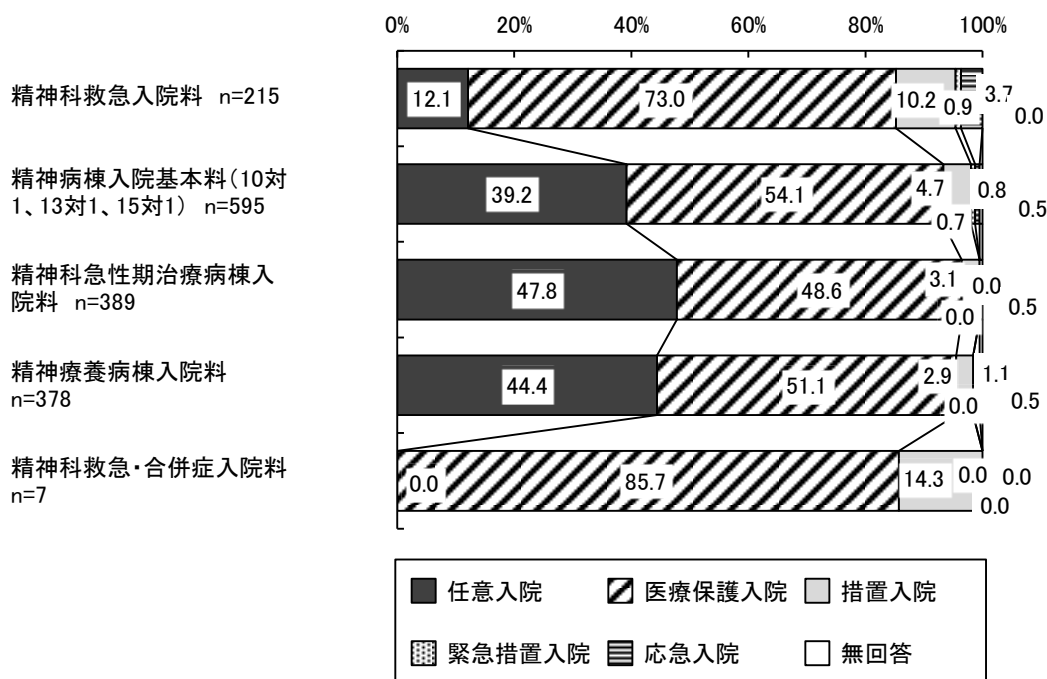
図表 4 - 21 現在の主な入院理由（入院基本料別、主な理由 2 つまで）



⑩ 入院形態

入院形態で最も多かったものはいずれの入院料でも「医療保護入院」であり、「精神科救急・合併症入院料」では85.7%、「精神科救急入院料」では73.0%であった。

図表 4 - 22 今回の入院時の入院形態（入院基本料別）



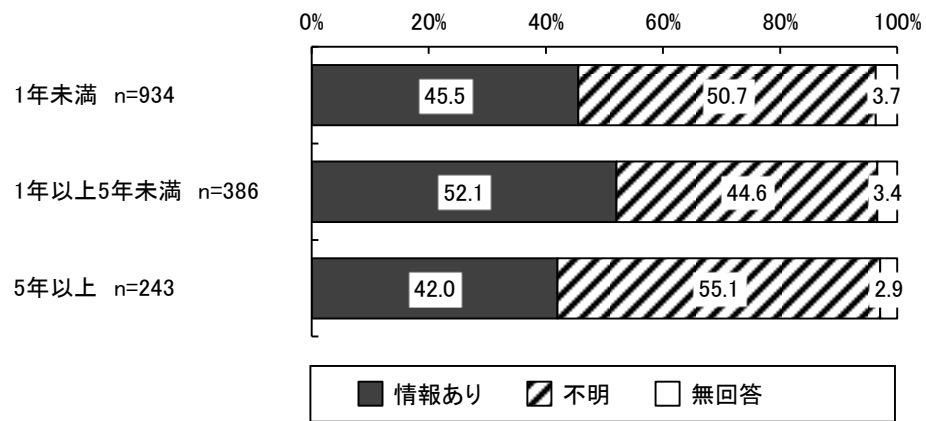
⑪ 入院時の GAF 尺度

入院時の GAF 尺度については以下のとおりであった。

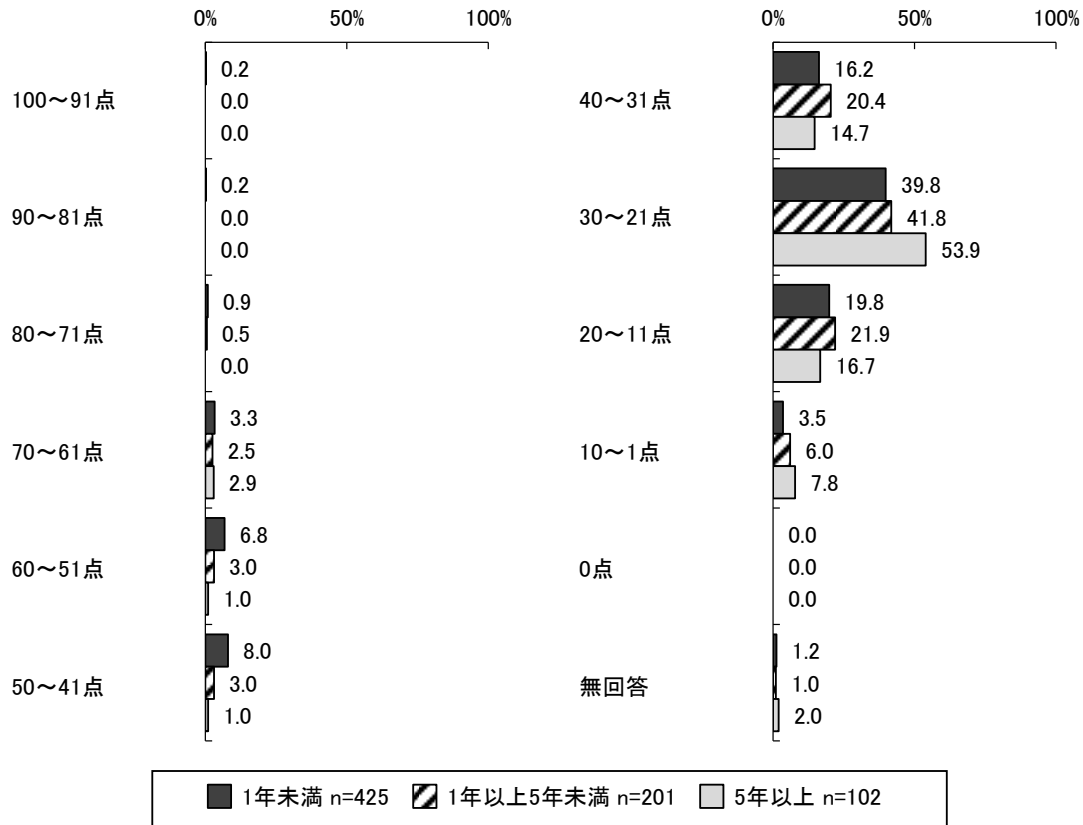
【入院時の GAF 尺度】

		平均値	標準偏差	中央値
精神科救急入院料	n=103	31.7	14.0	30.0
精神病棟入院基本料(10対1、13対1、15対1)	n=225	30.6	15.4	30.0
精神科急性期治療病棟入院料	n=122	36.9	15.9	30.5
精神療養病棟入院料	n=278	26.3	9.2	25.0
精神科救急・合併症入院料	n=6	29.2	14.8	25.0

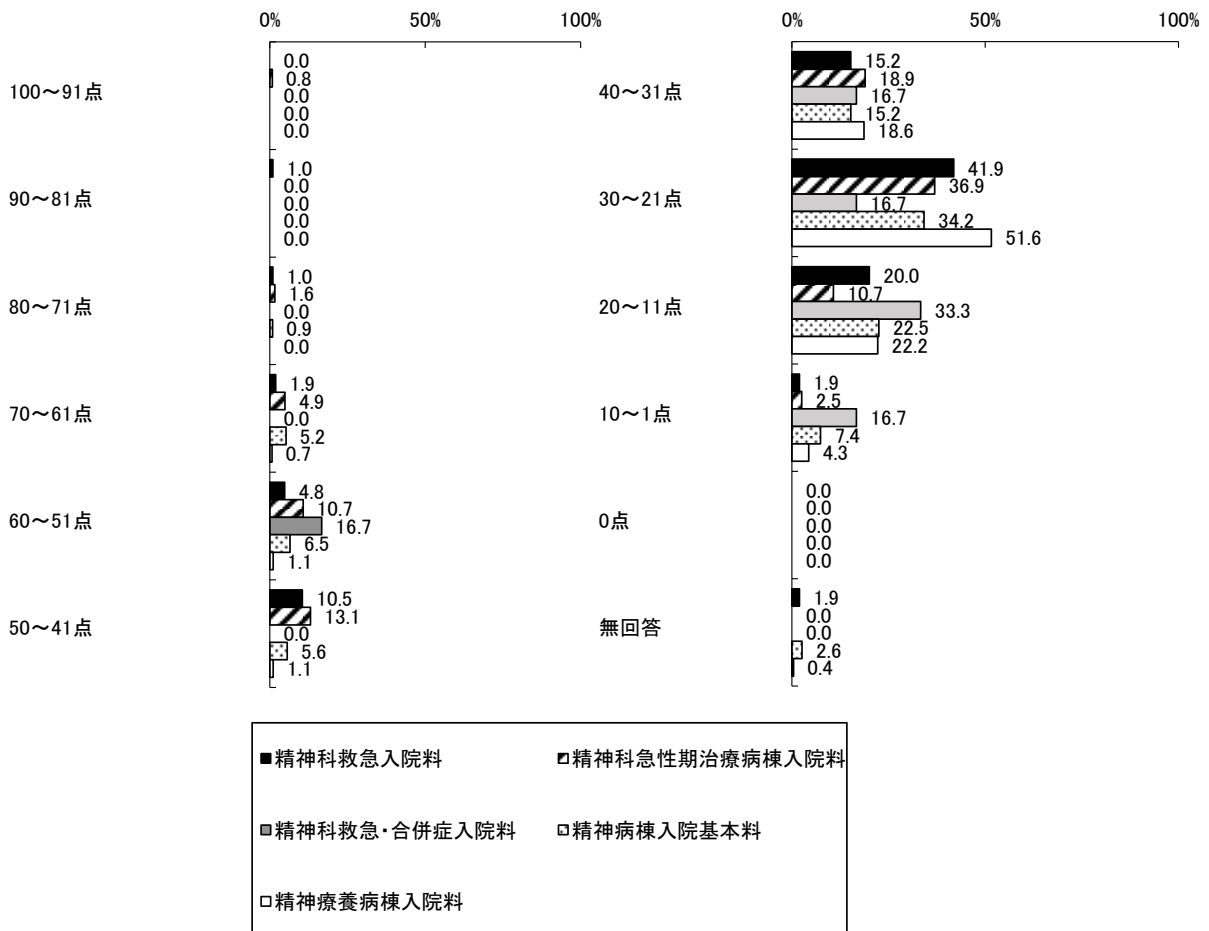
図表 4 - 23 入院時の GAF 尺度情報（入院期間別）



図表 4 - 24 入院時の GAF 尺度（入院期間別）



図表 4 - 25 GAF 尺度（入院基本料別）

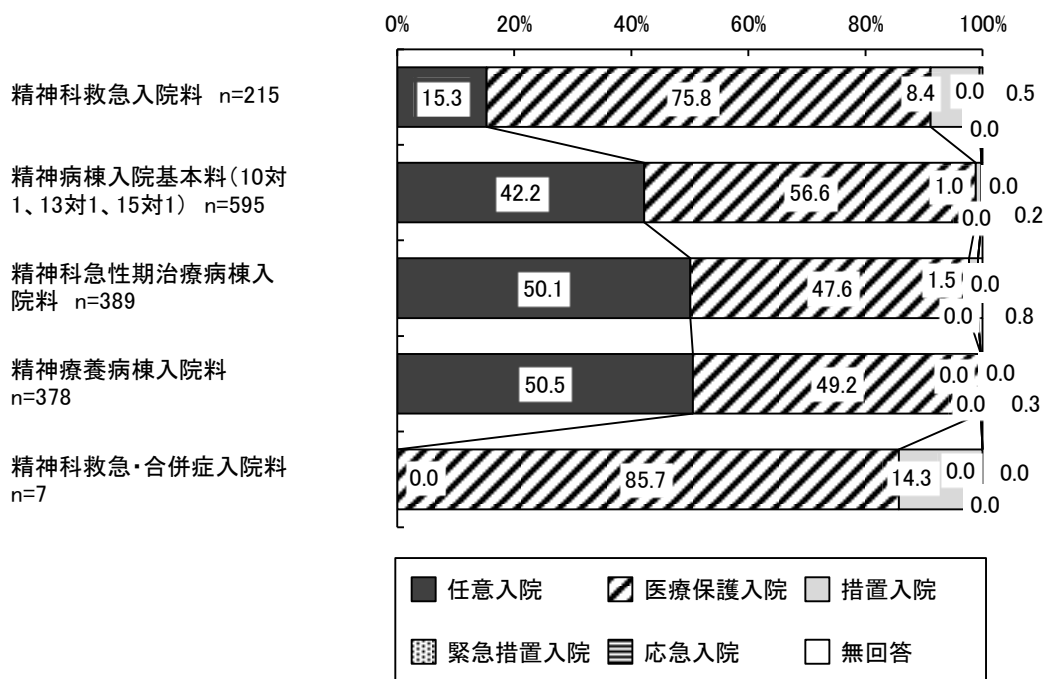


(3) 現在の状況

① 入院形態

入院形態については、「医療保護入院」が「精神科救急入院料」で75.8%、「精神病棟入院基本料」で56.6%と多かった。

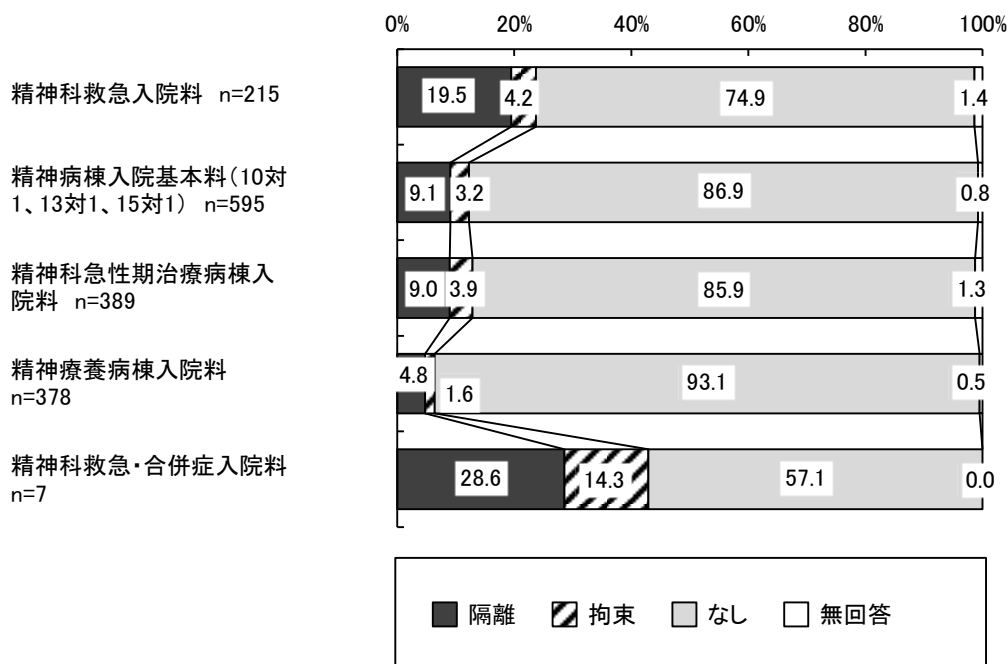
図表 4 - 26 現在の入院形態（入院基本料別）



② 行動制限の状況

行動制限についてはいずれの入院料でも「なし」との回答が大半を占めた。

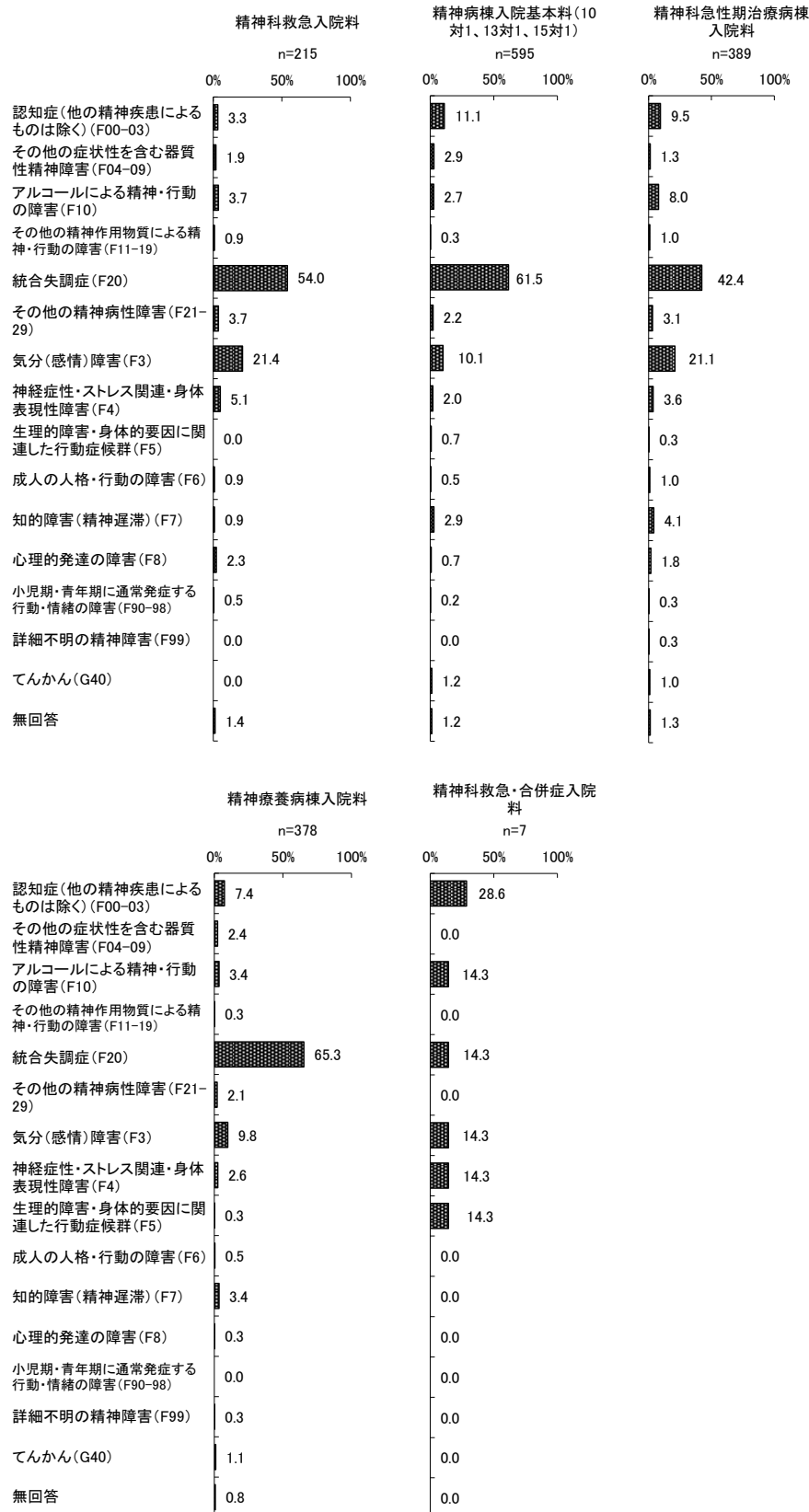
図表 4 - 27 行動制限の状況（入院基本料別）



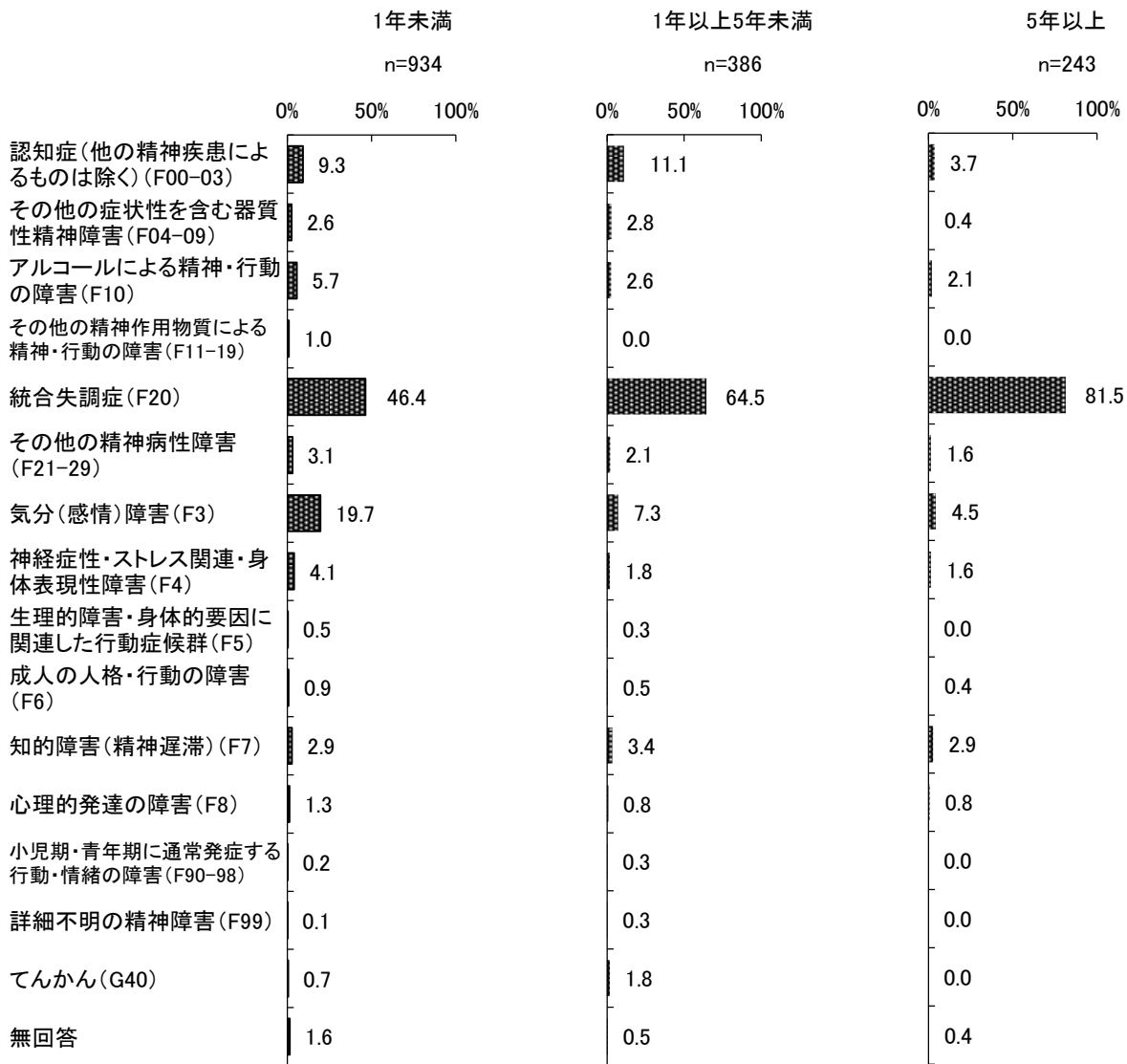
③ 主傷病

主傷病については最も多かったものが「統合失調症」で「精神科救急入院料」(54.0%)、「精神病棟入院基本料」(61.5%)、「精神科急性期治療病棟入院料」(42.4%)、「精神療養病棟入院料」(65.3%)であった。「精神科救急・合併症入院料」においては「認知症(他の精神疾患によるものは除く)」が28.6%と最も多かった。

図表 4 - 28 主傷病 (入院基本料別)



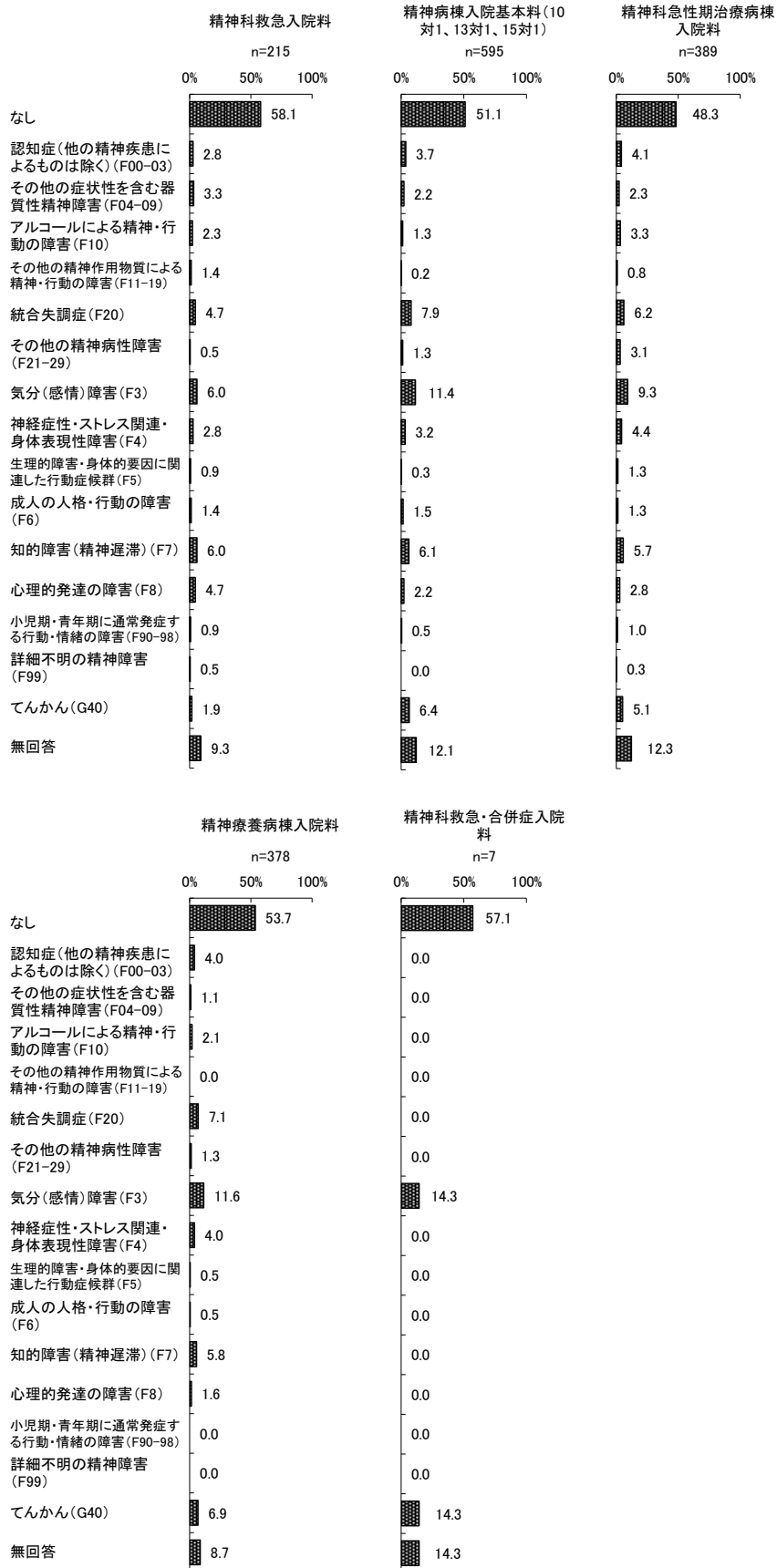
図表 4 - 29 主傷病（入院期間別）



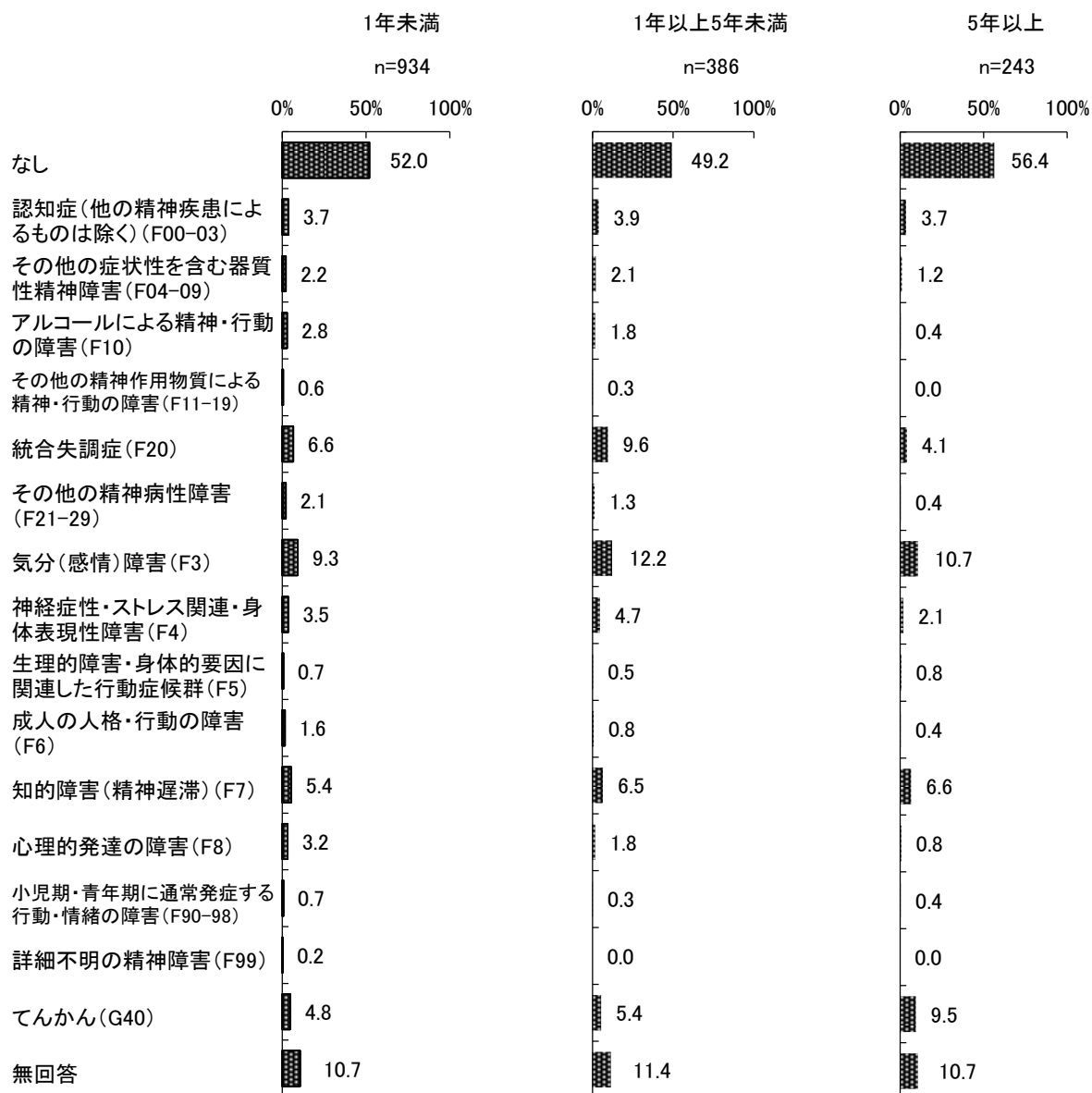
④ 主傷病以外の精神疾患の傷病

主傷病以外の精神疾患の傷病はすべての入院基本料において「なし」の回答が5割以上を占めた。

図表 4 - 30 主傷以外の精神疾患の傷病（入院基本料別、複数回答）



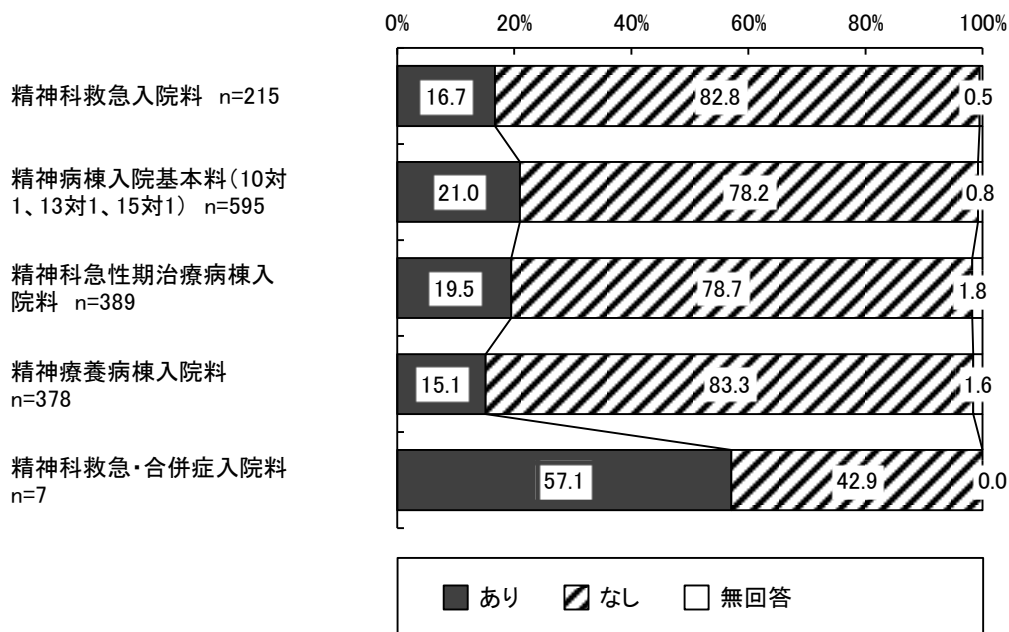
図表 4 - 31 主傷以外の精神疾患の傷病（入院期間別）



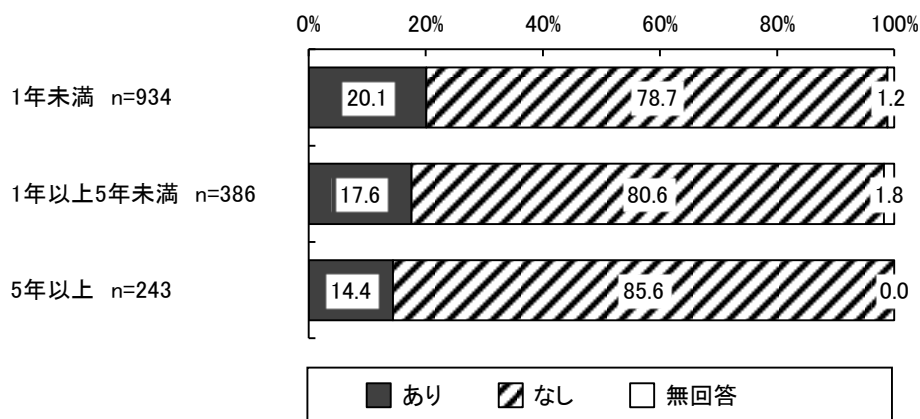
⑤ 身体合併症の有無とその種類

身体合併症については、「なし」との回答が8割以上であった。

図表 4 - 32 身体合併症の有無（入院基本料別、複数回答）



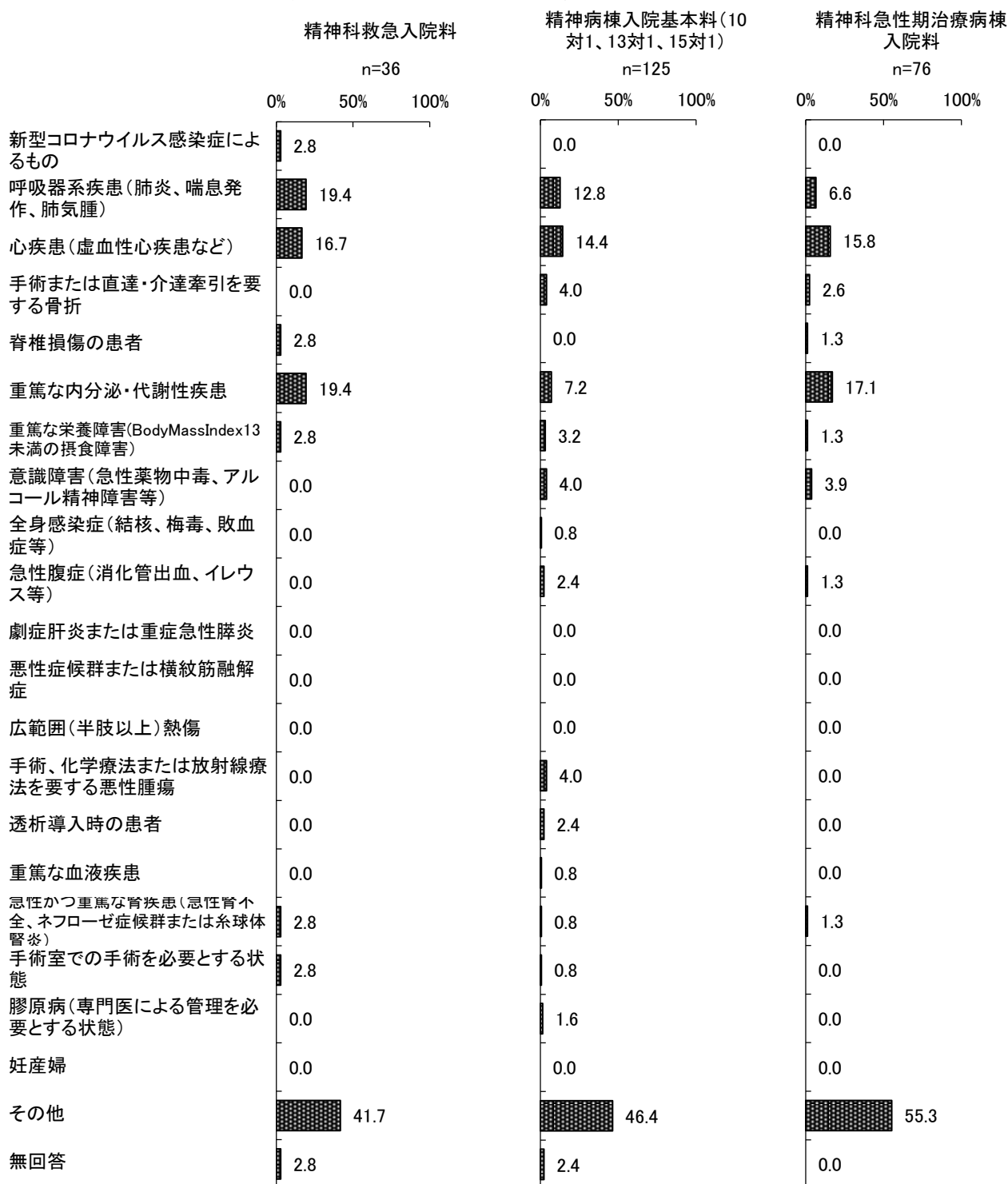
図表 4 - 33 身体合併症の有無（入院期間カテゴリー別）

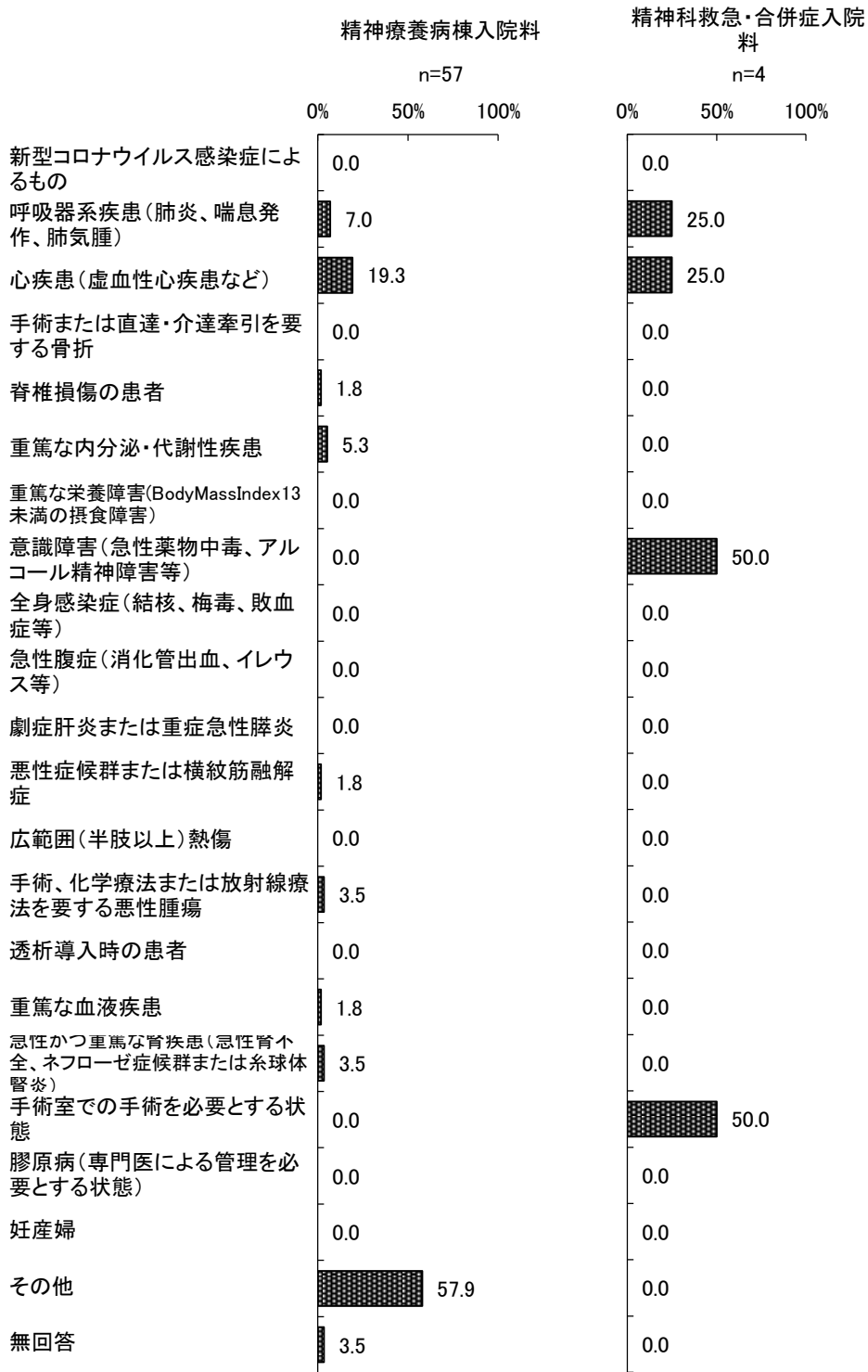


⑤-1 身体合併症の種類(⑤で身体合併症ありの場合)

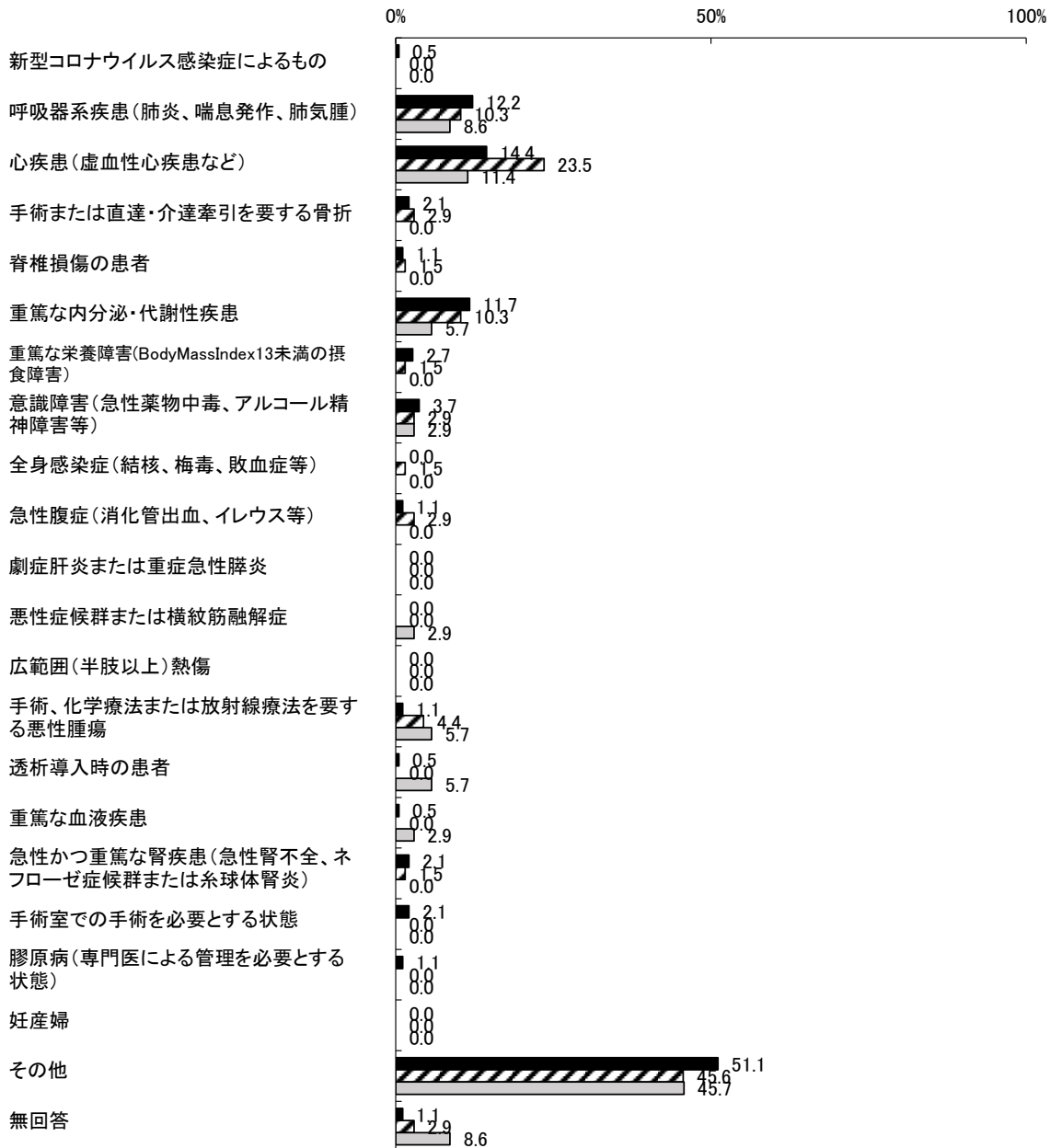
身体合併症の種類は以下のとおりで、呼吸器系疾患、心疾患の患者の割合が高かった。

図表 4 - 34 身体合併症の種類(入院基本料別)





図表 4 - 35 身体合併症の種類（入院期間別）

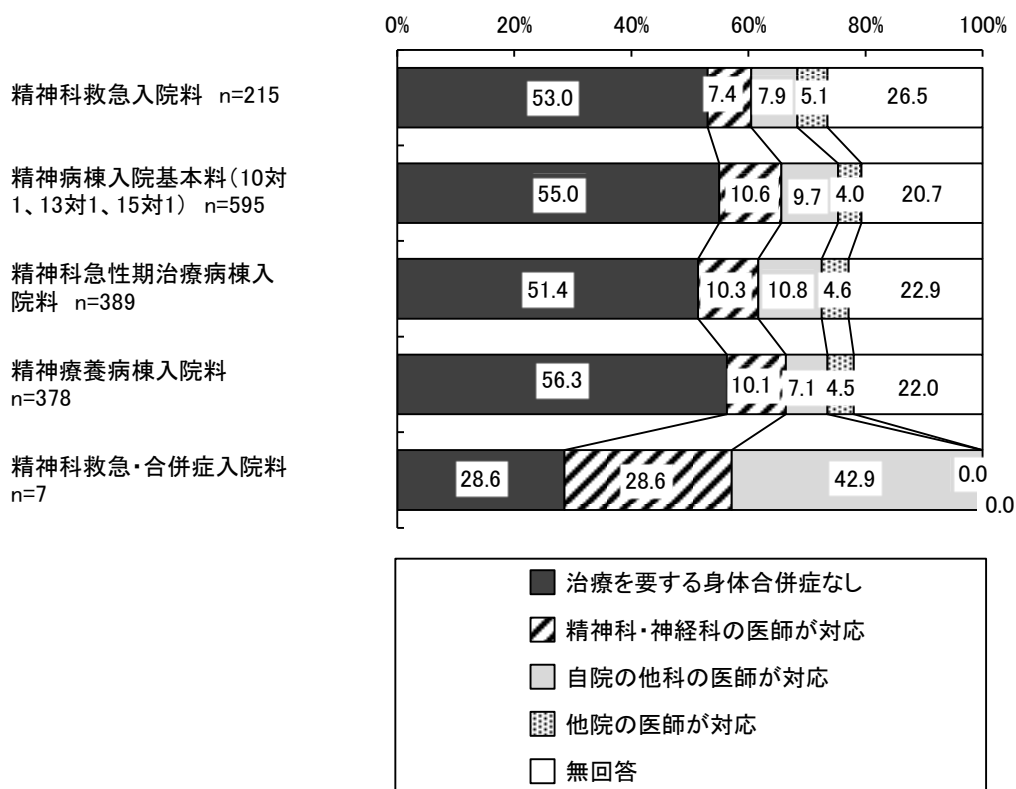


■ 1年未満 ▨ 1年以上5年未満 □ 5年以上

⑥ 身体合併症に対する対応状況

治療を要する身体合併症については、精神科救急・合併症入院料では「精神科・神経科の医師が対応」の回答が28.6%あったものの、他入院料においては、「なし」との回答が5割以上であった。

図表 4 - 36 身体合併症に対する対応状況（入院基本料別）



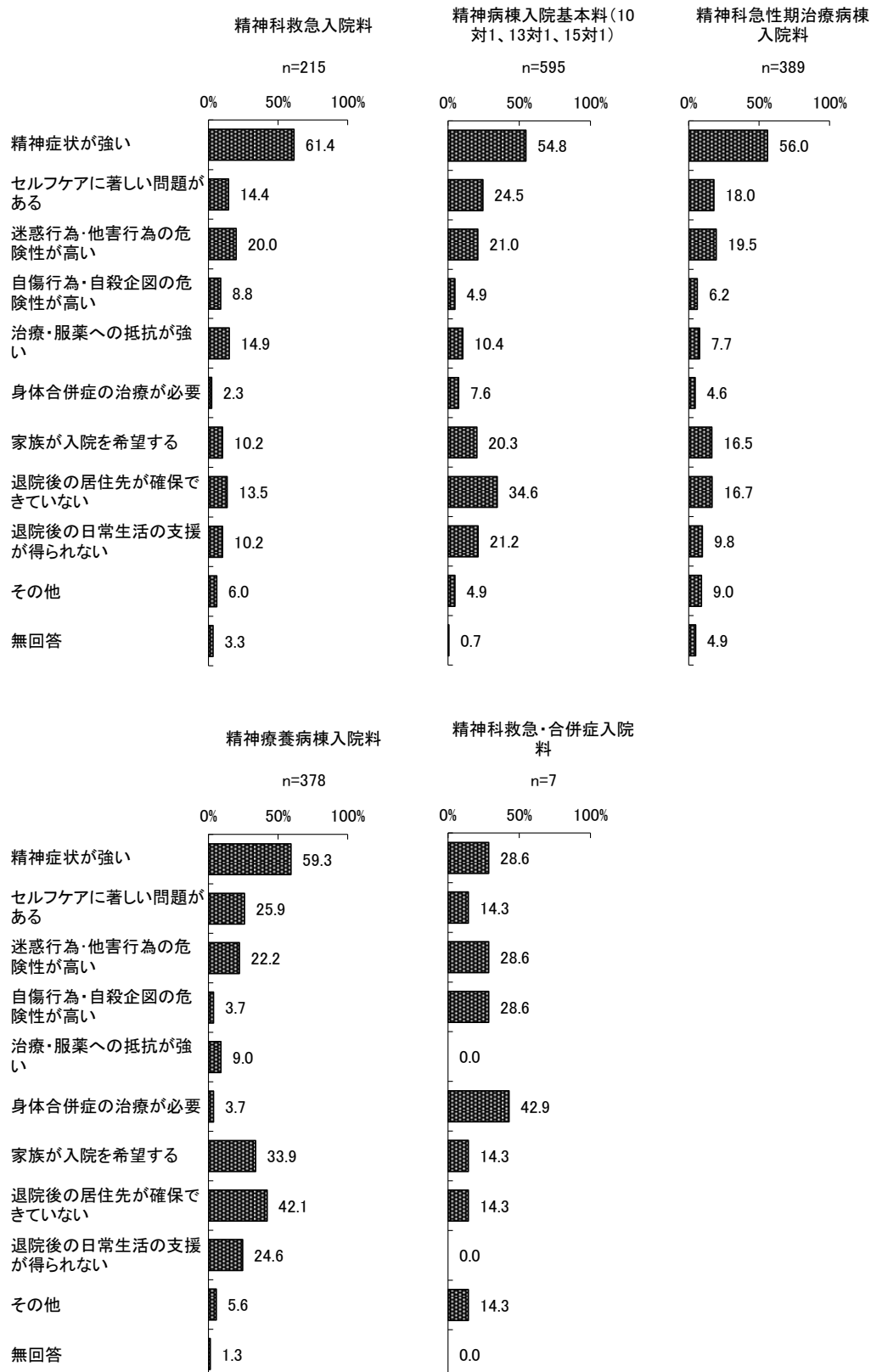
(4) 現在の患者の状態等

① 現在の精神疾患の状況

現在の精神疾患の状況で最も多かったものは、ほとんどの入院基本料で「精神症状が強い」で「精神科救急入院料」(61.4%)、「精神病棟入院基本料」(54.8%)、「精神科急性期治療病棟入院料」(56.0%)、「精神療養病棟入院料」(59.3%)であった。「精神科救急・合併症入院料」においては「身体合併症の治療が必要」が42.9%と最も多かった。

なお、「その他」には、「本人が入院を希望」が多くみられた。

図表 4 - 37 現在の精神疾患の状況（複数回答、入院基本料別）



② 現在の患者の GAF 尺度(現時点)

現在の患者の GAF 尺度は以下のとおりであった。

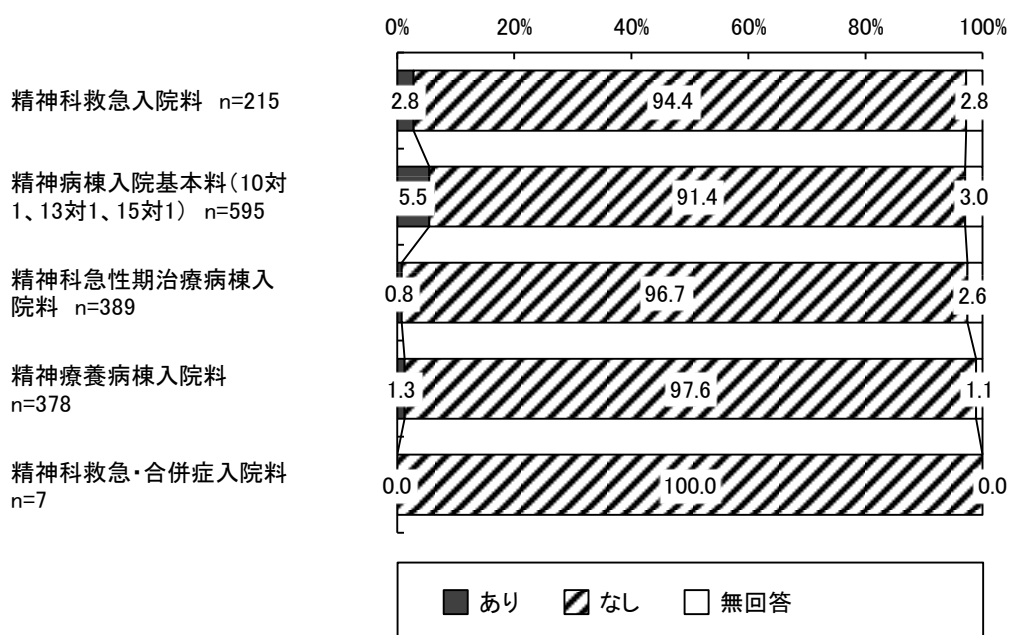
図表 4 - 38 患者の GAF 尺度・現時点 (入院基本料別)

		平均値	標準偏差	中央値
精神科救急入院料	n=100	40.2	17.0	40.0
精神病棟入院基本料(10対1、13対1、15対1)	n=263	36.0	17.2	30.0
精神科急性期治療病棟入院料	n=167	43.5	18.2	40.0
精神療養病棟入院料	n=322	26.7	8.8	25.0
精神科救急・合併症入院料	n=6	41.0	13.2	42.5

③-1 クロザピンの使用状況

いずれの入院料でもクロザピンの使用は無しとの回答が9割以上であった。

図表 4 - 39 クロザピンの使用状況 (入院基本料別)



【ありの場合の現在のクロザピンの投与量】

- ・ 1日あたりの量(mg)

		平均値	標準偏差	中央値
精神科救急入院料	n=4	375.0	227.8	400.0
精神病棟入院基本料(10対1、13対1、15対1)	n=30	323.5	166.8	300.0
精神科急性期治療病棟入院料	n=2	400.0	100.0	400.0
精神療養病棟入院料	n=5	375.0	196.2	300.0
精神科救急・合併症入院料	n=0	0.0	0.0	0.0

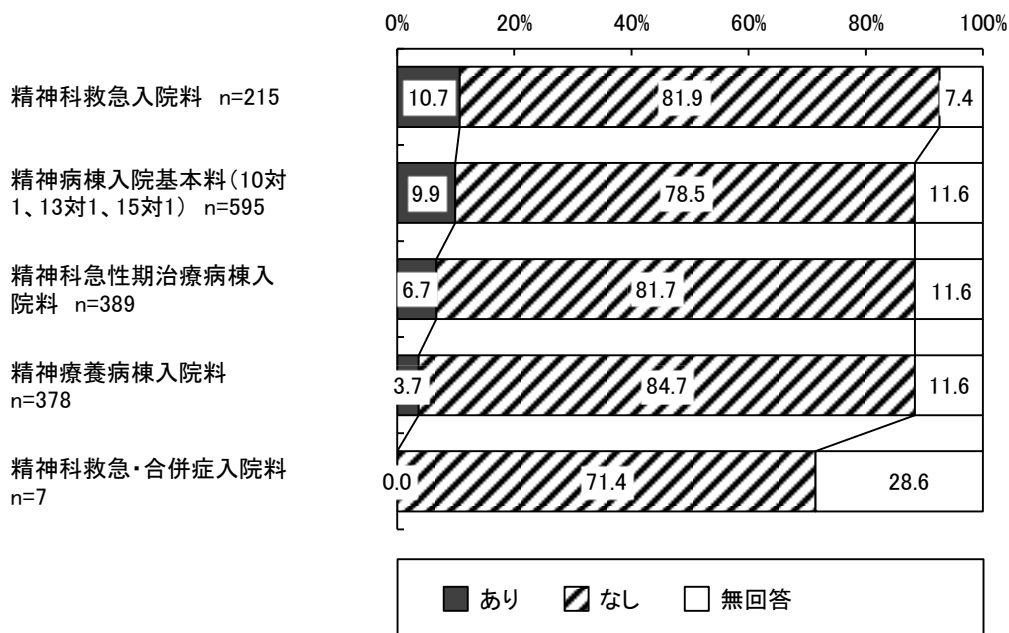
- ・ 1日の投与回数

		平均値	標準偏差	中央値
精神科救急入院料	n=2	2.0	0.0	2.0
精神病棟入院基本料(10対1、13対1、15対1)	n=29	2.1	0.6	2.0
精神科急性期治療病棟入院料	n=2	2.0	0.0	2.0
精神療養病棟入院料	n=5	2.4	0.5	2.0
精神科救急・合併症入院料	n=0	0.0	0.0	0.0

③-2 持続性抗精神病注射薬剤(LAI)の処方

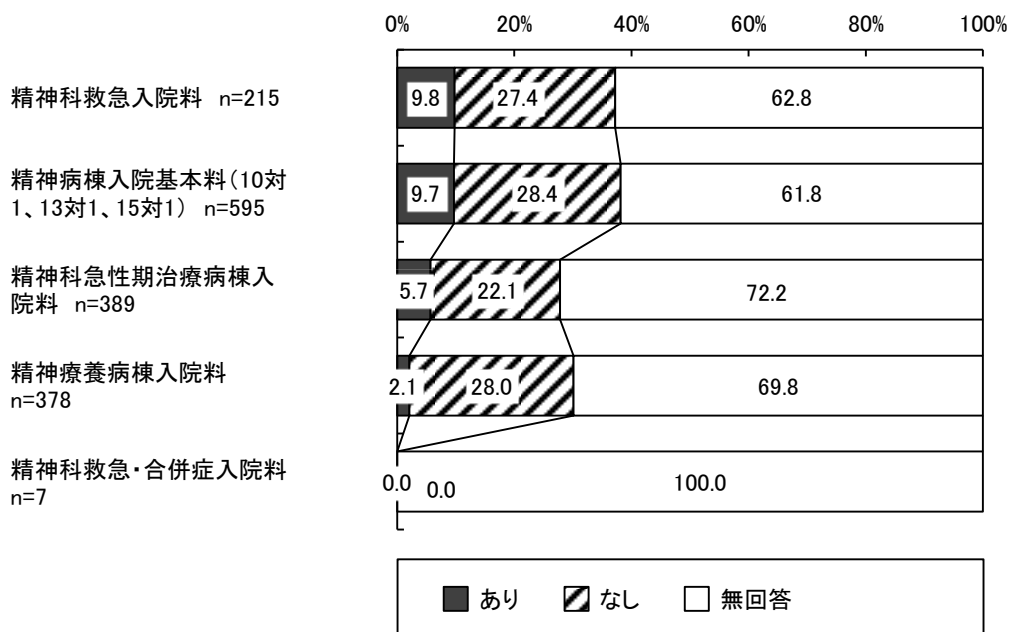
持続性抗精神病注射薬剤(LAI)の処方状況を見ると、「精神科救急入院料」では、10.7%、「精神病棟入院基本料」9.9%、精神科急性期治療病棟入院料6.7%、精神療養病棟入院料3.7%、「精神科救急・合併症入院料」は該当無しであった。

図表 4 - 40 LAI の処方状況（入院基本料別）



【前問で「あり」の場合の現在の非定型持続性抗精神病注射薬剤(LAI)の使用状況】

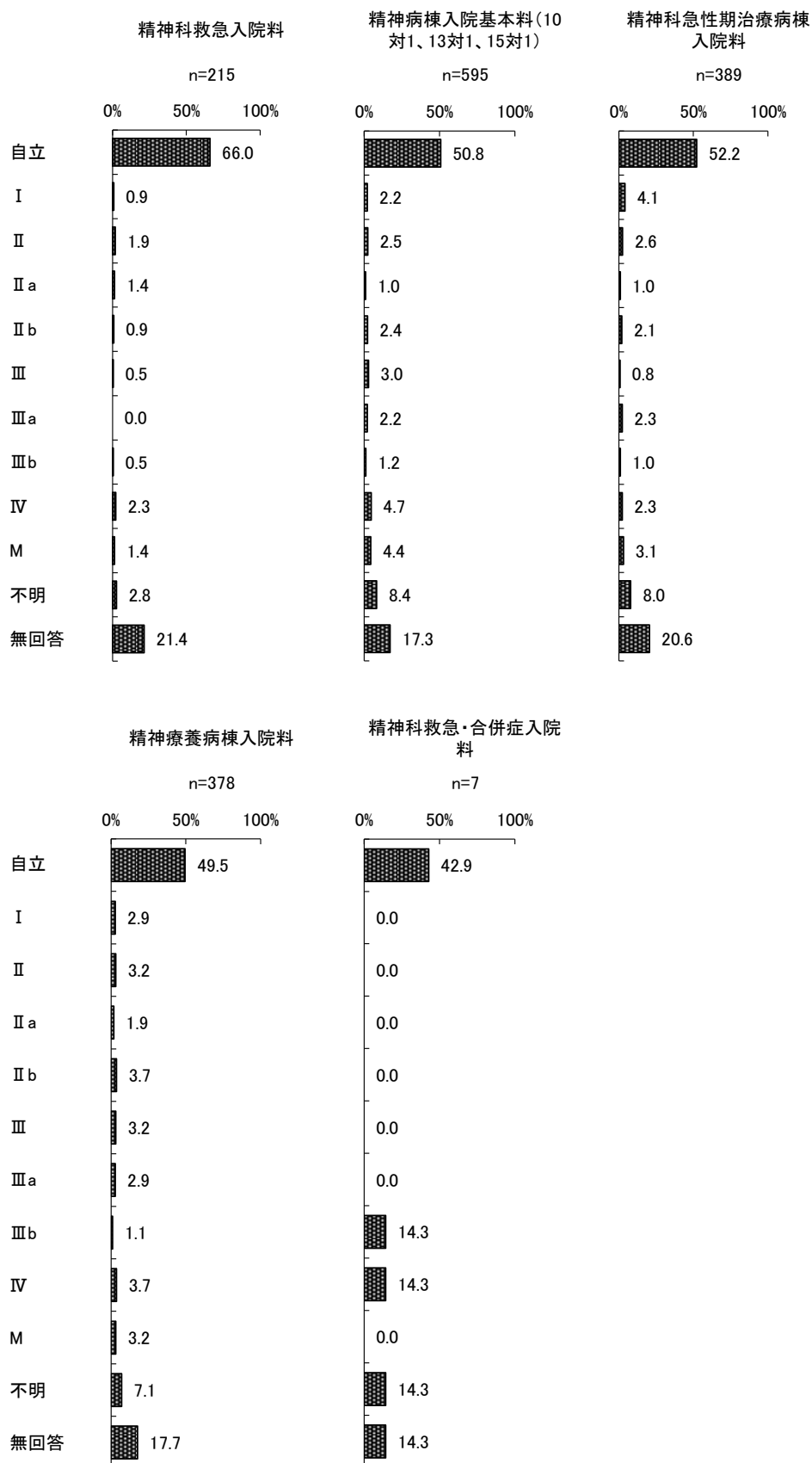
図表 4 - 41 非定型持続性抗精神病注射薬剤(LAI)の処方状況（入院基本料別）



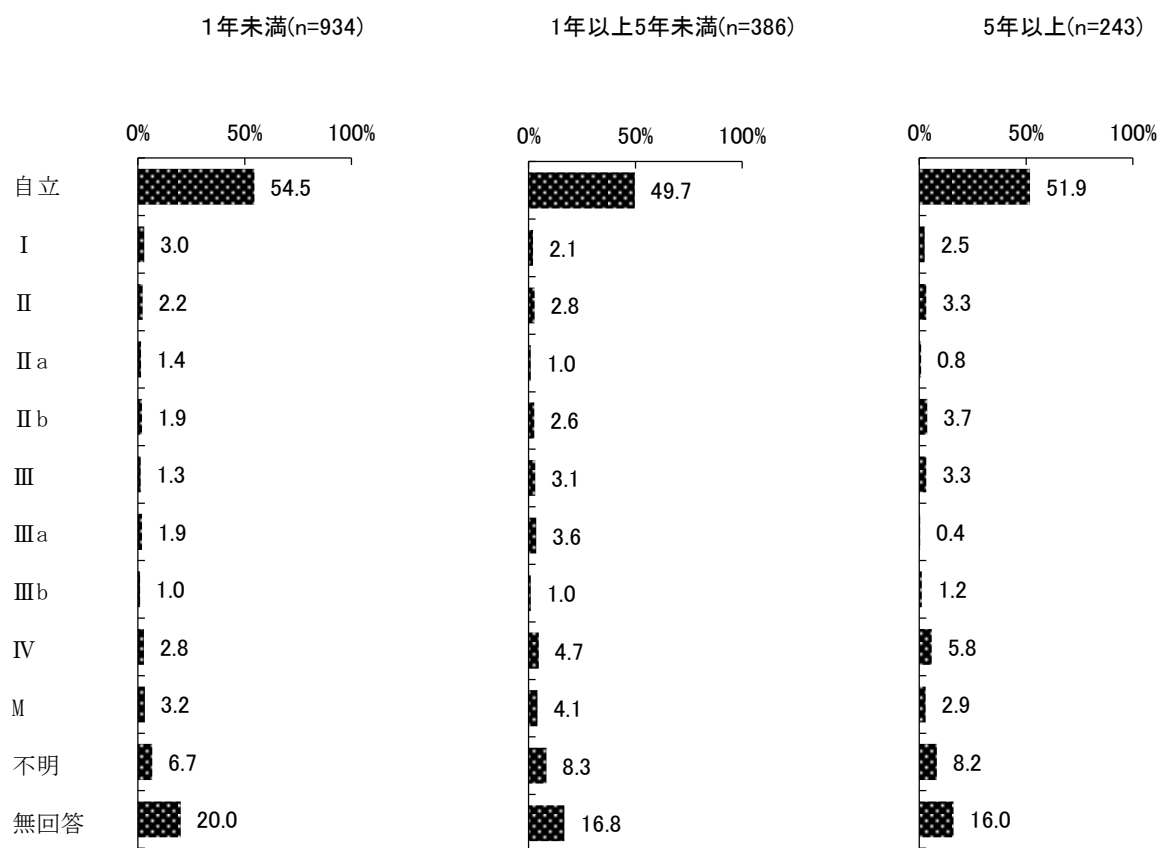
④ 認知症高齢者の日常生活自立度

認知症高齢者の日常生活自立度についてはいずれの入院料でも「自立」との回答がほぼ5割であった。

図表 4 - 42 認知症高齢者の日常生活自立度（入院基本料別）



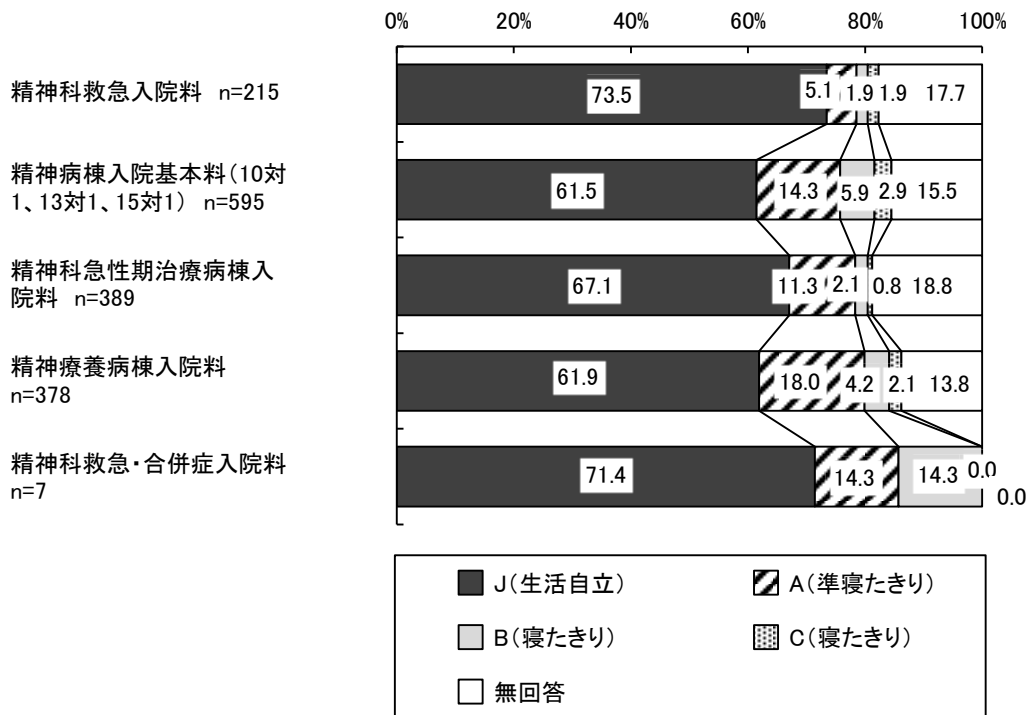
図表 4 - 43 認知症高齢者の日常生活自立度（入院期間別）



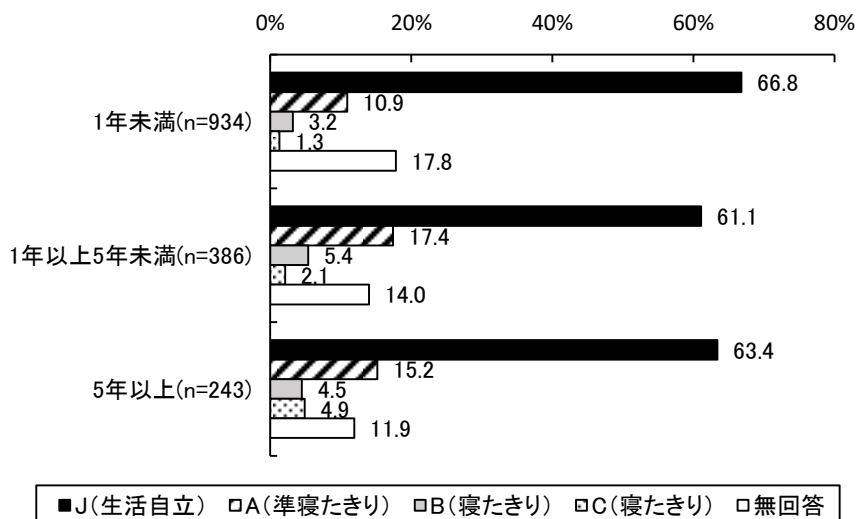
⑤ 障害高齢者の日常生活自立度

障害高齢者の日常生活自立度についてはいずれの入院料でも「生活自立」との回答が多かった（「精神科救急入院料」（73.5%）、「精神病棟入院基本料」（61.5%）、「精神科急性期治療病棟入院料」（67.1%）、「精神療養病棟入院料」（61.9%）、「精神科救急・合併症入院料」（71.4%）。

図表 4 - 44 障害高齢者の日常生活自立度（入院基本料別）



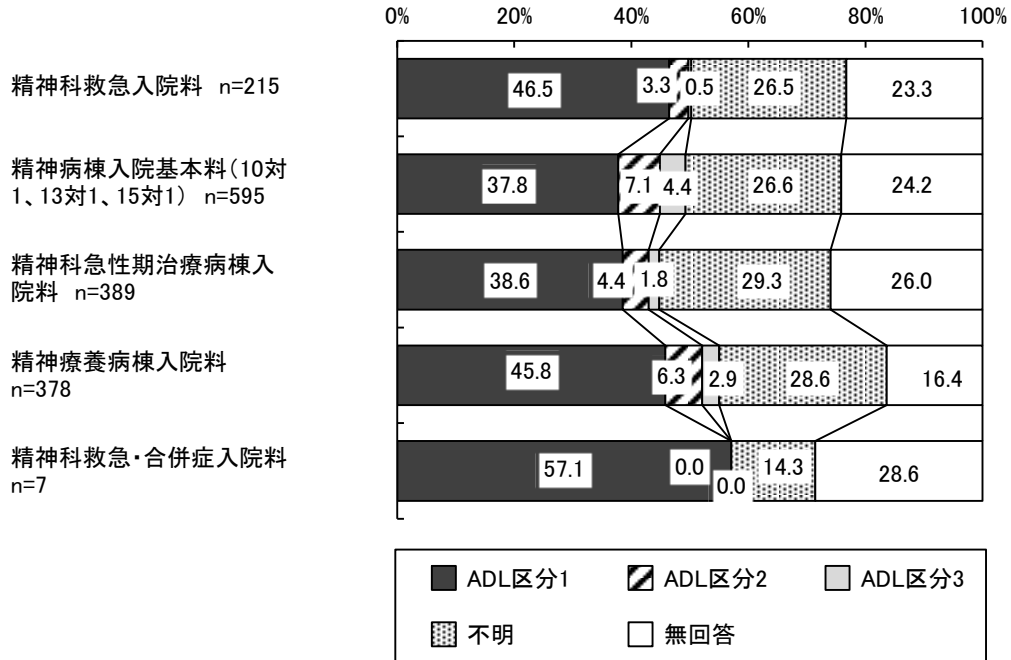
図表 4 - 45 障害高齢者の日常生活自立度（入院期間別）



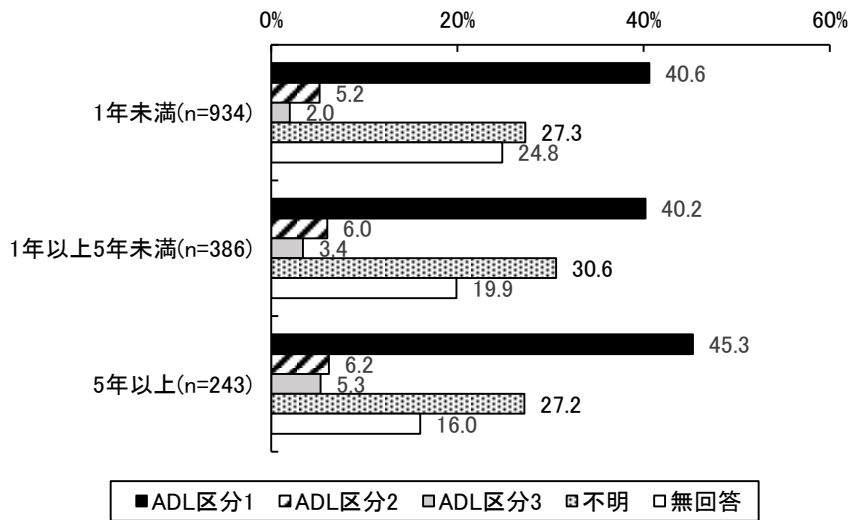
⑥ ADL 区分

ADL 区分については「ADL 区分 1」が最も多かった（「精神科救急入院料」（46.5%）、「精神病棟入院基本料」（37.8%）、「精神科急性期治療病棟入院料」（38.6%）、「精神療養病棟入院料」（45.8%）、「精神科救急・合併症入院料」（57.1%）。

図表 4 - 46 ADL 区分（入院基本料別）



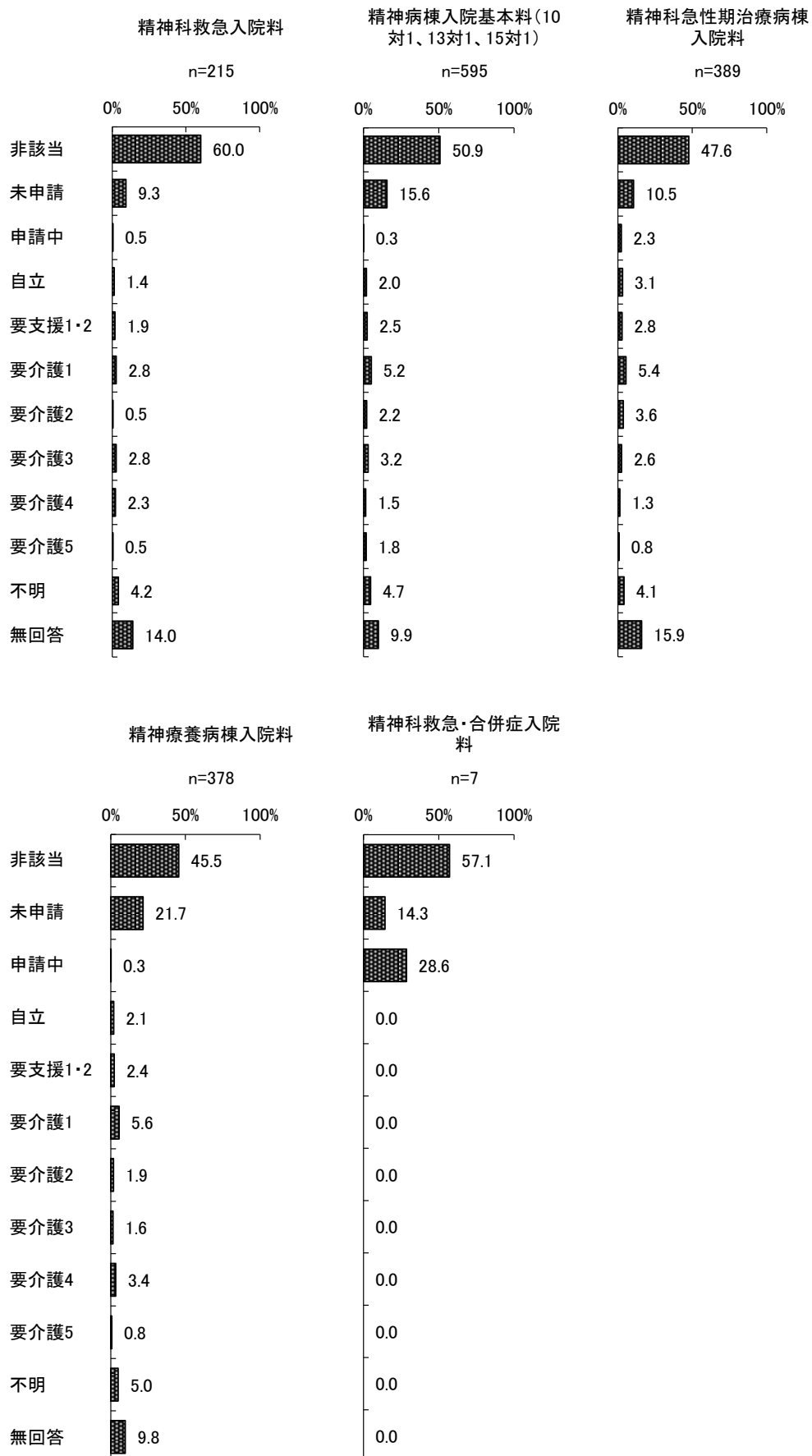
図表 4 - 47 ADL 区分（入院期間別）



⑦ 要介護度

要介護度については以下のとおりで、いずれの入院基本料においても「非該当」が5割ほどを占めた。

図表 4 - 48 要介護度（入院基本料別）

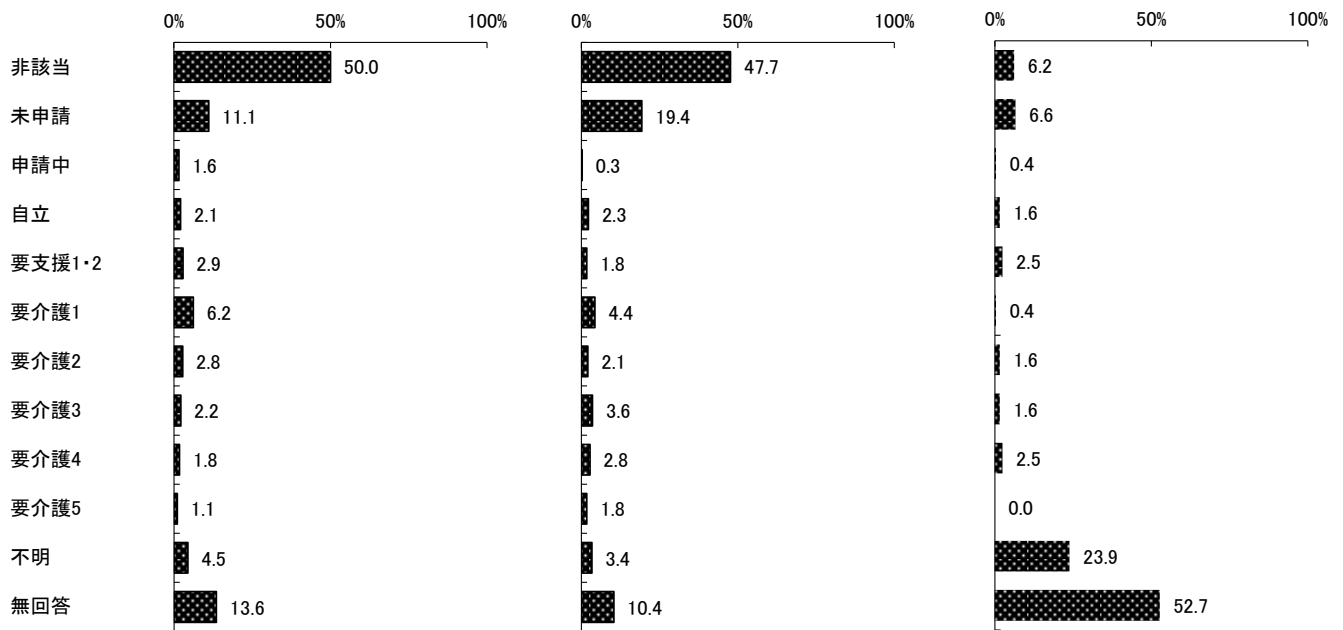


図表 4 - 49 要介護度（入院期間別）

1年未満(n=934)

1年以上5年未満(n=386)

5年以上(n=243)

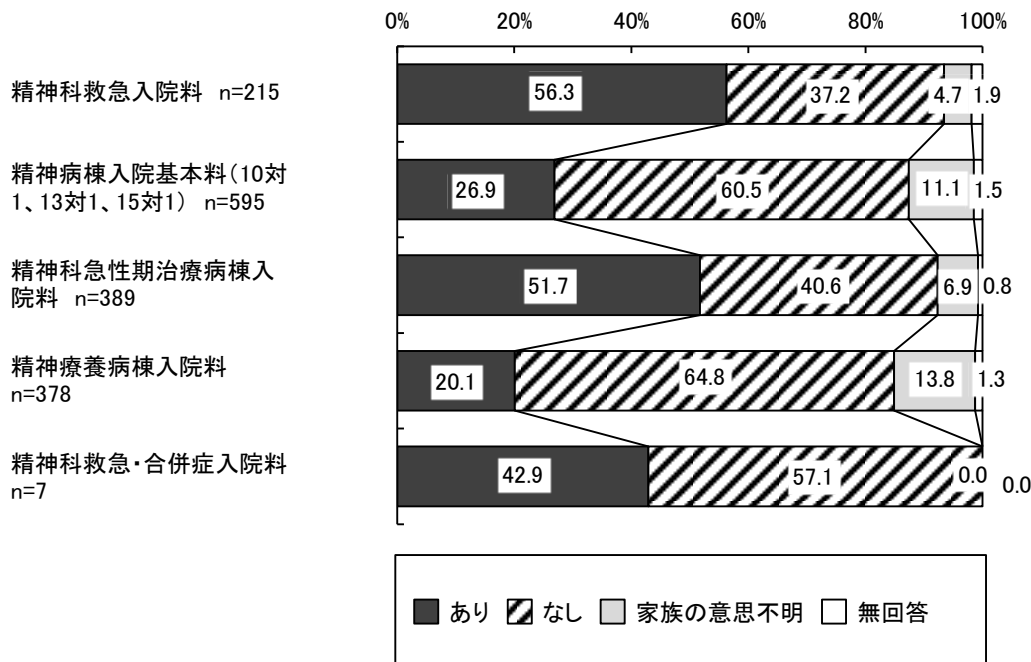


(5) 退院の見通しと退院支援の状況

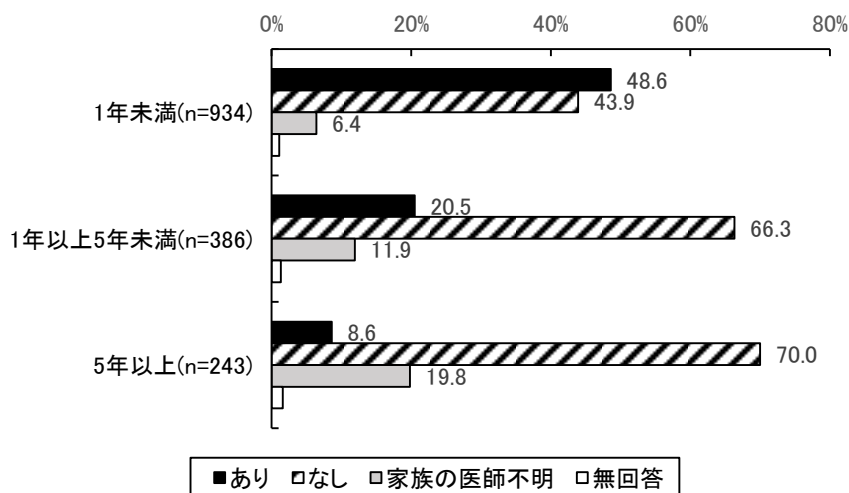
① 退院後に同居する意思のある家族の有無

退院後に同居する意思のある家族の有無については、「なし」と回答したものが「精神療養病棟入院料」算定患者にて 64.8%、「精神病棟入院基本料」算定患者で 60.5%であった。

図表 4 - 50 退院後に同居する意思のある家族の有無（入院基本料別）



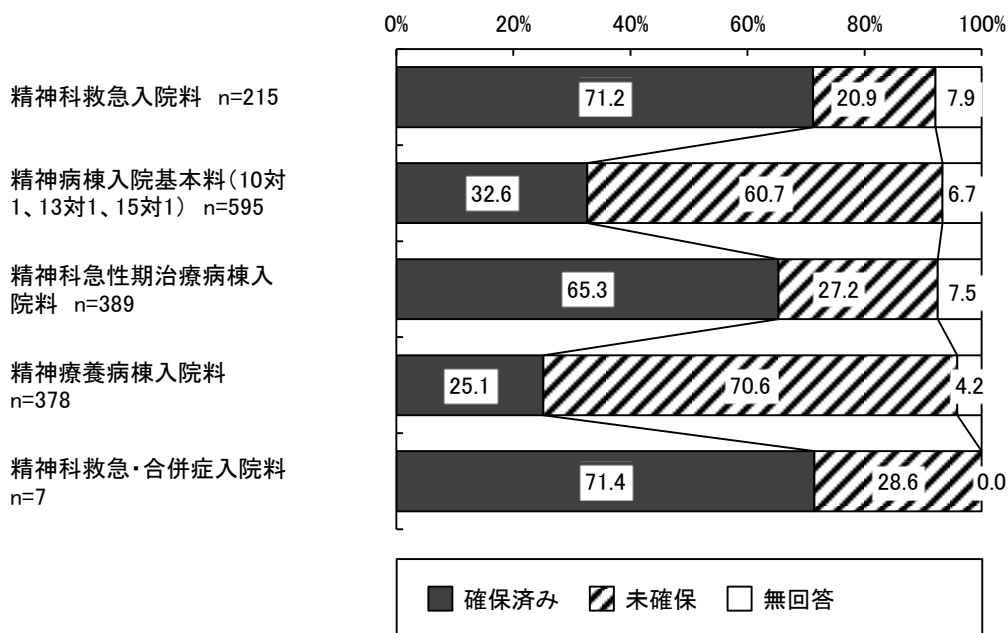
図表 4 - 51 退院後に同居する意思のある家族の有無（入院期間別）



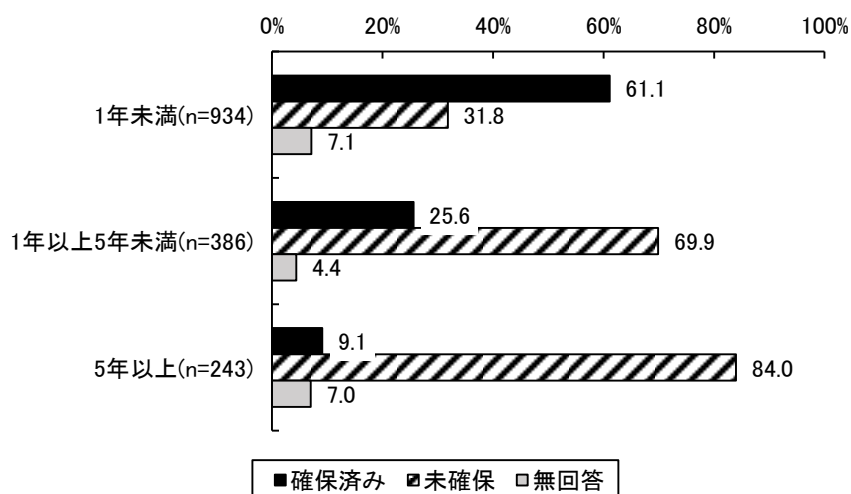
② 退院後の居住先(自宅・グループホーム・介護施設等)の確保状況

退院後の居住先については「未確保」との回答が「精神療養病棟入院料」算定患者にて70.6%、「精神病棟入院基本料」算定患者で60.7%であった。

図表 4 - 52 退院後の居住先（入院基本料別）



図表 4 - 53 退院後の居住先（入院期間別）

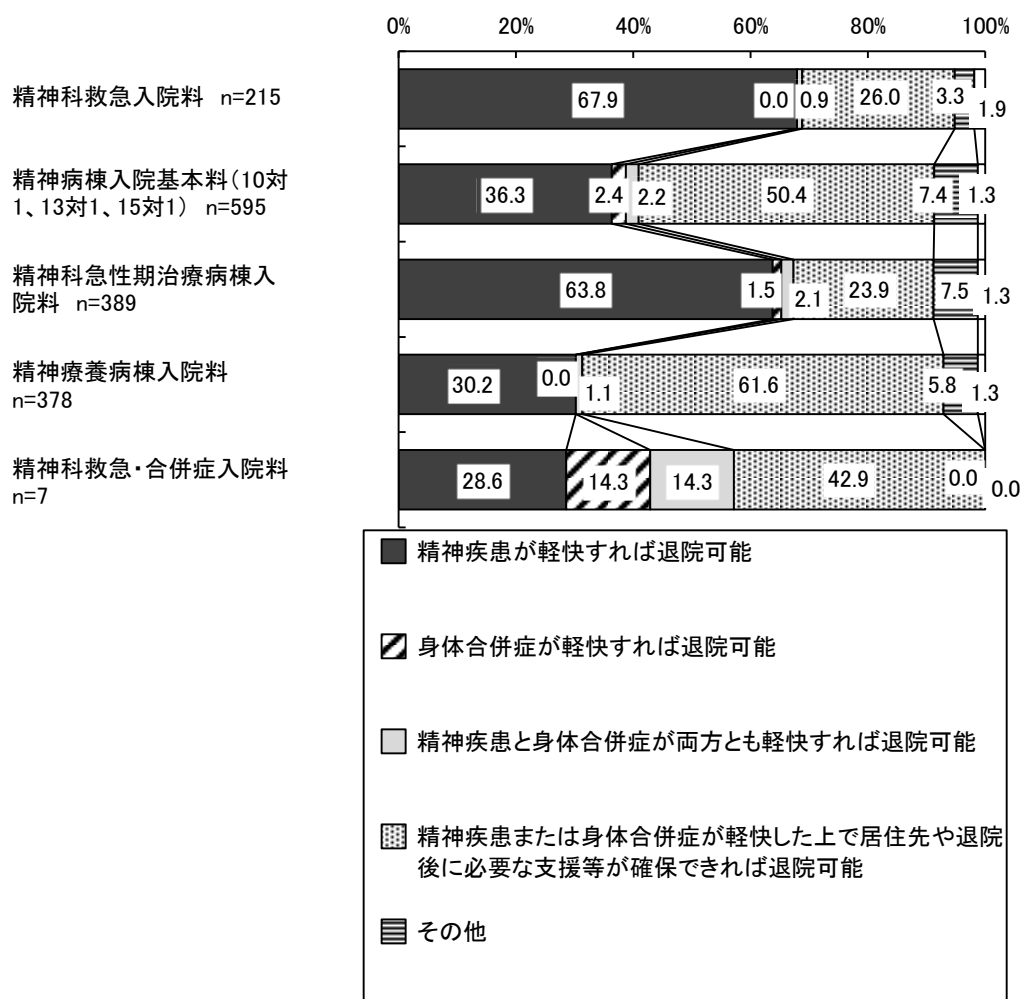


③ 退院が可能となる状況

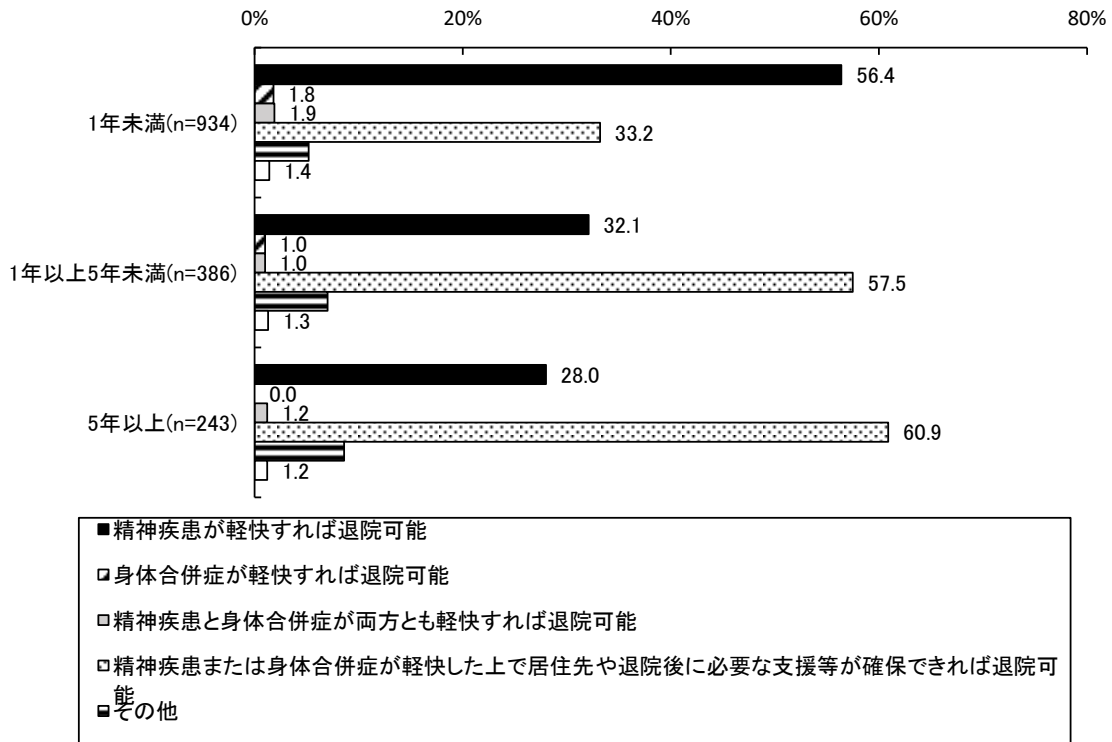
退院が可能となる状況については、「精神疾患が軽快すれば退院可能」が「精神科救急入院料」(67.9%)と「精神科急性期治療病棟入院料」(63.8%)で多かった。一方、「精神疾患または身体合併症が軽快した上で居住先や退院後に必要な支援等が確保できれば退院可能」が多かったのは「精神療養病棟入院料」(61.6%)と「精神病棟入院基本料」(50.4%)、「精神科救急・合併症入院料」(42.9%)であった。

なお、退院が可能となる「その他」の回答には、「アルコールプログラム終了後」、「家族の同意」、「本人の退院に向けての気持ちが固まり次第」等があった。

図表 4 - 54 退院が可能となる状況（入院基本料別）



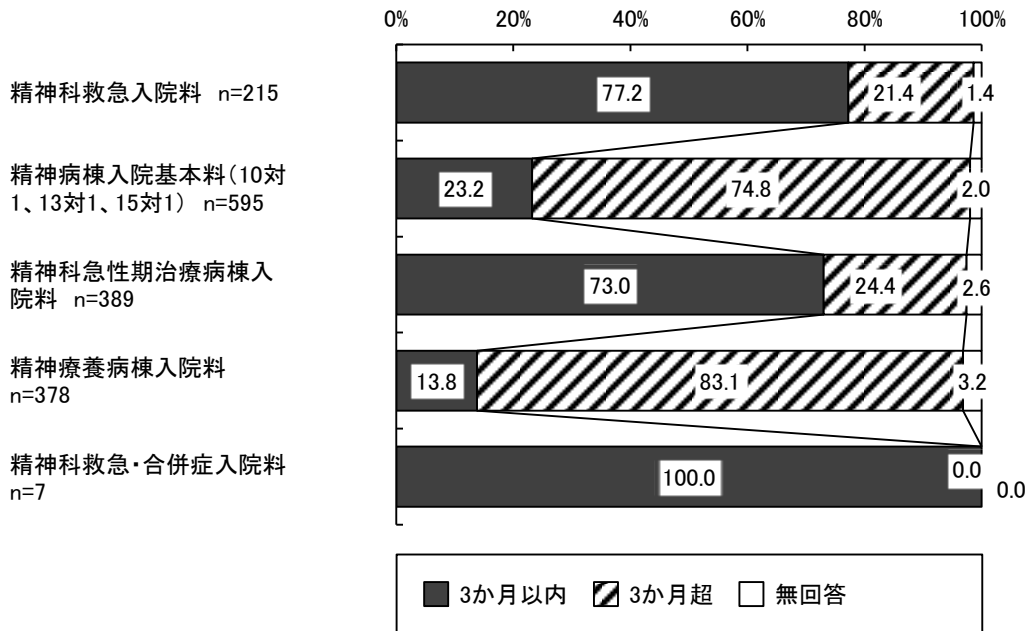
図表 4 - 55 退院が可能となる状況（入院期間別）



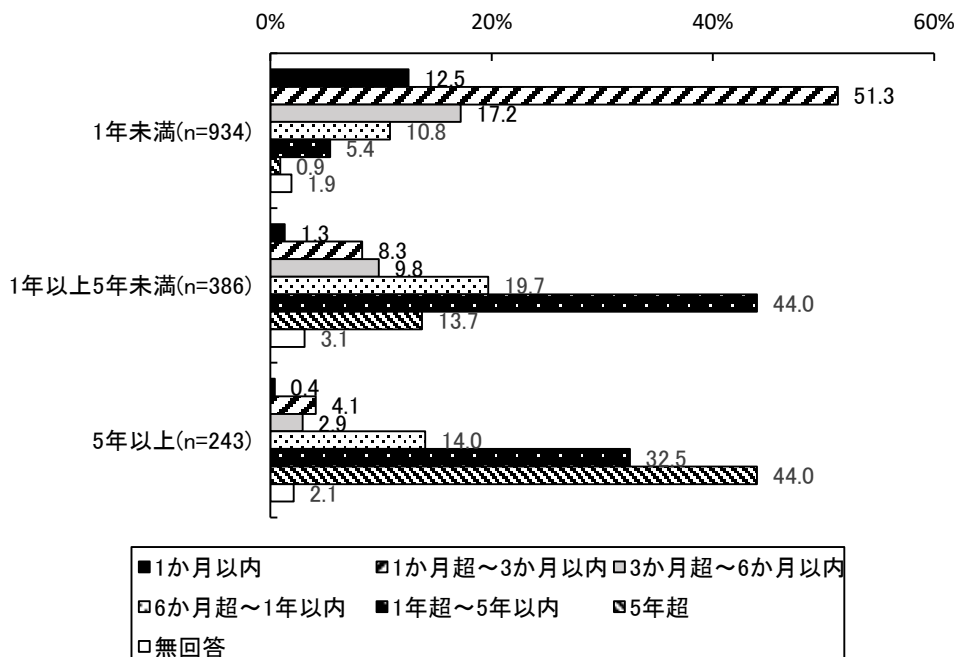
④ 予想される入院期間

予想される入院期間で3か月超との回答が「精神療養病棟入院料」算定患者にて83.1%、「精神病棟入院基本料」算定患者で74.8%であった。

図表 4 - 56 予想される入院期間（入院基本料別）



図表 4 - 57 予想される入院期間（入院期間別）

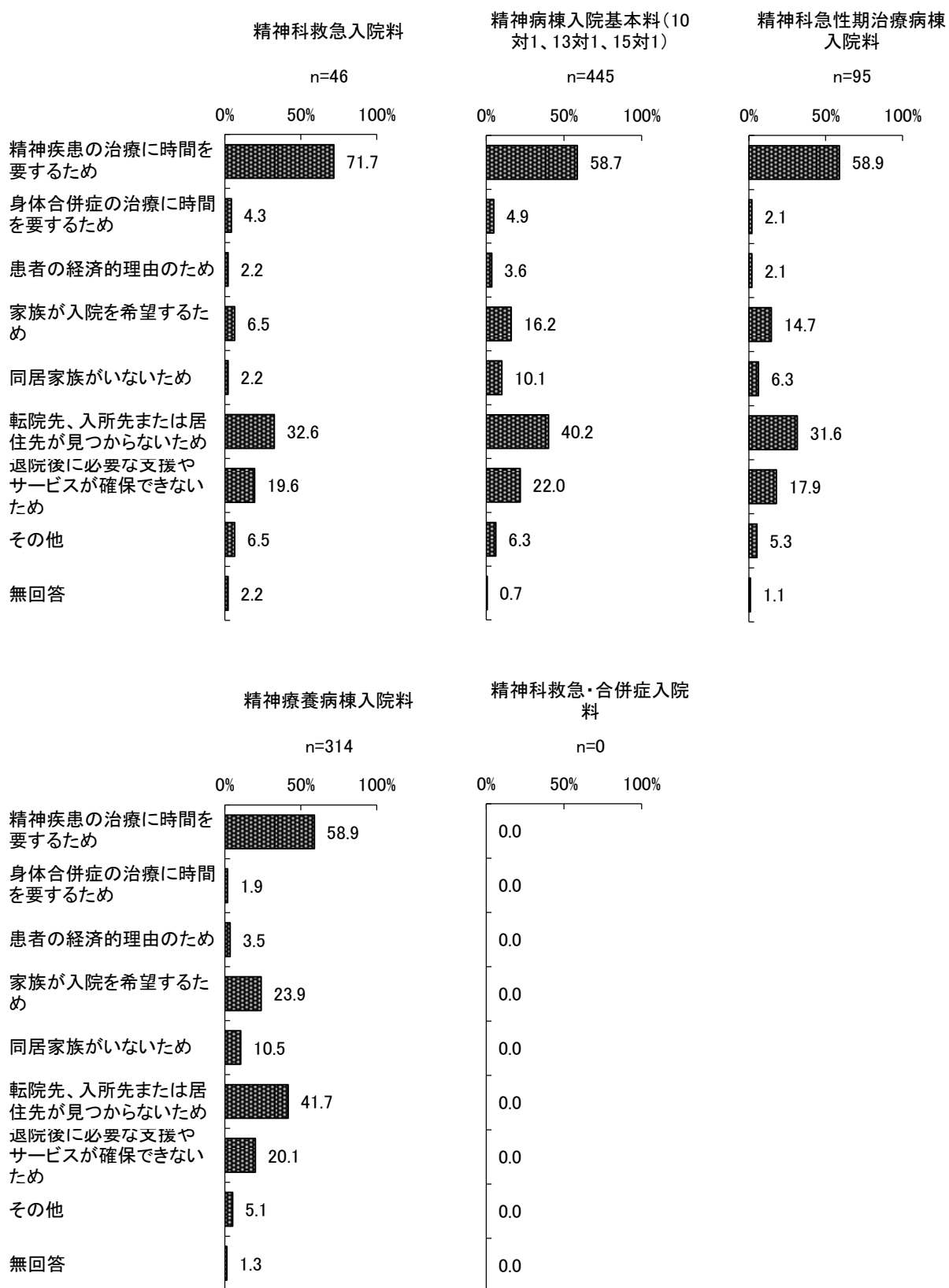


⑤ 入院期間が3か月超となる理由

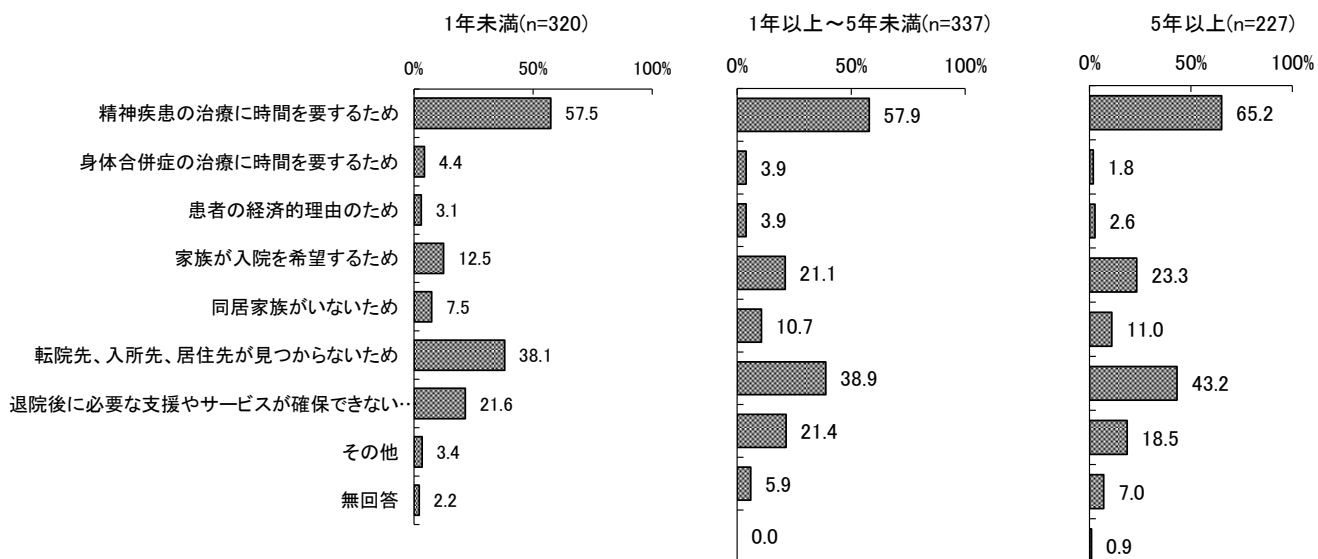
入院期間が3か月超となる理由については、「精神疾患の治療に時間を要するため」が最も多かった（「精神科救急入院料」（71.7%）、「精神病棟入院基本料」（58.7%）、「精神科急性期治療病棟入院料」（58.9%）、「精神療養病棟入院料」（58.9%）。

なお、「その他」の理由としては、「家族の支援が受けられない」、「本人が自宅退院以外を拒否」、「本人に退院の意思がない」、「主疾患の改善が見込めない」、「コロナ禍で退院支援がスムーズに行えない（退院前の外出、外泊、施設見学、体験利用等）」等の回答があった。

図表4-58 入院期間が3か月超となる理由（入院基本料別、主な理由2つまで）



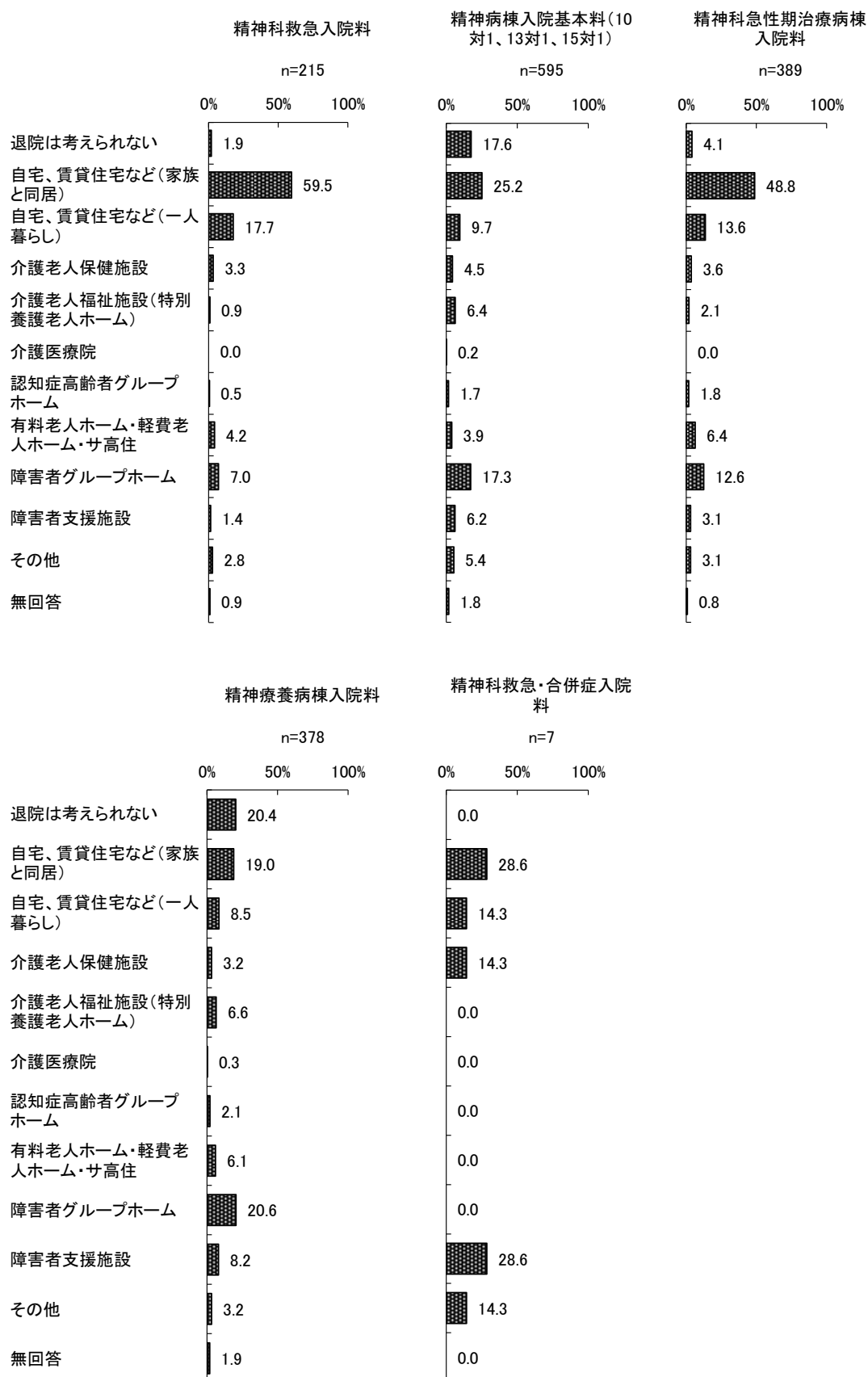
図表 4 - 59 入院期間が3か月超となる理由（入院期間別、主な理由2つまで）



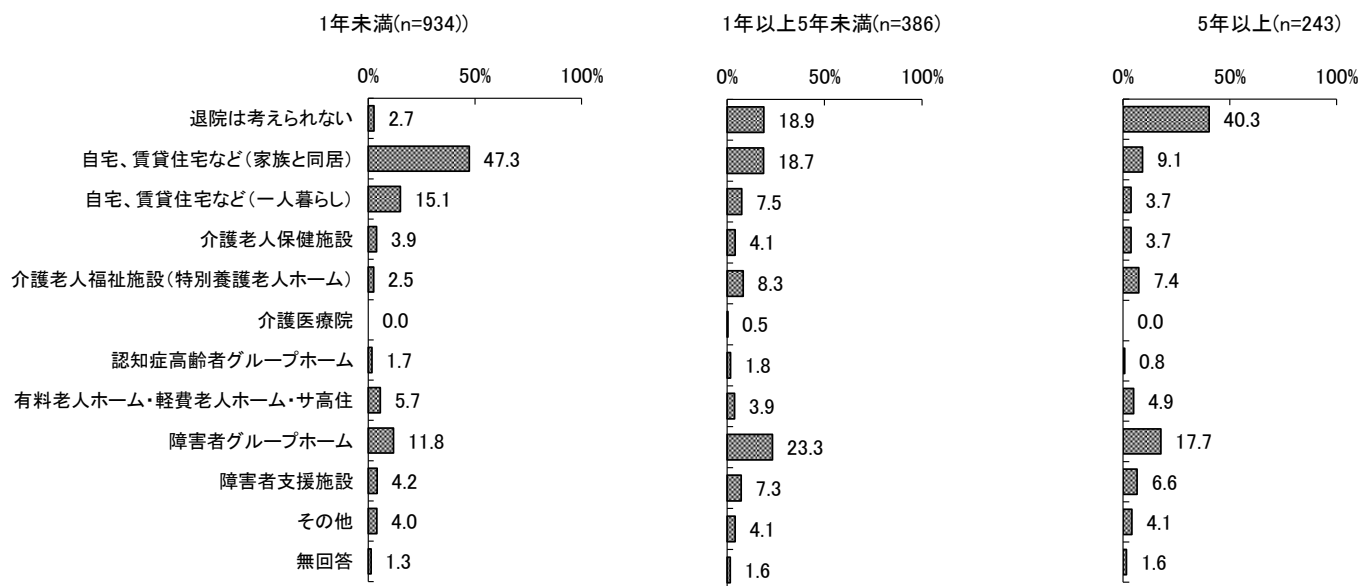
⑥ 退院先の予定

退院先について「自宅・賃貸住宅など（家族と同居）」が最も多かったのは、「精神科救急入院料」（59.5%）、「精神病棟入院基本料」（25.2%）、「精神科急性期治療病棟入院料」（48.8%）、「精神科救急・合併症入院基本料」（28.6%）で、「精神療養病棟入院料」では「障害者グループホーム」（20.6%）、「退院は考えられない」（20.4%）との回答であった。

図表 4 - 60 退院先の予定（入院基本料別）



図表 4 - 61 退院先の予定（入院期間別）

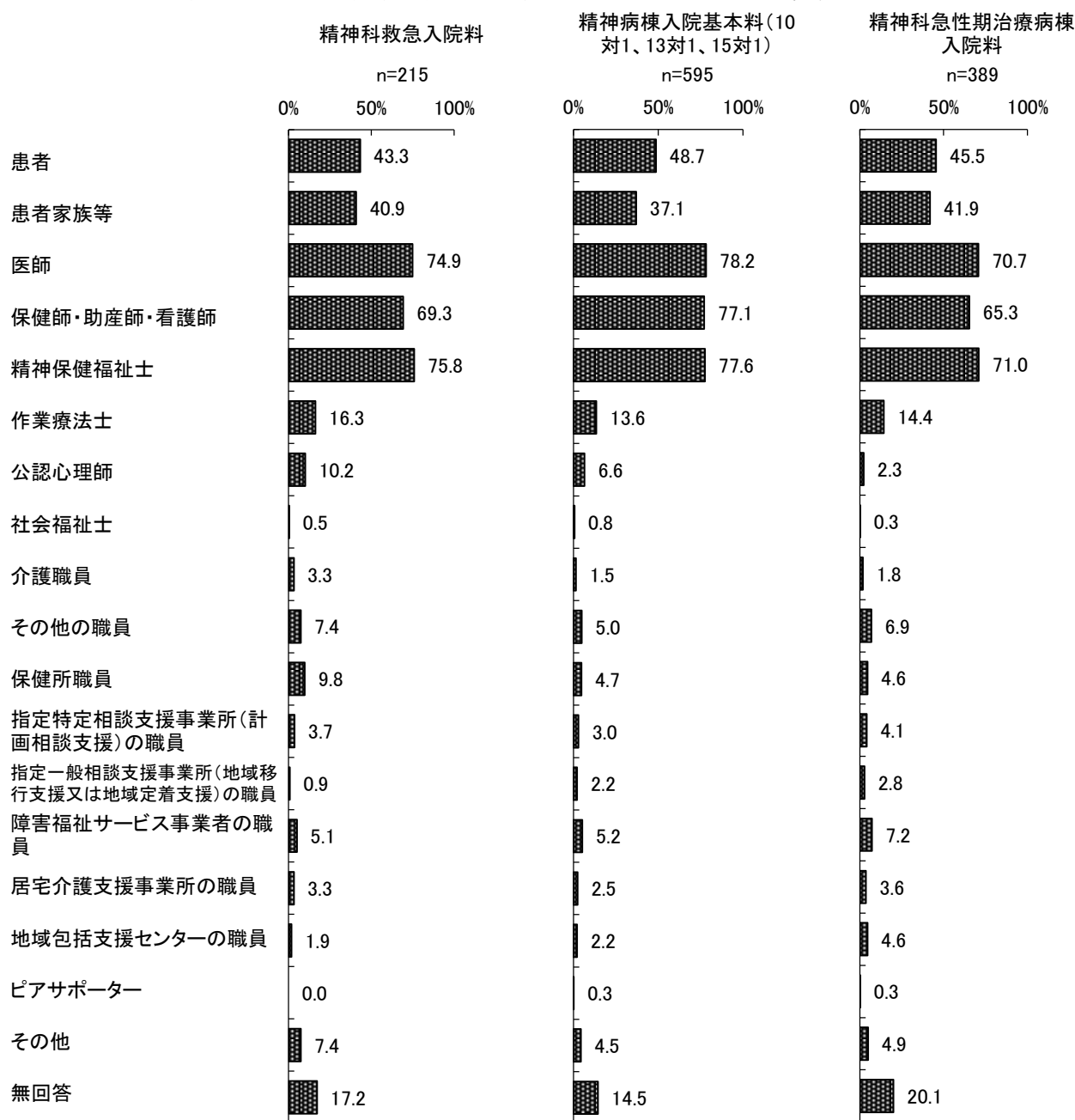


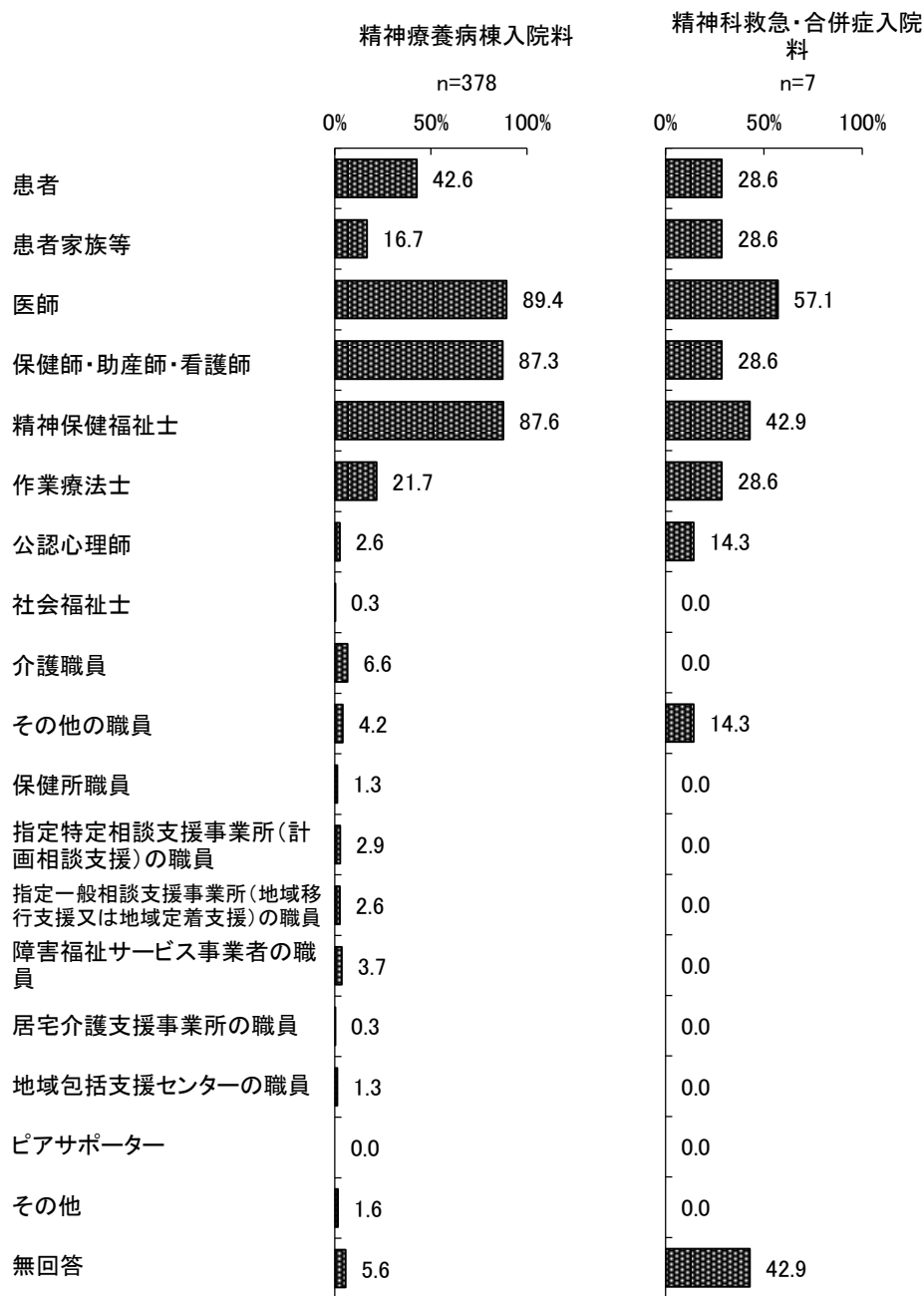
⑦ 直近の退院支援委員会等(退院支援に向けたカンファレンスを含む)の参加者

退院支援委員会等の参加者は「医師」、「保健師・助産師・看護師」、「精神保健福祉士」が多く、「精神保健福祉士」については、「精神科救急入院料」(75.8%)、「精神病棟入院基本料」(77.6%)、「精神科急性期治療病棟入院料」(71.0%)、「精神療養病棟入院料」(87.6%)、「精神科救急・合併症入院基本料」(42.9%)であった。

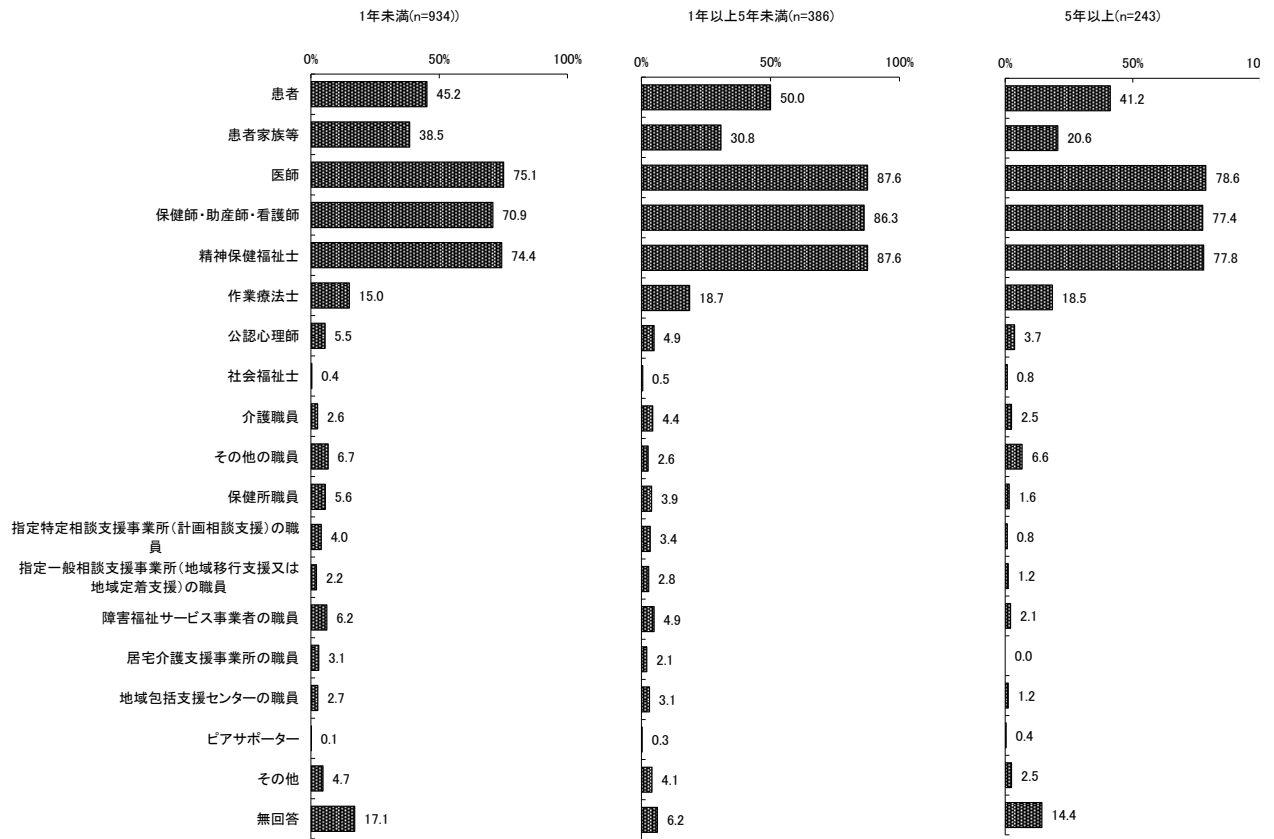
なお、「その他」には、「民生委員」、「地域役所の職員(障害福祉課、生活保護職員、社会福祉課職員、保健師)」、「後見人」等の回答があった。

図表 4 - 62 退院支援委員会等の参加者(入院基本料別、複数回答)





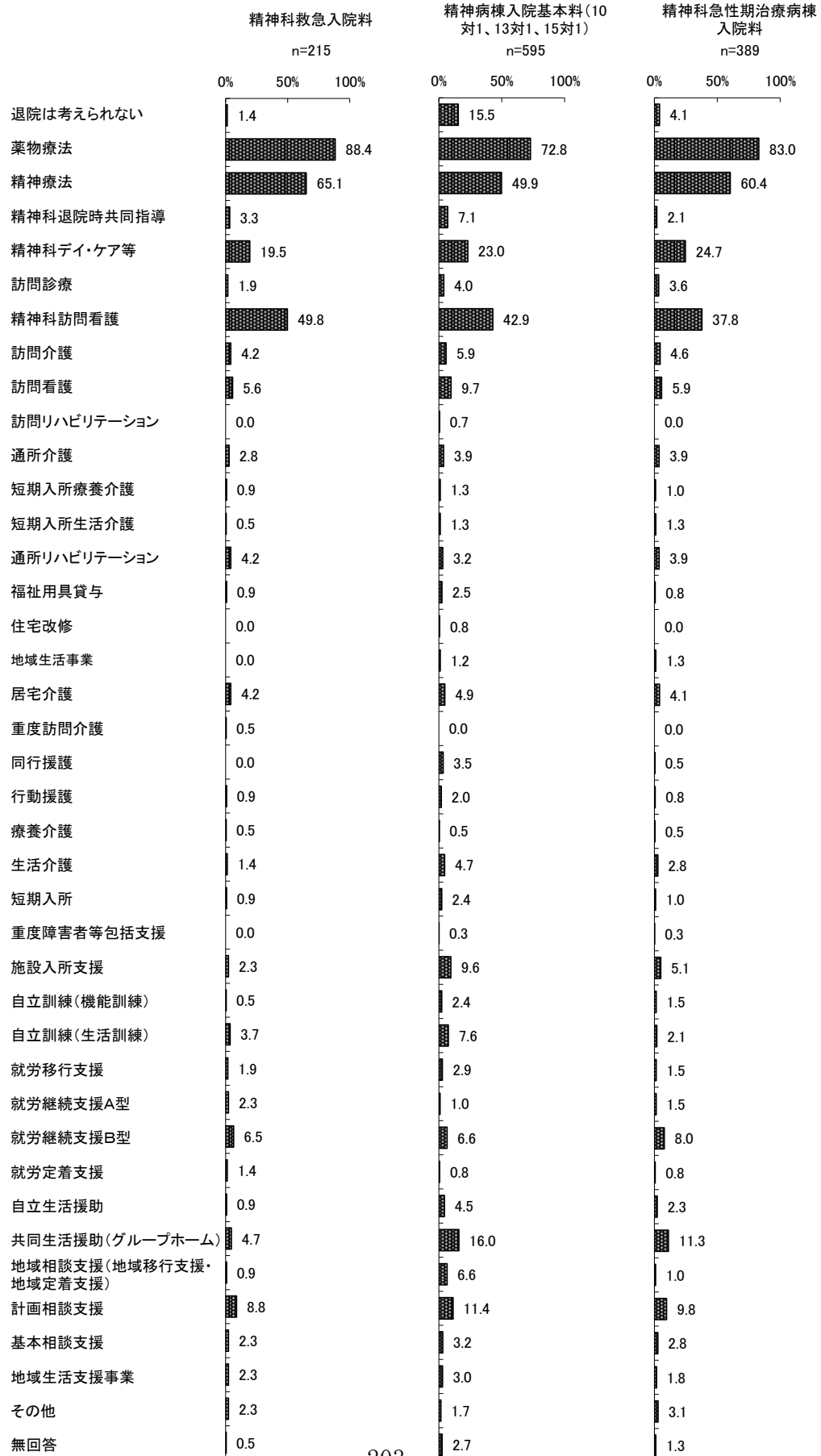
図表 4 - 63 退院支援委員会等の参加者（入院期間別）

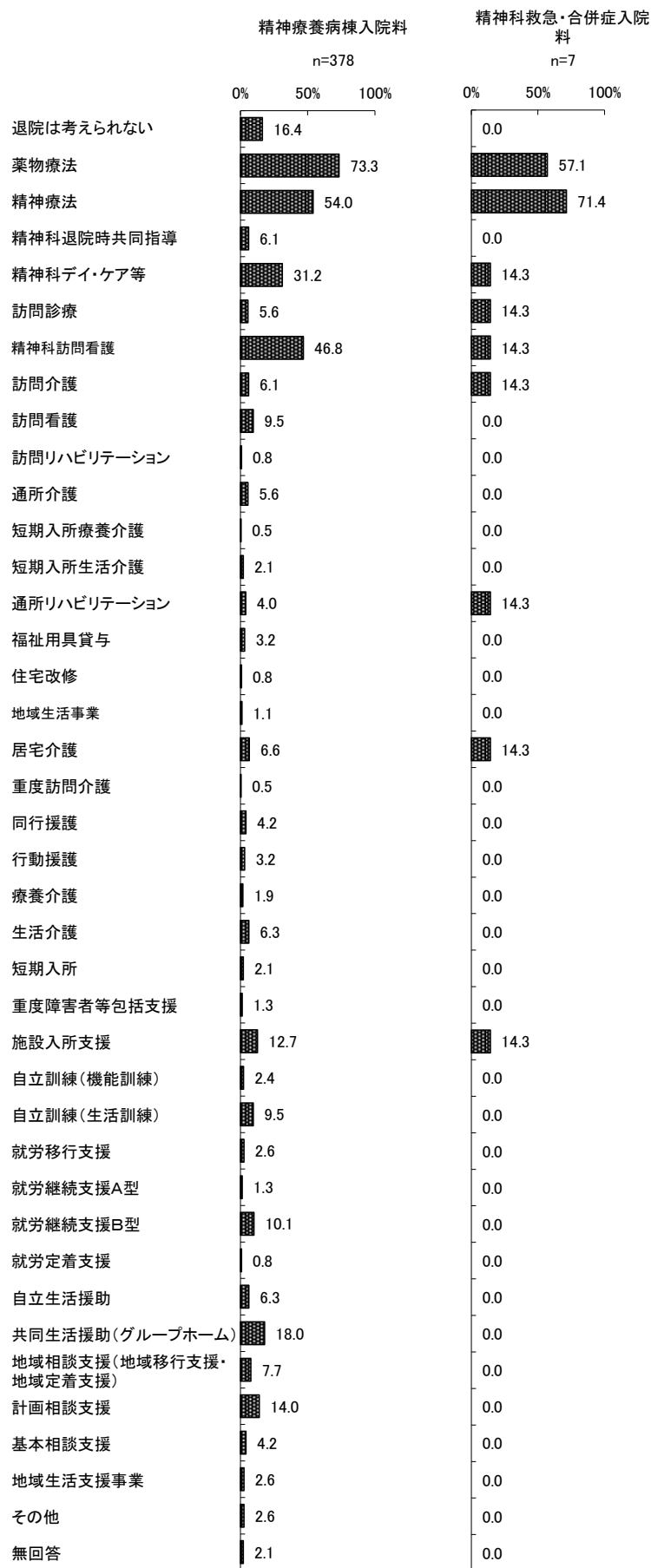


⑧ 退院後に生活を継続するために必要な支援等

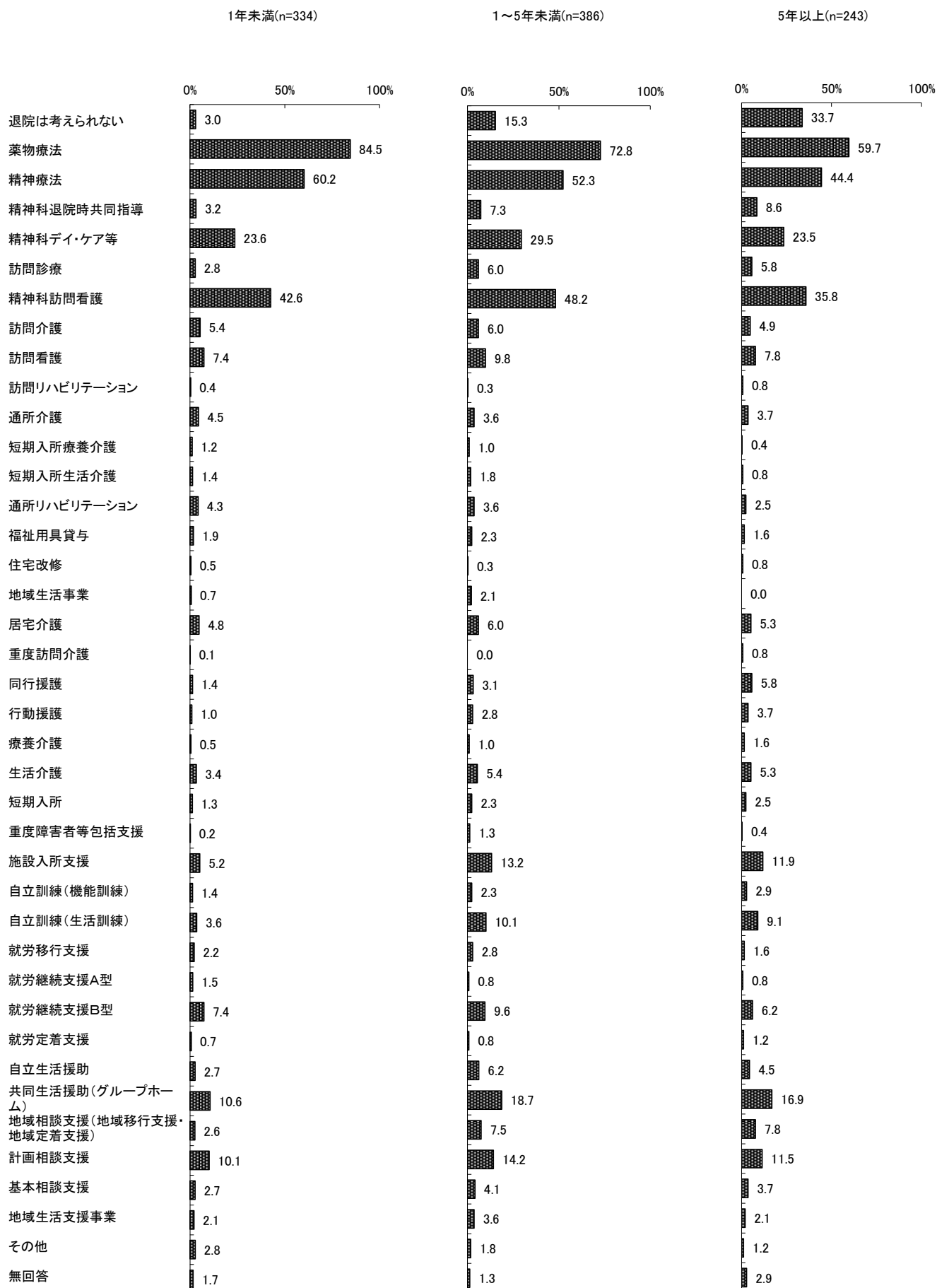
退院後に生活を継続するために必要な支援等については以下のとおりで、「薬物療法」と「精神療法」が最も多かった。なお、「その他」の必要な支援には、「行政への相談体制」、「心理カウンセリング」、「保健師訪問」等の回答があった。

図表 4 - 64 退院後に生活を継続するために必要な支援等（入院基本料別、複数回答）





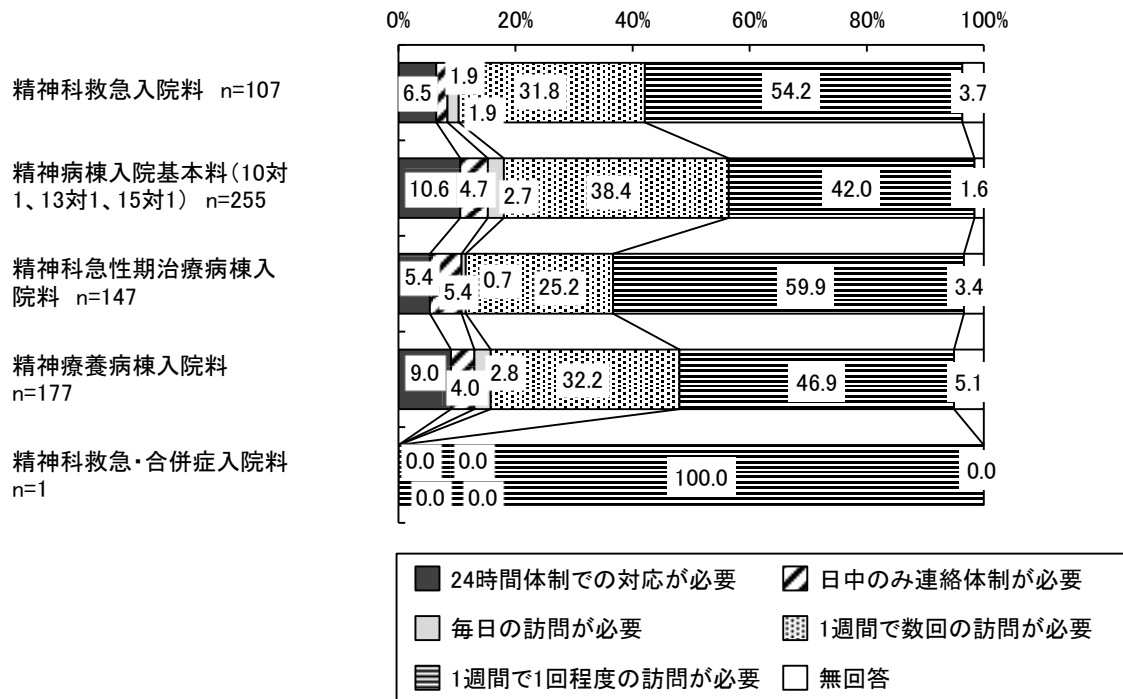
図表 4 - 65 退院後に生活を継続するために必要な支援等（入院期間別）



⑨ 退院後の看護師等による精神科訪問看護の必要頻度
 (⑧で精神科訪問看護を選択した場合)

退院後の看護師等による精神科訪問看護の必要頻度はいずれの入院基本料においても「1週間で1回程度の訪問が必要」との回答が5割ほどを占めた。

図表 4 - 66 退院後の看護師等による精神科訪問看護の必要頻度 (入院基本料別)



NDB データを用いた集計（令和2年度 精神）

●通院精神療法の注8「療養生活環境整備指導加算」（令和2年5月診療分）

算定医療機関数	*
算定件数	*
算定回数	*

※算定件数が10件未満の場合は「*」として掲載。

●精神科退院時共同指導料1、精神科退院時共同指導料2（令和2年5月診療分）

	精神科退院時共同 指導料1 イ	精神科退院時共同 指導料1 ロ	精神科退院時共同 指導料2
算定医療機関数	—	*	*
算定件数	—	*	*
算定回数	—	*	*

※算定件数が10件未満の場合は「*」として掲載。

●精神科在宅患者支援管理料（令和元年5月診療分、令和2年5月診療分）

	令和元年5月診療分					
	精神科在宅患者支援管理料1					
	イ(1)	イ(2)	ロ(1)	ロ(2)	ハ(1)	ハ(2)
算定医療機関数	*	—	10	*	109	65
算定件数	*	—	32	*	866	1,301

	令和元年5月診療分			
	精神科在宅患者支援管理料2			
	イ(1)	イ(2)	ロ(1)	ロ(2)
算定医療機関数	—	—	*	—
算定件数	—	—	*	—

	令和2年5月診療分					
	精神科在宅患者支援管理料1					
	イ(1)	イ(2)	ロ(1)	ロ(2)	ハ(1)	ハ(2)
算定医療機関数	*	—	11	5	122	68
算定件数	*	—	18	32	1,085	1,448

	令和2年5月診療分					
	精神科在宅患者支援管理料2				精神科在宅患者支援管理料3	
	イ(1)	イ(2)	ロ(1)	ロ(2)	イ	ロ
算定医療機関数	—	—	*	*	7	5
算定件数	—	—	*	*	18	73

※算定医療機関数が3未満又は算定件数が10件未満の場合は「*」として掲載。

●精神科訪問看護・指導料（令和元年5月診療分、令和2年5月診療分）

	令和元年5月診療分			
	精神科訪問看護・指導料（Ⅰ）		精神科訪問看護・指導料（Ⅲ）	
	病院	診療所	病院	診療所
算定医療機関数	966	455	421	105
算定件数	27,847	5,702	3,755	1,081
算定回数	68,132	17,968	12,820	4,324

	令和2年5月診療分			
	精神科訪問看護・指導料（Ⅰ）		精神科訪問看護・指導料（Ⅲ）	
	病院	診療所	病院	診療所
算定医療機関数	883	417	380	97
算定件数	23,658	5,478	3,426	902
算定回数	58,112	16,874	12,593	4,121

令和2年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査（令和2年度調査）

精神医療等の実施状況調査

※この病院票は、病院の開設者・管理者の方に、貴施設における精神医療の診療体制や実施状況、今後の意向等についてお伺いするものです。

※ご回答の際は、あてはまる番号を〇（マル）で囲んでください。また、（ ）内には具体的な数値、用語等をご記入ください。（ ）内に数値を記入する設問で、該当なしは「〇（ゼロ）」を、わからない場合は「ー」をご記入ください。

※特に断りのない質問については、令和2年10月1日時点の状況についてご記入ください。

※災害に被災した等の事情により回答が困難な場合には、事務局へご連絡くださいますようお願い申し上げます。

1. 貴施設の概要

①所在地	()都道府県			
②開設者 (〇は1つ)	01. 国	02. 公立	03. 公的	04. 社会保険関係団体
	05. 医療法人	06. 個人	07. 学校法人	08. 社会福祉法人
	09. その他 ()			
③同一法人または関連法人が運営する施設・事業所 (あてはまる番号すべてに〇)	01. 該当なし	02. 介護老人保健施設	03. 介護老人福祉施設	
	04. 訪問看護ステーション	05. 居宅介護支援事業所		06. 地域包括支援センター
	07. 訪問介護事業所	08. 小規模多機能型居宅介護事業所		
	09. 看護小規模多機能型居宅介護		10. 通所介護事業所	
	11. 介護療養型医療施設		12. 介護医療院	
	13. 障害福祉サービス事業所(就労系サービス)			
	14. 障害福祉サービス事業所(相談系サービス)			
	15. 障害福祉サービス事業所(施設系・居住系サービス)			
	16. その他 ()			
④病院種別 (〇は1つ)	01. 精神科病院(単科)※		02. 精神科病院(内科等一般科標榜あり)※	
	03. 精神科を有する特定機能病院		04. 精神科を有する一般病院	

※精神科病院(単科)・・・精神病床のみを有する病院のうち、精神科、神経科、心療内科、児童精神科、老年精神科のみを標榜する病院
精神科病院(内科等一般科標榜あり)・・・精神病床のみを有する病院のうち、上記以外の内科等一般科も標榜する病院

⑤貴施設が標榜している診療科をお選びください。(あてはまる番号すべてに〇)				
01. 内科	02. 呼吸器内科	03. 循環器内科	04. 消化器内科(胃腸内科)	
05. 腎臓内科	06. 神経内科	07. 糖尿病内科(代謝内科)		08. 血液内科
09. 皮膚科	10. アレルギー科	11. リウマチ科	12. 感染症内科	
13. 小児科	14. 精神科	15. 心療内科	16. 外科	
17. 呼吸器外科	18. 心臓血管外科	19. 乳腺外科	20. 気管食道外科	
21. 消化器外科(胃腸外科)	22. 泌尿器科	23. 肛門外科	24. 脳神経外科	
25. 整形外科	26. 形成外科	27. 美容外科	28. 眼科	
29. 耳鼻いんこう科	30. 小児外科	31. 産婦人科	32. 産科	
33. 婦人科	34. リハビリテーション科	35. 放射線科	36. 麻酔科	
37. 病理診断科	38. 臨床検査科	39. 救急科	40. 歯科	
41. 矯正歯科	42. 小児歯科	43. 歯科口腔外科	44. その他 ()	

⑥令和元年10月及び令和2年10月における、医療法上の1)病棟数、2)許可病床数をそれぞれご記入ください。

※該当病床がない場合は、病棟数と許可病床数には「0」をご記入ください。

		a. 一般病床	b. 療養病床	c. 精神病床	d. 感染症病床	e. 結核病床
1)病棟数	令和元年10月	棟	棟	棟	棟	棟
	令和2年10月	棟	棟	棟	棟	棟
2)許可病床数	令和元年10月	床	床	床	床	床
	令和2年10月	床	床	床	床	床

⑦貴施設の精神科病棟についてお伺いします。病棟ごとの入院基本料および加算の届出状況をご記入ください。 貴施設が有する病棟の数だけご記入ください。			
4 ページの「選択肢」を参照の上、あてはまる番号に○			
		入院基本料等の届出状況	加算の届出状況
精神科病棟 1 (名称:)	01. ⇒ 区分(01・02・03・04・05・06) 02. ⇒ 区分(01・02・03・04) 03. ⇒ 区分(01・02) 04. ⇒ 区分(01・02) 05. 06. 07. 08. ⇒ 区分(01・02) 09.	01. <A228> 精応 03. <A230-2> 精移 05. <A231-2> 強行 07. <A247-2> セハイ	02. <A230> 精医管 04. <A230-3> 精身 06. <A247> 認ケア 08. <A249> 精急医配
許可病床数			
床			
精神科病棟 2 (名称:)	01. ⇒ 区分(01・02・03・04・05・06) 02. ⇒ 区分(01・02・03・04) 03. ⇒ 区分(01・02) 04. ⇒ 区分(01・02) 05. 06. 07. 08. ⇒ 区分(01・02) 09.	01. <A228> 精応 03. <A230-2> 精移 05. <A231-2> 強行 07. <A247-2> セハイ	02. <A230> 精医管 04. <A230-3> 精身 06. <A247> 認ケア 08. <A249> 精急医配
許可病床数			
床			
精神科病棟 3 (名称:)	01. ⇒ 区分(01・02・03・04・05・06) 02. ⇒ 区分(01・02・03・04) 03. ⇒ 区分(01・02) 04. ⇒ 区分(01・02) 05. 06. 07. 08. ⇒ 区分(01・02) 09.	01. <A228> 精応 03. <A230-2> 精移 05. <A231-2> 強行 07. <A247-2> セハイ	02. <A230> 精医管 04. <A230-3> 精身 06. <A247> 認ケア 08. <A249> 精急医配
許可病床数			
床			
精神科病棟 4 (名称:)	01. ⇒ 区分(01・02・03・04・05・06) 02. ⇒ 区分(01・02・03・04) 03. ⇒ 区分(01・02) 04. ⇒ 区分(01・02) 05. 06. 07. 08. ⇒ 区分(01・02) 09.	01. <A228> 精応 03. <A230-2> 精移 05. <A231-2> 強行 07. <A247-2> セハイ	02. <A230> 精医管 04. <A230-3> 精身 06. <A247> 認ケア 08. <A249> 精急医配
許可病床数			
床			
精神科病棟 5 (名称:)	01. ⇒ 区分(01・02・03・04・05・06) 02. ⇒ 区分(01・02・03・04) 03. ⇒ 区分(01・02) 04. ⇒ 区分(01・02) 05. 06. 07. 08. ⇒ 区分(01・02) 09.	01. <A228> 精応 03. <A230-2> 精移 05. <A231-2> 強行 07. <A247-2> セハイ	02. <A230> 精医管 04. <A230-3> 精身 06. <A247> 認ケア 08. <A249> 精急医配
許可病床数			
床			
精神科病棟 6 (名称:)	01. ⇒ 区分(01・02・03・04・05・06) 02. ⇒ 区分(01・02・03・04) 03. ⇒ 区分(01・02) 04. ⇒ 区分(01・02) 05. 06. 07. 08. ⇒ 区分(01・02) 09.	01. <A228> 精応 03. <A230-2> 精移 05. <A231-2> 強行 07. <A247-2> セハイ	02. <A230> 精医管 04. <A230-3> 精身 06. <A247> 認ケア 08. <A249> 精急医配
許可病床数			
床			

<p>精神科病棟 7 (名称:)</p> <p>許可病床数</p> <p>床</p>	<p>01. ⇒ 区分(01・02・03・04・05・06)</p> <p>02. ⇒ 区分(01・02・03・04)</p> <p>03. ⇒ 区分(01・02)</p> <p>04. ⇒ 区分(01・02)</p> <p>05. 06. 07.</p> <p>08. ⇒ 区分(01・02)</p> <p>09.</p>	<p>01.<A228> 精応 02.<A230> 精医管</p> <p>03.<A230-2> 精移 04.<A230-3> 精身</p> <p>05.<A231-2> 強行 06.<A247> 認ケア</p> <p>07.<A247-2> セハイ 08.<A249> 精急医配</p>
<p>精神科病棟 8 (名称:)</p> <p>許可病床数</p> <p>床</p>	<p>01. ⇒ 区分(01・02・03・04・05・06)</p> <p>02. ⇒ 区分(01・02・03・04)</p> <p>03. ⇒ 区分(01・02)</p> <p>04. ⇒ 区分(01・02)</p> <p>05. 06. 07.</p> <p>08. ⇒ 区分(01・02)</p> <p>09.</p>	<p>01.<A228> 精応 02.<A230> 精医管</p> <p>03.<A230-2> 精移 04.<A230-3> 精身</p> <p>05.<A231-2> 強行 06.<A247> 認ケア</p> <p>07.<A247-2> セハイ 08.<A249> 精急医配</p>
<p>精神科病棟 9 (名称:)</p> <p>許可病床数</p> <p>床</p>	<p>01. ⇒ 区分(01・02・03・04・05・06)</p> <p>02. ⇒ 区分(01・02・03・04)</p> <p>03. ⇒ 区分(01・02)</p> <p>04. ⇒ 区分(01・02)</p> <p>05. 06. 07.</p> <p>08. ⇒ 区分(01・02)</p> <p>09.</p>	<p>01.<A228> 精応 02.<A230> 精医管</p> <p>03.<A230-2> 精移 04.<A230-3> 精身</p> <p>05.<A231-2> 強行 06.<A247> 認ケア</p> <p>07.<A247-2> セハイ 08.<A249> 精急医配</p>
<p>精神科病棟 10 (名称:)</p> <p>許可病床数</p> <p>床</p>	<p>01. ⇒ 区分(01・02・03・04・05・06)</p> <p>02. ⇒ 区分(01・02・03・04)</p> <p>03. ⇒ 区分(01・02)</p> <p>04. ⇒ 区分(01・02)</p> <p>05. 06. 07.</p> <p>08. ⇒ 区分(01・02)</p> <p>09.</p>	<p>01.<A228> 精応 02.<A230> 精医管</p> <p>03.<A230-2> 精移 04.<A230-3> 精身</p> <p>05.<A231-2> 強行 06.<A247> 認ケア</p> <p>07.<A247-2> セハイ 08.<A249> 精急医配</p>
<p>精神科病棟 11 (名称:)</p> <p>許可病床数</p> <p>床</p>	<p>01. ⇒ 区分(01・02・03・04・05・06)</p> <p>02. ⇒ 区分(01・02・03・04)</p> <p>03. ⇒ 区分(01・02)</p> <p>04. ⇒ 区分(01・02)</p> <p>05. 06. 07.</p> <p>08. ⇒ 区分(01・02)</p> <p>09.</p>	<p>01.<A228> 精応 02.<A230> 精医管</p> <p>03.<A230-2> 精移 04.<A230-3> 精身</p> <p>05.<A231-2> 強行 06.<A247> 認ケア</p> <p>07.<A247-2> セハイ 08.<A249> 精急医配</p>
<p>精神科病棟 12 (名称:)</p> <p>許可病床数</p> <p>床</p>	<p>01. ⇒ 区分(01・02・03・04・05・06)</p> <p>02. ⇒ 区分(01・02・03・04)</p> <p>03. ⇒ 区分(01・02)</p> <p>04. ⇒ 区分(01・02)</p> <p>05. 06. 07.</p> <p>08. ⇒ 区分(01・02)</p> <p>09.</p>	<p>01.<A228> 精応 02.<A230> 精医管</p> <p>03.<A230-2> 精移 04.<A230-3> 精身</p> <p>05.<A231-2> 強行 06.<A247> 認ケア</p> <p>07.<A247-2> セハイ 08.<A249> 精急医配</p>
<p>精神科病棟 13 (名称:)</p> <p>許可病床数</p> <p>床</p>	<p>01. ⇒ 区分(01・02・03・04・05・06)</p> <p>02. ⇒ 区分(01・02・03・04)</p> <p>03. ⇒ 区分(01・02)</p> <p>04. ⇒ 区分(01・02)</p> <p>05. 06. 07.</p> <p>08. ⇒ 区分(01・02)</p> <p>09.</p>	<p>01.<A228> 精応 02.<A230> 精医管</p> <p>03.<A230-2> 精移 04.<A230-3> 精身</p> <p>05.<A231-2> 強行 06.<A247> 認ケア</p> <p>07.<A247-2> セハイ 08.<A249> 精急医配</p>

精神科病棟 14 (名称:)	01. ⇒ 区分(01・02・03・04・05・06)	01. <A228> 精応	02. <A230> 精医管
	02. ⇒ 区分(01・02・03・04)	03. <A230-2> 精移	04. <A230-3> 精身
許可病床数	03. ⇒ 区分(01・02)	05. <A231-2> 強行	06. <A247> 認ケア
床	04. ⇒ 区分(01・02)	07. <A247-2> セハイ	08. <A249> 精急医配
	05. 06. 07.		
	08. ⇒ 区分(01・02)		
	09.		
精神科病棟 15 (名称:)	01. ⇒ 区分(01・02・03・04・05・06)	01. <A228> 精応	02. <A230> 精医管
	02. ⇒ 区分(01・02・03・04)	03. <A230-2> 精移	04. <A230-3> 精身
許可病床数	03. ⇒ 区分(01・02)	05. <A231-2> 強行	06. <A247> 認ケア
床	04. ⇒ 区分(01・02)	07. <A247-2> セハイ	08. <A249> 精急医配
	05. 06. 07.		
	08. ⇒ 区分(01・02)		
	09.		

【入院基本料の選択肢】

01. 精神病棟入院基本料 ⇒ 区分(01. 10対1 02. 13対1 03. 15対1 04. 18対1 05. 20対1 06. 特別)		
02. 特定機能病院入院基本料(精神病棟) ⇒ 区分(01. 7対1 02. 10対1 03. 13対1 04. 15対1)		
03. 精神科救急入院料 ⇒ 区分(01. 1 02. 2)		
04. 精神科急性期治療病棟入院料 ⇒ 区分(01. 1 02. 2)		
05. 精神科救急・合併症入院料	06. 児童・思春期精神科入院医療管理料	07. 精神療養病棟入院料
08. 認知症治療病棟入院料 ⇒ 区分(01. 1 02. 2)	09. 地域移行機能強化病棟入院料	

【加算の選択肢】

01. 精神科応急入院施設管理加算【A228 精応】	02. 精神病棟入院時医学管理加算【A230 精医管】
03. 精神科地域移行実施加算【A230-2 精移】	04. 精神科身体合併症管理加算【A230-3 精身】
05. 強度行動障害入院時医療管理加算【A231-2 強行】	06. 認知症ケア加算【A247 認ケア】
07. せん妄ハイリスク患者ケア加算【A247-2 セハイ】	08. 精神科急性期医師配置加算【A249 精急医配】

⑧貴施設が届出を行っている入院基本料等加算をお選びください。
 (あてはまる番号すべてに○。また、選択肢「01」「02」の場合は、該当する区分にも○)

01. 診療録管理体制加算 ⇒ 区分(01. 1 02. 2)		
02. データ提出加算 ⇒ 区分(01. 1 02. 2 03. 3 04. 4)		
03. 栄養サポートチーム加算	04. 精神科リエゾンチーム加算	05. 摂食障害入院医学管理加算
06. 重度アルコール依存症入院医療管理加算	07. ハイリスク分娩管理加算	08. 精神科救急搬送患者地域連携紹介加算
09. 精神科救急搬送患者地域連携受入加算	10. 精神疾患診療体制加算	11. 排尿自立支援加算

⑨救急告示の有無 [令和2年10月30日(金)時点] (○は1つ)	01. 救急告示なし	02. 救急告示あり
⑩救急医療体制 (令和2年10月30日時点) (○は1つ)	01. 高度救命救急センター	02. 救急センター
	03. 二次救急医療機関	04. いずれにも該当しないが救急部門を有している
	05. 救急部門を有していない	
⑪精神医療に関する指定の状況 (令和2年10月30日時点) (あてはまる番号すべてに○)	01. 措置入院指定病院	02. 応急入院指定病院
	03. 精神科救急医療施設	04. 認知症疾患医療センター
	05. 指定自立支援医療機関	06. 指定発達支援医療機関
	07. 医療観察法指定入院医療機関	08. 医療観察法指定通院医療機関

⑫貴施設における令和2年10月1か月間の精神保健福祉法上の入院区分に応じた新規入院患者数(延べ人数)をご記入ください。

	a. 延べ人数(全体)	b. (うち)時間外・休日の延べ入院患者数
1) 総数	延べ 人	延べ 人
2) (うち)措置入院患者数	延べ 人	延べ 人
3) (うち)緊急措置入院患者数	延べ 人	延べ 人
4) (うち)医療保護入院患者数	延べ 人	延べ 人
5) (うち)応急入院患者数	延べ 人	延べ 人

⑬精神科救急搬送患者地域連携紹介加算・受入加算の届出を行っていますか。また、届出をしている場合はその算定件数をご記入ください。(○は1つ)

01. いずれも届出をしていない →⑬-1へ

02. 精神科救急搬送患者地域連携紹介加算を届出している ⇒ 算定件数 ()件/月

03. 精神科救急搬送患者地域連携受入加算を届出している ⇒ 算定件数 ()件/月

⑬-1 (質問⑬で「01. いずれも届出をしていない」と回答した施設のみ) 届出をしていない理由をお選びください。
 (最もあてはまる番号1つに○)

01. 近隣に連携できる医療施設がない

02. 地域に他の医療機関はあるが連携協議が行われていない(連携実績がない)

03. 地域連携による転院への患者・家族の理解が得られづらい

04. 精神科救急搬送患者の後方病床による支援の必要性が低い

05. その他 ()

⑭ 貴施設では、「感染防止対策加算」の施設基準の届出を行っていますか。(〇は1つ)

01. 届出をしていない →質問⑮へ

02. 届出をしている

→届出の種類 (〇は1つ)	
01. 感染防止対策加算1	02. 感染防止対策加算2

【⑮は、⑭で感染防止対策加算の「01. 届出をしていない」と回答した施設のみご回答ください。】

⑮ 貴施設が「感染防止対策加算」の施設基準の届出を行っていない理由をお選びください。
(あてはまる番号すべてに〇、最もあてはまる番号1つに◎)

	あてはまるもの すべてに〇	最も当てはまるもの 1つに◎
01. 専任の院内感染管理者を配置することが難しいから	01	01
02. 院内に感染防止対策部門を設置し、組織的に感染防止対策を実施する体制を整備することが難しいから	02	02
03. 院内の感染防止対策部門に感染管理に関する十分な経験を有する医師、看護師並びに病院勤務に関する十分な経験を有する薬剤師、臨床検査技師を適切に配置することが難しいから	03	03
04. 感染管理防止加算2を算定している医療機関との連携が難しいから	04	04
05. 感染管理防止加算1を算定している医療機関との連携が難しいから	05	05

⑯ 令和元年10月及び令和2年10月における、医療法上の精神病床の各入院料別の1)病棟数、2)届出病床数、3)病床利用率^{*1}、4)平均在院日数^{*2}をそれぞれご記入ください。
(該当病床がない場合は、病棟数と病床数には「0」、病床利用率と平均在院日数には「/」をご記入ください。)

	令和元年10月				令和2年10月			
	1)病棟数	2)届出病床数	3)病床利用率 ^{*1}	4)平均在院日数 ^{*2}	1)病棟数	2)届出病床数	3)病床利用率 ^{*1}	4)平均在院日数 ^{*2}
a.精神病床全体	棟	床	%	日	棟	床	%	日
b.精神病棟入院基本料	棟	床	%	日	棟	床	%	日
c.特定機能病院入院基本料(精神病棟)	棟	床	%	日	棟	床	%	日
d.精神科救急入院料	棟	床	%	日	棟	床	%	日
e.精神科急性期治療病棟入院料	棟	床	%	日	棟	床	%	日
f.精神科救急・合併症入院料	棟	床	%	日	棟	床	%	日
g.児童・思春期精神科入院医療管理料	棟	床	%	日	棟	床	%	日
h.精神療養病棟入院料	棟	床	%	日	棟	床	%	日
i.認知症治療病棟入院料	棟	床	%	日	棟	床	%	日
j.地域移行機能強化病棟入院料	棟	床	%	日	棟	床	%	日
k.介護療養型医療施設(老人性認知症疾患療養病棟)	棟	床	%	日	棟	床	%	日

※1 病床利用率は令和元年8月～10月、令和2年8月～10月のそれぞれ3か月の病床利用率をご記入ください。なお、精神病床の内訳については、当該特定入院料の届出病床に入院した全ての患者(算定要件に該当しない患者を含む)をもとに算出してください。

病床利用率=(8月～10月の在院延べ患者数)÷{(月間日数×月末病床数)の8月～10月の合計}

※2 平均在院日数は令和元年8月～10月、令和2年8月～10月のそれぞれ3か月の平均在院日数をご記入ください。平均在院日数の計算式は、以下の通りです(小数点以下は切り上げてください)。

平均在院日数=(8月～10月の在院患者延べ日数)÷{(8月～10月の新入棟患者数+8月～10月の新退棟患者数)÷2}

また、転棟患者についても、当該病棟に入棟した場合は新入棟患者として、当該病棟から他病棟に転棟した場合は退棟患者として対象に含めて算出してください。

なお、精神病床の内訳については、当該特定入院料の届出病床に入院した全ての患者(算定要件に該当しない患者を含む)をもとに算出してください。

⑰ 貴施設の職員数(常勤換算 ^{※1})をご記入ください。また、内数として、精神科病棟に從事している職員数(常勤換算 ^{※1})をご記入ください。(令和2年10月時点)			
		施設の職員数	(うち)精神科病棟に從事している職員数
1) 医師		人	(うち) 人
a. (うち)精神保健指定医		人	(うち) 人
b. (うち)精神科特定医師		人	(うち) 人
c. (うち)上記以外の精神科医師		人	(うち) 人
d. (うち)精神科以外の医師 ※精神科病棟に從事している 精神科以外の診療科 のうち、勤務回数が多い科から、最大3診療科までご記載ください		人	(うち) 人
	e. 診療科名 1		週()回勤務
	f. 診療科名 2		週()回勤務
	g. 診療科名 3		週()回勤務
2) 看護師(保健師を含む) ^{※2}		人	(うち) 人
a. (うち)精神看護専門看護師*		人	(うち) 人
b. (うち)認知症看護認定看護師*		人	(うち) 人
c. (うち)精神科認定看護師**		人	(うち) 人
3) 准看護師		人	(うち) 人
4) 看護補助者		人	(うち) 人
5) 薬剤師		人	(うち) 人
6) 作業療法士		人	(うち) 人
7) 公認心理師		人	(うち) 人
8) 精神保健福祉士		人	(うち) 人
9) 社会福祉士(上記8)を除く)		人	(うち) 人
10) 管理栄養士		人	(うち) 人
11) 事務職員		人	(うち) 人
12) その他の職員		人	(うち) 人

※1 常勤換算については以下の方法で算出してください。常勤換算後の職員数は、**小数点以下第1位までお答えください。**

■ 1週間に数回勤務の場合: (非常勤職員の1週間の勤務時間) ÷ (貴施設が定めている常勤職員の1週間の勤務時間)

■ 1か月に数回勤務の場合: (非常勤職員の1か月の勤務時間) ÷ (貴施設が定めている常勤職員の1週間の勤務時間 × 4)

※2 * 日本看護協会の認定した者 * * 日本精神科看護協会の認定した者

2. 新型コロナウイルス感染症への対応状況

①令和2年3月以降の受診者や体制の動向等（それぞれ該当する番号1つに○）								
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
a. 新型コロナウイルス感染疑い※1の外来患者受入の有無	01. 有り 02. 無し	01. 有り 02. 無し	01. 有り 02. 無し	01. 有り 02. 無し	01. 有り 02. 無し	01. 有り 02. 無し	01. 有り 02. 無し	01. 有り 02. 無し
b. 新型コロナウイルス感染患者の入院患者※2の受入の有無	01. 有り 02. 無し	01. 有り 02. 無し	01. 有り 02. 無し	01. 有り 02. 無し	01. 有り 02. 無し	01. 有り 02. 無し	01. 有り 02. 無し	01. 有り 02. 無し
c. 新型コロナウイルス感染症の院内感染の有無※3	01. 有り 02. 無し	01. 有り 02. 無し	01. 有り 02. 無し	01. 有り 02. 無し	01. 有り 02. 無し	01. 有り 02. 無し	01. 有り 02. 無し	01. 有り 02. 無し
②令和2年3月以降の、「新型コロナウイルス感染症患者等を受け入れた保険医療機関等における施設基準等の臨時的な取扱い」の対象となる保険医療機関等の該当状況※4（それぞれ該当する番号1つに○）								
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
ア 新型コロナウイルス感染症患者等を受け入れた保険医療機関等の該当有無	01. 有り 02. 無し	01. 有り 02. 無し	01. 有り 02. 無し	01. 有り 02. 無し	01. 有り 02. 無し	01. 有り 02. 無し	01. 有り 02. 無し	01. 有り 02. 無し
イ アに該当する医療機関等に職員を派遣した保険医療機関等の該当有無	01. 有り 02. 無し	01. 有り 02. 無し	01. 有り 02. 無し	01. 有り 02. 無し	01. 有り 02. 無し	01. 有り 02. 無し	01. 有り 02. 無し	01. 有り 02. 無し
ウ 学校等の臨時休業に伴い、職員の勤務が困難となった保険医療機関等の該当有無	01. 有り 02. 無し	01. 有り 02. 無し	01. 有り 02. 無し	01. 有り 02. 無し	01. 有り 02. 無し	01. 有り 02. 無し	01. 有り 02. 無し	01. 有り 02. 無し
エ 新型コロナウイルス感染症に感染し又は濃厚接触者となり出勤ができない職員が在籍する保険医療機関等の該当有無	01. 有り 02. 無し	01. 有り 02. 無し	01. 有り 02. 無し	01. 有り 02. 無し	01. 有り 02. 無し	01. 有り 02. 無し	01. 有り 02. 無し	01. 有り 02. 無し
オ 新型コロナウイルス感染症が疑われる患者に対し、「院内トリアージ実施料」※5を算定する保険医療機関の該当有無	01. 有り 02. 無し	01. 有り 02. 無し	01. 有り 02. 無し	01. 有り 02. 無し	01. 有り 02. 無し	01. 有り 02. 無し	01. 有り 02. 無し	01. 有り 02. 無し

※1. 新型コロナウイルス感染症の検査の対象となった患者を指す（結果的に新型コロナ感染症と診断されなかった患者も含む）。

※2. 新型コロナウイルス感染症の疑似症と診断された患者を含む。

※3. 1) 医療機関において患者が原疾患とは別に新たに患った感染症、2) 医療従事者等が医療機関内において感染した感染症のいずれかがあった場合に、有りとします。

※4. 本設問におけるア～エの項目は、「新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取扱いについて（その26）」（令和2年8月31日付厚生労働省保険局医療課事務連絡）1（2）①で示されたア～エの「対象医療機関等」とそれぞれ対応している。

※5. オは、「新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取扱いについて（その9）」（令和2年4月8日付厚生労働省保険局医療課事務連絡）1で示されたもの。

③新型コロナウイルス感染の重点医療機関等の指定の有無（令和2年11月1日時点）（該当する番号1つに○）

01. 重点医療機関（新型コロナ患者専用の病院や病棟を設定する医療機関）として都道府県から指定されている
 02. 協力医療機関（新型コロナ疑い患者専用の個室病床を設定する医療機関）として都道府県から指定されている
 03. その他（)

④「新型コロナウイルス感染症患者等を受け入れた保険医療機関等における施設基準等の臨時的な取扱い^{※1}」に関連し、貴院が届け出ている診療報酬の施設基準等で求められている各種の配置要件や診療実績への影響の状況(令和2年4月以降)についてお伺いします。貴院の施設基準等の要件となっていない項目については「03 要件非該当」を選択してください。

(それぞれ該当する番号1つに○)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
a. 定数超過入院の発生有無	01. 有り 02. 無し 03. 要件非該当	01. 有り 02. 無し 03. 要件非該当	01. 有り 02. 無し 03. 要件非該当	01. 有り 02. 無し 03. 要件非該当	01. 有り 02. 無し 03. 要件非該当	01. 有り 02. 無し 03. 要件非該当	01. 有り 02. 無し 03. 要件非該当
b. 月平均夜勤時間数について、1割以上の一時的な変動の発生有無	01. 有り 02. 無し 03. 要件非該当	01. 有り 02. 無し 03. 要件非該当	01. 有り 02. 無し 03. 要件非該当	01. 有り 02. 無し 03. 要件非該当	01. 有り 02. 無し 03. 要件非該当	01. 有り 02. 無し 03. 要件非該当	01. 有り 02. 無し 03. 要件非該当
c. 看護要員 ^{※2} の数、看護要員の数と入院患者の比率並びに看護師及び准看護師の数に対する看護師の比率について、1割以上の一時的な変動の発生有無	01. 有り 02. 無し 03. 要件非該当	01. 有り 02. 無し 03. 要件非該当	01. 有り 02. 無し 03. 要件非該当	01. 有り 02. 無し 03. 要件非該当	01. 有り 02. 無し 03. 要件非該当	01. 有り 02. 無し 03. 要件非該当	01. 有り 02. 無し 03. 要件非該当
d. 「DPC対象病院への参加基準を満たさなくなった場合」 ^{※3} の発生有無	01. 有り 02. 無し 03. 要件非該当	01. 有り 02. 無し 03. 要件非該当	01. 有り 02. 無し 03. 要件非該当	01. 有り 02. 無し 03. 要件非該当	01. 有り 02. 無し 03. 要件非該当	01. 有り 02. 無し 03. 要件非該当	01. 有り 02. 無し 03. 要件非該当
e. 平均在院日数について、施設基準等通知における当該要件を満たさなくなった場合の発生有無	01. 有り 02. 無し 03. 要件非該当	01. 有り 02. 無し 03. 要件非該当	01. 有り 02. 無し 03. 要件非該当	01. 有り 02. 無し 03. 要件非該当	01. 有り 02. 無し 03. 要件非該当	01. 有り 02. 無し 03. 要件非該当	01. 有り 02. 無し 03. 要件非該当
f. 在宅復帰率への影響について、施設基準等通知における当該要件を満たさなくなった場合の発生有無	01. 有り 02. 無し 03. 要件非該当	01. 有り 02. 無し 03. 要件非該当	01. 有り 02. 無し 03. 要件非該当	01. 有り 02. 無し 03. 要件非該当	01. 有り 02. 無し 03. 要件非該当	01. 有り 02. 無し 03. 要件非該当	01. 有り 02. 無し 03. 要件非該当

※1. 「新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取扱いについて(その26)」(令和2年8月31日付厚生労働省保険局医療課事務連絡) 1(1)①~⑤で示された施設基準等に係る臨時的な取扱いを指す。

※2. 看護要員とは、看護師及び准看護師又は看護補助者を指す。

※3. 「DPC制度への参加等の手続きについて」(令和2年3月27日保医発 0327 第6号)の第1の4(2)②に規定する場合を言う。

⑤次に挙げる各項目について、令和2年4月から11月1日までの間に一度でも、医療提供状況に変化があったか、ご回答ください。(それぞれ該当する番号1つに○)

外来(平日)	01. 通常	02. 制限	03. 停止	
外来(土日)	01. 通常	02. 制限	03. 停止	04. 従来から実施なし
入院	01. 通常	02. 制限	03. 停止	04. 従来から実施なし
救急	01. 通常	02. 制限	03. 停止	04. 従来から実施なし
化学療法	01. 通常	02. 制限	03. 停止	04. 従来から実施なし
手術	01. 通常	02. 制限	03. 停止	04. 従来から実施なし
緊急手術	01. 通常	02. 制限	03. 停止	04. 従来から実施なし
精神科デイ・ケア等	01. 通常	02. 制限	03. 停止	04. 従来から実施なし
精神科訪問診療	01. 通常	02. 制限	03. 停止	04. 従来から実施なし
精神科訪問看護	01. 通常	02. 制限	03. 停止	04. 従来から実施なし

⑥貴院の外来患者数、総入院患者数等についてお伺いします。

⑥-1 外来患者数		1) 初診の患者数		2) 再診の延べ患者数		3) 紹介状により他の病院または診療所に紹介した患者数
			(うち) 紹介状により紹介された患者数			
令和元年 (平成31年)	4月1か月間	人	人	延べ	人	人
	5月1か月間	人	人	延べ	人	人
	6月1か月間	人	人	延べ	人	人
	7月1か月間	人	人	延べ	人	人
	8月1か月間	人	人	延べ	人	人
	9月1か月間	人	人	延べ	人	人
	10月1か月間	人	人	延べ	人	人
令和2年	4月1か月間	人	人	延べ	人	人
	5月1か月間	人	人	延べ	人	人
	6月1か月間	人	人	延べ	人	人
	7月1か月間	人	人	延べ	人	人
	8月1か月間	人	人	延べ	人	人
	9月1か月間	人	人	延べ	人	人
	10月1か月間	人	人	延べ	人	人

		⑥-2 総入院患者数 ※1	⑥-3 救急搬送件数
令和元年 (平成31年)	4月1か月間	人	件
	5月1か月間	人	件
	6月1か月間	人	件
	7月1か月間	人	件
	8月1か月間	人	件
	9月1か月間	人	件
	10月1か月間	人	件
令和2年	4月1か月間	人	件
	5月1か月間	人	件
	6月1か月間	人	件
	7月1か月間	人	件
	8月1か月間	人	件
	9月1か月間	人	件
	10月1か月間	人	件

※1. 施設全体の延べ人数でお答えください。

3. 救急医療の提供状況等

①貴施設では、精神科救急医療体制整備事業に参加していますか。(令和2年10月30日時点) (○は1つ)
また、参加していない場合はその理由をお書きください。

01. 参加している →①-1、2へ

02. 参加していない(理由) →②へ

【以下①-1、2の質問は、①で精神科救急医療体制整備事業に「01.参加している」と回答した施設のみご回答ください。】

①-1 貴施設の精神科救急医療施設の種別 (令和2年10月30日時点)(あてはまる番号すべてに○)	01. 病院群輪番型施設	02. 常時対応型施設
	03. 外来対応型施設	04. 身体合併症対応型施設
①-2 貴施設では、令和2年10月の1か月間に精神科救急医療体制整備事業の当番日は何日ありましたか。 また、その診療実績をご記入ください。(令和2年10月) ※常時対応型施設は1か月の稼働日数をご記載ください。		
1) 当番日	()日/月	
2) 診療実績	01. 入院:()件/月	02. 外来診療のみ:()件/月

【以下②の質問については、すべての施設の方がご回答ください。】

②時間外、休日または深夜の救急外来(精神疾患にかかるもの)における体制をお選びください。

1) 医師	(○は1つ)
a. 医師総数	01. 宿直が担当
b. (うち)精神科医	02. 通常勤務として勤務者を配置している(宿直も兼ねている)
c. (うち)精神保健指定医	03. 宿直担当以外に救急外来担当の勤務配置を行っている
2) 看護師(保健師含む)	(○は1つ)
	01. 宿直が担当
	02. 通常勤務として勤務者を配置している(宿直も兼ねている)
	03. 宿直担当以外に救急外来担当の勤務配置を行っている

【以下③の質問については、「精神科救急入院料」もしくは「精神科救急・合併症入院料」のいずれか(もしくは両方)の施設基準の届出を行っている医療機関のみご回答ください。】

③貴施設の診療時間をご記入ください。記入にあたっては、24時間制でご記入ください。(例 午後10時は22:00と記入)

	月	火	水	木	金	土	日・祝
1) 保険医療機関として届け出ている診療時間	: ~ :	: ~ :	: ~ :	: ~ :	: ~ :	: ~ :	: ~ :
2) 施設基準の要件として求められている時間外診療の「時間外」の時間	※病院群輪番型の病院であって、当番日が曜日ごとに定められている場合は、その曜日に○をつけた上で、該当する曜日に時間を記入してください。						
	○	○	○	○	○	○	○
	月	火	水	木	金	土	日・祝
	: ~ :	: ~ :	: ~ :	: ~ :	: ~ :	: ~ :	: ~ :
※当番日が、日にちで割り振られている場合、以下にその時間を記入してください。							
	: ~ :						
3) 施設基準の要件として求められている深夜診療の「深夜」の時間	: ~ :						

4. 精神科救急入院料等について

①貴施設では、精神科救急入院料の届出を行っていますか。(〇は1つ)

01. 届出をしている →②へ

02. 届出をしていない →⑥へ

【以下②～⑤の質問は、①で「01.届出をしている」と回答した施設のみご回答ください。】

②貴施設における令和元年11月から令和2年10月の直近1年間の以下の入院形態別の患者数(延べ人数)をご記入ください。

1) 措置入院患者数	延べ	人
2) 緊急措置入院患者数	延べ	人
3) 応急入院患者数	延べ	人
4) 鑑定入院患者数	延べ	人
5) 医療観察法入院数	延べ	人

③貴施設における令和元年11月から令和2年10月の直近1年間の、精神疾患に係る救急外来診療件数をご記入ください。

1) 時間外の診療件数(※精神科救急入院料の施設基準の要件として求められている時間外診療を指す)	件
2) 休日の診療件数(※精神科救急入院料の施設基準の要件として求められている休日診療を指す)	件
3) 深夜の診療件数(※精神科救急入院料の施設基準の要件として求められている深夜診療を指す)	件

④貴施設では、常時精神科救急外来診療が可能であり、精神疾患に係る時間外、休日又は深夜における診療(電話等再診を除く)件数の年間実績について、「施設基準1の(12)のア又はイの地域における人口1万人当たり1.87件以上であること」という要件を満たすものとして届出をしていますか。(〇は1つ)

01. 当該要件を満たすものとしての届出をしていない →⑤へ	02. 当該要件を満たすものとして届出をしている →ア又はイどちらの地域で届け出ていますか。(〇は1つ) 21. 施設基準(12)アの地域で届出 22. 施設基準(12)イの地域で届出 →以下の質問④-1、④-2にお答えください
④-1 ア又はイの地域の人口(届出時の算出根拠となる数値を計算するに当たり使用した人口)をお答えください。	人
④-2 常時精神科救急外来診療が可能であり、精神疾患に係る時間外、休日又は深夜における診療(電話等再診を除く)件数の年間実績のうち、初診患者数(精神疾患について過去3か月間に当該保険医療機関を受診していない患者)の延べ人数をお答えください。	延べ 人

⑤病棟数または病床数の上限を満たさなくなった場合の対応方法についてお伺いします。
令和4年4月以降、施設基準を満たさなくなった場合の対応を記入ください。(あてはまる番号すべてに〇)

01. 現在届け出ている病棟・病床の一部を、他の精神科入院料算定病棟へ届出を変更

「01」を選んだ場合以下にご回答ください。

11. 精神科急性期治療病棟	12. 精神科救急・合併症入院料算定病棟
(〇は1つ)	
13. 精神病棟入院基本料	→ 01. 10対1 02. 13対1 03. 15対1 04. 18対1 05. 20対1
06. 特別	
14. 児童・思春期精神科入院医療管理料算定病棟	
15. 精神療養病棟	16. 認知症治療病棟 17. 地域移行機能強化病棟 18. 未定

02. 現在届け出ている病棟・病床の一部を、精神科以外の病棟へ届出を変更

03. 現在届け出ている病棟・病床の一部を廃止

04. 検討中(具体的に:)

【以下⑥、⑦の質問は、①で「02.届出をしていない」と回答した施設のみご回答ください。】

⑥貴施設では今後「精神科救急入院料」を届け出る意向はありますか。（〇は1つ）			
01. 具体的な予定がある	<table border="1"> <tr> <td>→ 届出予定時期:西暦()年()月</td> </tr> <tr> <td>→ 予定している届出内容: 01. 精神科救急入院料 1 02. 精神科救急入院料 2</td> </tr> </table>	→ 届出予定時期:西暦()年()月	→ 予定している届出内容: 01. 精神科救急入院料 1 02. 精神科救急入院料 2
→ 届出予定時期:西暦()年()月			
→ 予定している届出内容: 01. 精神科救急入院料 1 02. 精神科救急入院料 2			
02. (具体的な予定はないが)届出を行う意向がある	<table border="1"> <tr> <td>→ 予定している届出内容: 01. 精神科救急入院料 1 02. 精神科救急入院料 2</td> </tr> </table>	→ 予定している届出内容: 01. 精神科救急入院料 1 02. 精神科救急入院料 2	
→ 予定している届出内容: 01. 精神科救急入院料 1 02. 精神科救急入院料 2			
03. 検討中であり、まだわからない			
04. 届出を行う意向はない			
05. その他 ()			

⑦精神科救急入院料の施設基準のうち満たすことが難しいものをお選びください。 (あてはまる番号すべてに○、最もあてはまる番号1つに◎)		
	あてはまる 番号 すべてに○	最もあてはまる 番号 1つに◎
01. 当該病棟における常勤の医師の数は当該病棟の入院患者の数が 16 又はその端数を増すごとに 1 以上であること。	01	01
02. 当該病棟に常勤の精神保健指定医が 1 名以上配置されており、かつ当該保険医療機関内に精神保健指定医が 5 名以上配置されていること。	02	02
03. 当該病棟において、1 日に看護を行う看護師の数は、常時、当該病棟の入院患者の数が 10 又はその端数を増すごとに 1 以上であること。ただし、当該病棟において、1 日に看護を行う看護師数がそれ以上である場合は、当該病棟における夜勤を行う看護師の数は 2 以上であること。	03	03
04. 当該地域における精神科救急医療体制の確保のために整備された精神科救急医療施設であること。	04	04
05. 精神科救急医療を行うにつき十分な体制が整備されていること。	05	05
06. 精神科救急医療を行うにつき十分な構造設備を有していること。	06	06
07. 精神科救急医療に係る実績を相当程度有していること。	07	07

5. 精神科救急・合併症入院料について

①貴施設では、精神科救急・合併症入院料の届出を行っていますか。(○は1つ)	
01. 届出をしている →②へ	
02. 届出をしていない →⑦へ	

【以下②～⑥の質問は、①で「01.届出をしている」と回答した施設のみご回答ください。】

②令和2年10月の該当する病棟の入院日数		
a. 1か月間、当該入院料を算定している病棟の延べ入院日数	延べ 日	
b. (うち) 新規入院患者の延べ入院日数	延べ 日	
③令和元年11月から令和2年10月における、該当する病棟の直近1年間の各退院患者数についてご記入ください。		
(うち) 措置入院患者数 + 鑑定入院患者数 + 医療観察法入院患者数 + クロザピンの新規導入を目的とした入院患者数	a. 入院日から起算して3か月以内に退院し、自宅等へ移行した患者数	人
	b. 3か月超の後に退院した患者数	人
④令和元年11月から令和2年10月における、該当する病棟の直近1年間の精神疾患に係る救急外来診療件数をご記入ください。		
1) 時間外の診療件数	件	
2) 休日の診療件数	件	
3) 深夜の診療件数	件	
⑤令和元年11月から令和2年10月における、当該病棟の新規入院患者数についてお答えください。		
1) 当該病棟の新規入院患者数	人	
2) 措置入院患者数	人	
3) 緊急措置入院	人	
4) 医療保護入院	人	
5) 応急入院	人	
6) 鑑定入院	人	
7) 医療観察法入院	人	
8) 合併症ユニットへ入院する身体疾患を有する精神障害者	人	
⑥貴施設では、常時精神科救急外来診療が可能であり、精神疾患に係る時間外、休日又は深夜における診療(電話等再診を除く)件数の年間実績について、「施設基準1の(12)のア又はイの地域における人口1万人当たり2.5件以上であること」という要件を満たすものとして届出をしていますか。(○は1つ)		
01. 当該要件を満たすものとしての届出をしていない →⑦へ	02. 当該要件を満たすものとして届出をしている →ア又はイどちらの地域で届け出ていますか。(○は1つ) 21. 施設基準(12)アの地域で届出 22. 施設基準(12)イの地域で届出 →以下の質問⑥-1、⑥-2にお答えください	
⑥-1 ア又はイの地域の人口(届出時の算出根拠となる数値を計算するに当たり使用した人口)をお答えください。	人	
⑥-2 常時精神科救急外来診療が可能であり、精神疾患に係る時間外、休日又は深夜における診療(電話等再診を除く)件数の年間実績のうち、初診患者数(精神疾患について過去3か月間に当該保険医療機関を受診していない患者)の延べ人数をお答えください。	延べ 人	

【以下⑦、⑧の質問は、①で「02.届出をしていない」と回答した施設のみご回答ください。】

⑦貴施設では「精神科救急・合併症入院料」の届出意向はありますか。（〇は1つ）

01. 具体的な予定がある
 → 届出予定時期：西暦()年()月

02. (具体的な予定はないが)届出を行う意向がある

03. 検討中であり、まだわからない

04. 届出を行う意向はない

05. その他 ()

⑧精神科救急・合併症入院料の要件として満たすことが難しいものをお選びください。
 (あてはまる番号すべてに○、最もあてはまる番号1つに◎)

	あてはまる 番号 すべてに○	最もあてはまる 番号 1つに◎
01. 都道府県が定める救急医療に関する計画に基づいて運営される救命救急センターを有する病院の病棟単位で行うものであること。	01	01
02. 当該病棟における常勤の医師の数は、当該病棟の入院患者の数が16又はその端数を増すごとに1以上であること。	02	02
03. 当該病棟を有する保険医療機関に、常勤の精神科医が5名以上配置され、かつ、当該病棟に常勤の精神保健指定医が3名以上配置されていること。	03	03
04. 当該病棟において、1日に看護を行う看護師の数は、常時、当該病棟の入院患者の数が10又はその端数を増すごとに1以上であること。ただし、当該病棟において、1日に看護を行う看護師数がそれ以上である場合は、当該病棟における夜勤を行う看護師の数は2以上であること。	04	04
05. 当該地域において精神科救急医療体制の確保のために整備された精神科救急医療施設であること。	05	05
06. 精神科救急・合併症医療を行うにつき十分な体制が整備されていること。	06	06
07. 精神科救急・合併症医療を行うにつき十分な構造設備を有していること。	07	07
08. 精神科救急・合併症医療に係る実績を相当程度有していること。	08	08

6. 精神科急性期医師配置加算について

①精神科急性期医師配置加算の届出は行っていますか。(〇は1つ)

01. 届出をしている →以下の質問への回答後、「7. クロザピンの使用状況等について」へ

a.届出の種類	01. 加算1 02. 加算2イ 03. 加算2ロ 04. 加算3
b.令和2年4月改定まで届出していた病棟の種類	01. 精神病棟入院基本料(10対1) 02. 精神病棟入院基本料(13対1) 03. 精神科急性期治療病棟入院料1 04. 特定機能病院入院基本料を算定する精神病棟(7対1) 05. 特定機能病院入院基本料を算定する精神病棟(10対1) 06. 特定機能病院入院基本料を算定する精神病棟(113対1)

02.届出をしていない →②へ

【以下②～④の質問は、①で精神科急性期医師配置加算の「02. 届出をしていない」と回答した施設のみご回答ください。】

② 精神科急性期医師配置加算の要件として満たすことが難しいものをお選びください。(あてはまる番号すべてに〇)

a. 精神科急性期治療病棟入院料1の届出をしている施設の方のみご回答ください。

01. 当該病棟における常勤の医師は、当該病棟の入院患者の数が16又はその端数を増すごとに1以上配置されていること。

【精神科急性期医師配置加算1、2ロに関する基準に関連するもの】

02. 「医療観察法入院患者」及びクロザピンの新規導入を目的とした入院患者を除いた新規入院患者のうち6割以上が入院日から起算して3か月以内に退院し、自宅等へ移行すること。

03. 当該病棟においてクロザピンを新規に導入した実績が年間6件以上であること。

04. 精神疾患に係る時間外、休日又は深夜における外来診療(電話等再診を除く)件数が年間20件以上であり、かつ、入院件数が年間8件以上であること。

【精神科急性期医師配置加算3の基準に関連するもの】

05. 措置入院患者、鑑定入院患者、医療観察法入院患者及びクロザピンの新規導入を目的とした入院患者を除いた新規入院患者のうち4割以上が入院日から起算して3か月以内に退院し、自宅等へ移行すること。

06. 当該病棟においてクロザピンを新規に導入した実績が年間3件以上であること。

b. 精神病棟入院基本料10対1、13対1、特定機能病院入院料を算定する精神病棟7対1、10対1、13対1の届出をしている施設のみご回答ください。

01. 当該病棟における常勤の医師は、当該病棟の入院患者の数が16又はその端数を増すごとに1以上配置されていること。

【精神科急性期医師配置加算2のイに関する基準に関連するもの】

02. 精神病床を除く当該保険医療機関全体の許可病床数が100床以上であって、内科、外科、耳鼻科、眼科、整形外科及び精神科を標榜する保健医療機関であること。

03. 当該保険医療機関の精神病床に係る許可病床数が当該保険医療機関全体の許可病床数の50%未満かつ届出を行っている精神病棟が2病棟以下であること。

04. 「救急医療対策事業実施要項」に定める第2「入院を要する(第二次)救急医療体制」、第3「救命救急センター」、第4「高度救命救急センター」又は「周産期医療の体制構築に係る指針」に規定する総合周産期母子医療センターを設置している保険医療機関であること。

05. 24時間の救急患者を受け入れている保険医療機関であること。

06. 精神科リエゾンチーム加算に係る届出を行っていること。

07. 当該病棟の直近3か月間の新規入院患者の5%以上が入院時にA230-3精神科身体合併症管理加算の対象となる患者であること。

08. 当該保険医療機関の精神科医が、救急用の自動車又は救急医療用ヘリコプターを用いた救急医療の確保に関する特別措置法第2条に規定する救急医療用ヘリコプターにより搬送された患者であって、身体疾患又は負傷とともに精神疾患又はせん妄・抑うつを有する者を速やかに診療できる体制を有し、当該保険医療機関到着後12時間以内に毎月5人以上(直近3か月間の平均)診察していること。

③当該病棟のクロザピン新規導入件数	件／年間
④貴施設では「精神科急性期医師配置加算」の届出意向はありますか。(○は1つ)	
01. 具体的な予定がある → 届出予定時期:西暦()年()月 → (01. 加算1 02. 加算2イ 03. 加算2ロ 04. 加算3)	
02. (具体的な予定はないが)届出を行う意向がある → (01. 加算1 02. 加算2イ 03. 加算2ロ 04. 加算3)	
03. 検討中であり、まだわからない	
04. 届出を行う意向はない	
05. その他 ()	

7. クロザピンの使用状況等について

①貴施設では、「治療抵抗性統合失調症治療指導管理料」の施設基準の届出は行っていますか。(○は1つ)	
01. 届出あり →届出時期:西暦()年()月 →①-1へ	02. 届出なし →②へ
▶①-1 令和元年6月1か月間における診療実績をご記入ください。	
1)実患者数: ()人/月	2)算定件数: ()件/月

②貴施設で治療ができない(クロザピンが投与できない)ことによる転院が行われていますか。(○は1つ) また、転院している場合はその実績をご記入ください。(令和2年8月～10月)	
01. 転院していない	
02. 転院している → 転院患者数 ()人 :令和2年8～10月	

【以下③、④の質問は、①で「治療抵抗性統合失調症治療指導管理料」の「02届出なし」と回答した施設のみご回答ください。】

③貴施設が「治療抵抗性統合失調症治療指導管理料」の届出を行っていない理由をお選びください。 (最もあてはまる番号1つに○)	
01. クロザピンの対象患者が少ないため	
02. 医療圏内にクロザピン等の専門的治療を受けられる他の医療機関があるため	
03. CPMS への登録要件を満たすことができないため	
04. 施設基準の要件を満たせないため →③-1へ	
05. その他 (具体的に)	
▶③-1 施設基準のうち満たすことが難しい要件をお選びください。(あてはまる番号すべてに○)	
01. 統合失調症の診断及び治療に関する十分な経験を有する常勤医師が配置できない	
02. 統合失調症の診断及び治療に関する十分な経験を有する常勤薬剤師が配置できない	
03. 副作用に対応できる体制が整備できない	

④貴施設では、「治療抵抗性統合失調症治療指導管理料」の施設基準の届出意向がありますか。(○は1つ)	
01.具体的な予定がある → 届出予定時期:西暦()年()月	
02. (具体的な予定はないが、)届出を行う意向がある	
03. 検討中であり、まだわからない	
04. 届出を行う意向はない	
05. その他 ()	

8. 身体合併症への対応状況について

① 貴施設内で対応困難な身体合併症に対する対応をお選びください。(最も多いもの1つに○)

- 01. 精神科病床のある総合病院へ転院
- 02. 精神科リエゾンチームのいる(精神科病床のない)総合病院へ転院
- 03. 精神科リエゾンチームも精神科病床もない身体科のみの医療機関へ転院
- 04. 他院の外来受診
- 05. その他 ()

② 精神科身体合併症管理加算の届出は行っていますか。(○は1つ)

- 01. 届出をしている →④へ
- 02. 届出をしていない →③へ

【以下③の質問は、②で精神科身体合併症管理加算の「02.届出をしていない」と回答した施設のみご回答ください。】

③ 精神科身体合併症管理加算の届出をしていない理由をお選びください。(○は1つ)

- 01. (算定対象の患者はいるが、)算定対象となる入院料の病棟がないため
- 02. 身体合併症に対応していないため(他院へ転院して対応)
- 03. 施設基準の要件を満たせないため →③-1へ
- 04. その他 ()

③-1 施設基準のうち満たすことが難しい要件をお選びください。(あてはまる番号すべてに○)

- 01. 病棟専任配置医師(内科または外科)の確保
- 02. 必要に応じて患者の受入が可能な精神科以外の診療科を有する医療体制との連携(他の保健医療機関を含む)の確保

④ 貴施設における令和2年4月から9月の間における摂食障害の新規入院患者数(延べ人数)をご記入ください。

1) 摂食障害の新規入院患者数						人	
2) 1)について、入院時のBMI別患者数							
a. 12未満	b. 12以上13未満	c. 13以上14未満	d. 14以上15未満	e. 15以上16未満	f. 16以上17未満	g. 17以上	
人	人	人	人	人	人	人	人

⑤ 摂食障害入院医療管理加算の届出状況をお選びください。(○は1つ)

- 01. 届け出ている
- 02. 届け出していない

⑥ 疾患別リハビリテーションの施設基準の届出状況をお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

- 01. 心大血管疾患リハビリテーション料
- 02. 脳血管疾患等リハビリテーション料
- 03. 廃用症候群リハビリテーション料
- 04. 運動器リハビリテーション料
- 05. 呼吸器リハビリテーション料

⑥-1 ⑥においていずれも届出がない場合にご回答ください。貴施設では、疾患別リハビリテーションの届出意向はありますか。(○は1つ)

- 01. 具体的な予定がある → 届出予定時期: 西暦()年()月
- 02. (具体的な予定はないが、)届出を行う意向がある
- 03. 検討中でありまだわからない
- 04. 届出を行う意向はない
- 05. その他 ()

9. 精神科リエゾンチームの状況

①精神科リエゾンチーム加算の届出状況をお選びください。(〇は1つ)

01. 届け出ている →②へ

02. 届け出していない →⑦へ

【以下②～⑥の質問は、①で「01. 届け出ている」と回答した施設のみご回答ください。】

②精神科リエゾンチームによる診療において、他の医療機関の医師が対診することはありますか。(〇は1つ)

01. 他の医療機関の医師が対診することがある

02. 他の医療機関の医師が対診することはない

③貴施設における令和2年10月1か月間に、精神科リエゾンチーム加算を算定した患者数(実人数)をご記入ください。

1) 総数		人
a. (うち)新型コロナウイルス感染症の患者数*		人
2) 対象疾患別患者数	a. 症状性を含む器質性精神障害(F0)	人
	b. 精神作用物質使用による精神及び行動の障害(F1)	人
	c. 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害(F2)	人
	d. 気分[感情]障害(F3)	人
	e. 神経症性障害, ストレス関連障害及び身体表現性障害(F4)	人
	f. 生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群(F5)	人
	g. 成人の人格及び行動の障害(F6)	人
	h. 知的障害<精神遅滞>(F7)	人
	i. 心理的発達の障害(F8)	人
	j. 小児<児童>期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害(F9)	人
	k. 自殺企図	人
l. せん妄	人	

*新型コロナウイルス感染症の疑似症と診断された患者を含む。

④令和2年10月1か月間に、カンファレンスを開催した回数をご記入ください。

回

⑤上記④のカンファレンスへの参加職種をお答えください。(あてはまる番号すべてに〇)

01. 精神科医

02. 精神科認定看護師等

03. 02以外の看護師

04. 薬剤師

05. 作業療法士

06. 精神保健福祉士

07. 公認心理師*

08. その他()

*平成31年3月31日時点で、臨床心理技術者として保険医療機関に従事していた者及び公認心理師に係る国家試験の受験資格を有する者を含む。

⑥精神科リエゾンチームのせん妄ケアチーム及び認知症ケアチームとの連携状況をお答えください。

1) せん妄ケアチームとの連携状況 (〇は1つ)	01. 特に連携していない 02. 精神科リエゾンチームの精神科医がせん妄ケアチームを兼務している 03. 病状が悪化した場合、精神科リエゾンチームにコンサルトしている 04. チーム間で情報共有している 05. その他(具体的に:)
2) 認知症ケアチームとの連携状況 (〇は1つ)	01. 特に連携していない 02. 精神科リエゾンチームの精神科医が認知症ケアチームを兼務している 03. 病状が悪化した場合、精神科リエゾンチームにコンサルトしている 04. チーム間で情報共有している 05. その他(具体的に:)

【以下⑦、⑦-1の質問は、①で「02. 届け出ていない」と回答した施設のみご回答ください】

⑦貴施設が「精神科リエゾンチーム加算」の届出を行っていない理由をお選びください。

(最もあてはまる番号1つに○)

01. 精神科リエゾンチーム加算の対象ではないため

02. 対象となる患者が少ないため

03. 施設基準の要件を満たせないため →⑦-1へ

04. その他 (具体的に)

⑦-1 施設基準のうち満たすことが難しい要件をお選びください。 (あてはまる番号すべてに○)

01. 5年以上の勤務経験を有する専任の精神科の医師の配置。

02. 精神科等の経験を3年以上有する所定の研修を修了した専任の常勤の看護師の配置。

03. 精神科病院又は一般病院での精神医療に3年以上の経験を有する専従の常勤薬剤師、常勤作業療法士、常勤精神保健福祉士又は常勤公認心理師のうちいずれか1人*の配置。

04. 入院患者の精神状態や算定対象となる患者への診療方針などに係るカンファレンスが週1回程度開催されており、精神科リエゾンチームの構成員及び必要に応じて当該患者の診療を担当する医師、看護師等が参加すること。

05. 精神科リエゾンチームによる診療実施計画書や治療評価書には、精神症状等の重症度評価、治療目標、治療計画等の内容を含んでいること。

06. 精神科リエゾンチームによる当該診療を行った患者数や診療の回数等について記録していること。

07. その他()

※当該精神科リエゾンチームが診察する患者数が週に15人以内である場合は、精神科病院又は一般病院での精神医療に3年以上の経験を有する専任の常勤薬剤師、常勤作業療法士、常勤精神保健福祉士又は常勤公認心理師のうちいずれか1人で差し支えない。

10. 地域移行機能強化病棟について

①貴施設は地域移行機能強化病棟入院料の届出を行っていますか。(○は1つ)	
01. 届出をしている →②へ	02. 届出をしていない →⑦へ

【以下②～⑥の質問は、①で地域移行機能強化病棟入院料の「01.届出をしている」と回答した施設のみご回答ください。】

②地域移行機能強化病棟入院料の届出をした時期はいつですか。	
西暦()年()月	
③地域移行機能強化病棟に転換した病床種別は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)	
01. 精神病棟入院基本料 ⇒ 区分(01. 10 対 1 02. 13 対 1 03. 15 対 1 04. 18 対 1 05. 20 対 1 06. 特別)	
02. 特定機能病院入院基本料(精神病棟) ⇒ 区分(01. 7 対 1 02. 10 対 1 03. 13 対 1 04. 15 対 1)	
03. 精神科救急入院料 ⇒ 区分(01. 1 02. 2)	
04. 精神科急性期治療病棟入院料 ⇒ 区分(01. 1 02. 2)	
05. 精神科救急・合併症入院料	
06. 児童・思春期精神科入院医療管理料	
07. 精神療養病棟入院料	
08. 認知症治療病棟入院料 ⇒ 区分(01. 1 02. 2)	
09. その他 ()	
④地域移行機能強化病棟入院料の届出に当たり、どのように精神病床を削減する計画ですか。	
西暦()年()月までに精神病床()床を削減予定	
⑤地域移行機能強化病棟入院料の届出に当たり、精神病床の許可病床数の変更を行いましたか。(○は1つ)	
01. 変更を行った→()床削減	
02. 変更を行っていない	
⑥貴施設では、病床削減後に、どのようなサービス・事業を新たに実施したいと考えていますか。(下記の選択肢には法人種別により実施できないものも含まれています) (あてはまる番号すべてに○)	
01. 特にない	
【医療サービス】	
02. 精神科救急・急性期病床	
03. 重度かつ慢性等の精神障害者に医療を提供する病床	
04. 精神科外来	
05. 精神科デイ・ケア等	
06. 訪問診療	
07. 訪問看護	
08. 精神科以外の外来	
09. その他医療サービス()	
【介護サービス等】	
10. 短期入所療養介護	
11. 介護老人保健施設	
12. 介護老人福祉施設	
13. 軽費老人ホーム	
14. 養護老人ホーム	
15. 有料老人ホーム	
16. サ高住	
17. 認知症高齢者グループホーム	
18. その他介護サービス()	
【障害福祉サービス】	
19. 居宅介護	
20. 重度訪問介護	
21. 同行援護	
22. 行動援護	
23. 療養介護	
24. 生活介護	
25. 短期入所	
26. 重度障害者等包括支援	
27. 施設入所支援	
28. 自立訓練(機能訓練)	
29. 自立訓練(生活訓練)	
30. 就労移行支援	
31. 就労継続支援A型	
32. 就労継続支援B型	
33. 就労定着支援	
34. 自立生活援助	
35. 共同生活援助(グループホーム)	
36. 地域相談支援(地域移行支援・地域定着支援)	
37. 計画相談支援	
38. 基本相談支援	
39. その他障害福祉サービス()	

【以下⑦、⑧、⑧-1 の質問は、①で地域移行機能強化病棟入院料の「02.届出をしていない」と回答した施設のみご回答ください。】

⑦現在、地域移行機能強化病棟入院料の届出をしていない理由は何ですか。 (あてはまる番号すべてに○、最もあてはまる番号1つに◎)		
	あてはまる番号 番号すべてに ○	最もあてはま る番号1つに ◎
01. 長期入院患者がいない・少ない	01	01
02. 転換に適した病床がないため(精神科急性期病床のみ、精神病床が少ないなど)	02	02
03. 地域の入院需要に対応する上で精神病床を削減することが困難なため	03	03
04. 精神病床の削減は経営的に困難なため	04	04
05. 過去に届出を行っていたが取り下げた (取り下げた理由:)	05	05
06. 施設基準の要件を満たせないから →⑦-1へ	06	06
07. その他 (具体的に	07	07

⑦-1 施設基準のうち満たすことが難しい要件は何ですか。 (あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|--------------------------|------------------------|
| 01. 病棟配置の医師の確保 | 02. 病棟配置の看護職員の確保 |
| 03. 病棟配置の専従の常勤精神保健福祉士の確保 | 04. 病棟配置の作業療法士の確保 |
| 05. 常勤の公認心理師の配置 | 06. 退院支援部門の設置 |
| 07. 退院支援相談員の確保 | 08. 長期入院患者の退院が進んでいること |
| 09. 精神病床の減少 | 10. 地域生活を支援する関係機関等との連携 |
| 11. 自宅等退院患者が2.4%以上 | |

⑧今後、地域移行機能強化病棟入院料の届出を行う意向はありますか。(○は1つ)

- | |
|-----------------------------------|
| 01. 具体的な予定がある → 届出予定時期:西暦()年()月 |
| 02. (具体的な予定はないが、)届出を行う意向がある |
| 03. 検討中であり、まだわからない |
| 04. 届出を行う意向はない |
| 05. その他 (具体的に) |

⑧-1 どのような状況があれば、地域移行機能強化病棟入院料の届出をしようと思いますか。具体的にご記入ください。

--

1 1. 貴施設における退院支援部門の体制等

①貴施設では、退院支援※を担当する専門部署(地域移行推進室等名称は問わない)を設置していますか。(〇は1つ)

01. 設置している

02. 設置していない

※退院支援とは、関係職種によって退院支援計画の作成、退院先の検討、退院後の必要なサービスの紹介等を行うことをいいます。

②貴施設において、管理者等が特に困難と感じる退院支援業務等をお選びください。上位 **5 つまで** 選択してください。
(〇は5 つまで)

01. 困難な業務はない

退院後に必要な支援の検討に関する業務

- 02. 退院支援計画の作成
- 03. 退院支援計画の患者や家族等への説明
- 04. 保健所、指定特定・一般相談支援事業所の職員、障害福祉サービス事業者の職員、ピアサポーター等との連携
- 05. 訪問診療及び訪問看護の必要性の検討
- 06. 障害福祉サービスや介護保険サービス等の利用の必要性の検討
- 07. 後見人、保佐人または補助人の必要性の検討
- 08. 症状の悪化時等、トラブル時の対処方法や連絡先の一覧の作成
- 09. 日中の適切な活動場所の検討

退院に向けた訓練に関する業務

- 10. 地域生活を念頭に置いた実際的なプログラムの実施(家事能力や服薬管理等、日常生活に必要な能力を習得する訓練や外出等)
- 11. 服薬アドヒアランスの確認と安定に向けた介入
- 12. 居住先等での試験外泊や訓練の実施
- 13. 市区町村役所での諸手続きや居住先で必要な日用品購入等への同行
- 14. 活動場所への移動手段に応じた訓練
- 15. 退院前の精神科デイ・ケア等の実施
- 16. 退院前の訪問看護の実施

退院後に必要な資源の確保に関する業務

- 17. 通院医療機関の確保
- 18. 居住の場の検討と居住先の確保
- 19. 後見人、保佐人または補助人が必要時の申請の支援
- 20. 退院後の相談支援に応じる者の検討と確保

その他

- 21. その他()

③精神科退院時共同指導料の届出状況をご記入ください。(〇は1つ)

01. 届出をしている → ③ - 1 へ

02. 届出をしていない → ④ へ

【以下③-1から4の質問は、③で「01. 届出をしている」と回答した施設のみご回答ください。】

③-1 令和2年8月から10月の間における精神科退院時共同指導料の算定状況をご記入ください。(〇は1つ)

01. 算定している →以下の設問③-1-1に回答した後、③-2へ

③-1-1 算定実績および共同指導の実施状況をご記入ください。

	a. 令和2年8月から10月の算定回数	b.aの患者に対する共同指導に基づく多職種カンファレンスの開催回数	c. bのうちビデオ通話等による開催回数
1) 精神科退院時共同指導料1・イ(I)	回	回	bのうち 回
2) 精神科退院時共同指導料1・ロ(II)	回	回	bのうち 回
3) 精神科退院共同指導料2	回	回	bのうち 回

02. 算定していない →③-2へ

③-2 退院時に共同して指導を実施する医療機関との連携活動等の実施状況をご記入ください。(それぞれあてはまる番号1つに〇)

	容易に実施できる	ある程度容易に実施できる	どちらともいえない	実施はあまり容易ではない	実施は容易ではない
1) 入院医療を提供している医療施設として外来又は在宅医療を担う医療施設への声かけを行う	01	02	03	04	05
2) 外来又は在宅医療を担う医療施設として入院医療を提供している医療施設からの声かけを受ける	01	02	03	04	05
3) 外来又は在宅医療を担う医療施設として入院医療を提供している医療施設への声かけを行う	01	02	03	04	05

③-3 精神科退院時共同指導を行う多職種チームにおいて、以下の職種の参加状況についてご記入ください。(それぞれあてはまる番号1つに〇)

③-3-1 ＜貴施設が在宅療養担当施設である場合(貴施設が精神科退院時共同指導料1を算定する場合)＞ ※指導料1の算定が0回の場合は回答不要	すべてのケースで参加	半数以上のケースで参加	半数未満のケースで参加	参加しているケースはない
1) 貴施設の薬剤師	01	02	03	04
2) 貴施設の作業療法士	01	02	03	04
3) 貴施設の公認心理師	01	02	03	04
4) 貴施設の医師の指示を受けた訪問看護ステーションの保健師又は看護師	01	02	03	04
5) 貴施設の医師の指示を受けた訪問看護ステーションの作業療法士	01	02	03	04
6) 市町村等の担当者	01	02	03	04
7) その他の関係職種 (具体的に:)	01	02	03	04

③-3-2 ＜貴施設が入院医療を提供する施設である場合 （貴施設が 精神科退院時共同指導料2 を算定する場合）＞ ※指導料2の算定が0回の場合は回答不要	すべての ケースで 参加	半数以上の ケースで 参加	半数未満の ケースで 参加	参加している ケースは ない
1) 在宅療養担当医療機関の薬剤師	01	02	03	04
2) 在宅療養担当医療機関の作業療法士	01	02	03	04
3) 在宅療養担当医療機関の公認心理師	01	02	03	04
4) 在宅療養担当医療機関の医師の指示を受けた 訪問看護ステーションの保健師又は看護師	01	02	03	04
5) 在宅療養担当医療機関の医師の指示を受けた 訪問看護ステーションの作業療法士	01	02	03	04
6) 市町村等の担当者	01	02	03	04
7)その他の関係職種 (具体的に:)	01	02	03	04

③-4 医師、看護師、精神保健福祉士以外に多職種によるカンファレンスに参加している職種をご記入ください。 (それぞれあてはまる番号すべてに○)	
1)貴施設内	01. 薬剤師 02. 作業療法士 03. 公認心理師 04. その他の関係職種()
2)貴施設以外の施設、組織等	01. 薬剤師 02. 作業療法士 03. 公認心理師 04. 訪問看護ステーションの看護師等 05. 訪問看護ステーションの作業療法士 06. 市町村若しくは都道府県、保健所を設置する市又は特別区等の担当者 07. その他()

【以下④の質問は、③で「02. 届出をしていない」と回答した施設のみご回答ください。】

④届出をしていない理由についてご記入ください。(あてはまる番号すべてに○)
01. 専任の精神保健福祉士が1名以上配置されていることを満たせないため 02. 共同指導を行うことができる医療機関がないため 03. 多職種によるカンファレンスの開催が困難であるため 04. 支援計画の作成が困難であるため 05. その他()

【以下⑤、⑥の質問はすべての施設にお伺いします。】

⑤精神科退院時共同指導料の普及、充実を図るための方策、課題をご記入ください。

⑥精神疾患を有する患者の地域移行と地域定着を推進するため、今後、どのような取組が必要とお考えになりますか。

12. 貴施設における外来医療の状況

①貴施設の精神科外来に通院中の患者に対して、医師による診察以外に、医師以外の職種が、患者又はその家族等に対して、療養生活環境を整備するための相談等の支援を行うことはありますか。(〇は1つ)

01. ある →②へ

02. ない →⑥へ

【以下②～⑤の質問は、①で「01.ある」と回答した施設のみご回答ください】

②医師以外の職種が、具体的にどのような支援を行っていますか。主なものを5つまで選択してください。(〇は5つまで)

患者への支援提供

- 01. 居住の場の検討及び居住先の確保等、住まいに関係した相談支援
- 02. 後見人、保佐人または補助人の必要性の検討及び必要時の申請の支援
- 03. 服薬状況、副作用出現の有無等の確認や服薬支援
- 04. 症状悪化時の対処方法や緊急時連絡先の確認等の相談支援
- 05. 市区町村役所での諸手続きや居住先で必要な日用品購入等への同行
- 06. 日中の適切な活動場所の検討
- 07. 活動場所への移動手段に応じた訓練

院内・院外連携

- 08. 訪問診療及び訪問看護の必要性の検討及びサービス事業者等との連携調整
- 09. 障害福祉サービスや介護保険サービス等の利用の必要性の検討及びサービス事業者等との連携調整
- 10. 学校や職場等の関係機関との連絡調整
- 11. 保健所や精神保健福祉センター等の都道府県行政サービスとの連携調整
- 12. 基幹相談支援センター等の市区町村行政サービスとの連携調整

その他

- 13. その他()

③主にどの職種が支援を行っていますか。(あてはまる番号すべてに〇)

- 01. 保健師 02. 看護師 03. 精神保健福祉士 04. 薬剤師
- 05. 作業療法士 06. 公認心理師 07. その他(具体的に:)

④病棟専従の精神保健福祉士の他に、外来で相談業務を行う精神保健福祉士を配置していますか。(〇は1つ)

- 01. 配置していない 02. 配置している

⑤どのような場合に支援を行っていますか。(あてはまる番号すべてに〇)

- 01. 患者又は家族等からの求めがあった場合に行う
- 02. 担当医師の指示があった場合に行う
- 03. 全ての外来通院患者に行う
- 04. 後見人、保佐人または補助人の必要性の検討及び必要時の申請の支援
- 05. その他()

【以下⑥の質問はすべての施設にお伺いします。】

⑥療養生活環境整備指導加算の届出状況をご記入ください。(〇は1つ)

01. 届出している

→【「01」を選択した場合に回答】令和2年8月から10月までの間の算定回数、算定患者数(実人数)をご記入ください。】

算定回数: ()回

算定患者数(実人数:)人

02. 届出していない

⑥-1 ⑥で「02. 届出していない」と回答した施設にお伺いします。

施設基準等のうち満たすことが難しい要件としてあてはまるものをご記入ください。(あてはまる番号すべてに〇)

01. 専任の精神保健福祉士が1名以上勤務

02. 保健師、看護師又は精神保健福祉士が同時に担当する療養生活環境整備指導の対象患者の数が1人につき30人以下

03. 多職種が参加する3か月に1回のカンファレンスの開催

04. 退院時共同指導料1を算定した患者であること

05. その他()

【以下⑦の質問はすべての施設にお伺いします。】

⑦療養生活環境整備指導加算の実施に関する課題をご記入ください。

1 3. 在宅医療の状況について

①貴施設では、精神科在宅患者の往診を実施していますか。

01. 往診を実施している

→ 令和2年10月の実施回数:()回

令和2年10月に往診を行った実患者数:()人

02. 往診を実施していない

②貴施設では、精神科在宅患者の訪問診療を実施していますか。

01. 訪問診療を実施している

→ 令和2年10月の実施回数:()回

令和2年10月に訪問診療を行った実患者数:()人

02. 訪問診療を実施していない

③貴施設において、独自あるいは他の医療機関等との連携等により、24時間体制として整備されているものをご記入ください。(あてはまる番号すべてに〇)

01. 自施設のみで24時間往診の体制を確保

02. 他の医療機関と連携し24時間往診の体制を確保

03. 自施設のみで24時間の精神科訪問看護・指導(病院・診療所)の体制を確保

04. 他の医療機関と連携し24時間の精神科訪問看護・指導(病院・診療所)の体制を確保

05. 確保していない

④以下の施設基準のうち、届出を行っているものをご記入ください。(あてはまる番号すべてに〇)

01. 在宅療養支援病院(在支病)

02. 機能強化型在支病

03. 在宅時医学総合管理料(在総管)

04. 施設入居時等医学総合管理料(施設総管)

⑤ 貴施設では、「精神科在宅患者支援管理料」の施設基準の届出を行っていますか。(〇は1つ)

01. 届出をしている →以下の届出の種類に回答した後、⑤-1へ

→届出の種類 (あてはまる番号すべてに〇)

01. 精神科在宅患者支援管理料1 02. 精神科在宅患者支援管理料2 03. 精神科在宅患者支援管理料3

02. 届出をしていない →⑥へ

【以下⑤-1、2の質問は、⑤で精神科在宅患者支援管理料の「01. 届出をしている」と回答した施設のみご回答ください。】

⑤-1 「精神科在宅患者支援管理料」に基づく医学管理を実施する上で、連携する訪問看護ステーションがありますか。(〇は1つ)

01. ある → 連携事業所についてご回答ください:(01. 特別の関係※にあるもの 02. それ以外)
02. ない

※「特別の関係」とは、①開設者が同一、②代表者が同一、③代表者同士が親族等、④役員等のうち他の保険医療機関の役員等の親族等が3割超、⑤人事、資金等の関係により互いに重要な影響を与えうる場合をいう。

⑤-2 令和2年8月から10月の間における「精神科在宅患者支援管理料」の算定状況をご記入ください。(〇は1つ)

01. 算定している →⑤-2-1へ

02. 算定していない →⑥へ

⑤-2-1 「精神科在宅患者支援管理料」に基づく医学管理を実施している職員の体制(貴施設のみ)について職種別の実人数をご記入ください。

	常勤		非常勤	
	専従*	専任*	専従*	専任*
1) 医師	人	人	人	人
a. (うち)精神保健指定医	人	人	人	人
2) 保健師・看護師	人	人	人	人
3) 精神保健福祉士	人	人	人	人
4) 作業療法士	人	人	人	人
5) その他	人	人	人	人

※専従とは、原則として当該部署の業務のみに従事することをいいます。専任とは、当該部署での業務とその他の部署等での業務を兼務していることをいいます。

⑤-2-2 令和2年10月における「精神科在宅患者支援管理料」の算定件数をご記入ください。

	令和2年10月
1) 精神科在宅患者支援管理料 1	件
イ. 重症患者等のうち、集中的な支援を必要とする患者 (1) 単一建物診療患者 1人	件
イ. 重症患者等のうち、集中的な支援を必要とする患者 (2) 単一建物診療患者 2人以上	件
ロ. 重症患者等 (1) 単一建物診療患者 1人	件
ロ. 重症患者等 (2) 単一建物診療患者 2人以上	件
ハ. イ又はロ以外の患者 (1) 単一建物診療患者 1人	件
うち 2020年3月末時点で算定していた患者の算定件数	件
ハ. イ又はロ以外の患者 (2) 単一建物診療患者 2人以上	件
うち 2020年3月末時点で算定していた患者の算定件数	件

2)精神科在宅患者支援管理料 2		件
イ. 重症患者等のうち、集中的な支援を必要とする患者 (1)単一建物診療患者 1人		件
イ. 重症患者等のうち、集中的な支援を必要とする患者 (2)単一建物診療患者 2人以上		件
ロ. 重症患者等 (1)単一建物診療患者 1人		件
ロ. 重症患者等 (2)単一建物診療患者 2人以上		件
3)精神科在宅患者支援管理料 3		件
イ. 単一建物診療患者 1人		件
ロ. 単一建物診療患者 2人以上		件

⑤-2-3 令和2年8月から10月の間における精神科退院時共同指導料に基づく各種カンファレンスの開催回数、対象実患者数、参加職種をご記入ください。

a. チームカンファレンス ※令和2年8月から10月の間	1)開催回数					回
	うちビデオ通話等により実施					回
	2)対象実患者数	実患者数:				人
	3)参加職種 (それぞれあてはまる番号1つに○)	すべての ケースで 参加	半数以上の ケースで 参加	半数未満の ケースで 参加	参加している ケースは ない	
	a. 精神科医	01	02	03	04	
	b. 看護師または保健師	01	02	03	04	
	c. 精神保健福祉士	01	02	03	04	
d. 作業療法士	01	02	03	04		
b. 共同カンファレンス ※令和2年8月から10月の間	1)開催回数					回
	うちビデオ通話等により実施					回
	2)対象実患者数	実患者数:				人
	3)参加職種 (それぞれあてはまる番号1つに○)	すべての ケースで 参加	半数以上の ケースで 参加	半数未満の ケースで 参加	参加している ケースは ない	
	a. 精神科医	01	02	03	04	
	b. 看護師または保健師	01	02	03	04	
	c. 精神保健福祉士	01	02	03	04	
d. 作業療法士	01	02	03	04		
e. 保健所又は保健センター	01	02	03	04		

【以下⑥の質問は、⑤で精神科在宅患者支援管理料の「02. 届出をしていない」と回答した施設のみご回答ください。】

⑥貴施設では「精神科在宅患者支援管理料」の届出意向はありますか。(○は1つ)
01. 具体的な予定がある → 届出予定時期: 西暦()年()月
02. (具体的な予定はないが、)届出を行う意向がある
03. 検討中であり、まだわからない
04. 届出を行う意向はない
05. その他 ()

14. 精神科訪問看護の状況

①貴施設は精神科訪問看護を行っていますか。(〇は1つ)

01. 病院(貴施設)が行っている →②へ
 02. 病院(貴法人)設置の訪問看護ステーションが行っている →⑩へ
 03. 行っていない →⑩へ

【以下②～⑩の質問は、①で「01. 病院(貴施設)が行っている」と回答した施設のみお答えください。】

②精神科訪問看護に携わる職員数(常勤換算*)をお答えください。(病棟看護職員による退院前訪問看護は含みません。)

	1)保健師・ 看護師	2)准看護師	3)作業療法士	4)精神保健 福祉士	5)その他	6)合計
a. 令和元年 10 月
b. 令和 2 年 10 月

*非常勤職員・兼務職員の「常勤換算」は以下の方法で計算してください。(小数点以下第1位まで)

■1週間に数回勤務の場合：(非常勤職員の1週間の勤務時間)÷(貴施設が定めている常勤職員の1週間の勤務時間)

■1か月に数回勤務の場合：(非常勤職員の1か月の勤務時間)÷(貴施設が定めている常勤職員の1週間の勤務時間×4)

②-1 上記②で「その他」に職員数を記入された場合、具体的な職種をお答えください。

③令和2年10月1か月間の精神科訪問看護を実施した患者数(実人数)

	実人数	人
④ 上記③のうち、身体疾患を有する患者数(実人数)	実人数	人
⑤ 上記③のうち、他の精神科療法を行った患者数(実人数)	実人数	人

⑥令和2年10月25日～10月31日の1週間の精神科訪問看護の患者について、週当たりの訪問回数別に患者数(実人数)をお答えください。

週1回	週2回	週3回	週4回	週5回以上	合計
実人数 人	実人数 人	実人数 人	実人数 人	実人数 人	実人数 人

⑦令和2年10月1か月間の精神科訪問看護の時間区分ごとの算定患者数(人)と算定回数(回)をお答えください。

	1)30分未満	2)30分以上	3)合計
a. 精神科訪問看護・指導料(I)	人 回	人 回	人 回
b. (うち)保健師又は看護師による算定回数	人 回	人 回	人 回
c. (うち)作業療法士による算定回数	人 回	人 回	人 回
d. (うち)精神保健福祉士による算定回数	人 回	人 回	人 回
e. (うち)准看護師による算定回数	人 回	人 回	人 回
f. 精神科訪問看護・指導料(Ⅲ)(同一建物居住者)	人 回	人 回	人 回
g. (うち)保健師又は看護師による算定回数	人 回	人 回	人 回
h. (うち)作業療法士による算定回数	人 回	人 回	人 回
i. (うち)精神保健福祉士による算定回数	人 回	人 回	人 回
j. (うち)准看護師による算定回数	人 回	人 回	人 回

⑧令和2年10月における精神科訪問看護の患者(上記③の患者数)のうち、複数名精神科訪問看護・指導加算を算定した患者数と算定回数		1)算定患者数	2)算定回数
	a. 1日に1回	人	回
	b. 1日に2回	人	回
	c. 1日に3回以上	人	回

⑨上記⑧について、複数名訪問が必要である理由と、同行者の職種ごとに、算定患者数をお答えください。

【複数名訪問が必要である理由】

理由1) 暴力行為、著しい迷惑行為、器物破損行為等が認められる者
理由2) 利用者の身体的理由により一人の看護師等による訪問看護が困難と認められる者
理由3) 利用者及びその家族それぞれへの支援が必要な者
理由4) その他

	1)保健師・看護師	2)准看護師	3)看護補助者	4)作業療法士	5)精神保健福祉士	6)その他
a. 理由1)	人	人	人	人	人	人
b. 理由2)	人	人	人	人	人	人
c. 理由3)	人	人	人	人	人	人
d. 理由4)	人	人	人	人	人	人
理由4)の具体的な内容	「その他」の具体的な内容(職種)					

⑩令和2年10月1か月間の精神科訪問看護の患者について、月の初日の訪問看護時におけるGAF尺度により判定した値ごとに、該当患者数をお答えください。

100~91点	90~81点	80~71点	70~61点	60~51点	50~41点
人	人	人	人	人	人
40~31点	30~21点	20~11点	10~1点	0点	
人	人	人	人	人	

⑪令和2年10月1日時点の貴施設における訪問看護に従事する精神科認定看護師等の人数(実人数)をお答えください。

※以降の設問において「精神科認定看護師等」とは、右記の3種類を指します。

	精神科認定看護師等	実人数
	1)精神科認定看護師(日本精神科看護協会)	人
	2)「精神看護」の専門看護師(日本看護協会)	人
	3)「認知症看護」の認定看護師(日本看護協会)	人

【上記⑪のいずれかの項目で1人以上をお答えいただいた方は、以下の質問⑫~⑭にお答えください。】

⑫令和2年10月1か月間の精神科認定看護師等による精神科訪問看護の実施状況をお答えください。

	1)精神科訪問看護の実施回数	回	
	2)訪問看護ステーションや他医療機関との同行訪問回数	回	
	3)訪問看護ステーションや他医療機関へのコンサルテーション [※] の実施回数	回	
	a. (うち)訪問看護ステーション又は他医療機関へ出向いて実施	回	
	b. (うち)自施設で実施	回	
	c. (うち)ICTを活用して実施 ※具体的な実施方法別に回数をお答えください	c-1)ビデオ通話	回
		c-2)電話	回
c-3)メール等		回	
d. (うち)上記以外の方法で実施	回		
具体的な方法()			

注：患者宅への同行訪問ではなく、訪問看護ステーションや他医療機関の看護職員に対して、個々の患者のケアについて、訪問看護ステーション等の相談先に出向いての相談対応や、ビデオ通話や電話等による相談対応を行うことを指す。

⑬上記⑫について、精神科認定看護師等が実施したケアの内容をお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

【疾患別】

- | | | | |
|-----------|----------|--------------|-----------|
| 01. 統合失調症 | 02. 気分障害 | 03. アルコール依存症 | 04. 双極性障害 |
| 05. 不安障害 | 06. 発達障害 | 07. 強迫性障害 | 08. 摂食障害 |
| 09. 薬物依存 | 10. 認知症 | 11. その他(具体的に |) |

【年代別】

- | | | |
|----------------|----------------|----------------|
| 12. 10歳未満 | 13. 10歳以上20歳未満 | 14. 20歳以上40歳未満 |
| 15. 40歳以上65歳未満 | 16. 65歳以上 | |

【精神疾患の病期別】

- | | |
|------------------------|-------------|
| 17. 慢性期 | 18. 急性期退院直後 |
| 19. その他病期を区切ったもの(具体的に: |) |

【目的別】

- | | |
|-------------------|------------------------|
| 20. 家事等、日常生活技能の習得 | 21. 症状や再発サインへの対処スキルの獲得 |
| 22. 疾病と治療についての理解 | 23. 復職支援 |
| 24. 服薬アドヒアランスの向上 | 25. レクリエーション |
| 26. 自己存在感を培う場所の確保 | 27. 人間関係構築の支援 |
| 28. 就学・就労支援 | 29. 家族等への支援 |
| 30. 身体疾患へのケア | |
| 31. その他(具体的に: |) |

⑭⑫以外の精神科認定看護師等による活動をお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|---------------------------|---------------------------|
| 01. 研修の開催(自施設職員向け) | 02. 研修の開催(施設外を含む精神科関係者向け) |
| 03. セミナー・相談会の開催(患者及び家族向け) | 04. セミナー・相談会の開催(地域住民向け) |
| 05. その他(|) |

⑮貴施設では、24時間365日対応可能な体制を確保していますか。(○は1つ)

01. 自施設のみで体制を確保
02. 自施設のみで体制を確保(相談対応のみ)
03. 他医療機関や訪問看護ステーションと連携し、地域として体制を確保
04. 他医療機関や訪問看護ステーションと連携し、地域として体制を確保(相談対応のみ)
05. 確保していない

⑮-1 ⑮で「05」を選択した施設にお伺いします。体制を確保されていない理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

- | |
|---------------------------------|
| 01. 自施設で対応する精神科医の不足 |
| 02. 自施設で対応する看護職員等の不足 |
| 03. 連携可能な他医療機関や訪問看護ステーションの不在・不足 |
| 04. その他(具体的に |
|) |

	1)算定実人数	2)算定回数
⑯令和2年4月～10月に、新型コロナウイルス感染症患者および疑い患者に必要な感染予防策を講じて訪問看護・指導を行った場合に算定する在宅移行管理加算を算定した人数(実人数)*1および算定回数をお答えください。	実人数 人	回
⑰令和2年4月～10月に、電話等での訪問看護・指導を行った場合に算定する訪問看護・指導体制充実加算を算定した人数(実人数)*2および算定回数をお答えください。	実人数 人	回

※1 「新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取扱いについて(その2 1)」(令和2年6月10日付事務連絡)問1に定められる患者を指す。

※2 「新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取扱いについて(その2 1)」(令和2年6月10日付事務連絡)問2に定められる患者を指す。

【以下の質問は、すべての施設にお伺いします。】

⑳令和2年度の精神科訪問看護に関する診療報酬項目の改定について、ご意見がありましたら具体的にご記入ください。

病院票の質問は以上です。ご協力いただきまして誠にありがとうございました。

令和2年12月28日(月)までに

「各種調査票配布に際してのお願い」に記載された方法に従ってご提出ください。

令和2年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査（令和2年度調査）

精神医療等の実施状況調査

※この病棟票は、病棟の管理者の方に精神医療の診療体制や実施状況、今後の意向等についてお伺いするものです。
 ※以下の【調査対象病棟】に記載した入院基本料等を算定している病棟についてご記入ください。以下の入院基本料別に、「各種調査票配布に際してのお願い」の「Ⅲ. ご回答者および回収方法」に沿って対象病棟を抽出のうえ病棟票を作成ください（該当する病棟がない場合は、その入院基本料についての病棟票は、回答不要です）。

※ご回答の際は、**あてはまる番号を○（マル）で囲んでください**。また、（ ）内には**具体的な数値、用語等**をご記入ください。（ ）内に数値を記入する設問で、**該当なしは「0（ゼロ）」を、わからない場合は「-」**をご記入ください。

※特に断りのない質問については、**令和2年10月1日時点**の状況についてご記入ください。

【調査対象病棟】

- 精神科救急入院料
- 精神科急性期治療病棟入院料
- 精神科救急・合併症入院料
- 精神病棟入院基本料（10対1、13対1、15対1）
- 精神療養病棟入院料

1. 入院基本料等について

① 当該病棟の入院基本料等をお選びください。 （○は1つ。また、選択肢「04」の場合は、該当する配置基準にも○）	01. 精神科救急入院料 02. 精神科急性期治療病棟入院料 03. 精神科救急・合併症入院料 04. 精神病棟入院基本料 ⇒ { 41. 10対1 42. 13対1 43. 15対1 } 05. 精神療養病棟入院料
② 当該病棟の許可病床数をご記入ください。	()床
③ 貴施設が届出を行っている入院基本料等加算をお選びください。 （あてはまる番号すべてに○。また、選択肢「12」「13」「14」の場合は、該当する区分にも○）	
01. 精神科応急入院施設管理加算 03. 精神科救急搬送患者地域連携紹介加算 05. 精神疾患診療体制加算 07. 精神科身体合併症管理加算 08. 精神科リエゾンチーム加算 10. 重度アルコール依存症入院医療管理加算 12. 精神科急性期医師配置加算 ⇒ 区分(a. 1 b. 2 イ c. 2 ロ d. 3) 13. 診療録管理体制加算 ⇒ 区分(a. 1 b. 2) 14. データ提出加算 ⇒ 区分(a. 1 b. 2 c. 3 d. 4)	02. 精神病棟入院時医学管理加算 04. 精神科救急搬送患者地域連携受入加算 06. 精神科地域移行実施加算 09. 強度行動障害入院時医療管理加算 11. 摂食障害入院医療管理加算 15. 栄養サポートチーム加算

2. 新型コロナウイルス感染症患者*の受け入れ状況（令和2年10月の1か月間）

01. 有 () 人	02. 無
-------------	-------

※新型コロナウイルス感染症の疑似症と診断された患者を含む。

3. 入院患者の状況

① 令和2年10月30日における当該病棟の全ての入院患者について、以下の該当する人数をご記入ください。なお、年齢階級別の合計、在院期間別の合計、主たる疾患別の合計、GAF尺度のスコア別の合計は、令和2年10月30日時点での1)の在院患者数と同じ数値になるようにしてください。

1)①で回答した病棟における令和2年10月30日時点での在院患者数		(合計)	人
2) 年齢階級別	a. 20歳未満		人
	b. 20歳以上40歳未満		人
	c. 40歳以上65歳未満		人
	d. 65歳以上75歳未満		人
	e. 75歳以上		人
3) 在院期間別	a. 1週間未満		人
	b. 1週間以上2週間未満		人
	c. 2週間以上1か月未満		人
	d. 1か月以上2か月未満		人
	e. 2か月以上3か月未満		人
	f. 3か月以上6か月未満		人
	g. 6か月以上1年未満		人
	h. 1年以上5年未満		人
	i. 5年以上		人
4) 主たる疾患別	a. 認知症(他の精神疾患によるものは除く)(F00-03)		人
	b. その他の症状性を含む器質性精神障害(F04-09)		人
	c. アルコールによる精神・行動の障害(F10)		人
	d. その他の精神作用物質による精神・行動の障害(F11-19)		人
	e. 統合失調症(F20)		人
	f. その他の精神病性障害(F21-29)		人
	g. 気分(感情)障害(F3)		人
	h. 神経症性・ストレス関連・身体表現性障害(F4)		人
	i. 生理的障害・身体的要因に関連した行動症候群(F5)		人
	j. 成人の人格・行動の障害(F6)		人
	k. 知的障害(精神遅滞)(F7)		人
	l. 心理的発達の障害(F8)		人
	m. 小児期・青年期に通常発症する行動・情緒の障害(F90-98)		人
	n. 詳細不明の精神障害(F99)		人
o. てんかん(G40)		人	
5) GAF尺度のスコア別	a. 91~100		人
	b. 81~90		人
	c. 71~80		人
	d. 61~70		人
	e. 51~60		人
	f. 41~50		人
	g. 31~40		人
	h. 21~30		人
	i. 11~20		人
	j. 1~10		人
	k. 0		人
6) 向精神薬の使用			
a. 主傷病に対して薬物療法を受けている患者数			人
b. (うち)クロザピンを投与している患者数			人
c. (うち)持続性抗精神病注射薬剤(LAI)を投与している患者数			人
d. (cのうち)非定型LAIを投与している患者数			人
7) 個室を使用している患者数			人
8) 精神保健福祉法上の行動制限中の患者数	a. 保護隔離中		人
	b. 身体拘束中		人

②令和2年10月の1か月間について、当該病棟に入院した患者数をご記入ください。	
1) 当該病棟における新規入院患者数	人
a. (うち)任意入院	人
b. (うち)医療保護入院	人
c. (うち)措置入院	人
d. (うち)緊急措置入院	人
e. (うち)応急入院	人

③令和2年10月の1か月間について、当該病棟から退院・転院した患者数をご記入ください。	
1) 当該病棟における退院・転院患者数	人
a. (うち)自宅(親族の家含む)・賃貸住宅など	人
b. (うち)他の医療機関の精神科病棟	人
c. 【再掲】特別な関係にある施設	人
d. (うち)他の医療機関の精神科病棟以外の病棟	人
e. 【再掲】特別な関係にある施設	人
f. (うち)共同生活援助(グループホーム)	人
g. 【再掲】特別な関係にある施設	人
h. (うち)介護老人保健施設	人
i. 【再掲】特別な関係にある施設	人
j. (うち)介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	人
k. 【再掲】特別な関係にある施設	人
l. (うち)介護医療院	人
m. 【再掲】特別な関係にある施設	人
n. (うち)その他精神障害者施設等	人
o. 【再掲】特別な関係にある施設	人
p. (うち)死亡退院患者数	人

④令和2年10月の1か月間について、当該病棟において持続性抗精神病注射薬剤(LAI)の投与を開始した人数をご記入ください。	
1) 当該病棟における持続性抗精神病注射薬剤(LAI)の投与開始人数	人

4. クロザピンの導入について

①令和2年4月から9月の間にクロザピンを新規導入した患者数について、患者数及びそのうちクロザピンの新規導入を目的として当該病棟に転棟(または他病院から転院)した患者数を月別にご記入ください。 (実績がない場合は、0(ゼロ)をご記入ください。)							
令和2年		4月	5月	6月	7月	8月	9月
a.	クロザピン新規導入患者数	人	人	人	人	人	人
b.	うちクロザピンの新規導入を目的として当該病棟に転入した患者数	人	人	人	人	人	人
c. bに該当する患者の転入前の病院/病棟	c-1. 自院の他の精神科病棟	人	人	人	人	人	人
	c-2. 自院の他の精神科病棟以外の病棟	人	人	人	人	人	人
	c-3. 他病院	人	人	人	人	人	人

5. 身体合併症の対応状況について

①令和2年10月1か月間に、該当病棟に入院した、疾患別人数をご記入ください。
(該当患者がない場合は、0(ゼロ)をご記入ください。)

a. 精神科身体合併症管理加算を算定した実患者数 ※算定患者がない場合は0(ゼロ)を記入	人
b. 呼吸系疾患	人
c. うち 新型コロナウイルス感染症*	人
d. うち 新型コロナウイルス感染症の疑似症と診断された患者	人
e. 心疾患	人
f. 手術又は直達・介達牽引を要する骨折	人
g. 骨髄損傷	人
h. 重篤な内分泌・代謝性疾患	人
i. 重篤な栄養障害	人
j. 意識障害	人
k. 全身感染症	人
l. 中枢神経系の感染症	人
m. 急性腹症	人
n. 劇症肝炎又は重症急性膵炎	人
o. 悪性症候群又は横紋筋融解症	人
p. 広範囲(半肢以上)の熱傷	人
q. 手術、化学療法若しくは放射線療法を要する状態又は末期の悪性腫瘍	人
r. 透析導入時	人
s. 重篤な血液疾患	人
t. 急性かつ重篤な腎疾患	人
u. 手術室での手術をを必要とする状態	人
v. 膠原病	人
w. 妊産婦	人
x. 難病の患者に対する医療等に関する法律第5条第1項に規定する指定難病	人

※新型コロナウイルス感染症の疑似症と診断された患者を含む。

病棟票の質問は以上です。ご協力いただきまして誠にありがとうございました。

令和2年12月28日(月)までに

「各種調査票配布に際してのお願い」に記載された方法に従ってご提出ください。

令和2年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査（令和2年度調査）

精神医療等の実施状況調査

※この入院患者票は、入院患者の状況・状態等について、当該患者の入院病棟の管理者の方にお伺いするものです。
 ※令和2年10月1日（木）時点で貴施設に入院していた患者について、「各種調査票配布に際してのお願い」の「Ⅲ. ご回答者および回収方法」の条件に沿って抽出の上、ご記入ください。

※ご回答の際は、**あてはまる番号を○（マル）で囲んでください。**また、（ ）内には**具体的な数値、用語等**をご記入ください。（ ）内に数値を記入する設問で、**該当なしは「0（ゼロ）」を、わからない場合は「-」**をご記入ください。

※特に断りのない質問については、**令和2年10月1日時点**の状況についてご記入ください。

1. 入院患者の基本属性（それぞれあてはまる番号1つに○）

①入院基本料の種類および入院期間	①-1 入院していた病棟の入院基本料の種類			
	01. 精神科救急入院料	02. 精神科急性期治療病棟入院料		
	03. 精神科救急・合併症入院料			
	04. 精神病棟入院基本料	05. 精神療養病棟入院料		
	⇒（ 41.10 対 1 42.13 対 1 43.15 対 1 ）			
	①-2 入院期間			
	01. 1年未満	02. 1年以上5年未満	03. 5年以上	
②性別	01. 男性	02. 女性	③年齢	（10月1日現在） ____ 歳
④精神障害手帳	01. 手帳をもっていない	02. 1級	03. 2級	04. 3級 05. 申請中
⑤障害年金	01. 受給している	02. 受給していない		03. 申請中
⑥生活保護	01. 受給している	02. 受給していない		03. 申請中
⑦障害支援区分	01. 未申請	02. 申請中	03. 区分1	04. 区分2
	05. 区分3	06. 区分4	07. 区分5	08. 区分6
	09. 非該当	10. 不明		

2. 入院時の状況

①今回の入院日	西暦 ____ 年 ____ 月 ____ 日頃	②現在の病棟の入棟日	西暦 ____ 年 ____ 月 ____ 日頃
③精神科・神経科の初診日（他の医療機関を含む）	西暦 ____ 年 ____ 月 ____ 日頃	④前回（直近）の退院日	西暦 ____ 年 ____ 月 ____ 日頃
⑤精神科・神経科への通算入院回数	____ 回目・不明	⑥精神科・神経科への通算入院期間	____ 年 ____ か月・不明
⑦入院前の居場所（○は1つ）	01. 自宅、賃貸住宅など（家族と同居） 02. 自宅、賃貸住宅など（一人暮らし） 03. 自院の精神科病棟以外の病棟 04. 他の医療機関の精神科病棟 05. 他の医療機関の精神科病棟以外の病棟 06. 介護老人保健施設 07. 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム） 08. 介護医療院 09. 認知症高齢者グループホーム 10. 有料老人ホーム・軽費老人ホーム・サ高住 11. 障害者グループホーム 12. 障害者支援施設 13. その他（ ） 14. 不明		
⑧直近の在宅療養期間における、精神科訪問看護の利用の有無（○は1つ）	01. あり 02. なし		
⑨現在入院している病棟における主な入院の理由（○は2つまで）	01. 精神症状が強いため 02. セルフケアに著しい問題があるため 03. 迷惑行為・他害行為の危険性が高いため 04. 自傷行為・自殺企図の危険性が高いため 05. 治療・服薬への抵抗が強いため 06. 身体合併症の治療のため 07. 家族が入院を希望するため 08. 退院後の居住先が確保できていないため 09. 退院後の日常生活の支援が得られないため 10. その他（ ）		
⑩今回の入院時の入院形態（○は1つ）	01. 任意入院 02. 医療保護入院 03. 措置入院 04. 緊急措置入院 05. 応急入院		
⑪患者のGAF尺度（○は1つ）	01. 情報あり →（GAF尺度：____） 02. 不明		

3. 現在の状況

①現在の入院形態※ (○は1つ)	01. 任意入院 03. 措置入院 05. 応急入院	02. 医療保護入院 04. 緊急措置入院
②現在の処遇 (○は1つ)	01. 開放処遇	02. 閉鎖処遇
③個室の使用状況 (○は1つ)	01. 個室	02. それ以外
④行動制限の状況 (○は1つ)	01. 隔離 03. なし	02. 拘束
⑤主傷病 (○は1つ)	01. 認知症(他の精神疾患によるものは除く)(F00-03) 03. アルコールによる精神・行動の障害(F10) 05. 統合失調症(F20) 07. 気分(感情)障害(F3) 09. 生理的障害・身体的要因に関連した行動症候群(F5) 11. 知的障害(精神遅滞)(F7) 13. 小児期・青年期に通常発症する行動・情緒の障害(F90-98) 15. てんかん(G40)	02. その他の症状性を含む器質性精神障害(F04-09) 04. その他の精神作用物質による精神・行動の障害(F11-19) 06. その他の精神病性障害(F21-29) 08. 神経症性・ストレス関連・身体表現性障害(F4) 10. 成人の人格・行動の障害(F6) 12. 心理的発達の障害(F8) 14. 詳細不明の精神障害(F99)
⑥主傷病以外の精神疾患の傷病 (<u>あてはまる番号すべてに○</u>)	01. なし 03. その他の症状性を含む器質性精神障害(F04-09) 05. その他の精神作用物質による精神・行動の障害(F11-19) 07. その他の精神病性障害(F21-29) 09. 神経症性・ストレス関連・身体表現性障害(F4) 11. 成人の人格・行動の障害(F6) 13. 心理的発達の障害(F8) 15. 詳細不明の精神障害(F99)	02. 認知症(他の精神疾患によるものは除く)(F00-03) 04. アルコールによる精神・行動の障害(F10) 06. 統合失調症(F20) 08. 気分(感情)障害(F3) 10. 生理的障害・身体的要因に関連した行動症候群(F5) 12. 知的障害(精神遅滞)(F7) 14. 小児期・青年期に通常発症する行動・情緒の障害(F90-98) 16. てんかん(G40)
⑦身体合併症 ^{注1} の有無(○は1つ)	01. あり	02. なし

上記⑦で「01.あり」を選択した場合のみ ⑦-1 身体合併症の種類 (<u>あてはまる番号すべてに○</u>)	01. 新型コロナウイルス感染症によるもの ^{注2} 03. 心疾患(虚血性心疾患など) 05. 脊椎損傷の患者 07. 重篤な栄養障害(Body Mass Index 13未満の摂食障害) 09. 全身感染症(結核、梅毒、敗血症等) 11. 劇症肝炎または重症急性膵炎 13. 広範囲(半肢以上)熱傷 15. 透析導入時の患者 17. 急性かつ重篤な腎疾患(急性腎不全、ネフローゼ症候群または糸球体腎炎) 19. 膠原病(専門医による管理を必要とする状態) 21. その他()	02. 呼吸器系疾患(肺炎、喘息発作、肺気腫) ※新型コロナウイルス感染症によるもの以外 04. 手術または直達・介達牽引を要する骨折 06. 重篤な内分泌・代謝性疾患 08. 意識障害(急性薬物中毒、アルコール精神障害等) 10. 急性腹症(消化管出血、イレウス等) 12. 悪性症候群または横紋筋融解症 14. 手術、化学療法または放射線療法を要する悪性腫瘍 16. 重篤な血液疾患 18. 手術室での手術を必要とする状態 20. 妊産婦
---	---	---

⑧身体合併症 ^{注1} に対する主な対応状況 (○は1つ)	01. 治療を要する身体合併症なし 03. 自院の他科 ^{注3} の医師が対応	02. 精神科・神経科の医師が対応 04. 他院の医師が対応
---	---	-----------------------------------

注1. 経過観察中の疾患は除く。

注2. 新型コロナウイルス感染症の疑似症と診断された患者を含む。

注3. 入院時の主治医(精神科・神経科)以外の診療科を指す。

4. 現在の患者の状態等

(1) 精神疾患の状況

①現在の状況 (<u>あてはまる番号すべてに○</u>)	01. 精神症状が強い	02. セルフケアに著しい問題がある
	03. 迷惑行為・他害行為の危険性が高い	04. 自傷行為・自殺企図の危険性が高い
②患者の GAF 尺度	05. 治療・服薬への抵抗が強い	06. 身体合併症の治療が必要
	07. 家族が入院を希望する	08. 退院後の居住先が確保できていない
③クロザピン及び持続性抗精神病注射薬剤 (LAI) の処方内容 ※主治医にご確認ください (令和2年10月の1か月間)	09. 退院後の日常生活の支援が得られない	10. その他()
	②患者の GAF 尺度	現時点 ()
③クロザピン及び持続性抗精神病注射薬剤 (LAI) の処方内容 ※主治医にご確認ください (令和2年10月の1か月間)	1) クロザピンの使用	01. あり 02. なし
	→「01. あり」の場合 現在の投与量 (○は1つ)	a-1. 1日あたり()mg a-2. 1日()回の投与
	2) LAI の処方	01. あり 02. なし
	a. 非定型 LAI の薬剤の使用有 (○は1つ)	01. あり 02. なし
④要介護度 (○は1つ)	→a が「01. あり」の場合	01. リスパダールコンスタ 02. ゼプリオン
	b. 非定型 LAI の投与中の薬剤の種類 (<u>あてはまる番号すべてに○</u>)	03. エビリファイ

(2) 日常生活自立度等

①認知症高齢者の日常生活自立度 (○は1つ)	01. 自立	02. I	03. II	04. II a	05. II b	06. III
②障害高齢者の日常生活自立度 (○は1つ)	07. III a	08. III b	09. IV	10. M	11. 不明	
③ADL 区分 注 (○は1つ)	01. J(生活自立)	02. A(準寝たきり)	03. B(寝たきり)	04. C(寝たきり)		
④要介護度 (○は1つ)	01. ADL 区分 1	02. ADL 区分 2	03. ADL 区分 3	04. 不明		
	01. 非該当	02. 未申請	03. 申請中	04. 自立	05. 要支援 1・2	
	06. 要介護 1	07. 要介護 2	08. 要介護 3	09. 要介護 4	10. 要介護 5	
	11. 不明					

注：療養病棟入院基本料の ADL 区分

5. 退院の見通しと退院支援の状況

①退院後に同居する意思のある家族の有無(○は1つ)	01. あり	02. なし	03. 家族の意思不明
②退院後の居住先(自宅・グループホーム・介護施設等)の確保状況(○は1つ)	01. 確保済み	02. 未確保	
③どのような状況であれば退院が可能となりますか (○は1つ)	01. 精神疾患が軽快すれば退院可能	02. 身体合併症が軽快すれば退院可能	03. 精神疾患と身体合併症が両方も軽快すれば退院可能
	04. 精神疾患または身体合併症が軽快した上で居住先や退院後に必要な支援等が確保できれば退院可能	05. その他()	
④予想される入院期間 (○は1つ)	01. 1か月以内	02. 1か月超～3か月以内	03. 3か月超～6か月以内
	04. 6か月超～1年以内	05. 1年超～5年以内	06. 5年超

上記④で 03～06 を選択した場合のみ ⑤入院期間が 3 か月超となる主な理由 (○は2つまで)	01. 精神疾患の治療に時間を要するため	02. 身体合併症の治療に時間を要するため
	03. 患者の経済的理由のため	04. 家族が入院を希望するため
	05. 同居家族がいないため	06. 転院先、入所先または居住先が見つからないため
	07. 退院後に必要な支援やサービスが確保できないため	08. その他()

⑥退院先の予定 (〇は1つ)	01. 退院は考えられない 02. 自宅、賃貸住宅など(家族と同居) 03. 自宅、賃貸住宅など(一人暮らし) 04. 介護老人保健施設 05. 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム) 06. 介護医療院 07. 認知症高齢者グループホーム 08. 有料老人ホーム・軽費老人ホーム・サ 高住 09. 障害者グループホーム 10. 障害者支援施設 11. その他()
⑦直近の退院支援委 員会等(退院支援に 向けたカンファレンス を含む)の参加者 (あてはまる番号すべ てに〇)	【患者・家族等】 01. 患者 02. 患者家族等 【貴医院の職員】 03. 医師 04. 保健師・助産師・看護師 05. 精神保健福祉士 06. 作業療法士 07. 公認心理師 08. 社会福祉士 09. 介護職員 10. その他の職員 【地域の支援者等】 11. 保健所職員 12. 指定特定相談支援事業所(計画相談支援)の職員 13. 指定一般相談支援事業所(地域移行支援又は地域定着支援)の職員 14. 障害福祉サービス事業者の職員 15. 居宅介護支援事業所の職員 16. 地域包括支援センターの職員 【その他】 17. ピアサポーター 18. その他()
⑧退院後に生活を継続 するために必要な支 援等 (あてはまる番号すべ てに〇)	01. 退院は考えられない 02. 薬物療法 03. 精神療法 04. 精神科退院時共同指導 05. 精神科デイ・ケア等 06. 訪問診療 07. 精神科訪問看護 【介護保険サービス】 08. 訪問介護 09. 訪問看護 10. 訪問リハビリテーション 11. 通所介護 12. 短期入所療養介護 13. 短期入所生活介護 14. 通所リハビリテーション 15. 福祉用具貸与 16. 住宅改修 17. 地域生活事業 【障害福祉サービス】 18. 居宅介護 19. 重度訪問介護 20. 同行援護 21. 行動援護 22. 療養介護 23. 生活介護 24. 短期入所 25. 重度障害者等包括支援 26. 施設入所支援 27. 自立訓練(機能訓練) 28. 自立訓練(生活訓練) 29. 就労移行支援 30. 就労継続支援A型 31. 就労継続支援B型 32. 就労定着支援 33. 自立生活援助 34. 共同生活援助(グループホー ム) 35. 地域相談支援(地域移行支 援・地域定着支援) 36. 計画相談支援 37. 基本相談支援 【その他】 38. 地域生活支援事業 39. その他()

以下の設問⑨は、上記⑧で「07. 精神科訪問看護」を選択した場合のみお答えください。

⑨退院後に精神科訪問 看護が必要な場合、 必要な頻度 (〇は1つ)	01. 24 時間体制での対応が必要 02. 日中のみ連絡体制が必要 03. 毎日の訪問が必要 04. 1 週間で数回の訪問が必要 05. 1 週間で 1 回程度の訪問が必要
--	---

入院患者票の質問は以上です。ご協力いただきまして誠にありがとうございました。

令和2年12月28日(月)までに

「各種調査票配布に際してのお願い」に記載された方法に従ってご提出ください。